冊函號

ト

獨逸小論文對譯叢書 大學書林發行 昭和八至一〇 五 六三一 三〇六

第一篇 レプ世界經濟（長守善譯註）
第三篇 ケハイデ獨逸大學の自己主張（荒木時次譯）
第四篇 ツガー獨逸詩人と英雄（小口優譯）
第五篇 グドルフ フエーデルナチス綱領（世界觀的根本思想）（城門廣男譯註）
第六篇 技術と經濟（ゾムバルト著 山口修二郎譯註）

獨逸文學叢書 岩波書店發行 大正一五至昭和三 七 五四八 二〇

第八編 悲劇ペンテジレーア（クライスト著 吹田順助譯）
第九編 ブラークへの旅路のモーツアルト（メーリケ著 石川錬次譯）
第一〇編 西班牙ドン、カルロス（シルレル著 佐藤通次譯）
第一一編 の太子 レーナウ詩集（レーナウ著 櫻井政隆譯）
第一二編 シルレル小說集（シルレル著 奥津彦重譯）
第一三編 ヘローデスとマリアムネ（ヘツベル著 上村清延譯）
第一四編 悲劇マリア、スチユアルト（シルレル著 相良守峯譯）

獨逸文學叢書（對譯脚註） 南山堂發行 大正一五、昭和二 三 三三三 七四三

美しき魂の告白（ゲーテ著 林久男譯）
フイロタス（レツシング著 杉山茂譯）
シユノツク（ヘツベル著 川本正良譯註）

東亞經濟事情叢刊 大連商工會議所發行 昭和一〇 一冊 一九四

第一輯 滿洲の棉花問題（今市欽介）
第二輯 關東州の關稅制度（千本木正治）

東亞研究講座 東亞研究會發行 昭和二至一〇 二冊 一四五 四六〇

第一二輯 支那の硯に就て（速水一孔）
第一三輯 現代支那の音樂（田邊尙雄）
第一五輯 支那人の金錢慾（井上紅梅）
第一六輯 支那古陶磁の話（小森忍）
第一七輯 自然と支那文學（安岡正篤）
第一八輯 支那農民の生活（澤村幸夫）
第一九輯 支那の外國借款鐵道の現狀（上田恭輔）
第二〇輯 支那語中の西洋語（中村久四郎）
第二一輯 漢藥の話（中尾萬三）
第二二輯 支那南方思想の發達（淺野利三郎）
第二四輯 支那服に就て（朱北憔）
第二五輯 支那貿易の現狀（武内文彬）
第二六輯 麻雀の話（榛原茂樹）
第三〇輯 支那の士大夫階級（田中忠夫）
第三一輯 現代北支那の見世物（長澤規矩也、智原喜太郎編）
第三二輯 支那地理の概念（西山榮久）
第三三輯 支那の財政と公債（濱田峰太郎）
第三四輯 支那佛教の沿革（水野梅曉）
第三五輯 宋代の繪畫（金原省吾）
第三六輯 支那書物漫談（長永義正）
第三七輯 中華民國書林一瞥（長澤規矩也）
第三八輯 支那の淡水魚（雨宮育作、木村重）
第三九輯 明代の皇族及び官吏（清水泰次）
第四〇輯 支那の曆法（飯島忠夫）

第四一輯 六朝の書道（西川寧）
第四二輯 新露西亞の亞細亞中心政策（淺野利三郎）
第四三輯 中國共產黨概觀（榛原茂樹）
第四四輯 常識と支那現代文（岩村成允）
第四五輯 硯墨趣味の研究（後藤朝太郎）
第四六輯 支那の排日運動（波多野乾一）
第四七輯 支那の社會組織と家族制度（青柳篤恒）
第四八輯 滿洲國建國の理想たる王道（田崎仁義）
第四九輯 支那回教文獻の解說（佐久間貞次郎）
第五〇輯 宇宙論衝（高瀨武次郎）
第五一輯 支那の祕密結社（馬場春吉）
第五二輯 阿片問題と支那農村經濟（田中忠夫）
第五三輯 支那の通貨と滿洲國の幣制（吉田虎雄）
第五四輯 唐人唄と看々踊（淺井忠夫）
附 九連環の曲と看々踊（田邊尙雄）
第五五輯 通俗道教（中野江漢）
第五六輯 支那の婚姻（西山榮久）
第五八輯 上海の貧民相（井上紅梅）
第五九輯 支那草木蟲魚記（澤村幸夫）
第六〇輯 支那と銀（井村薰雄）
第六一輯 釋奠（中野江漢）
第六二輯 現代支那の教育（池田孝）
第六三輯 支那に於ける支那學の現狀と動向（長瀨誠）
第六四輯 古代支那の音樂（石井文雄）
第六五輯 現代支那の文學（池田孝）
第六六輯 支那草木蟲魚記 續集（澤村幸夫）

東亞小冊 東亞經濟調査局發行 昭和四至一〇 一 五五三 九四

第一二 支那排日教材集（同局譯編）
第三 太平洋會議に就て（副島道正）
第四 太平洋會議に於ける二講演（松岡洋右）

第五 支那陸軍改造論（佐々木到一）
第六 國定教科書に於ける海外關係記事（同局編）
第七 人民自救の道（杜天一）
第八 內外蒙古に對する露國の活動（小川繁）
第九 飼料としての大豆粕（鈴木梅太郎）
第一〇 間島問題（同局編）
第一二 我南洋貿易を阻害する華僑の眞相（竹井十郎）
第一三 獨逸に於ける公團體の經濟的活動（同局編）
第一四 佳木斯移民の實況（市川益平）
第一五 ソウエート聯邦の極東政策現況（神田正種）
第一六 支那邊疆概觀（重光藏編）
第一七 支那經濟發展の基礎と段階（ウイットフオーゲル著 同局譯編）

東炎叢書 東炎發行所發行 昭和九、一〇 三 六五九 一〇

第一編 俳句作法 附 乙字句抄（大須賀乙字）
第二編 句南風（土居蹄花（良三））
第三編 集落葉松（內藤吐天）

東海道中膝栗毛 上、下 十返舍一九著 三教書院編輯部編 二〇 六七 四二九
東海道中膝栗毛輪講 上、中、下編 昭和一〇 三田村鳶魚編 三 五一七 四八二
大正一五至昭和五 三〇 三〇一 五四

東海道名所記 稀書複製會編 昭和一〇

第一 江戸より大磯まで
第二 小田原より江尻まで
第三 府中よりよし田まで

東海文庫 靜岡鄉土研究會發行 昭和三、四 一三 五四九 三八六

第二、三 名乎離會の記 中、下卷（加藤正行）

第四　俳諧裾野集、駿河小志　（同會編）　冊　面　號
第五　由比正雪實記　（同）
松木新左衞門始末聞書
第六至一〇　掛川誌　甲、乙、丙、丁、戊篇
第一二　伊豆海島風土記　三卷　（同會編）
第一四　辛丑雜記　第二　（同）
第二〇　豆州志稿　甲篇　（秋山章（富南）編）

灯火占（人事秘決）　文政一丁　一〇

東京高師新教育叢書　郁文書院發行　昭和六　六

第一　理科教育の分野と新使命　（堂東傳）　三五九五
第二　綴方教育の分野と新使命　（田中貫太郎）
第三　手工教育の分野と新使命　（三宮正雄）
第四　讀方教育の分野と新使命　（佐藤末吉）
第五　算術教育の分野と新使命　（高木佐加枝）
第六　新體操と學校體育の新使命　（齋藤薫雄）

東京工業試驗所報告　同所發行　昭和二至一〇　七　一四、二イ

第一三回
第六號　黑松の粗松脂及び精油　（篠崎英之助）
滿洲イタチハギの精油に就て　（篠崎英之助、星野耕三）
南洋產精油アラギリ Augri Oeli の成分　（同）
第七號　苦汁より鹽化加里を分別する方法に關する研究（補遺）（西村常吉）
第九號　輸出羽二重晒除法として經糊及び精練法改良試驗成績　（高松德治郎等）
第一〇號　山東省產梓蠶蛹油の試驗成績　（辻本滿丸　小林修明）

一二〇　一五三
一二七

柑橘類の種油に就て　其一　（同）　冊　面　號
滿洲產イタチハギ種油　（中戸川秀一）
第一五回
第一一號　「ニトロ・ベンゼン」の電解的還元に就て　第一報（井上春成）
第一六回
第一二號　「ドクダミ」の精油の成分　（篠崎英之助）
日本產針葉樹の精油の研究　第一回　（同）
第二二回
第一號　魚油中の高度不飽和酸の分離法に就て　（外山修之、土屋知太郎）
魚油より高度不飽和酸を製取する方法に就て　（同）
二、三の鮫肝油及び「エヒ」肝油の高度不飽和酸に就て　（同）
高度不飽和酸の沃素價に就て　（同）
同（追補）　臭化「ピリヂン」法及び酒精沃素法に就て（同）
高度不飽和酸の水素添加に關する研究　第一報（土屋知太郎）
第二號　澱粉糊研究報告　第二報　（芳野守三）
第三號　「テトラリン」に就て　第二、三報　（井上春成、山口豐）
第四號　酸性亞硫酸石灰法に依る粘土より「アルミナ」製造の研究と其中規模試驗　（田中弘）
第五號　碍子素地の組織に就て　（重宗亮一）
第六號　人造染料製造試驗報告　第三報　（淺岡卿）
第七號　大豆蛋白質に關する研究　第二報　（同所編）

第八號　第九回染料堅牢度比較試驗成績　（野口寅之助、藤田正一）
第九號　「メタン」より鹽化「メチル」の製造に就て　（越智主一郎、藤本勳）
「メタン」より四鹽化炭素の製造に就て　（同）
甘汞及び昇汞の分析法に就て　（藤本勳）
「モノ、クロロ、ベンゾール」の製造條件に就て（中村松雄）
廢酸化鐵より黃血鹽の製造に就て　（村相兵義）
第一〇號　「アルカリ」纖維素の熟成に就て（「ヴイスコース」の研究　第二報）（沼正治）
「ザンセイション」の際に於ける條件に就て（「ヴイスコース」の研究　第三報）（同）
「ヴイスコースフイルム」に就て（「ヴイスコース」の研究　第四報）（同）
第一一號　鯨油脂肪酸の成分に關する研究　第二報　（外山修之）
鱈肝油の脂肪酸に就て　（同）
水素添加せる鯨肝油の硫酸呈色反應に就て　（同）
大和「シビレエヒ」肝油の脂肪酸に就て　（外山修之、土屋知太郎）
九星銀鮫肝油の脂肪酸に就て　（同）
油角鮫肝油の脂肪酸に就て　（同）
鮫肝油及び「エヒ」肝油の不鹼化物（高級「アルコール」）の成分に關する研究　第六報）（外山修之）
抹香鯨皮油の成分（脂肪酸及び不鹼化物）に就て（同）
抹香鯨油（腦油及び體油）の一般性狀　（同）
鯨油酸の化學的構造に就て　（同）
「ゾーマリン」酸の化學的構造に就て　（同）
第一二號　魚油を檢出する新方法　（辻本滿丸）
鮫油酸の化學的構造に就て　（同）
北海道產油鰈油に就て　（同）
「インゲワンダラメ」油　（木村包介）
鮫肝油中の炭化水素に就て（「スクアレン」の化學式の再檢査）（辻本滿丸、木村包介）
抹香鯨の肝臟中の脂肪物質に就て　（同）
大鮃及比目魚の肝油に就て　（辻本滿丸）
北海道產柔魚油に就て　（辻本滿丸、木村包介）
第二三回
第一號　纖維素「エステル」に關する研究　第一報（岡田元）
第二號　骨灰磁器坯土の試驗　（押田武失）
第三號　鰛酸の化學的構造に就て　第一報　（辻本滿丸）
鰛場蟹肝油に就て　（同）
「インゲワンダラメ」油の不鹼化物に就て　（木村包介、增淵吉長）
「ツヅ」油中の「テトラデセン」酸 $C_{14}H_{28}O_2$ の化學的構造に就て（辻本滿丸）
抹香鯨油中の「テトラデセン」酸 $C_{14}H_{28}O_2$ に就て　（同）
昆蟲油の研究　第一報　（同）
第四號　明礬及び鹽化「アルカリ」の加熱分解に依る「アルミナ」製造法研究　（田中弘）
朝鮮產明礬石の新利用法研究　第一、二報　（同）
第五號　高度不飽和酸の水素添加に關する研究　第二報（外山修之、土屋知太郎）

高度不飽和酸の重合に就て（同）
高度不飽和酸「メチルエステル」の重合に就て（同）
第六號　纖維素「エステル」に關する研究　第二報（岡田元）
第七號　「フエロ、クロム」より「クロム」酸鹽の電解的製造に就て（飯田秀松、増田兵藏）
第八號　「ポルトランドセメント」の凝結時間に及ぼす添加物の作用（中原萬次郎）
第九號　「クロル、ナフタリン」誘導體の研究　第一報（淺岡卿）
第一〇號　纖維素「エステル」に關する研究　第三、四報（岡田元）
第一一號　綿繻子「シュライナー」仕上の研究　第一報（藤田正一）
第二四回
第一號　鰮油中の高度不飽和酸の研究　第一報（外山修之、土屋知太郎）
第二號　金胎漆器製造法（澤口悟一）
漆風呂の廻轉裝置に就て（同）
漆風呂の溫度及び濕度の調節裝置に就て（同）
東京漆の使用に就て（同）
漆液採取方法に關する試驗（平野茂、澤口悟一）
第三號　鹽素法に依る木材「パルプ」の精製に就て（村楫兵藏）
第四號　「イシナギ」肝油の脂肪酸に就て（辻本滿丸）
鱈場蟹肝油中の新「アルコール」に就て（同）
市販「イリペ」脂中の炭化水素「イリペン」及び高級「アルコール」に就て（同）
「ヱゴ」油の不鹼化物に就て（同）
第五號　「キンキン」油、目拔魚油及び鯛油（増淵吉長）
糖類の鹽素酸化に關する研究（越智主一郎、中村松雄）
第六號　木材「パルプ」及人造絹絲に關する研究　第一、二報（岡田元等）
第七號　カヂメに關する研究（越智主一郎、高橋武雄）
第八號　酸化鐵電極に關する研究（飯田秀松、増田兵藏）
第九號　海產動物油及び其成分の「ロダン」價に就て（外山修之、土屋知太郎）
高度不飽和酸の水素添加及び重合に伴ふ「ロダン」價の低下に就て（土屋知太郎）
抹香鯨油の水素添加に就て（同）
山椒種子油（同）
第一三號　朝鮮產明礬石新利用法研究　第三法（田中弘）
第一四號　大豆蛋白質の低級「アルコール」類に依る精製に於て水分、酸及び「アルカリ」の影響（大豆蛋白質に關する研究　第一一報）（増野實）
第二五回
第一號　澱粉糊研究報告　第三報（芳野守三）
第二號　「カゼイン」接着劑の强度に關する研究（平野茂、古橋通三郎）
第三號　急熱急冷に對し安定なる陶磁器素質の研究　第一、二報（伊藤亮）
第四號　木蠟の成分に關する研究　他六篇（辻本滿丸等）
第五號　大豆蛋白質に關する研究　第一二報（増野實、宍戸忠雄）
第六號　製紙用粘液の毛管上昇現象並に粘液試驗法に就て（岡田元）

第八號　「チオシアン」酸「カルシウム」水溶液に依る眞鰯肉蛋白質の溶解（越智主一郎、山崎國武）
第九號　鹽化加里及び硝酸「アルミニウム」の複分解に依る硝酸加里及び「アルミナ」の新製造法　第一、二報（田中弘）
第一〇號　本邦產「ベントナイト」の研究（重宗亮一）
第二六回
第一號　カヂメに關する研究　外二（高橋武雄）
第二號　汎「ヂアリルメタン」族及び汎「トリアリルメタン」族染料中間體の縮合に就て（富岡惟中）
第三號　過燐酸石灰と炭酸「アムモニウム」との複分解に就て　外一（田中弘）
第六號　大豆油抽出法の改良に關する研究　第二、三報（増野實、西村俊介）
第七號　鹽化加里及び硝酸「アルミニウム」の複分解に依る硝酸加里及び「アルミナ」の新製造法　第三、四報（田中弘）
第八號　大豆蛋白質に關する研究　第一三、一四報（増野實等）
第九號　鹽素製糖法に關する研究　第二報（越智主一郎等）
第一〇號　鰻の體油及び肝油　他七（辻本滿丸等）
第一一號　「アムモニア」酸化の觸媒の研究　第一報（佐々木一雄）
第一二號　木材「パルプ」及び人造絹絲に關する研究　第三至五報（岡田元、早川榮治）
同　第二二回第一至一二號、第二二回目次、第二三回第一至一一號、第二四回第一至一四號、第二四回目次、第二五回第一至一〇號、第二六回第一至五號、第二七回第一至一五號　九　一四、イ　二七、ロ
第二四回

トウキ

	冊	頁	號
「アムモニアガス」の自己燃燒性に關する研究（同）			
高濃度の「アムモニア」の接觸的酸化（觸媒前にて混合「ガス」冷却の影響）（同）			
第四號 「クロム」鑛より「クロム」の抽出に關する研究（小山祥）			
第五號 廢糖蜜の電解透析に關する研究 第一至四報（井上春成、加藤二郎）			
第六號 α―「モノニトロナフタリン」の接觸的酸化に依る「フタルイミド」の合成に就て（井上春成、堀口博）			
第七號 鹽化「カリ」及び硝酸「アルミニウム」の複分解に依る硝酸「カリ」及び「アルミナ」の新製造法（田中弘）			
第八號 「オキシシン」に依る金屬の定量法 第一、二報（斯波之茂）			
第九號 金屬の電解分析に於ける異常析出超過 第二報（斯波之茂、西原庶藏）			
第一〇號 合成薄荷に關する研究 第一報（井上春成、堀口博）			
第一一號 伊豆諸島産椿油及び九州産椿油（外山修之、土屋知太郎）			
數種の本邦産植物種子油（安石榴・水蠟樹・南天・粗榧の種子油）（同）			
外國産植物油脂試驗報告（土屋知太郎）			
麻實油より析出する蠟に就て（增野實）			
苞麻子油及脂肪酸の混合物の加熱に依る「エステル」化に就て（同）			
「リノレン」酸の水素添加の過程に就て（土屋知太郎、石川得三）			
第一二號 亘頭鯨腦油より「イソバレリアシ」酸「エステル」を製取する方法（秋山五郎丸）			
「オキシシン」に依る金屬の定量法 第三、四報（斯波之茂）			
第一三號 「アムモニア」酸化の觸媒の研究 第二報（佐々木一雄）			
鐵若鉛觸媒を用ひたる規模稍大なる「アムモニア」酸化試驗（矢崎富藏等）			
「アムモニア」酸化用白金網觸媒の消耗に就て（佐々木一雄）			
第一四號 大豆蛋白質の性狀に關する研究 其一至六（增野實、飯沼亨）			
大豆油抽出法の改良に關する研究 第四報（增野實）			
第一五號 油鮫及び黑子鮫の肝油・體油・臟油及び卵油（辻本滿丸）			
イシナギの肝油及び體油（同）			
深海産魚油五種（メヌケ、アコウ、金眼鯛、ムツ及びアラの肝油）（辻本滿丸、小柳半二）			
ウツボ及びハモの體油（同）			
淡水産油七種（鯉、金魚、鮎、ワカサギ、岩魚、ヤマメ及び鯰の油）（辻本滿丸）			
ズワイガニ肝油（同）			
昆蟲油の研究 第二報 朝鮮産松蛤蠣油（同）			
野菜種子の油に就て（辻本滿丸、小柳半二）			

東京市農業に關する調査

帝國農會發行 昭和一〇 三 六八〇 七三

第一輯 東京市城内農家の生活樣式（同會編）			
第二輯 東京市城内農業經營の實態（同）			
第三輯 東京市城内生産蔬菜配給狀況（同）			

東京商科大學研究年報

岩波書店發行 昭和七 一〇 一四、五 二九四

經濟學研究

第一 古典經濟學に於ける市場理論の諸相（山口茂）
ドイツ經濟學と「經營學」（杉村廣藏）
經濟均衡理論の本質と價格勢力學說（中山伊知郎）
中世に於ける獨逸語古文書（上原專祿）
中世獨逸村落に於ける土地所有の關係（村松恒一郎）
大内教授の批判に答ふ（井藤半彌）
アメリカに於ける一失業研究（山中篤太郎）
大黑常是考（爭田成友）
チウネン書目解題（山田雄三）
世界恐慌文獻（一九二九至一九三一）
第二 日滿經濟統制と英帝國會議に基く英本國對自治領間の特惠制との比較考察（山内正瞭）
經濟性の問題（杉村廣藏）
我國に於ける西洋史研究の態度について（村松恒一郎）
「御料地令」文獻考（上原專祿）
正統派經濟學と金屬主義貨幣觀（山口茂）
貨幣的景氣理論と不均衡說の交渉（高橋泰藏）
需要曲線の統計的確定（杉本榮一）
供給價格と生産法則との關聯（山田雄三）
最近に於けるイギリス勞働組合法問題（山中篤太郎）
第三 經濟價値理論の一節（宮垣實次郎）
最近世界貿易及通商政策の研究（猪谷善一）
均衡價格成立の過程（杉本榮一）
投資と貯蓄（鬼頭仁三郎）
公債操作とインフレエション事象（安藤春夫）
政策的認識の問題（板垣與一）

トウキ

パロック時代の思潮史的考察（吹田順助）
第四 支那商事組合卽合股の協同體社會性に就て（根岸佶）
馬込勘解由（爭田成友）
資本利子の一考察（中山伊知郎）
獨逸ハンザ都市リューベックの成立に就て（增田四郎）
公債負擔轉嫁論の吟味（安藤春夫）
丸谷喜市著「經濟生活の本質及現象形態」（杉村廣藏）
花戸教授の批判に答ふ（井藤半彌）

法學研究

第一 親族法上の事項に適用する法律（山口弘一）
信義誠實の原則（常盤敏太）
佛蘭西保險契約法正文（米谷隆三）
ロシアの親族法（岩田新）
第二 信託行爲の意義及び本質（岩田新）
我國「勞働契約法法典」（孫田秀春）
海商法上の賠償額制限約款に就て（田中誠二）
意志表示による物權變動の效力（吾妻光俊）
滿洲國の國籍問題（大平善梧）
普魯西亞警察法制の概要（田上穣治）
ヌースバウム教授著「獨逸國際私法論」（山口弘一）
西島彌太郎博士著「海商法要論」（田中誠二）
清水澄博士著「遜保帝國憲法講義」（田上穣治）
私法的法律行爲の要素としての公法的行爲（美濃部達吉）
第三 婚姻豫約の實證的考察（岩田新）
有價證券の流通性（本間喜一）
船荷證券上の免責約款に關する二三の問題（田中誠二）

ギリシヤに於ける都市國家の生成と法律觀念（町田實秀）　冊　函　號
抽象債務理論に於ける抽象債務約束の地位（吾妻光俊）
國家相續の研究（大平善梧）
憲法解釋の自然法的色彩（田上穣治）

商學研究

第一　衝突損害と海上保險との關係（藤本幸太郎）
自然的グッドウヰルの研究（高瀬莊太郎）
鐵道特定貨物賃率の研究（渡邊大師）
勞働學の構成と其勞働事故の研究（金子弘）
中華民國幣制改革問題の經過（高垣寅次郎）
昭和四・五年度我國銀行經營の動態的研究（高瀬莊太郎）
英吉利地金論爭書目解說（鬼頭仁三郎）
A bibliography of bullion controversy in England. (1767—1928)（高垣寅次郎、鬼頭仁三郎編）
第二　滿洲國の重要性と移民及交通問題（堀光龜）
生命保險に於ける屍疾條項の研究（石川文吾）
千九百三十一年の獨逸倉庫法（內池廉吉）
勞働時間問題の心理的考察（金子弘）
聖トマスに於ける職分社會思想の研究（上田辰之助）
第三　製造間接費の配賦尺度に就て（吉田良三）
アメリカ鐵道業に於ける持株會社の發達（增地庸治郎）
廣告訴求の社會心理的研究に就いて（金子弘）
經濟動態理論と正常狀態の想定（高橋泰藏）
近時世界海運貿易の數量的考察（伊坂市助）
有機說に於ける會計と財務との交錯（岩田巖）
保險技術上の若干問題（藤本幸太郎、大林良一）

〔東京商工會議所〕商工資料　同所發行　昭和九、一〇　冊　函　號　三〇、一四五　三九七

第二號　我國の新興產業に就いて（天野健雄）
第三號　人絹工業の近狀（佐羽太三郎）
第四號　日歐貿易鬪爭（竹內謙二）
第五號　躍進する我國の羊毛工業（楠本吉次郎）
第六號　統制經濟と獨占（竹內謙二）
第七號　日本セメント工業發展史（諸井貫一）
第八號　世界經濟彙報　第一（同所編）
第九號　我國製粉業の發達（加藤德雄）
第一〇號　シカゴ市に於ける交通統制の經過（同所譯編）
第一一號　日本經濟最近の動向（竹內謙二）
第一二號　セメント工業の現在及將來（金子喜代太）
第一三號　我國莫大小工業の發展性（同所編）
第一四號　琺瑯鐵器工業の進出（同）
第一五號　西藏の資源と邦品進出の可能性（多田等觀）
第一六號　海外に雄飛する日本陶磁器工業（同所編）
第一七號　最近に於ける自轉車工業の發展（同）
第一八號　輸出進展を續くる日本電球工業（北地鎌次郎）
第一九號　朝鮮經濟事情に就いて（穗積眞六郎）
第二〇號　最近の中南米經濟事情に就いて（首藤安人）
第二一號　ペルシヤの文化と經濟（笠間杲雄）
第二二號　世界經濟彙報　第二輯（同所編）
第二三號　米國ニューディールの發展と貿易事情（松本正雄）
第二四號　臨時利得稅法綱要（同所編）
第二五號　最近歐羅巴の事情（米田實）
第二六號　世界經濟彙報　第三輯（同所編）
第二七號　最近露西亞の經濟事情（川谷幸左衞門）
第二八號　我國外國貿易の情勢と其前途（木村增太郎）
第二九號　世界經濟彙報　第四輯（同所編）
第三〇號　我國輸出工業の優越性（天野健雄）
第三一號　個人所得稅營業收益稅資本利子稅便覽（東京稅務監督局編）
第三二號　世界經濟彙報　第五輯（同所編）

〔東京商工會議所〕商工調査　同所編　昭和二至一〇　四二　五七九　四九

第一號　東京市內に於ける商工業者の職業、數及納稅額に關する調査
第二號　金輸出解禁問題に關する參考資料
第五號　金融恐慌と其影響
第六號　商工審議會の議題に對する意見
第七號　健康保險法改正意見並に參考資料
第八號　中小商工業の金融窮迫に關する資料
第九號　政府の中小商工業者に對する運轉資金融通に關する調査（昭和三年三月調）
第一〇號　東京市及其の附近に於ける家內工業の情態
第一一號　東京地方電氣料金に關する調査
第一二號　株式取引所限月問題に關する調査（上林正矩）
第一三號　保證準備擴張問題に關する參考資料
第一五號　中央銀行の發券機能
第一六號　各國支拂猶豫令
第一七號　中央銀行の組織及金融市場との關係（キッシュ等著　同所譯編）
第一八號　支那改訂輸入稅率表
第二〇號　中小商工業金融と我國金融機關の現狀
第二一號　我國に於ける百貨店對小賣商問題に關する調査
第二二號　各國產業助長施設概要
第二三號　帝都經濟復興と不動產金融問題
第二四號　興行稅及觀覽稅に關する調査
第二五號　月賦販賣制度
第二六號　都市計畫及工場取締改正に關する參考資料
第二七號　我國銀行の合同問題（三浦一）
第二八號　勞働組合法に關する調査
第二九號　歐洲戰後本邦貿易の趨勢
第三〇號　配當課稅問題に關する參考資料
第三一號　國民負擔輕減に關する參考資料
第三二號　各國勞働組合の法規と其現勢
第三三號　購買組合に關する調査
第三四號　不正競爭の取締に關する調査
第三五號　取引照會件數海外市場需要本邦商品調査より觀たる
第三六號　我國に於ける生產並販賣の統制現狀
第三七號　中華民國新舊關稅率對照表
第三八號　解雇手當に關する調査
第三九號　最近世界海運狀況
第四〇號　賠償及戰債支拂猶豫問題と世論
第四一號　英獨失業保險法とその實施狀態
第四二號　最近英國及獨逸の財政狀態
第四三號　獨佛兩國の爲替管理並資本逃避防止に關する法令
第四四號　金本位制停止後の英國財界
第四五號　各國爲替管理令（獨逸貿易中央局編、同所譯編）
第四六號　購買組合の受くる壓迫と商工業者の蒙る壓迫
第四七號　本邦並に滿蒙に於ける牧羊事業開發助成の急務

（井島重保）　冊函號

第四八號　インフレーションに關する調査
第一卷　壊國諸産業に及ぼしたるインフレーションの影響
第二卷　大戰中獨逸に於けるインフレーションの情勢
第三卷　佛國のインフレーションとフラン貨の安定
第四卷　インフレーション時代に於ける利益配當の方法
第五卷　貨幣價値下落期に於ける賃金調達と價格決定の方法
第六卷　假裝利益に對する課稅方法
第七卷　大戰後獨逸に於けるインフレーションの概要
第四九號　何故貿易は好轉したか
第五〇號　獨逸に於ける新カルテル法令と價格取締令（同所譯編）
第五一號　獨逸小賣商保護法及關係法規
第五二號　伊太利に於ける公衆販賣業並行商取締に關する法規
第五三號　英國植民地の織物輸入割當制
第五四號　新興産業に關する調査
第五五號　輸出統制の改善問題
第五六號　支那の經濟恐慌に關する調査
第一卷　金融及國際貸借
第二卷　農業
第三卷　商工業
第五七號　東洋市場に於ける本邦品對歐洲品の競爭（特に金ブロック諸國との關係）
第五八號　商業組合に關する調査
第一卷　東京地方に於ける商業組合の實情
第二卷　大阪及名古屋地方に於ける當業者の意見並に同地方に於ける組合の實情
第五九號　最近米國の財政政策
第六〇號　財界前途に關する諸觀察
第六一號　支那經濟事情に關する調査
第一卷　最近の金融事情

東京帝國大學講義　昭和二、三年度　昭和二　文信社發行　一七〇　一四

經濟地理（山崎直方）　六九七
民事訴訟法（松岡義正）　七六九
國際金融論（五十嵐直三）　七七〇
交通政策（鐵道）（中川正左）　七七一
同（海運）（寺島成信）　七七二
商法　第二部（手形法保險法）（田中耕太郎）　七七三
同　七七四
經濟史（本位田祥男）　六九二
經濟學史　下卷（鱒出長五郎）　七二〇
保險學（森莊三郎）　七七七
政治史（吉野作造）　七七八
統計學（竹下清松）　七七九
宗教學概論（宇野圓空）　七八〇
心理學（桑田芳藏）　七八一
教育學概論（春山作樹）　七八二
倫理學（吉田靜致）　七八三

西洋哲學史（矢崎美盛）　冊函號

東京帝國大學地震研究所彙報別冊　同所發行　昭和九
第一號　昭和八年三月三日三陸地方津浪に關する論文及報告（同所編）　一　一四、五　二〇〇
同　第一、二號　昭和九、一〇　二　一四、五　二〇〇
第二號　昭和九年九月二十一日颱風による風害及び風津浪に關する論文及び報告（同所編）

東京帝國大學農學部演習林報告　同林發行　昭和三至一〇（東京帝國大學農學部附屬）演習林報告」ノ改題）　一一　一四、三　四九五
第五號　同齡單純林に於ける單木及林木の生長曲線に關する研究（吉田正男）
第六號　植栽林の材木構成狀態に關する統計的研究　第一報（同）
第七號　主要林産物の價格變動に就て、殊に其の統計的研究（望月岑）
第八號　千葉縣演習林に於ける スギ及ヒノキ生長試驗地土壤の酸度竝有機物に就て（大政正隆）
森林保護上より見たる鳥類の食性（小島俊文）
千葉縣演習林に於ける日本鹿飼育試驗報告（中島道郎）
樺太演習林重要木材强弱試驗成績（藤林誠）
樺太演習林産エゾマツ板の幅の收縮試驗成績（藤林誠、面垣善作）
A few brief notes of simple suspension bridges.（中山正章）
第九號　臺灣演習林に於ける三三樹植栽林の生長量、構成狀態及樹形に就て（吉田正男）
臺灣演習林—杉、扁柏及チーク强弱試驗（藤林誠）
第一〇號　杉の根の發達に關する解剖學的研究（佐藤敬二）
杉挿木に關する理論的研究（同）
植栽林の林木構成狀態に關する統計的研究　第二報（吉田正男）
演習林氣象年報
第一一號　最近に改良したる製炭業（製炭試驗成績後報）（牧俊夫）
列狀混淆植栽林に於ける杉扁柏の生長比較試驗　第一報（吉田正男）
植栽林の林木構成狀態に關する統計的一研究（續一三）
第一二號　樺太に於けるトドマツ、エゾマツ天然林に關する研究（中村賢太郎）
第一三號　法正林の蓄積と生長との關係に就て（同）
收縮堰に於ける流量係數（櫻井莊三）
電柱材の材積算定に關する研究（英文）（三井鼎三）
演習林氣象報告（昭和四年）
第一四號　秩父演習林及其附近の木本植物（豫報）（猪熊泰三）
第一五號　シラハタマツの植物學的研究特に葉の解剖學的性質に就て（佐藤敬二）
矮林の伐採季節と萠芽との關係（中村道郎）

		冊	面	號
	木材化學（三浦伊八郎等）			
	演習林氣象報告（昭和五年）			
第一六號	マツに關する基礎造林學的研究（佐藤敬二）			
	輪尺及卷尺の個人的測定誤差に關する統計的研究（嶺一三）			
	秩父演習林ケヤキ植栽林の構成狀態及單木生長に就て（望月岑一、三井鼎三）			
	木耳栽培試驗報告（臺灣演習林編）			
	臺灣產樟材の橫縞狀變色に就て（猪熊泰三）			
	演習林氣象報告（昭和六年）			
第一七號	松繩用マツに關する解剖分類學的研究（佐藤敬二）			
第一八號	森林索道の最大張力に就て（笘名孝太郎）			
	甲州身延山及び七面山の樹木目錄（猪熊泰三）			
	演習林氣象報告（昭和七年）			
第一九號	堰堤に依る流量の測定（櫻井莊三）			
第二〇號	マツに關する基礎造林學的研究（第二報）（佐藤敬二）			
	アカシナ及アヌシナ材の强度比較試驗（松島鐵也）			
	男鹿半島の森林植物（猪熊泰三）			
	牡鹿半島及び其の附近の森林植物（同）			
	秩父演習林及其附近の木本植物（豫報）追錄 第一（同）			
	昭和八年演習林氣象報告			
第二一號	森林索道に關する靜力學的問題の新解法（其二）（笘名孝太郎）			
	砂防植栽地の雨水滲透力（狹原貞夫）			
	測高器使用の際に生ずる個人的測定誤差の研究（嶺一三）			

		冊	面	號
	〔東京帝國大學農學部附屬〕演習林報告 同林發行〔東京帝國大學農學部演習林報告」ニ續ク〕 昭和三	二	一四、イ	二〇六
第三號	製炭上精煉管の使用に就て（三浦伊八郎、柴田信男）			
	窯內消火式清澄窯製炭試驗成績（牧俊夫、唐鎌良助）			
第四號	本邦森林火災の季節的分配及びこれに對する濕度と降水との影響（園部一郎、島田錦藏）			
	東京帝室博物館講演集 同館發行 昭和五至九	七	一四、五	一三九
第二冊	孔子の像に就て（塚本靖）			
	傳教大師と弘法大師（辻善之助）			
第四冊	美術と服飾との關係に就いて（溝口禎次郎）			
	上古の服飾（高橋健自）			
	奈良時代及平安前期の服飾（關根正直）			
第五冊	歐洲學者の東方探檢（瀧精一）			
	東洋最古の女人畫に就て（松本亦太郎）			
第六冊	支那陶磁の妙所と之が鑑賞上の概念（上田恭輔）			
	支那陶磁の色と模樣に就いて（奥田誠一）			
第七冊	東洋畫に就いて（汪榮寶）			
	支那畫の二大潮流（瀧精一）			
	桃山時代障屏畫の陳列に就いて（溝口禎次郎）			
	浮世草子を通じて見たる浮世繪（笹川種郎）			
第九冊	日本刀の造り方（俵國一）			
	古鏡の圖紋に就て（原田淑人）			
第一冊	上古時代の住宅（後藤守一）			
	埴輪に關する二三の考察（濱田耕作）			

		冊	面	號
	東京報知機株式會社主催 消防講演會講演集 第一回 火報新聞社編 昭和二	一	五三四	七三四
	〔東京府學務部〕社會調査資料 東京府學務部社會課編 昭和三至一〇	一八	五七九	三六五
第四輯	管下小學校卒業兒童志望並歸趨狀況調査			
第五輯	本府に於ける兒童保護事業 第二部 長期缺席兒童の部			
第六輯	東京府不良住宅地區調査概說			
第七輯	在京朝鮮人勞働者の現狀			
第八輯	本府取扱不良兒童狀況			
第九輯	東京府郡部集團的不良住宅地區狀況調査			
第一〇輯	本府に於ける兒童保護事業の概況			
第一一輯	無料宿泊所止宿者に關する調査			
第一二輯	要保護者に關する調査			
第一三輯	東京府下五郡に於ける小商業者の現在並其開廢狀態に關する調査			
第一五輯	求職婦人の環境調査			
第一六輯	失業者の實狀に關する調査			
第一七輯	學校卒業者の就職狀況調査			
第一八輯	東京府五郡家屋賃貸事情調査			
第一九輯	東京府五郡に於ける水上生活者の生活現狀			
第二一輯	東京府一市（八王子市）三郡に於ける要保護者に關する調査			
第二三輯	兒童關係法規集			
第二四輯	細民金融に關する調査			
	東京府史蹟保存物調査報告書 同府發行 昭和四	一	一四、五	七六イ
第六册	府下に於ける重要なる史蹟並國寶特別保護建造物（同府編）			
	東京府史蹟名勝天然紀念物調査報告 同府發行 昭和一〇	一	一四、五	七六
第一二册	名勝堀切小高園の花菖蒲（三好學）	一	一四、五	七六イ
同 昭和六				
第八册	荒川堤の櫻（三好學）			
	東京文理科大學文科紀要 同學發行 昭和六	五	一四、五	二八四
第一卷	施印とポスター（乙竹岩造）			
	徂徠學（加藤仁平）			
第二卷	書字動作の實驗的研究（武政太郎）			
第三卷	唐晉十八考（中山久四郎）			
第四卷	名及び名實論（諸橋轍次）			
第五卷	表出と言語、及び其の研究（神保格）			
同 第一至八卷 昭和六至八		八	一四、五	二八四イ
第六卷	國家語の問題について（保科孝一）			
第七卷	賀茂傳說考（肥後和男）			
第八卷	トマス・グレイの書誌的研究（福原麟太郎）			
	東西素描大成 アトリエ社編 昭和四	一〇	四三四	八
第一卷	東洋之部 人物篇 上卷			
第三卷	同 花鳥動物篇 上卷			
第五卷	同 山水篇 上卷			
第七、八卷	西洋之部 人體篇 上、下卷			
第九、一〇卷	同 風俗篇 上、下卷			
第一一卷	同 傳說物語篇			
第一二卷	同 風景動植物篇			

第一三、一四卷　現代日本作家之部　日本畫家篇　上、下卷　冊　函　號
第一六卷　同　洋畫家篇　下卷

同志同行叢書　同志同行社發行　昭和八
第二編　行の教育（羽田隆雄）　五　二五九五　一二六
第三編　小學校教育の常道（羽田積）
第四編　人・教育・學校經營（沖垣寛）
第五編　垣内先生を中心とする田邊講演（蘆田惠之助編）
第六編　解釋と教授（岩瀬法雲）

藤樹先生全集　藤樹神社創立協賛會編　昭和三、四
第一冊　文集　第一至五　五　五七四　二七
經解成書　第一至六
圖說
第二冊　倭文經解成書　第一至五
倭文集　第一至三
第三冊　倭文心學成書　第一至四
第四冊　醫學成書　第一、二
第五冊　藤樹先生年譜　其他

同仁會支那衞生叢書　同會發行　昭和五至八　五　六一　三八八
第一輯　中華民國醫事衞生の現狀（ライヒマン著　同會譯）
第二輯　上海醫藥界の現狀（同會調査部編）
第三輯　中國醫界の新思潮（同會編）
第四輯　北支那の藥草（石戸谷勉）
第五輯　中華民國の醫育問題（國際聯盟保健部（ファバー）調）
編　同會譯編）

東方考古學叢刊　東亞考古學會發行　昭和四　時　五　四二四　五三
第一冊　貔子窩、南滿洲碧流河畔の先史時代遺跡（同會編）
第二冊　牧羊城（東亞考古學會、關東廳博物館編）
第三冊　南山裡（南滿洲老鐵山麓の漢代甎墓）（同會編）
第四冊　營城子（關東州前牧城驛沙崗子屯附近の漢代壁畫甎墓等）（森修、内藤寛）
乙種第一冊　内蒙古・長城地帶（江上波夫、水野清一）

東方學報　東方文化學院東京研究所編　昭和六至一〇　六　一四、五　二七九
東京
第一冊
成唯識論を中心とせる唐代諸家の阿賴耶識論（結城令聞）
故唐律疏議製作年代考　上（仁井田陞、牧野巽）
古代の支那に於ける化學思想特に元素思想に就いて（道野鶴松）
山東省黃縣龍口附近貝塚に就いて（駒井和愛）
文化史より觀たる古代の楚國（小柳司氣太）
彙報
第二冊　唐宋汴河考（青山定男）
故唐律疏議製作年代考　下（仁井田陞、牧野巽）
和闐地方の佛畫に見る一特殊性とその流傳（松本榮一）
庫車地方の涅槃藝術（三才笹吉）
師比並びに郭落帶に就きて（江上波夫）
道光咸豐中支那にて鑄造せられたる洋式銀貨に就いて（加藤繁）
彙報
第三冊
支那華嚴宗傳統論（常盤大定）
大秦寺の所在地に就いて（佐伯好郎）
被帽地藏菩薩像の分布（松本榮一）
成唯識論開發の研究（結城令聞）

西漢の封建相續法（牧野巽）
徑路刀考（江上波夫）
道光咸豐中支那にて鑄造せられたる洋式銀貨に就いての補遺（加藤繁）
第四冊
化學上より見たる古代支那の金屬と金屬文化とに就いて（道野鶴松）
唯識學に於ける二諦義に就いて（結城令聞）
清明集戶婚門の研究（仁井田陞）
未生怨因緣圖相と觀經變（松本榮一）
寶林傳の研究（常盤大定）
北京官城午門樓上に於て發見せられたるシリヤ文古鈔本に就いて（佐伯好郎）
支那建築に現はれたる文字文（飯田須賀斯）
彙報
第五冊
續華嚴宗傳燈論（常盤大定）
呂祖全書考（佐伯好郎）
詩經に現はれた巫歌（瀧遼一）
菩薩の戒律（横超慧日）
野崎に於ける支那建築（飯田須賀斯）
月令諸文攷（藤川熊一郎）
彙報
第五冊續篇　北支滿臺調査旅行報告
旅行日誌（同所編）
採訪法律史料（仁井田陞）
古地誌地圖等の調査（青山定雄）
圖書館並に觀書の數種（阿部吉雄）
音樂資料の調査（瀧遼一）

新出金版藏經を見て（横超慧日）
姚際恒著春秋通論に就いて（服部武）
浜源寺考（中山源次郎）

同　第二至五冊、第五冊續篇　五　一四、五　二七九
同　東方文化學院京都研究所編　昭和六至一〇　六　一四、五　二七九

京都
第一冊
甘石星經考（能田忠亮）
北支那發見の一種の銅容器と其の性質（梅原末治）
支那古代の長子相續制度（松浦嘉三郎）
引路菩薩信仰に就いて（塚本善隆）
水經注に引用せる法顯傳（森鹿三）
工藝史上より見たる漢樣式と銅鏡（長廣敏雄）
大元通制解說（安倍健夫）
董盦藏畫譜（伊勢專一郎）
彙報
第二冊
顯愷之の山水畫論（伊勢專一郎）
戴宏解疑論考（吉川幸次郎）
支那古代の銅利器に就いて（梅原末治）
說文解字段注攷正訂補（倉石武四郎）
玉璧考（水野清一）
南嶽承遠傳とその淨土敎（塚本善隆）
元史刑法志と「元律」との關係に就いて（安倍健夫）
爽籟館欣賞　第一輯（伊勢專一郎）
彙報
第三冊
五行の排列と五帝德に就て（狩野直喜）
古紐研究（高畑彦次郎）

	冊	函	號
喪服源流考（松浦嘉三郎）			
戴震の水經注校定について（森鹿三）			
敦煌出土の唐騎都尉秦元告身（内藤乾吉）			
金文に見えたる錫臣の記事に就て（小川茂樹）			
東洋古銅器の化學的研究（小松茂、山内淑人）			
支那古銅器の化學的研究に就いて（梅原末治）			
前漢時代における墓飾石彫の一群に就て（水野清一）			
胸中の丘壑（伊勢專一郎）			
彙報			
第四册			
左傳鄭服異義說（重澤俊郎）			
文人畫の發生（伊勢專一郎）			
宋紹熙板禮記正義に就いて（常盤井賢十）			
漢代を中心とせる動物表現に就いて（長廣敏雄）			
漢代論天攷（能田忠亮）			
李理法經考（小川茂樹）			
支那古銅容器の一考察（水野清一）			
十道志に引用せる水經について（森鹿三）			
唐中期以來の長安の功德使（塚本善隆）			
ペルンハルト・カルルグレンの官話に於ける不規則的有氣音から見たるトルコ語の轉寫音（高畑彦次郎）			
清季東亞外交史に關する近刊の漢文史料について（三國谷安）			
南滿洲遼陽出土の漢代琱玉（水野清一）			
彙報			
第五册			
追記前清考試制度（董康）			
則天武后の白司馬坂大像に就いて（松本文三郎）			
五行の排列と五帝德に就いて　續篇（狩野直喜）			
支那言語學序說（高畑彦次郎）			

	冊	函	號
左氏凡例辨（吉川幸次郎）			
秦の改時改月說と五星聚井の辨（能田忠亮）			
左氏春秋平義（重澤俊郎）			
漢代漆器紀年銘文集錄（梅原末治）			
支那古銅器の藝術學的分析（長廣敏雄）			
彙報			
第五册　副刊　房山雲居寺研究			
石經山雲居寺と石刻大藏經（塚本善隆）			
房山雲居寺塔記（長廣敏雄）			
房山雲居寺石塔記（水野清一）			
房山雲居寺石浮屠記錄考（小川茂樹）			
房山地方の沿革地理（森鹿三）			
北支那の地勢と地質（太田喜久雄）			
房山雲居寺碑文選錄（同所編）			
房山西域雲居禪林志附圖解說（森鹿三）			
遊支日記（同所編）			
同　第二至五册、第五册副刊	五	一四、五	二七九イ

東方文化學院京都研究所研究報告

同所發行　昭和八、九　六　四三二　一五七

第一册　殷墟出土白色土器の研究（梅原末治）
第二册　柉葉の考古學的考察（同）
第三册　周髀算經の研究（能田忠亮）
第四册　唐中期の淨土教（特に法照禪師の研究）（塚本善隆）
第五册　自顧愷之至荊浩　支那山水畫史　附圖共（伊勢專一郎）

東方文化學院東京研究所研究報告

同所發行　昭和九、一〇　特　〇二　四三五　一〇六

	冊	函	號
第一　遼金時代の建築と其佛像　圖版　上、下册（關野貞、竹島卓一編）			
同	特　二	四三五	一〇六イ
	二一〇	二一八	二八

東方文化叢書

東方文化學院發行　昭和五至八

第一　古鈔文鏡祕府論（同院編）
第二　禮記正義（同）
第四　景鈔正春秋正義並同解說並缺佚考（安井小太郎）
　　宗寺本
同　特　一八軸　ち二　五六
　　二一〇　二一八　二八イ

東方文化叢書

東方文化學院發行　昭和五至一〇　複製

第三　古鈔本莊子（同院編）
第五　敦煌出土唐鈔本莊子（同）
第六　古鈔玉篇　卷第八殘簡、卷第九、卷第一八後分、卷第一九殘簡、卷第二二、卷第二四殘簡、卷第二七上、下（同）
第七　唐過所（同）
同　解說共　特　一八軸　ち二　五六イ

東北帝國大學理學部地質學古生物學教室研究邦文報告

同學發行　昭和四至一〇　一〇　一四、五　四四

第七、八號　陸前國桃生郡小野村川下り轟介塚調査報告、同附圖（松本彦七郎）
第九號　陸前國登米郡南方村青島介塚調査報告（同）
　　陸前國名取郡及磐城國亘理郡の石器時代後期乃至前後遺跡（同）
　　陸前平野區域の古墳（同）
第一〇號　マーシャル群島珊瑚礁の地形的考察（田山利三郎）
第一一號　北大東島試錐に就いて（杉山敏郎）
第一二號　中、下部瑞穗統（矢部長克）
第一三號　太子河系（南滿洲に發達せる石炭—二疊紀層）に就きて（稻井豐）
第一四號　東大東島試錐調査に於ける試錐方法（遠藤六郎）
第一五號　北大東島に於ける燐酸礬土鐵床（山成不二麿）
第一六號　南洋パラオ群島の珊瑚及珊瑚礁（江口元起）
第一七號　南洋群島の島の配列と海底地形（田山利三郎）
第一八號　パラオ群島の地形、地質並に珊瑚礁（同）
第一九號　ヤップ島群（Yap islands）の地形地質並に珊瑚礁（同）

東洋醫藥學叢刊

春陽堂發行　昭和八　三　六〇　一三三

第一　傷寒論講義（木村博昭解）
第二　重訂本草綱目啓蒙　第一册　卷一至一三（小野蘭山著　脇水鐵五郎、刈米達夫考註）
第三　素問　第一册（田中吉左衞門譯註）

〔東洋協會調査部〕調査資料

同部編　昭和一〇　六　一四、五　四四〇

第一輯　中華民國政治勢力の現狀
第二輯　滿洲國の貿易狀勢
第三輯　北鮮三港と日滿通商關係
第四輯　日支經濟提携の動因と其將來

第五輯　最近の北支事情
第六輯　滿洲國通貨の現勢

冊函號

東洋協會調査部報告　同協會發行　昭和八　一　六三五　二五四

第五輯　マハトマ・ガンヂの思想と運動（室伏高信）

東洋史講座　雄山閣發行　昭和五　八　六一五　一

第一卷　總論及史籍問題（中山久四郎）
第二卷　第一期前篇　東洋文明發生時代（橋本增吉）
第三卷　第一期後篇　佛教東傳時代（同）
第四卷　第二期前篇　東洋文化渾成時代（中山久四郎）
第五卷　第二期後篇　北方民族躍動時代（同）
第六卷　第三期前篇　蒙古民族盛衰時代（高桑駒吉）
第七卷　第三期後篇　漢人復興時代（高桑駒吉等）
第八卷　第四期前篇　滿洲民族盛衰時代（松井等）
第九卷　第四期後篇　新支那時代（同）
第一〇卷　朝鮮の美術工藝（關野貞）
第一一卷　支那建築史（伊東忠太）
第一二卷　支那佛教史（常盤大定）
第一三卷　歴史上より見たる支那民族の發展（和田清）
東洋音樂史（田邊尙雄）
第一四卷　近代西藏史研究（矢野仁一）
中央亞細亞探檢の經過と其成果（石田幹之助）
西南亞細亞史談（内藤智秀）
宋代の戸口を論じて其前後の變遷に及ぶ（加藤繁）
第一五卷　古代印度の文化（武田豐四郎）
東洋史に於ける南北の對立（白鳥庫吉）

冊函號

東洋史地人名日漢滿同文辭林（正訓）　二一二

上卷（人名ノ部）、下卷（地名ノ部）小山愛嗣編　昭和九　謄寫版　一〇　二二五　三〇八

東洋文庫論叢　同文庫發行　昭和二至一〇　二六　一四、五　一六一

第七　附篇　入唐求法巡禮行記　四卷　解說付（圓仁（慈覺大師））
第八　道家の思想と其の開展（津田左右吉）
第九　文祿元年天草版吉利支丹教義の研究（本、附篇）（橋本進吉）
第一〇　近江奈良朝の漢文學（岡田正之）
第一一　寫經より見たる奈良佛教の研究（石田茂作）
第一二　石氏星經の研究（上田穣）
第一三　支那に於ける佛教と儒教道教（常盤大定）
第一四之一、二　叙事詩アイヌユーカラの研究　第一、二册（金田一京助）
第一五之一、二　元寇の新研究　同附錄（池田澄達）
第一六　根本中論疏無畏論譯註（池田宏）
第一七之一、二　法隆寺・法起寺・法輪寺建立年代の研究、同附錄（會津八一）
第一八之一、二　聖德太子御製法華義疏の研究　同附表（花山信勝）
第一九　玉篇の研究（岡井慎吾）
第二〇之一、二　長安史蹟の研究　第一、二　圖版共（足立喜六）
第二一　印度に於ける禮拜像の形式研究（逸見梅榮）
第二二　左傳の思想史的研究（津田左右吉）

同　第八、九、一三至一七、一九至二二　一八　一四、五　一六一

篤農協會叢書　同協會發行　昭和八至一〇　九　六五三　八五

第一　達人熊澤蕃山（安岡正篤）
蕃山先生農政論抄（渡邊敏夫編）

第二　農民精神の確立と石川理紀之助翁（香坂昌康）
石川翁に詣りて（菅原兵治）
第三　名村長矢幡小太郎翁（雜賀鹿野）
第五　完全なる榮養食（田中泰助）
第六　二宮尊德翁の追憶（後藤文夫等）
第七　農界の先覺者大梶七兵衛翁小傳（金塚榮市）
第八　農村生活への復歸（菅原兵治）
第九　救荒百種（東方籌編）
第一〇　農政の灸點（菅原兵治）

特別法規判例學說全集　柴田義彦編　昭和八至一〇　一三　一四七　五八九

第一卷　勞働法規及社會法規
第二卷　各種選擧法規　上、下
第三卷　不動産登記及戸籍寄留法規
第四卷　借地借家法規
第五卷　特許意匠商標實用新案法規
第七卷　稅法規
第八卷　醫事及衞生法規
第九卷　銀行法規
第一〇卷　産業法規　上、下
第一一卷　通信法規
第一二卷　交通運輸土木建築法規
附　法令總索引
第一三卷　教育法規
第一四卷　軍事法規
第一五卷　各種試驗及任用法規

圖書館學講座　圖書館事業研究會編　昭和三至六　三　二七八　一七五

第一卷　圖書館と我等（同會編）
第二卷　地方公共圖書館の經營（同）

兒童圖書館（毛利宮彦）
分館と配給機關（同會編）
巡回文庫と家庭文庫（毛利宮彦）
近代的圖書館の諸相（ラーネット）
圖書選擇と思想問題（今澤慈海）
小圖書館の維持と經營（伊東平藏）
鄕土誌料の蒐集と整理（波多野賢一）
本邦書誌學概要（植松安）
本邦著者記號の研究（波多野賢一）
圖書解題の解題（田中敬）
書誌雜纂（橋井清五郎）
西洋書誌學要略（同）
讀書と圖書の力（田中敬）
博物館的施設（竹内善作）
圖書館學の學としての可能性（毛利宮彦）
第三卷　圖書館の種別と規模意義と目的について（同）
圖書館の建設（同）
圖書館の職員と事務（同）
圖書館教育機關（同）
圖書館の建築（同）
圖書館の器具（同）
分館其他配給機關（同）
圖書整理論、圖書の選擇（同）
圖書の注文と受入（同）
圖書の寄贈と交換（同）
圖書の分類と受入記號（同）
圖書記號の指定（同）
目錄の編成と記入（同）
圖書運用論（同）

圖書館研究叢書　間宮商店發行　大正一五至昭和六　八　二七八　九九

二一二三

第三篇　小圖書館管理法（ハドロンダ著　今澤慈海等譯）　冊函號
第五篇　書庫の起原　附　芸草庵を訪ふ、古典叢話
（植松安）
第六篇　圖書分類（ベイコン著　鈴木賢祐譯）
第七篇　Merrill の分類規程（加藤宗厚譯）
第八篇　漢字の四隅番號化檢字法　附　檢字一覽表（王雲五著　間宮不二雄譯）
第九篇　圖と成人教育（中西喜代造譯）
第一〇篇　DEWEY 十進分類法導言（間宮不二雄譯）
第一一篇　町村學校圖經營の實際（伊藤新一）

ドストイエフスキイ全集　同人　昭和一〇　三　六八八　七三
第一卷　貧しき人々（外村史郎譯）
他人の妻と寢臺の下の夫（村田春海譯）
女主人（黒田辰男譯）
ポルズーンコフ（同）
クリスマス・ツリーと或る結婚式（熊澤復六譯）
正直な泥棒（同）
九つの手紙の物語（梅田寛譯）
プロハールチン君（同）
白夜（三宅賢譯）
第三卷　虐げられし人々（熊澤復六譯）
第六卷　罪と罰　上卷（米川正夫譯）

ドストイエフスキイ全集　同人　昭和九、一〇　一九　六五四　二四
第一卷　貧しき人々（外村史郎譯）
プロハールチン君（梅田寛譯）
ポルズーンコフ（黒田辰男譯）
九つの手紙の物語（梅田寛譯）
白夜（三宅賢譯）
正直な泥棒（熊澤復六譯）
クリスマス・ツリーと結婚式（尾形一雄譯）
ニエトチカ・ニエズワーノワ（市橋善之助譯）
第二卷　二重人格（八住利雄譯）
小英雄（尾形一雄譯）
他人の妻（同）
弱氣（同）
女主人（藤岡光一譯）
一八五四年に於けるヨーロッパの事件に對して（黒田辰男譯）
鰐（關口彌作譯）
「未成年」の挿話（鈴木篤譯）
皇帝への歎願（黒田辰男編）
雜誌「ウリエーミヤ」豫約廣告文（同）
ドストイエフスキイの創造（クロツスマン著　三宅賢譯）
第三卷　死の家の記錄（上田進譯）
叔父の夢（三宅賢譯）
虐げられし人々（熊澤復六譯）
編輯だより二つ（三宅賢譯）
第四卷　最近の數頁（同）
「偉大なる罪人の生涯」のプラン（同）
第五卷　罪と罰（米川正夫譯）
第六、七卷　白痴　上、下卷（中山省三郎譯）
第七卷　永遠の良人（森喜久夫譯）
第八、九卷　惡靈（古笛清太郎譯）
第一〇卷　賭博者（高崎徹譯）
文學論集（梅田寛譯）
政治論集（黒田辰男譯）
私にかまはないでくれ（三宅賢譯）

第一一卷　未成年　上卷（米川正夫譯）
第一二卷　未成年　下卷（同）
地下室の手記（三宅賢譯）
夏の印象に就いての冬の記錄（梅田寛譯）
穢はしき逸話（黒田辰男譯）
「惡靈」の材料（三宅賢譯）
第一三至一五卷　作家の日記　上、中、下卷（三宅賢等）
第一五卷　書簡（谷耕平譯）
第一六、一七卷　カラマゾフの兄弟　上、下卷（中山省三郎譯）
第一八卷　書簡
ツルゲエネフへの書簡（中山省三郎譯）
同時代者への書簡（横田瑞穂譯）
妻への書簡（一八七四年七月より一八八〇年にいたる）（谷耕平譯）
書簡を通じて見たるドストイエフスキイ（ジイド著　竹内道之助譯）
別卷　評傳並に研究
ドストイエフスキイの生涯（中山省三郎譯）
二つの翼（ヴエレサーエフ著　原克巳譯）

ドストエフスキイ全集　同人　昭和四、五　三　五四五　二八イ
第二至四卷　カラマーゾフの兄弟（米川正夫譯）

鳥取圖書館叢書　鳥取縣立鳥取圖書館發行　昭和七至九　四　六三五　一五〇
第二篇　池田光仲公（梶川榮吉）
第三篇　鳥取縣立鳥取圖書館所藏因伯郷土誌料目錄（昭和八年七月一日現在）（同館編）
第四篇　郷土文化展覽會展觀目錄（同館等編）
第五篇　因伯人名錄（同）

富山郷土資料叢書　富山郷土研究會編　昭和七、八　三　六三五　一〇〇
第一　越中舊事記（前田氏家集）
第三　吉川隨筆　前、後編（吉川容山軒著　富山郷土研究會編）

トルストイ全集　同人　昭和四至六　二二　五九八　三二
第一卷　幼年時代　他五（米川正夫譯）
第二卷　侵入　他四（中村白葉譯）
第三卷　雪あらし　その他（米川正夫、中村白葉譯）
第四至七卷　戰爭と平和　第一至四卷（米川正夫譯）
第八、九卷　アンナ・カレニナ　上、下卷（中村白葉譯）
第一〇卷　イヴン・イリッチの死（米川正夫、中村白葉譯）
第一一卷　復活（中村白葉譯）
第一二卷　ハヂ・ムラート　その他（米川正夫、中村白葉譯）
第一三卷　闇の力（米川正夫譯）
第一四卷　人は何で生るか　その他（中村白葉、米川正夫譯）
第一五卷　懺悔　他四（原久一郎等譯）
第一六卷　さらば我等何をなすべきか（米川正夫、中村白葉譯）
第一七卷　教義神學批判　その他（除村吉太郎譯）
第一八卷　宗教論（深見尚行譯）
第一九卷　藝術とはどう云ふものか　その他（河野與一、黒田辰夫譯）
第二〇卷　日露戰爭に就て　その他（深見尚行、八杉貞利譯）
第二一卷　書簡抄　その他（除村吉太郎譯）
第二二卷　妻に與へた全書簡集（原久一郎譯）

トルストイ全集　同人　昭和二　三七　五四五　三九

		冊	函	號
第七	三つの死　他四（加藤一雄等譯）			
第八	イワン、イリイチの死　他二（宮島新三郎等譯）			
第九	家庭の幸福　他一（福永挽歌譯）			
第一〇	クロイツエル、ソナタ（同）			
	同後語（柳田泉譯）			
	ダイアナ（同）			
	性慾論（同）			
第一一	神父セルギー（細田源吉譯）			
	ハヂ、ムラート（福永挽歌譯）			
第一二	主人と雇人（松原至大譯）			
	コルネイ、ワシリエフ（同）			
	祈禱（同）			
	何のために（同）			
	村の唱歌隊（加藤一夫譯）			
	旅人との對話（同）			
	村の三日間（同）			
第一三	悪魔　他一二（梅田寛譯）			
第一四	贋造利札　他五（武野藤介譯）			
第一五至二四	戰爭と平和　第一至一〇（春秋社譯編）			
第二五至三〇	アンナ・カレニナ　第一至六（同）			
第三一至三三	復活　第一至三（同）			
第三四	戯曲集（同）			
第三五	光りは闇の中に輝く　他二（同）			
第三六	戯曲集　第三（同）			
第三七、三八	傳説、民話、童話（同）			
第三九	子供のための物語　他七（同）			
第四〇	我等何をなすべきか（同）			
第四一	人生論（同）			
第四二	藝術とは何ぞや（同）			
第四三	飢饉諸論文集（同）			
第四四	沙翁論　他一四（同）			
第四五	我が宗教（同）			
第四六	私の懺悔（同）			
第四七、四八	神の國は汝等の裏にあり　第一、二（同）			
第四九	教理神學の批評（同）			
第五〇	簡易聖書　他二（同）			
第五一	基督教　他一（同）			
第五二、五三	社會、政治、論文集　第一、二（同）			
第五四	トルストイの戀文　他一〇（同）			
第五五	默する能はず　他九（同）			
第五六	ニコライ二世に與ふる書　他二五（同）			
第五七、五八	教育論集　第一、二（同）			
第五九	日記（同）			
第六〇	書簡集（同）			
第六一	遺稿集（同）			
トルストイ全集	同人　昭和九、一〇	一五	六七七	一三
第一卷	初期の作品（柳田泉等譯）			
第二卷	短篇及び中篇小説（原田實等譯）			
第三卷	續短篇及び中篇小説（同）			
第四、五卷	戰爭と平和　上、下卷（春秋社譯編）			
第六、七卷	アンナ・カレーニナ　上、下卷（同）			
第八卷	復活（同）			
第九卷	民話・童話・傳説（加藤一夫等譯）			
第一〇卷	人生問題（春秋社譯編）			
第一一卷	宗教論集（村山勇三等譯）			
第一二卷	藝術論集・教育論集（木村毅等譯）			
第一三卷	社會・政治論集（柳田泉等譯）			
第一四卷	戯曲集・遺稿集（木村毅等譯）			
第一五卷	書簡・日記・傳記（春秋社譯編）			

		冊	函	號
〔內閣統計局〕調査資料	東京統計協會編　昭和二至六	四	一四、五	三一一
第一輯	父母の年齢と出生との關係			
第二輯	企業の發展と資本の集積			
第三輯	明治五年以降我國の人口			
第四輯	所得と消費税負擔との關係			
內外植物原色大圖鑑	村越三千男編　昭和八、九	六	六三八	八一
第二、三卷	合瓣花區			
第八卷	離瓣花區			
第九、一〇卷	單子葉類			
第一一卷	隱花植物　第一編			
同　再版	第一至三、五至九、一一、一二卷	一〇	六三八	八一イ
第一卷	合瓣花區			
第五至七卷	離瓣花區			
第一二卷	隱花植物			
內科學	南山堂發行　昭和四			
第六卷	上　神經篇（楠本長三郎等）	一	五三	一三六
同　四、五版	昭和五、八	二	五三	一三六イ
第三卷	消化器系疾患（南大曹）			
第五卷	上　循環器疾患總論（小宮悦造、美甘義雄）			
同　五版	昭和四	一	五三	一三六ハ
第二卷	上　呼吸器疾患（篠原昌治）			
同　七版	昭和八	一	五三	一三六ニ
第一卷	傳染病（小澤修造）			
	新陳代謝病（同）			
內科學	同仁會發行　昭和八至一〇	三	五三	三三三
第一卷	傳染病（小澤修造著　吳祥鳳等譯）			
	新陳代謝病（同）			
	運動疾病（小澤修造著　塞先器、姚鴻蓍譯）			
第二卷	呼吸器疾病（篠原昌治著　塞先器譯　湯爾和校）			
第三卷	消化器病（南大曹著　塞先器、姚鴻蓍譯　湯爾和校）			
內燃機關工學講座	共立社發行　昭和一〇	三	六八九	六三
第六卷	發動機用材料（高瀨孝次、石田四郎）			
第八卷	故障及修理法（鈴木德藏等）			
第九卷	航空發動機			
	航空ガソリン機關（富塚清）			
	航空ヂーゼル機關（大井上博）			
長崎縣施肥標準調査成績	同縣立農事試驗場編　昭和二至一〇	四	一四、三イ	六〇六
第一號	南高來郡農用土性圖説明書（圖付）			
第二號	北高來郡土性圖説明書（圖付）			
第三號	東彼杵郡土性圖説明書（圖六枚付）			
第四號	南松浦郡農用土性圖説明書			
第五號	佐世保市、北松浦郡、壹岐郡農用土性圖説明書（圖七枚付）			
第六號	長崎市、西彼杵郡農用土性圖説明書（圖付）			
第七號	對馬農用土性圖説明書（圖付）			
第八號	南高來郡地方施肥標準査定試驗成績			
第九號	北高來郡地方試驗成績			

	冊	頁	號
第一〇號　東彼杵郡地方施肥標準査定試驗成績			
第一一號　北松浦郡、佐世保市地方試驗成績			
第一二號　南松浦郡地方試驗成績			
長塚節全集　第四、六卷　同人　大正一五、昭和二	二	五四八	五七
同　第一至六卷　昭和四、五	六	五四八	五七イ
長野縣蠶業試驗場報告　同場發行　昭和三	一	一四、二イ	五六七
第三號　桑樹の樹液流動に關する研究（第一報）（鶴田定平）			
中山忠能履歷資料　第一至一〇　大塚武松、藤井甚太郎編　昭和七至一〇	一〇	六四	二六七
〔名古屋高等商業學校產業調査室〕調査報告　同室編　昭和二至一〇	一六	一四、五	二一三
第二輯　ハーヴアード大學に於ける「ケース・システム」の主張			
第三輯　本邦農產物の生產數量指數に就て			
第四、五輯　本邦紡績業經營調査　其一、二			
第六輯　日本鑛產物の生產數量指數			
第七輯　本邦に於ける木炭用樹種と其分布に就て			
第八輯　本邦紡績業經營調査　其三			
第九輯　本邦製造業の生產數量指數			
第一〇輯　本邦紡績業經營調査　其四			
第一一輯　本邦陶磁器工業調査　其一			
第一二、一三輯　景氣循環の調査研究　其一、二			
第一四輯　本邦生產數量指數總覽（一八九四至一九三一年）			
第一五至一七輯　本邦羊毛工業の調査研究　其一至三			
浪速叢書　同刊行會發行　昭和二至五	一六	五五四	一三八
第二至六　攝陽奇觀　其二至六（濱松歌國）			

	冊	頁	號
第七、八　攝津名所圖會大成　其一、二（曉鐘成）			
第九　大阪商業史資料（船越政一郎編）			
第一〇　稿本大阪訪碑錄（木村敬二郎編）			
第一一　稿本隨筆集（船越政一郎編）			
第一二、一三　地誌　其一、二（同）			
第一四　風俗篇（同）			
第一五　演藝篇（同）			
第一六　總索引			
別卷　鷄肋			
同　第一至一六、別卷	一七	五五四	一三八イ
直木三十五全集　同人　昭和八、九	一三	六二九	三九
第一、二卷　源九郎義經　上、中卷			
第三卷　荒木又右衞門			
第四卷　源九郎義經　下卷			
第五卷　日本の戰慄			
第六卷　由比根元大殺記、大鹽平八郎			
第七卷　石田三成			
第八卷　南國太平記			
第九卷　明暗三世相			
第一〇卷　殿堂を碎く			
第一一卷　新編仇討雜記帳			
第一二卷　黃門廻國記			
直木三十五全集　同人　昭和九、一〇	二一	六五九	一七
第一卷　新作仇討全集			
第二卷　南國太平記　他二			
第三卷　齋藤道三殺生傳　他二			
第四卷　青春行狀記、光・罪と共に			

第五卷　益滿休之助　他五
第六卷　大阪物語、五代友厚
第七卷　日本の戰慄
第八卷　楠木正成　他三
第九卷　源九郎義經
第一〇卷　大阪落城、明暦風流陣
第一一卷　日本劍豪列傳　他二
第一二、一三卷　中短篇小說集　上下
第一四卷　隨筆
第一五卷　續隨筆
第一六卷　黃門廻國記
第一七卷　本朝野士緣起、中短篇小說
第一八卷　跗子行狀記、太平洋戰爭、中短篇小說
第一九卷　風流殺法陣、大鹽平八郎
第二〇卷　續中短篇小說集
第二一卷　隨筆、書簡

浪六全集　村上浪六　昭和二至六　三八　五六八　一四
第三篇　上田力
第四篇　倉橋幸藏
第五篇　川上三吉
第七篇　金剛盤
第八篇　岡崎俊平
第九篇　人間學
第一〇至一二篇　八軒長屋、同後編、同續編
第一三篇　仍如件
第一四篇　當世三人兄弟
第一六篇　毒婦
第一八篇　鬼あざみ
第一九篇　原田甲斐

第二〇篇　無遠慮
第二一篇　明治十年
第二二篇　當世女
第二三篇　豐太閤
第二四、二五篇　稻田一作、同續篇、煩悶病院
第二六篇　罵倒錄
第二七篇　天眼通
第二九篇　川德
第三〇篇　海賊
第三一篇　牛肉一斤
第三二、三三篇　うらと表、同續篇
第三四篇　出放題
第三五篇　夜叉男
第三六篇　うき世車
第三八篇　大惡魔
第三九篇　大正五人男
第四〇篇　日本武士
第四一篇　魚屋助左衞門
第四二篇　浮舟
第四三篇　いたづらもの
第四四篇　元祿四十七士
第四五篇　石田三成

同　第三一篇　昭和六　一　五六八　一四イ
浪六全集　村上浪六　改版　昭和二　二　五二九　二三一
第一編　當世五人男
第二編　黑田健次　五　五五〇　五七ロ
浪六全集　村上浪六　昭和二

	冊	函	號
第一〇至一二編　八軒長屋　同後篇、同續篇			
第二四、二五編　稻田一作、同續篇、煩悶病院			
南傳大藏經　高楠博士功績記念會譯編　昭和一〇	九	六〇一	四〇
第六、七卷　長部經典　第一、二			
第九卷　中部經典　第一			
第一七卷　增支部經典　第一			
第二八至三一卷　小部經典　第六至九			
第四〇卷　同　第一八			
同　第六、七、二八至三〇、四〇卷	六	六〇一	四〇イ
南都七大寺大鏡　東京美術學校編　大正一五至昭和三	特七	四一五	六
第五四集　興福寺大鏡　第一四冊			
第五五集　東大寺大鏡　第九冊			
第五六集　興福寺大鏡　第一五冊			
第五七集　東大寺大鏡　第一〇冊			
第五八集　西大寺大鏡　第一〇冊			
第五九、六〇集　東大寺大鏡　第一一、一二冊			
第六一集　西大寺大鏡　第一一冊			
第六二集　藥師寺大鏡　第八冊			
第六三集　興福寺大鏡　第一六冊			
第六四集　西大寺大鏡　第一二冊			
第六五集　唐招提寺大鏡　第九冊			
第六六至六八集　西大寺大鏡　第一三至一五冊			
第六九集　東大寺大鏡　第一三冊			
第七〇至七二集　西大寺大鏡　第一六至一八冊			
第七三集　興福寺大鏡　第一七冊			
第七四集　唐招提寺大鏡　第一〇冊			
第七五、七六集　東大寺大鏡　第一四、一五冊			
第七七集　補遺			
同　第三〇至六七、六九至七六集　大正一五至昭和三	特一三	四一五	六イ
〔**南都七大寺大鏡續輯**〕　東京美術學校編　昭和四	特四	四一五	六
第一集　觀世音寺大鏡　第一至七冊			
第二集　當麻寺大鏡　第一至八冊			
同　第一集第一至七冊、第二集第二至四、六至八冊　昭和五	特三	四一五	六イ
南都十大寺大鏡　東京美術學校編　昭和七至九	特三四	四三五	六〇
第一至一〇、一二輯　法隆寺大鏡　第一至一〇、一二冊			
第一三輯　藥師寺大鏡			
第一四、一五輯　興福寺大鏡　第一、二冊			
第一六至一八輯　東大寺大鏡　第一至三冊			
元興寺大鏡			
第一九輯　法華寺大鏡			
第二〇輯　大安寺大鏡			
新藥師寺大鏡			
第二一、二二輯　唐招提寺大鏡　第一、二冊			
第二三至二五輯　西大寺大鏡　第一至三冊			
南部叢書　太田孝太郎等校　昭和二至六	二	五七四	七
第一冊　奥々風土記（江刺恒久）			
澤内風土記（高橋子績）			
鹿角由來記			
宮古由來記　一名「小本根元記」			
川くるみ狀			
續川くるみ狀			
盛岡砂子（星川正甫）			
第二冊　南部根元記			
奥南舊指錄			
志和軍戰記			
閑老遺事（梅内祐訓）			
第三冊　阿曾沼興廢記（宇夫方廣隆）			
祐清私記（伊藤祐清）			
平泉雜記（相原友直）			
第四冊　鄉村古實見聞記（阿部知義）			
百姓一揆錄（新田小十郎）			
第五冊　邦内鄉村志（大卷秀詮）			
邦内貢賦記			
第六冊　眞澄遊覽記（菅江眞澄）			
八戸紀行（渡部益庵）			
盛岡紀行（下村由章）			
奥州紀行（富田伊之）			
奥の紀行（夜食房夜來）			
東北遊（青岐（阿波屋安兵衛））			
宮古紀行（建部巢兆）			
歸雁（中村伊太夫）			
稻樓日記（江幡五郎）			
第七冊　舊蹟異聞（三輪秀福等編）			
北奥路程記（漆戸茂樹）			
第八冊　西卒歌集（南部重信）			
靈雲亭句集（南部利視）			
丙寅引附			
松花集			
柴の戸（小野素郷）			
梅園句集（平野梅園）			
姫岳句集（新渡戸姫岳）			
はすのくき			
無功德			
稻樓存稿（那珂通高）			
餽山詩稿（山崎餽山）			
餽山遺稿（同）			
第九冊　吾妻むかし物語（松井道圓）			
二郡見聞私記（和田氏武）			
清悅物語			
檀毘尼長者本地			
錦木塚の由來			
奥州南部錦木の由來記			
鹿角郡錦木の由來記			
塵袋抄（八角良温）			
九戸軍談記			
二代田村三代田村			
祇園神靈翁之夜話			
天妃緣記（菅江眞澄）			
奥州膽澤高山實傳			
莊子解（煎井小作）			
第十冊　涙天儀（北川宗俊）			
藥草御用書　上（阿部友之進）			
大梅居士文鈔（小島鶴）			
松の下草（黑川盛隆）			
勿謂藻はな（島川鎌滿）			
其梅（菅原重厚）			
梅園日記（建部巢兆）			
巢兆日記（建部巢兆）			
閒人雜記（服部武喬）			
無人島漂着物語			
神力丸漂流記			
パラウ漂流記			
小友船漂流記			
大阪船漂着記			
御國通辭（服部武喬）			
杜陵方言考（小本村司）			
俗言集（村上與次兵衛）			

南洋叢書　南洋協會臺灣支部發行　昭和二　冊　一　函號　一四五　八〇
第四七卷　比律賓にコプラ及ココ椰子油の取引　於ける（長崎常譯）

ニ

ニイチエ全集　同人著　生田長江譯　昭和一〇　八　六八四　二九
第三、四卷　人間的な餘りに人間的な　上、下卷
第五卷　黎明
第六卷　悅ばしき知識　附　放浪公子の歌
第七卷　ツアラトウストラ
第八卷　善惡の彼岸・この人を見よ
第九卷　道德系譜學・偶像の薄明・反基督
第一〇卷　權力への意志　上

乳井貢全集　中道等編　昭和一〇　二　六八五　九
第一卷　志學幼辨・大學文盲解
第二卷　周禮通用
　　應分志
　　同　上、下
　　經國度量
　　度量分數
　　節用則
　　國家財政
　　識量問答
　　商家利道
　　同（別本）
　　無名鄉

西島藥峰園藝叢書　同人　昭和六、　六一三　五〇
第一　實驗懸崖菊の栽培
第二　花卉栽培實際問答集
第四　蔓性植物の利用と栽培
　　匍匐性植物の利用と栽培

二十一代集　吉田四郎右衞門尉發行　正保　冊　函號
第一、二冊　古今和歌集　五六　八三七　二
第三、四冊　後撰和歌集
第五、六冊　拾遺和歌集
第七、八冊　後拾遺和歌集
第九冊　金葉和歌集
第一〇冊　詞花和歌集
第一一、一二冊　千載和歌集
第一三至一六冊　新古今和歌集
第一七、一八冊　新勅撰和歌集
第一九、二〇冊　續後撰和歌集
第二一至二三冊　續古今和歌集
第二四、二五冊　續拾遺和歌集
第二六至二八冊　新後撰和歌集
第二九至三二冊　玉葉和歌集
第三三至三七冊　續千載和歌集
第三八、三九冊　續後拾遺和歌集
第四〇至四三冊　風雅和歌集
第四四至四六冊　新千載和歌集
第四七至五〇冊　新拾遺和歌集
第五一、五二冊　新後拾遺和歌集
第五三至五六冊　新續古今和歌集

西山庸平著作集　同人　昭和六　九　二五九五　一一六
第二　カント研究
第三　デウエーの心理學
第四　心理學史
第五　新教育の哲學的背景
第六　學習概論
第七　新教育の哲學的背景
第八　讀方心理學
第九　讀方教育原論
第一〇　文化主義學級經營論

二大漢籍國字解　早稻田大學發行　昭和三、四　一二　五八四　一五
第一至八卷　史記國字解　第一至八（桂五十郎等）
第九至一二卷　唐宋八大家文讀本　第一至四（松平康國）

日獨文化講演集　日獨文化協會編　昭和二至一〇　七　五二四　七四二
第一輯　開會の辭（後藤新平）
　獨逸思想界の現狀（桑木嚴翼）
　世界の文化發展に對する獨逸國民の貢獻（坂口昂）
　大乘佛教の使命（ウイル（ルム・ゾルフ）
第二輯　獨逸學者の理化學研究に與へたる教訓（長岡半太郎）
　航空生理について（永井潛）
　航空機發達の趨勢（ウイーゼルスベルゲル）
第三輯　獨逸憲法の特色（美濃部達吉）
　マルクス主義に於ける眞理と誤謬（アルフレッド・アモン）
第四輯　獨逸博物館とミラ博士（棚橋源太郎）
　科學及び工業博物館に就いて（オヌカル・フオン・ミラ）
　電氣工業幼年時代の思出（同）
第五輯　獨逸文學の特色（山岸光宣）
　經濟學上に於ける獨逸の貢獻（鹽澤昌貞）
　西獨側面觀（ワルテル・ドオナアト）
第八輯　獨逸演劇の現狀に就いて（杉野橘太郎）
第九輯　シーボルト記念號
　日歐交通史に關する文獻としてのシーボルトの著述（武藤長藏）
　シーボルトの文久元年の日記について（黑田源次）
　シーボルトとアイヌ語學（金田一京助）
　シーボルトと植物分類學（本田正次）
　歐洲に於ける日本學建設者としてのシーボルト（板澤武雄）

日蓮聖人遺文全集講義　大林閣發行　昭和八至一〇　一二　六三五　二六
第一卷　鎌倉篇（北尾啓玉編）
第三卷　鎌倉篇（磯野本精編）
第五卷　一代五時圖　外八（小林是恭編）
第六卷　鎌倉篇（同）
第八卷　佐渡篇（清水龍山、中谷良英編）
第一二卷　佐渡篇（同）
第一三、一四卷　身延篇（高田惠忍編）
第一五卷下　撰時鈔　下（同）
第二三卷　身延篇（北尾日大編）
第二四卷　身延篇（馬田行啓編）
第二六卷　身延篇（北尾日大編）

日蓮聖人御遺文講義　日蓮聖人六百五十遠忌報恩記念會編　昭和七、八　一七　六一五　二四
第一至五卷　宗要篇　第一至五
第六卷　學解篇
第七卷　宗旨篇
第八、九卷　信行篇　第一、二
第一〇卷　聖傳篇
第一一卷　弟子篇
第一二卷　女人篇
第一四至一八卷　檀越篇　第二至六

日蓮聖人五大部提要　中川日史　昭和七至一〇　五　六一九　一一六
第一　立正安國論
第二　開目鈔

第三　報恩鈔
第四　撰時鈔
第五　觀心本尊鈔

	冊	函	號
日露協會報告 同會發行　昭和二至六	一六	一四、五	四
第二二號　ソヴェート・ロシヤの鑛業（ペー・チモフェーエフ著　同會譯編）			
第二三號　經濟上より見たる北樺太　其他（同會譯編）			
第二四號　ソヴェート聯邦の利權政策　其他（同）			
第二五號　ミージニイ・ノーヴゴロド年市五個年の成績　其他（ウエ・ヴェンゲロフ等著　同會譯編）			
第二六號　露領極東地方の米作　其他（同會譯編）			
第二七號　浦鹽オデツサ間定期航路の復活　其他（同）			
第二八、三〇號　ソヴェート聯邦民の租稅負擔に關する研究　上、下　其他（同）			
第二九號　ソヴェート・ロシヤの業績　其他（同）			
第三一號　北樺太東海岸の森林（ア・ヴ・イワシケーヴイチ著　同會譯編）			
第三二號　共產黨大會（第一五回）に就て　其他（同會譯編）			
第三三號　勞農露國の施設（前田多門）			
露西亞より歸りて（後藤新平）			
第三四號　ソヴェート聯邦の國內狀態　其他（同會譯編）			
第三五、三六號　ソヴェート聯邦の民族共和國及自治州　上、下　其他（同）			
第三七號　ソヴェート聯邦の單一農業稅及社會保險　其他（同）			
第三八號　露領極東地方の金鑛業　其他（同）			
第三九號　モスクワに開催された日本兒童書籍展覽會について　其他（同）			
第四〇號　ソヴェート聯邦利權政策の積極化　其他（同）			
第四一號　蘇聯邦民間飛行と其の計畫　其他（同）			
第四二號　ソヴェート聯邦の國際關係　其他（同）			
第四三號　蘇聯邦とアメリカとの經濟關係　其他（同）			
第四四號　ソ聯邦一九二六年の國勢調査に就て　其他（同）			
第四五號　社會主義的建設の成功と困難　其他（同）			
第四六號　英國實業團の訪露　其他（同）			
第四七號　ロシヤ共和國の內情　其他（同）			
第四八號　ソ聯邦の都市公益事業利權計畫　其他（同）			
第四九號　ソヴェート聯邦の國內問題　他二篇（同）			
第五〇至六五號　露紙抄譯（同）			
日光叢書 東照宮社務所發行　昭和六至一〇	六	六一五	四
第一至六卷　御番所日記（第一至六）（同所編）			
同	六	六一五	四イ
日本月蓋長者 富永平兵衛（近代日本文學大系第二卷ノ內　昭和三）		五六〇	九
同		六二九	二八
二宮尊德全集 佐々井信太郎等編　昭和二至七	三六	五七四	一三
第一卷　原理			
第二卷　仕法雛形			
第三至五卷　日記			
第六至九卷　書翰			
第一〇至一三卷　仕法櫻町領　第一至四			
第一四至一九卷　仕法小田原領			
第二〇、二一卷　仕法幕府直領			
第二二卷　仕法青木村			
第二三卷　仕法谷田部、茂木領			
第二四卷　仕法烏山領			
第二五卷　仕法下館領　第一			
第二六卷　同　第二、仕法諸州諸家、第一			
第二七卷　同　第二			
第二八至三〇卷　仕法日光御神領			
第三一至三三卷　仕法相馬領			
第三四、三五卷　雜輯　第二、三			
第三六卷　別輯門人名著集			
同	三六	五七四	一三イ
〔新潟縣農事試驗場〕特別報告 同場發行　昭和二	二	一四、三イ	二八ロ
第二三號　梨粉介殼蟲に關する調査（高橋信治）			
第二四號　水稻に關する試驗成績（同場編）			
にほひぐさ叢書 曉鳥敏　昭和二、五	二	三三八	三七八
第二輯　第四卷　老境の黎明			
第五卷　地球をめぐりて			
日本エッセイ叢書 人文會發行　昭和二、三	六	五四五	四四
第五　季節の登場者　他四篇（新居格）			
第六　春歸る（土岐善麿）			
第七　文壇觀測（正宗白鳥）			
第八　ナポリの浮浪兒（藤井悌）			
第九　蛙の放送（澤田正二郎）			
第一〇　候蟲時鳥（水守龜之助）			
日本音曲全集 中內蝶二、田村西男編　昭和二、三	一五	五四五	六一
第一卷　長唄全集			
第二卷　義太夫全集　上卷			
第三卷　清元全集			
第四卷　小うた、うた全集			
澤、端、うた全集			
第五卷　琵琶全集			
第六卷　箏唄及地唄全集			
第七卷　俗曲全集			
第八卷　常磐津全集			
第九卷　富本及新內全集			
第一〇卷　義太夫全集　下卷			
第一一卷　古曲全集　河東、一中、薗八、荻江			
第一二卷　謠曲全集			
第一三卷　續義太夫全集			
第一四卷　臺詞全集　附　合方			
第一五卷　續長唄全集			
日本海防史料叢書 住田正一編　昭和七、八	一〇	六二六	四
第一卷　海防問答（平山子龍）			
海防備論（藤森弘庵）			
海備全策（山鹿素水）			
第二卷　海國兵談（林子平）			
海防論（赤井東海）			
海防辯（赤松則陽）			
海邊防禦私考			
第三卷　近時海國必讀書			
日本防考略			
第四卷　海防彙議（鹽田順庵編）			
第五卷　海防彙議（同）			
海防續彙議（同）			
第六卷　海防續彙議（同）			
第七卷　海防策（松浦武四郎）			

	冊	函	號
海警妄言（吉田敏成）			
南蠻阿蘭陀之敵船乘捕行法			
一流品水學集海上湊之記			
海邊廻見物語			
第八巻			
海防私議（長山貫）			
海防四百首（山脇正準）			
海中法螺物語			
第九巻			
東奥沿海日誌			
佐度日誌			
第一〇巻			
海防試說			
海戰布策			
海軍所傳達帳			
鹿角日誌			
邊論合璧（永田贊典編）			
日本考古圖錄大成 日東書院發行 昭和四至八	一三	五五二	三一〇
第一輯 石人石馬（森本六爾）			
第二輯 鑑鏡（大場磐雄編）			
第三輯 金石文（入田整三編）			
第四輯 梵鐘（坪井良平編）			
第六輯 青銅器（後藤守一、高橋直一編）			
第七輯 埴輪（柴田常惠、內藤政光編）			
第八輯 和鏡（廣瀨都巽編）			
第九輯 武器武裝（後藤守一編）			
第一〇輯 塔（石田茂作編）			
第一一輯 佛具（香取秀眞編）			
第一二輯 古墳（島田貞彥編）			
第一四輯 繩紋土器 附 解說（杉山壽榮男編）			
第一五輯 石器骨角器（八幡一郎編）			

	冊	函	號
〔日本學術振興會〕學術部第一九小委員會參考文獻 同會發行 昭和一〇	一	六一六	一三六
第一 特殊鋼材の缺點に關する文獻（同委員會編）			
〔日本學術振興會〕學術部第二特別委員會報告 同會發行 昭和一〇	三	六七二	二四五
第一篇 滿洲農業移民の必要及可能性（神戸正雄）			
第二篇 滿蒙移民機關に關する諸家の意見（高岡熊雄編）			
第三篇 日滿經濟統制と農業移民（河田嗣郎編）			
〔日本學術振興會〕學術部第六小委員會報告 同會發行 昭和一〇	四	六七〇	二七
第一册 米穀需要法則の研究（杉本榮一）			
第二册 朝鮮米穀經濟論（東畑精一、大川一司）			
第三册 米價の長期變動（高田保馬）			
別册 米穀日誌 大正元年度至昭和九年度（同委員會編）			
日本樂道叢書 樂舞研究會發行 昭和三至七	二〇	一八三	六一七
第一編 音律通致章（凝然著 羽塚啓明校）			
第三編 樂道纂解（宗疊編）			
第三編之二 樂道纂解 下（同）			
久米舞考證（羽塚啓明編）			
第四編 近家抄（同）			
第五編 樂曲考 上、下卷（田安宗武著 羽塚啓明編）			
第六編 溫故抄（林廣猶）			
樂曲目錄（田中大秀）			
第七編 樂書目錄纂（小川守中編）			
第八編 樂淸錄 上、下（羽塚啓明編）			

第九編 歌儀雜識（小川守中）			
指月話（四辻公說）			
舞樂記（本居大平）			
日本戲曲集 第三至五（昭和二至四年版）、七（昭和六年版）集 文藝家協會編 昭和二至六	四	五三七	六一
日本戲曲全集 春陽堂發行 昭和三至八	五九	五六六	四七
歌舞伎篇			
第一巻 中古江戸狂言集			
第二巻 不破名古屋狂言集			
第三巻 石川五右衞門狂言集			
第四巻 並木正三集			
第五巻 並木五瓶時代狂言集			
第六巻 並木五瓶世話狂言集			
第七巻 寛政期京阪時代狂言集			
第八巻 寛政期京阪仇討狂言集			
第九巻 寛政期京阪世話狂言集			
第一〇巻 初代櫻田治助集			
第一一巻 鶴屋南北怪談狂言集			
第一二巻 鶴屋南北世話狂言集			
第一三巻 顔見世狂言集			
第一四巻 曾我狂言合併集			
第一五巻 赤穗義士劇集			
第一六巻 伊達騷動狂言集			
第一八巻 化政度江戸世話狂言集			
第一九巻 化政度京阪仇討狂言集			
第二〇巻 化政度江戸仇討狂言集			
第二一巻 滑稽狂言集			
第二二巻 幕末狂言集			
第二三巻 天保嘉永度狂言集			
第二四巻 お家狂言集			
第二五巻 小說脚色狂言集			
第二六巻 續義太夫狂言時代物集			
第二七巻 舞踊劇集			
第二八巻 義太夫狂言時代物集			
第二九巻 義太夫狂言世話物集			
第三〇、三一巻 河竹默阿彌集 上、下			
第三二巻 河竹新七及竹柴其水集			
第三四巻 太閤記狂言集			
第三五巻 俠客狂言集			
第三六巻 情話狂言集			
第四〇巻 續赤穗義士劇篇			
第四一巻 續化政度江戸狂言集			
第四二巻 京阪世話狂言集			
第四三巻 京阪二の替狂言集			
第四四巻 維新狂言集			
第四五巻 一幕物狂言集			
第四七巻 續舞踊劇集			
第四八巻 中古大阪狂言集			
第四九巻 近世大阪狂言集			
現代篇			
第一輯 坪內逍遙篇			
第二輯 依田學海篇 他六			
第三輯 岡本綺堂篇			
第四輯 岡鬼太郎篇 他九			
第五輯 池田大伍篇 他六			
第七輯 川村花菱篇 他六			
第八輯 森鷗外篇 他二			
第一〇輯 谷崎潤一郎篇 他三			
第一一輯 中村吉藏篇 他五			

第一二輯　有島武郎篇　他五　　冊函號
第一三輯　武者小路實篤篇　他一
第一四輯　菊池寛篇　他一
第一五輯　久米正雄篇　他四
第一六輯　岸田國士篇　他五
第一七輯　藤森成吉篇　他四
第一八輯　伊藤松雄篇　他九

同　現代篇　第七輯　昭和四　一　五六六　四七イ

日本近世大悲劇名作全集　中央公論社發行　昭和九―一〇　八　六六八　二

第一卷　金色夜叉（尾崎紅葉）
第二卷　魔風戀風（小杉天外）
第三卷　己が罪（菊池幽芳）
第四卷　小猫（村井弦齋）
第五卷　生さぬなか（柳川春葉）
第六卷　青春（小栗風葉）
第七卷　婦系圖・日本橋（泉鏡花）
第八卷　渦卷（渡邊霞亭）

同　第一卷　一　六六八　二イ

日本鑛山協會資料　同會發行　昭和三至一〇　一三　八九　三三

第一輯　鑛業災害に依る死傷統計（同會編）
第二輯　鑛夫の疾患に關する統計（同）
第三輯　鑛業主要災害原因別統計（同）
第四輯　本邦鑛山に於ける救急施設並衞生取締制度に關する調査報告（同）
第五輯　落磐落石に因る災害調査報告（同）
第六輯　本邦鑛山に於ける從業者の監督方法に關する狀況報告（同）
第七輯　本邦鑛山附屬診療所一覽（同）
第八輯　金屬鑛山に於ける採鑛法と落磐との關係調査報告（大阪地方之部）（同）
第九輯　鑛山に於ける保安に關する規程及心得書（石炭山之部）（同）
第一〇輯　壓縮空氣鑿岩機の岩粉集收裝置（同）
第一一輯　鑛山に於ける保安に關する規程及心得書（同）
第一二輯　鑿岩機夫に對する適性檢査（伊藤熊太郎、松行翁介）
第一三輯　坑内に於ける糞尿處理に關する調査報告（同會編）
第一四輯　斜坑捲揚に因る災害調査報告（同）
第一五輯　竪坑捲揚に因る災害調査報告（同）
第一六輯　鑛山用綱索の性質及使用法（同）
第一七輯　鑛夫宿舍の建築に關する調査報告（同）
第一九輯　坑内空氣の冷却力と採炭夫稼働時間及び體重減少量との關係（里村靜一）
第二〇輯　鑛業主要災害原因別責任別統計（昭和二至四年）（同會編）
第二一輯　各鑛山安全委員會の狀況（同）
第二二輯　金屬鑛山に於ける鑿岩機使用狀況調査報告（同）
第二三輯　鑛夫稼働狀況調査報告（同）
第二四輯　瓦斯炭塵爆發に因る災害防止に關する調査報告其の一（同）
第二五輯　炭鑛に於ける截炭機使用狀況調査報告（同）
第二六輯　爆藥類に因る災害防止に關する調査報告（同）
第二七輯　坑道に於ける鑛車による災害に關する調査報告（同）
第二八輯　金屬鑛山採掘方法の改善に關する調査報告（同）
第二九輯　電氣に因る災害防止に關する調査報告（同）
第三〇輯　全國安全週間報告　第四回（同）
第三一輯　炭坑爆藥に依る坑内爆發瓦斯の點火（同）
第三二輯　洗炭に就て（黑田祝）
第三三輯　炭礦に於ける鑿岩機使用狀況調査報告（同會編）
第三四輯　竪坑改修及掘下に施行せるセメント注入法（西島直巳）
第三五輯　全國安全週間實施成績　第五回（同）
第三六輯　鑛業災害に因る死傷統計（同）
第三七輯　坑内空氣の衞生に關する調査報告　其の一（福岡地方）（同）
第三八輯　採炭作業合理化の實例（同）
第三九輯　鑛山勞働者の身體に關する考察（坂田進）
第四〇輯　保安協議會報告（北海道主要炭礦）（同）
第四一輯　揮發油安全燈によるメタンガスの測定に就て（同）
第四二輯　エヂソン帽上燈の安全度試驗（同）
第四三輯　瓦斯炭塵爆發に因る災害防止に關する調査報告其の二（札幌地方）（同）
第四四輯　坑内瓦斯爆發に因る火傷の臨床的考察（大貫伊助）
第四五輯　日立鑛山從業者家族に於ける傷病統計（坂田進）
第四六輯　坑内空氣の衞生に關する調査報告　其の二（同會編）
第四七輯　安全運動の現況と其成績（同）
第四八輯　地熱測定に關する調査報告　其の一（同）
第四九輯　落磐防止に關する保安協議會報告（北海道地方主要炭礦）（同）
附　落磐の防止と坑内支柱法に就て（佐山總平）
第四九輯　坑内空氣の衞生に關する調査報告　其の三（大阪地方金屬鑛山）（同會編）
第四九輯　鑛山衞生講習會講演集（同）

日本經濟史研究所研究叢書　日本評論社發行　昭和八至一〇　六　六五三　五

第一冊　我國近世の專賣制度（堀江保藏）
第二冊　松江藩經濟史の研究（原傳）
第三冊　士族授産の研究（吉川秀造）
第四冊　經濟史概論（本庄榮治郎）
第五冊　幕末の新政策（同）
第六冊　幕末經濟史研究（同所編）

日本藝林叢書　三村清三郎等編　昭和二至四　一三　五七四　二一

第一卷　驅睡錄（猪飼彦博）
　　蓍墳錄（津坂孝綽）
　　作詩志彀（山本信有）
　　討作詩志彀（佐久間欽）
　　唾作詩志彀
　　詩訟蒲鞭（雨森宗眞）
　　駁詩訟蒲鞭（何忠順）
　　詞壇骨鯁（松邨良猷）
　　蛻巖先生
第二卷　答問書（梁田邦美）
　　歲在歲次龍集考（大橋正順）
　　孟子養氣章解（山田球）
　　鹿門隨筆（望月君彦）
　　辨譯文要訣（城山道人）
　　文章辨體辨（旭道一）
　　贏正名家叙事（猪飼彦博）
　　時文刊誤（松本慣）
　　刪潤梅谿遊記（齊藤謙著　賴襄評）
　　春山倚杖（松平十郎著　森田益評）
　　葛原詩話糾謬（津阪孝綽）
第三卷　好古小錄（藤原貞幹著　狩谷望之頭注）
　　好古日錄（同）

迷庵雜記（市野光彦）
靜齋隨筆（河口光遠）
詩經名物辨解正誤（小野職博）
說文新附字考攷正合編（岡井愼吾）
轉注說（狩谷望之著　岡本保孝注）
周尺說（森約之）
丈山夜譚
第四卷　泰山遺說（小川信成）
彼此合符（岡田挺之）
和漢駢事（虞淵）
大和行日記（菅晉帥）
拙堂文話評（齋藤正謙著　山木積善評）
殘叢小話（松崎復）
豬飼敬所先生書東集（豬飼彥博）
日尾子（日尾瑜）
書經蔡傳渾天儀圖攷（同）
五倫名義辨證（曹我景章）
第五卷　雅遊漫錄（大枝流芳著　清田絢註）
聖藩抵觸（山梨玄）
螢居紀談（河崎延貞）
伊勢の家苞（足代弘訓）
春宵秋夜談（堤朝風）
相識人物志（岡本保孝）
昌平茗談
廉齋閒話
杏柳傳語（大田覃）
細推物理（同）
第六、七卷　嬉遊笑覽　卷一至一二、附錄（喜多村信節）
第八卷　見聞談叢（伊藤長英）

後輪軒小錄（新庄道雄）
栢園獨語（同）
さし出の磯（新見正路）
異本名家略傳（山崎美成）
鈴屋消息（本居宣長）
歎の下露（青木茂房）
椛齋華牋（狩谷望之）
狩谷氏の靈簿
後素手簡（大鹽後素）
一枝餘芳（村田了阿）
了阿上人傳
今戸はりきせるのかんかへ
錢譜（藤原貞幹）
錢貨譚叢（酒井忠衞）
新校正珍貨圖鑑凡例（狩谷懷之）
第九卷　曲亭書簡集（瀧澤解）
無佛齋書簡（藤原貞幹）
藤垣內消息（本居大平）
全齋墨叢（太田方）
第一〇卷　耳囊（根岸鎭衞）
羽澤隨筆（岡田助方）
第一一、一二卷　撿堂日歷　上、下（松崎復）

日本現代文章講座　厚生閣發行　昭和九　八　六五四　四一

第一卷　原理篇（前本一男編）
第二卷　方法篇（同閣編）
第三卷　組織篇（前本一男編）
第四卷　構成篇（同）
第五卷　技術篇（同閣編）
第六卷　指導篇（前本一男編）
第七卷　研究篇（同閣編）
第八卷　鑑賞篇（同）

〔日本工業倶樂部調査課〕調査報告　同課編　昭和三至五　四　五七九　一七一

第九輯　金輸出解禁問題に關する日本工業倶樂部會員の意見
第一〇輯　獨逸に於ける鐵鋼勞働爭議
第一二輯　一九二八年
第一三輯　產業委員會法案に對する意見並參考資料
第一四輯　各國に於ける雇傭制限約款に關する調査
第一五輯　米國の小工場に於ける勞働施設
　日本經濟聯盟會及日本工業倶樂部主催アルベール・トーマ氏歡迎懇談會及午餐會記事
第一六輯　伊太利の勞働政策（森田良雄）
第一七輯　勞働法規施行上の異議審査機關問題に關する調査
第一八輯　給料被傭者の就業時間問題に關する資料
第一九輯　國民政府新工會法に就て
第二〇輯　本邦工業に於ける利益分配並に類似制度に關する調査
第二一輯　勞働組合に關する各國法制摘要

日本工業協會研究會資料　同協會編　昭和九、一〇　三　一四、五　三六九

第五回　工場內の作業に對する請負制度
第六回　豫定期限通りに仕事を遂行さす爲めの處置
第七回　見習工の採用並に養成方法

日本國際協會經濟委員會叢書　同協會發行　昭和九至一〇　八　一四、五　三七九

第一輯　本邦商品生產費安の諸原因（玉木懿夫）
　本邦輸出貿易進展の歷史的原因（高木友三郎）
　國際通商障碍の現狀に就て（黑田鴻五）
第二輯　日本貿易進展の人口的基礎（猪谷善一）
第三輯　我國對外通商政策と其の今日に至る迄の沿革（同協會編）
　日華通商關係の基調（川島信太郎）
第五輯　現下の長江一帶經濟事情の考察（岩井光太郎）
第七輯　本邦品と外國品の運賃比較（清水安治）
　租稅制度と輸出貿易（谷口恒二）
第八輯　我國の勞働時間と賃銀（赤松小寅）
第九輯　戰後世界工業の構造變動（生島廣治郎）
第一〇輯　世界貿易の現狀及其對策（川島信太郎）

日本國際協會叢書　同協會發行　昭和八至一〇　一九　五一五　五二
　〔國際聯盟協會叢書〕ノ改題）
第一二三輯　b　通貨經濟會議の顚末（同會編）
第一二五輯　一九三三年に於ける國際聯盟の活動（國際聯盟事務局東京支局譯）
第一二八輯　ライヒマン報告書（同）
第一二九輯　國際聯盟便覽（國際聯盟事務局情報部編　同協會譯）
第一三〇輯　滿洲國と門戶開放問題（英修道）
第一三一輯　支那各省經濟事情　上卷（同會編）
第一三三輯　各國通商の動向と日本（外務省通商局編）
第一三六輯　進展し行く我が通商陣（各方面の權威は語る）（同會編）
第一四七輯　各國復關稅制度に關する調査（外務省調査部編）
第一四八輯　歐洲諸國に於ける關稅制度（同）
第一四九輯　支那に於ける棉花奬勵誌（同）
第一五一輯　躍進日本の新市場（三）東アフリカ（久我成美）
第一五二輯　變轉のソ聯邦（佐々木勝三郎）
第一五三輯　ソ聯邦の政治及經濟組織（外務省調査部編）
第一五四編　中央亞細亞事情「ソ」領中亞及新彊（同）
第一五五輯　黑人帝國エチオピア（土田豐）
第一五六輯　北支農村救濟と植棉改進問題（外務省調査部編）

第一五七輯　支那各省經濟事情　中卷（同會編）　冊函號
第一五八輯　國際阿片問題の經緯　附　麻藥略說（宮島幹之助）

同　第一二三輯　b（「國際聯盟協會叢書」ノ改題）　昭和八　一　五一五　五三イ

日本國粹全書　同刊行會編　昭和四、五　八　三八七　二五七

第二卷　學範（中林成昌）
國基（紀維貞）
皇國第一義（藤本眞金）
皇道要略（金本相觀）
國意考（加茂眞淵）
知命記（中林成昌）
九經談總評說（長谷川昭道）
新論（會澤安）
第三卷　柳子新論（山縣昌貞）
中朝事實（山鹿素行）
時文適紕（村田春海）
神皇正統記（北畠親房）
第四卷　古事記（太安萬侶）
古語拾遺（齊部廣成）
祝詞正訓（平田鐵胤）
陽復記（度會延佳）
神風記（西田以正）
大耶麻騰沙汰文（立石垂顯）
第六卷　倭忠經（南部立庵）
士說（室鳩巢）
士道心得書（北條竹鳳子）
武備和訓（片島武矩）
武治提要（津輕政方）
匡正論（本田忠籌）
武訓（貝原益軒）
大日本史贊藪（安積澹泊）
第七卷　士道（山鹿素行）
竹馬抄（斯波義將）
文武問答（中江藤樹）
直毘靈（本居宣長）
直毘靈附錄（竹村茂雄）
くずばな（本居宣長）
玉くしげ（同）
古學要（本居大平）
古學本敎大意（本居內遠）
本學擧要（野之口隆正）
馭戎問答（同）
第八卷　道迺佐喜草（本居春庭）
やまとこころ（野之口隆正）
うひ山ぶみ（本居宣長）
臣道（同）
入學問答（平田篤胤）
大道或問（同）
經義大意（八田知紀）
道之栞（久米幹文）
第一〇卷　草偃和言（會澤安）
宇內混同秘策（佐藤信淵）
日本水土考（西川如見）
百姓囊（同）
中興鑑言（三宅觀明）
告志篇（德川齊昭）
今書（蒲生君平）
不恤緯（同）

第一二卷　國粹詩歌集（同會編）
日本神道論（アストン著　安竹金治譯）
日本人の愛國心
異人恐怖傳

日本國體新講座　明治會編　昭和一〇　三　六九七　二六

第一期
第一　日本國體とはどんなものか（田中智學）
神社ものがたり祭禮のことども（安中泰軒）
國體思想はどう變遷して來たか（山川傳之助）
日本國民の正しい考から見た農村問題（金作之助）
國體を表現した歷史物語（田中芳谷）
第二　帝國憲法のたれにもわかる講義（里見岸雄）
日本古代の歌謠に顯れたる國民性（武智運光）
日本藝術物語（河野桐谷）
明治天皇勅敎の講話（高知尾誠吉）
日本婦人の輝く物語（岩永蓮代）
列聖詔勅謹解（長瀧智大、保坂智宙）
國體主義の政治（田中澤二）
明治神詠欽感錄（田中智學等）
第三　外國人が讃美した日本（村瀨龍淵）
明治天皇の偉大なる御垂訓及び御事蹟（星野武男）
別科

日本國寶全集　第二二至六四輯　文部省編　大正一五至昭和一〇　特一一　四一四　一

同　第二七至六七輯　昭和四　特九　四一四　一イ

日本古代經濟　西村眞次　昭和八、九　三　六三八　二八
交換篇
第一冊　總論、沈默貿易
第二冊　市場
第四冊　貨幣

日本古典全集　第一回　與謝野寬等編　昭和二、三　三　五五〇　四
徒然草　附　活字本徒然草
源氏物語　第四、五

同　大正一五至昭和三　一〇　五五〇　四イ
平家物語　下卷
古風土記集　下卷
榮華物語　下卷
曾我物語
萬葉集略解　第八
大隈言道全集　下
源氏物語　第二至五

同　大正一五、昭和二　五　五五〇　四ロ
平家物語　下卷
榮華物語　下卷
曾我物語
古風土記集　下卷
長秋詠藻、山家集

同　第二回　昭和二至四　三九　五五〇
謠曲百番　第一至三　一六七
參考讀史餘論　卷一至三　一六八
和泉式部全集　一六九
萬葉集品物圖繪　上、下卷　一七〇
拾遺和歌集　附　藤原公任歌集　一七一

第大卷　日本武尊代記、武蔵風土記他三
第五卷　日本武尊代記、常陸風土記他三
第四卷　男色大鑑、風流仏
第三卷　好色五人女、一代女、本朝二十孝
第二卷　好色一代男
第一卷　好色一代男
西鶴全集（井原西鶴）
東海道名所記、東海道分間絵図
俊名類鈔　第一至二〇索引

同　昭和五　一〇

同　第八（第一、第二、第九、第三、第六、第七、昭和三、四上）

第二三　新古今和歌集
第二二　千載和歌集
第二一　金葉和歌集、詞花和歌集
第二〇　愛根志上下卷
第一九　歌舞品目上下卷
第一八　日本書紀（訓読）上下卷
第一七　日本書紀（原文）上下卷
第一六　古今著聞集上下卷
第一五　うつぼ物語　第一至五
第一四　五畿内志上中下卷（並河永）
第一三　但馬国道場山路下卷（石塚龍麿）
第一二　古事記下卷
第一一　後撰和歌集
第一〇　類聚近世畸人伝（伴高蹊、三浦孝）
第九　近世畸人伝（同）

三ホン

第一　俊名類鈔索引
第一至二〇
寒海道名所記、寒海道分間絵図
西鶴全集（井原西鶴）

同　大正一五昭和四

雪舟百幅　第一至四
愛蔵国宝絵巻　第一至三
和泉式部全集
東京美品物図録　上下卷
拾遺和歌集　附　源氏公任歌集
本朝産業図説　上下卷、図説産業
双度面　第一
ぎやどんかるる　上下卷、妙貞問答、雑子問答
後撰和歌集
西鶴全集　第八至一〇
江漢西遊日記
延喜式　第一至三、八、七
古今和歌集　附　古今集注
古代歌学集
図説産業
信西古楽図録
宇治拾遺物語
竹取物語、大和物語、住吉物語
特殊物語全集　第七至九
風雅和歌集
教訓抄　下
紫式部日記、同家集、源少納言同家集
保元物語、平治物語、承久記

同　大正一五昭和四

四五〇

四五

冊
面

業記
徒然草
探集歌園員士記
土佐日記、蜻蛉日記、更級日記
古事記
紫式部日記、同家集、源少納言同家集
教訓抄　下
風雅和歌集
特殊物語全集　第七至九
竹取物語、大和物語、住吉物語
宇治拾遺物語
信西古楽図録
図説産業
古代歌学集
古今和歌集　附　古今集注
延喜式　第一至三、八、七
江漢西遊日記
西鶴全集　第八至一〇

同　正宗敦夫校　昭和三、八

第三期　正宗敦夫編
第一　観古雑帖、虫撰集　附　穂井田忠友歌集
第二　仲哀天皇物語、仲哀天皇物語
第三　仲哀天皇物語、仲哀天皇物語
第四　多賀宗隼編、戦国歌集
第五　歌謡伝年代記　上下卷
第六　物類品隲
第七　由来入人物訓、教訓雑集
第八　伊勢物語、日本書紀
打聞集　第一、二、四
小野篁歌集（小野篁山）

第一　日本書紀（訓読）
第二　うつぼ物語　上中下卷
第四　古今著聞集
第五　花物語　上下
第七　王かつま（本居宣長）

同　昭和八　著者版

元元集（同）
神皇正統記（同北畠親房）
俊頼髄脳　上下（心空）
龍鳳手鑑（行均）
古今錄　第一至四　第一至四七卷（穂井田忠友）
本朝食鑑　第一至二（平野必大）
機源抄　第一至三
歌謡集　上中下（志田延義編）
今昔物語　上中下
江家次第　第一、二、第一至五卷
物類称呼
浮世床
片言
歌林樸樕（松永貞徳）
類聚義解字鑑（宮地春樹）
類聚義解字鑑（大村光枝）
第八卷　第九卷　厚入
第七卷　一目玉鉾　他二
第八卷　鶴鶴物語　他三

	冊	頁	號
第八　歌謠集　上古篇、近古篇（小唄集）			
花江都歌舞妓年代記　上、下（談洲樓焉馬）			
第九　西鶴集　上			
第一〇　古事記			
上宮聖德法王帝說			
祝詞（延喜式卷八）			
第一一　東海道分間繪圖			
人倫訓蒙圖彙			
第一二　古風土記集			
同　昭和一〇、			
倭訓類林　上、下（以至寸）附　和訓指掌略（海北若冲）	二	六三二	一八一
同	四	六六三	二二七
樂家錄　第一至四　卷之一至四二（安倍季尙編）			
同	二	五六八	五三五
塵袋　上、下　第一至一一			
同	六	六六五	二一七
醫心方　第一至六　卷第一至二六（丹波康賴）			
同	一	六八二	一七九
方丈記（鴨長明）			
徒然草（卜部兼好）			
日本古文化研究所報告　同所發行　昭和一〇	七	一四、五	四二九

	冊	頁	號
第一　近畿地方古墳墓の調査　第一（梅原末治編）			
日本宗教大講座　東方書院編　昭和四、五	二	六〇一	五
第一卷　神社篇			
第二卷　神道篇（教派）			
第三、四卷　佛教篇（宗派　第一、二）			
第五、六卷　佛教篇（宗派第三、聖典第一）			
第八卷　佛教篇（聖典第三）			
第九、一〇卷　基督教篇（教派第一、二）			
第一一卷　基督教篇（聖典）			
第一二卷　宗教藝術篇			
日本思想家史傳全集　東方書院發行　昭和三、四	二	五八三	二三
第一卷　太子傳玉林抄　二二卷（岩橋遵成等編）			
第二八卷　先達遺事（稻葉正信）			
先哲像傳　四卷（原德齋）			
藤園雜話			
結綱集（運敵編）			
清流紀談（龍護山人編）			
日本思想叢書　文部省社會教育局發行　昭和七	一〇	六一三	六九
第一編　聖德太子十七條憲法（辻善之助解）			
第二編　古語拾遺（齋部廣成著　加藤玄智譯解）			
第三編　新論（會澤安著　宇野哲人譯解）			
第四編　祝詞宣命（山田孝雄校）			
第五編　古事記（次田潤校）			
第六編　萬葉集（久松潛一校）			
第七編　弘道館記述義（深作安文校）			
第八編　中朝事實（山鹿素行著　深作安文校）			

	冊	頁	號
第九編　日本書紀精粹（黑板勝美編）			
第一〇編　神皇正統記（平泉澄校）			
日本史蹟大系　第一至七卷　熊田葦城　昭和一〇	七	六七〇	二五
日本時代史　早稻田大學發行　大正一五、昭和二	九	二三	二六五
第六卷　南北朝時代史（久米邦武）			
第七卷　室町時代史（渡邊世祐）			
第八卷　安土桃山時代史（同）			
第九、一〇卷　德川時代史　上、下（池田晃淵）			
第一一卷　幕末史（小林庄次郎）			
第一二卷　維新史（本多辰次郎）			
第一三、一四卷　明治史　上、下（吉田東伍）			
日本耳鼻咽喉科學全書　第四卷（二）、第一〇卷（一至三）、第一一卷（一、二）久保猪之吉編　昭和八至一〇	六	五八	一九七
〔日本商工會議所〕調査資料　同所編　昭和三至七	一二	五九一	三三
第三　不動產金融に關する調査			
第五　一九二八年及大戰後十年間に於ける世界各國の經濟狀態			
第六　戰後各國關稅政策概說			
第七　最近英國關稅政策の傾向			
第八　佛國及佛領印度支那の關稅政策			
第一〇　最近濠洲の保護關稅政策			
第一一　世界各國に於ける最近の國產愛用運動			
第一五　最近に於ける世界各國の關稅改正（一九三一年前半期）			
第一六　一九三〇年に於ける世界各國の經濟狀態			
第一七　最近各國に於ける爲替ダンピング稅の賦課			
第一八　最近に於ける世界各國の關稅改正（一九三一年後半期）			
第一九　中小商工業金融改善策に關する資料			
日本趣味藝術叢書　成美堂編輯部編　昭和九、一〇	二	六五三	一四
第一　盆栽藝術			
第二　挿花藝術			
日本儒林叢書　關儀一郎編　昭和二至四	六	五七四	一八
第一、二冊　隨筆部　第一、二			
第三冊　史傳書簡部			
第四冊　論辯部			
第五、六冊　解說部　第一、二			
日本隨筆全集　國民圖書株式會社編　昭和二至五	二〇	五七四	一
第一卷　寸錦雜綴（桂川中良）			
善庵隨筆（朝川鼎）			
南留別志（荻生雙松）			
忠實漫錄（中村弘毅）			
東鵬子（田宮仲宣）			
秋苑日涉（村瀨之熙）			
睡餘小錄（藤原吉迪）			
第二卷　圓珠菴雜記（契冲）			
河社（同）			
著作堂一夕話　一名　蓑笠雨談（瀧澤解）			
文會雜記（湯淺元祐）			
松屋叢話（高田與清）			
第三卷　三養雜記（山崎美成）			
駿臺雜話（室直清）			
烹雜の記（瀧澤解）			
孝經樓漫筆（山本信有）			

猿著聞集（八島定岡）
第四巻　花街漫錄（西村伊之）
嚶々筆語（野之口隆正編）
北窻瑣談（橘春暉）
擁書漫筆（高田與清）
南屏燕語（南山）
湖亭渉筆（安積覺）
第五巻　燕石雜誌（瀧澤解）
たはれぐさ（雨森俊良）
漫畫隨筆　一名　撈海一得（鈴木煥卿）
蓼蔭堂雜錄（木村孔恭）
常山樓筆餘（湯淺元禎）
第六巻　好古小錄（藤井貞幹）
年山紀聞（安藤爲章）
棄燭譚（伊藤長胤）
閑田耕筆（伴資芳）
第七巻　提醒紀談（山崎美成）
好古日錄（藤井貞幹）
閑田次筆（伴資芳）
南嶺子（多田義俊）
柳莽隨筆（栗原信充）
茅窗漫錄（茅原定）
坤齋日抄（西島長孫）
第八巻　南嶺遺稿（多田義俊）
雅遊漫錄（大枝流芳）
玄同放言（瀧澤解）
聖學隨筆（石川安貞）
柳莽雜筆（栗原信充）
松亭漫筆（松亭金水）
第九巻　還魂紙料（柳亭種彦）

橘窗茶話（雨森俊良）
北邊隨筆（富士谷御杖）
閑窻瑣談（爲永春水）
雲錦隨筆（曉晴翁）
第一〇巻　用捨箱（柳亭種彦）
閑際筆記（藤井鍼）
梅園日記（北愼言）
赤穗義士隨筆（山崎美成）
宮川舍漫筆（宮川政運）
第一一巻　近世奇跡考（山東京傳）
比古婆衣（伴信友）
愚雜俎（田書仲宣）
第一二巻　年々隨筆（石原正明）
理齋隨筆（志賀忍）
難波江（岡本保孝）
第一三巻　骨董集（山東京傳）
雲津雜誌（柳澤里恭）
假名世說（大田覃）
夏山閑話　一名　夏山雜談（小野高尙）
第一四巻　花月草紙（松平定信）
秋齋閒語（多田義俊）
四方の硯（畑維龍）
退閑雜記（松平定信）
蜘蛛の絲卷（山東京山）
瓦礫雜考（喜多村信節）
積翠閑話（松亭金水）
第一五巻　南畝莠言（大田覃）
松の落葉（藤井高尙）
艮齋閒話（安積信）
鄰女語言（慈延）

翁草（神澤貞幹）
第一六巻　玉賀都萬（本居宣長）
輪軒小錄（伊藤長胤）
第一七巻　梧窓漫筆（大田元貞）
茶山翁筆のすさび（菅晉帥）
梅窓筆記（橋本經亮）
廛塚物語
一宵話（牧墨僊）
第一八巻　桂林漫錄（桂川中良）
にぎはひ草（佐野紹益）
玲瓏隨筆（宗彭）
比古婆衣（伴信友）
第一九巻　雨窗閑話
遠碧軒隨筆（黑川道祐）
關秘錄
蒼梧隨筆（大塚嘉樹）
第二〇巻　日本隨筆全集索引　イ　三〇　五七四
補遺　ロ　三〇　五七四
同　一　三九　五四五
同　一　六五

日本隨筆大成　同編輯部編　昭和二至六

第一巻　梅村載筆（林信勝）
筆のすさび（菅晉帥）
羇旅漫錄（瀧澤解）
仙臺閒話（林良通）
春波樓筆記（司馬江漢）
瓦礫雜考（喜多村信節）
紙魚室雜記（城戸千楯）

桂林漫錄（桂川中良）
柳亭記（柳亭種彦）
尙古造紙揷
二巻　雲錦隨筆（曉晴翁）
松屋棟梁集（高田與清）
樞圍隨筆（中島廣足）
近世女風俗考（生川春明）
蘿月庵國書漫抄（尾崎雅嘉）
畫譚雜肋（仲山高陽）
煙霞綺談（西村白鳥）
柳亭筆記（柳亭種彦）
磯山千鳥（堀秀成）
橘窓自語（橋本經亮）
玄同放言（瀧澤解）
第三巻　都の手ぶり（石川雅望）
織錦舍隨筆（村田春海）
睡餘小錄（藤原吉迪）
八水隨筆
歷世女裝考（山東京山）
書愉賞筆
憎の落葉物語（伴林光平）
金曾木（大田覃）
鍬屑譚（谷川士清）
第四巻　上代衣服考（豐田長敎）
雨窻閑話
屋氣野隨筆（小野高潔）
寸錦雜綴
半日閑話（大田覃）
泊洒筆話（清水濱臣）
辨正衣服考

心の雙紙（松平定信）

第五卷　過庭紀談（原瑜）
嚶々筆語（野之口隆正）
花街漫錄（西村伊之）
遠碧軒記（黑川道祐）
風のしがらみ（土肥經平）
著作堂一夕話（瀧澤解）
海人のくゝつ（中島廣足）
遊藝園隨筆（川路聖謨）
善庵隨筆（朝川鼎）

第六卷　古老茶話（柏崎永以）
秉燭譚（伊藤長胤）
四方の硯（畑雜龍）
梅園叢書（三浦安貞）
野乃舍隨筆（大石千引）
おもひくさ（本居宣長）
閑窓瑣談（爲永春水）
還魂紙料（柳亭種彥）
擁書漫筆（高田與清）
思ひの儘の記（參多章甫）
用捨箱（柳亭種彥）
向岡閑話（大田覃）
撈海一得（鈴木煥卿）
松陰隨筆（鈴木基之）
槻の落葉信濃漫錄（荒木田久老）
藜莠堂雜錄（木村孔恭）
文會雜記（湯淺元禎）
閑窓瑣談　後篇（爲永春水）
長庵隨筆（若槻敬）

第八卷　北邊隨筆（富士谷御杖）

燕居雜話（日尾瑜）
骨董集（山東京傳）
かしのしづ枝（中島廣足）
幽遠隨筆（入江昌喜）
松屋叢考（高田與清）
宮川舍漫筆（宮川政運）
駒谷剏言（松村梅岡）

第九卷　古今治革考（柏崎永以）
異說まちまち（鳥江正路）
閑際筆記（藤井戫）
獨語（太宰純）
又樂庵示蒙話（栗原信充）
南嶺子（多田義俊）
南嶺子評（伊勢貞丈）
世事百談（山崎美成）
閑田耕筆（伴蒿蹊）
閑田次筆（同）
天神祭十二時（山舍亭意雅栗三）

第一〇卷　筆の御靈（田沼善一）
齊諧俗談（大鵬義道）
東牖子（田宮仲宣）
一宵話（牧墨僊）
嗚呼矣草（田宮仲宣）
昆陽漫錄（青木昆陽）
續昆陽漫錄（同）
續昆陽漫錄補（同）
南嶺遺稿（多田義俊）
南嶺遺稿評（伊勢貞丈）
秉穗錄（岡田挺之）
花街漫錄正誤（喜多村信節）

第一一卷　年々隨筆（石原正明）
嘉良喜隨筆（山口幸充）
烹雜の記（瀧澤解）
三のしるべ（藤井高尙）
好古日錄（藤井貞幹）
好古小錄（同）
奇遊談（川口好和）
茅窓漫錄（茅原定）
庖丁書錄（林道春）
こがねぐさ（石川雅望）

第一二卷　耽奇漫錄（瀧澤解等編）

第二期

第一卷　兎園小說（瀧澤解等編）
草廬漫筆（武田信英）
松屋叢話（小山田與清）
提醒紀談（山崎美成）
圓珠庵雜記（契沖）
一時隨筆（岡西惟中）
假名世說（大田覃）
梅の塵（梅乃舍）
當代江都百化物（馬場文耕）

第二卷　筱舍漫筆（西田直養）
萍花漫筆（桃華園）
兎園小說外集（瀧澤解）
兎園小說別集（同）
八十翁噺昔話（新見正朝）
半藝古雅誌（瀨川如皐）
雲津雜誌（柳澤里恭）
閑なるあまり（松平定信）
畫證錄（喜多村信節）

第三卷　兎園小說餘錄（瀧澤解）
兎園小說拾遺（同）
保敬隨筆（小泉保敬）
梅園拾葉（三浦晉）
新著聞集
雉岡隨筆（五十嵐篤好）
三養雜記（山崎美成）
清風瑣言（上田秋成）
尤の雙紙（同）
近世奇跡考（山東京傳）

第四卷　它山石　初篇（松井輝星）
筠庭雜錄（喜多村信節）
勇魚鳥（北山久備）
蜘蛛の糸卷（山東京山）
橘窓茶話（雨森俊良）
一擧博覽（鈴木忠俠）
萍の跡（立綱）
筠庭雜考（喜多村信節）
目さまし草（清中亭叔親）
反古籠（桂川中良）
閑窓自語（柳原紀光）
雜說囊話（林正森）

第五卷　先進繡像玉石雜志（栗原信充編）
二川隨筆（山川素石、細川宗春）
飛鳥川
續飛鳥川
江戸雀
積翠閑話（松亭金水）
尾崎雅嘉隨筆（尾崎雅嘉）
閑窓筆記（西村遠里）

第六卷　梅翁隨筆
櫻の林（千家尊澄）
新增浮世繪類考　附　戲作者略傳（笹屋邦教等）
茂埃隨筆（百井塘雨）
玲瓏隨筆（宗彭）
十八大通（三升屋二三治）
本朝世事談綺（菊岡沾涼）

第七卷　河社（契沖）
多波禮草（雨森俊良）
本朝世事談綺正誤（山崎美成）
桑楊庵一夕話（岸誠之）
隣女語言（慈延）
尊榮草紙（多田義俊）
足薪翁記（柳亭種彥）
奴師勞之（大田覃）
比古婆衣（伴信友）
西山公隨筆（德川光圀）

第八卷　南留別志（荻生雙松）
可成三註（小林巴陵等）
非南留別志（富士谷成章）
南留別志の弁
あるべし（伊勢貞丈）
ざるべし（谷眞潮）
北窓瑣談（橘春暉）
酣中清話（小島知足）
三省錄（志賀忍）
火浣布略說（平賀源内）
年山紀聞（安藤爲章）

第九卷　遊京漫錄（清水濱臣）
胡蝶庵隨筆（聖應）
柳庵隨筆初篇（栗原信充）
柳庵隨筆（同）
柳庵隨筆餘篇（同）
薰風雜話（澁川時英）
曲肱漫筆
北國奇談巡杖記（鳥翠堂北翠）
立路隨筆（林百助）
南屏燕語（南山）
答問雜稿（清水濱臣）
楓軒偶記（小宮山昌秀）

第一〇卷　說草小言（同）
銀鷄一睡南柯乃夢（畑銀鷄）
猿著閑集（八島定岡）
燕石雜志（瀧澤解）
閑散餘錄（南川雜遷）
於路加於比（高橋廣道）
只今御笑草（瀨川如皐）
夏山雜談（小野高尙）
靜軒痴談（寺門良）

第一一卷　折々草（建部綾足）
難波江（岡本保孝）
下馬のおとなひ（蛔秀成）
松の落葉（藤井高尙）
蠶の燒藻の記（森山孝盛）
閒の囓（新井白蛾）

第一二卷　卯花園漫錄（石上宣積）
雅遊漫錄（大枝流芳）
赤穗義士隨筆（山崎美成）
思齋漫錄（中村弘毅）

南畝莠言（大田覃）
晤語（名島政方）
轎軒小錄（伊藤長胤）
萃野茗談（平秩東作）
なゐの日並（笠亭仙果）
諸國里人談（菊岡沾涼）

別卷　上、下　嬉遊笑覽　上、下卷（喜多村信節）

第三期

第一卷　傍廂（齋藤彥麿）
傍廂糾纏（岡本保孝）
ねさめのすさび（石川雅望）
理齋隨筆（志賀忍）
浪華百事談
異本洞房語園（庄司勝富）
洞房語園後集（同）
洞房語園異本考異（徒流）
筆のすさび（橘泰）
おほろみのはし（富士谷成章）

第二卷　中陵漫錄（佐藤成裕）
柳庵雜筆（栗原信充）
古今雜談思出草紙（栗原東隨舍）
俗耳鼓吹（大田覃）
消閑雜記（岡西惟中）
賤のをだ卷（森山孝盛）
醒睡笑（安樂庵策傳）
近世商賈盡狂歌合（石塚豐芥子）

第三卷　天朝墨談（五十嵐篤好）
蒼梧隨筆（大塚嘉樹）
梅窓筆記（橋本經亮）
關の秋風（松平定信）
浪華の風（久須美祐雋）
瓶鮮談（上田秋成）
三餘叢談（長谷川宣昭）
とはずがたり（中井甃庵）
近來見聞噺の苗（曉晴翁）
駿臺雜話（室鳩巢）
むさしあぶみ（淺井了意）
南向茶話（酒井忠昌）

第四卷　後松日記（松岡行義）
妙々奇談（周滑平）
みた京物語（二鐘亭半山）
天野政德隨筆（天野政德）
淩雨漫錄
蓮響錄（高橋宗直）
訓蒙淺語（太田晴軒）
榊巷談苑（榊原玄輔）

第五卷　百草（太田道灌）
我宿草（太田道灌）
愚雜俎（田宮仲宣）
松亭漫筆（松亭金水）
鳥おどし（川崎重恭）
孝經樓漫筆（山本信有）
金剛談（小林元儁）
關秘錄
牛馬問（新井白蛾）
春雨譚（高井蘭山）
春湊浪話（土肥經平）

	冊函號
松竹問答（松岡辰方）	
第六卷　百草露（含弘堂偶齋）	
蘆の花（山崎美成）	
しりうごと（小說家主人（川崎重恭等カ））	
難後言（花垣幸國）	
梅園日記（北愼言）	
瀨田問答（大田覃編）	
後は昔物語（手柄岡持）	
白石先生紳書（新井君美）	
桃岡雜記（八田知紀）	
第七、八卷　甲子夜語　上、下卷（松浦淸）	
第九、一〇卷　隨尻　上、下卷（天野信景）	
第一一至一三卷　翁草　上、中、下卷（神澤貞幹）	
同　第一、二、四至八、一〇、一一卷　昭和二、三	九　五四五　六五イ
同　第三期　第一卷　昭和四	一　五四五　六五イ
日本精神研究　日本文化研究會編　昭和九、一〇	八　六五四　五二
第一輯　日本精神論	
第二輯　神道精神	
第三輯　日本儒教	
第四輯　武士道精神	
第五輯　水戸學精神	
第六輯　日本國體論	
第七輯　日本國民性	
第八輯　日本佛教	
日本精神作興歷史讀本　實業之日本社編　昭和八、九	五　六三九　三三七
第一　維新回天記	
第二　南海雄飛記	
第三　神武建國記	
第四　國難神風記	
第五　南朝忠戰記	
日本精神文化大系　金星堂發行　昭和九、一〇	七　六五四　五五
第一卷　皇室篇（藤田德太郎等編）	
第二卷　大和時代篇（同）	
第三卷　平安時代篇（同）	
第五卷　吉野時代、室町時代、安土桃山時代篇（同）	
第六卷　江戸時代篇（同）	
第八卷　明治時代篇　上（藤澤親雄等編）	
第九卷　明治時代篇　下（藤田德太郎等編）	
日本體育叢書　目黑書店發行　昭和二至五、七	六　五〇五　二七
第一八篇　柔道（工藤一三）	
第一九篇　スローイング（上田精一）	
第二〇篇　馬術（今村安） 銃獵と犬（小林信三）	
第二一篇　劍道（佐藤卯吉）	
第二二篇　弓道（村尾圭介）	
同　昭和二至四	四　五〇五　二七イ
第三篇　フットボール　訂六版（佐々木等）	
第一〇篇　ヴアレーボール（排球）附　規則（川山英明）	
第一一篇　バスケットボール　訂一〇版（藤山快隆）	
第一二篇　水泳　訂六版（佐藤三郎）	
日本大學文學科研究年報　同科編　昭和一〇	一　一四五　四一八
第一輯（昭和一〇年）	
一、ハイデッガーの哲學（宮津榮太郎）	
二、哲學の課題としての現實性（齋藤晌）	

三、表現と意味（遠藤孝）	
四、時間の問題（上山不二男）	
五、デイルタイ精神科學の方法の一考察（佐藤忠恕）	
日本道話全集　高倉嘉夫編　昭和二	四　五六〇　三二
第一卷　鳩翁道話（柴田鳩翁）	
銀のなる木の傳授（脇坂義堂）	
和合長久の傳授（同）	
開運出世傳授（同）	
賣卜先生安樂傳授（同）	
賣卜先生棣俵（虛白齋）	
第二卷　御代の恩澤（脇坂義堂）	
孝行になるの傳授（同）	
福相になるの傳授（同）	
長命になるの傳授（同）	
雨やとり（虛白齋）	
五用心愼草（脇坂義堂）	
目の前（虛白齋）	
松翁道話（布施松翁）	
道のこだま（柳泓）	
立身始末鑑（木南堂）	
第五卷　道得問答（慈恩尼葉茂）	
都鄙問答（石田梅巖）	
齋家論（同）	
やしなひぐさ　前、後篇	
石田先生事績（門人筆記、上河正揚校）	
道二翁道話（中澤道二）	
第六卷　聖賢證語國字解（上河正揚）	
案山子草（寺井方信）	
家道訓（貝原益軒）	
町人身體なほし（手島堵庵）	
同　第一卷	一　五六〇　三三イ
日本探偵小說全集　改造社發行　昭和四、五	二〇　五六九　一六七
第一篇　小酒井不木集（同人）	
第二篇　森下雨村集（同人）	
第三篇　江戸川亂步集（同人）	
第四篇　甲賀三郎集（同人）	
第五篇　谷崎潤一郎集（同人）	
第六篇　岡本綺堂集（同人）	
第七篇　松本泰集（同人）	
第八篇　保篠龍緒集（同人）	
第九篇　大下宇陀兒集（同人）	
第一〇篇　橫溝正史集（同人）	
第一一篇　夢野久作集（同人）	
第一二篇　角田喜久雄集（同人）	
第一三篇　水谷準集（同人）	
第一四篇　平林初之輔、橋本五郎集（同人）	
第一五篇　山下利三郎、川田功集（同人）	
第一六篇　濱尾四郎、久山秀子集（同人）	
第一七篇　長谷川伸、山本禾太郎集（同人）	
第一八篇　國枝史郎、渡邊溫集（同人）	
第一九篇　牧逸馬、城昌幸集（同人）	
第二〇篇　佐藤春夫、芥川龍之介集（同人）	
日本地理大系　改造社編　昭和四至六	一八　八三　四四三
第一卷　總論篇　第一　自然地理	
第二卷　同　第二　人文地理	

第三卷　大東京篇
第四卷　關東篇
第五卷　奥羽篇
第六卷　中部篇　上、下卷
第七卷　近畿篇
第八卷　中國及四國篇
第九卷　九州篇
第一〇卷　北海道、樺太篇
第一一卷　臺灣篇
第一二卷　朝鮮篇
別卷第一　山岳篇
第二　滿洲及南洋篇
第三、四　海外發展地篇　上、下卷
第五　富士山

日本地理風俗大系（改訂一版）　誠文堂新光社發行　昭和一〇　一　六九一　五〇
第六　中國・四國・瀨戸内海　訂（同社編）

日本彫刻大鑑　東方書院編　昭和七、八　特　五　六三八　五
第二卷　奈良時代　上
第四、五卷　平安時代　上、中
第七卷　鎌倉時代　上
第一一卷　現代

日本電氣經濟叢書　電氣經濟研究所編　昭和七至九　九　六一三　八三
第一、二卷　電氣企業形態論　第一、二
第三卷　電氣事業資金論
第四卷　電氣需給運營論　第一
第六至八卷　電氣供給料金論　第一至三
第一一、一三卷　報償契約實疑錄　第一、三

	冊	函號

日本統制經濟全集　改造社發行　昭和七至九　一〇　六三七　二七
第一卷　統制經濟原理（向井鹿松）
第二卷　通貨信用統制批判（笠信太郎）
第三卷　價格統制論（河合良成）
第四卷　統制經濟財政論（井藤半彌）
第五卷　日本經濟統制論（產業を中心として見たる）（高橋龜吉）
第六卷　產業動員計畫（有澤廣巳）
第七卷　統制經濟政治機構（土方成美）
第八卷　日滿統制經濟（小島精一）
第九卷　統制經濟批判（猪俣津南雄）
第一〇卷　統制經濟論總觀（向坂逸郎）

日本統制經濟叢書　日本公論社發行　昭和八　二　六五四　五
第五卷　日滿統制經濟論（大藏公望）
第六卷　戰時統制經濟論（森武夫）

日本動物分類　三省堂發行　昭和一〇　三　六七六　一七
第六卷　環形動物門　第三編　有帶綱
第二號　ヒルミミズ類（山口英二）
第四至六編　蟹綱、星蟲綱、鰓曳綱（佐藤隼夫）
第一五卷　脊椎動物門　第三編　兩棲綱
第二號　無尾目（蛙類）（岡田彌一郎）

日本內科全書　尼子四郎編　昭和二至九
卷二　第四冊　放射線療法（中泉正德）
卷三　第六冊　膵臟病篇（岡田清三郎）
卷四　第三冊　肺結核（賀屋隆吉）
卷五　第一冊　循環器病篇（尼子四郎）

卷六　第二冊　下　神經症篇（三宅鐵一）
別錄　第一冊　腦脊髓液（佐々貫之）
卷七　第一冊　脊髓病篇（鹽谷不二雄）
第二冊　末梢神經病篇（同）
第三冊　精神病篇（三宅鐵一）
卷八　第一冊　上　傳染病篇　總論（竹內松次郎）
下　同　腸チフス、パラチフス（村山達三）
第二冊　同　麻拉利亞、黑水熱、デング熱（明石眞隆）
第三冊　同　亞細亞コレラ（豐田太郎）
第四冊　同　アメーバ赤痢（明石眞隆）
同　ペスト（鶴見三三）
第五冊　同　猩紅熱（豐田太郎）
第六冊　流行性腦脊髓膜炎、壓壕熱（稻田龍吉）
第七冊　ヂフテリー篇（唐澤光德、和泉成之）
第八冊　住血吸蟲病並ニ腸管寄生蟲病篇（宮川米次）
第九冊　敗血症篇（山川章太郎）
第一〇冊　百日咳（唐澤光德）
第一一冊　流行性腦炎（柿沼昊作）
卷九　第一冊　代謝機病篇（青山胤通）

日本農學叢書　興文社發行　昭和五至一〇　九　六〇八　二一〇
第一　產業組合論（小平權一）
第二　實用農產製造學（住江金之）
第三　森林生產學（三浦伊八郎）
第四　畜產學（井口賢三）
第五　土壤微生物學（板野新夫）
第六　水產化學（奥田讓）
第七　食用作物學（松田秀雄）
第八　絹絲學（井上柳梧）
第九　家畜疾病學（松葉重雄）

日本俳書大系　勝峰晋風編　昭和二　一　五五五　七
第七卷　談林俳諧集（芭蕉以前　第二）
第八卷　蕉村一代集（蕉村時代　第一）
第九卷　中興俳諧各家集（蕉村時代　第二）
第一〇卷　中興俳話文集（蕉村時代　第三）
第一一卷　天明名家句選（蕉村時代　第四）
第一二卷　一茶一代集（一茶時代　第一）
第一三卷　近世俳諧名家集（一茶時代　第二）
第一四卷　近世俳話句集（一茶時代　第三）
第一五卷　俳諧系譜逸話集　通編
第一六卷　俳書人名地名索引
篇外　蕉門俳諧續集

同　第二、八、一二卷　昭和九　三　五五五　七イ
第二卷　蕉門俳諧前集（芭蕉時代　第二）

日本俳書大系　春秋社發行　昭和三至五　三四　五八四　一〇
第一、二卷　芭蕉一代集　上、下卷
第三、四卷　蕉門俳諧前集　上、下卷
第五、六卷　蕉門俳諧後集　上、下卷
第七、八卷　蕉門俳諧續集　上、下卷
第九、一〇卷　蕉門俳話文集　上、下卷
第一一、一二卷　元祿名家句選　上、下卷
第一三、一四卷　貞門俳諧集　上、下卷
第一五、一六卷　談林俳諧集　上、下卷

第一七、一八卷　蕪村一代集　上、下卷
第一九、二〇卷　中興俳諧名家集　上、下卷
第二一、二二卷　中興俳話俳文集　上、下卷
第二三、二四卷　天明名家句選　上、下卷
第二五、二六卷　一茶一代集　上、下卷
第二七、二八卷　近世俳諧名家集　上、下卷
第二九、三〇卷　近世俳話句集　上、下卷
第三一、三二卷　俳系譜逸話集　上、下卷
第三三卷　俳書、人名、地名索引
第三四卷　芭蕉、蕪村、一茶全句索引

冊函號

日本判例大成　非凡閣發行　昭和一〇　三　一四、七　七三九

第一卷　民法總則（日沖憲郎編）
第二卷　民法物權（長野潔編）
第六卷　親族・相續　第一（藤島利郎編）

日本美術史概說　黒田鵬心　昭和二　五　五四九　六三

第四冊　弘仁時代
第五冊　藤原時代
第六冊　鎌倉時代
第八冊　桃山時代
第九冊　江戸時代
第一〇冊　明治・大正時代

日本美術史概說　上卷　黒田鵬心　昭和二　一　五四九　六三イ

日本風俗畫大成　中央美術社發行　昭和四　函一〇　五六七　一二

第一　奈良平安時代（安田靫彦、松岡映丘編）
第二　鎌倉時代（松岡映丘編）
第三　足利時代（安田靫彦編）
第四　豐臣時代（前田青邨編）
第五　德川時代初期（菊池契月編）
第六　德川時代中期（鏑木清方編）
第七　德川時代後期（平福百穗編）
第八　明治時代（鏑木清方編）
第九　風俗資料　上（伊藤晋、田口鐵次郎編）
第一〇　風俗資料　下　附錄（同社編）

同　函一〇　五六七　二イ

日本風俗史講座　雄山閣發行　昭和四　一〇　三四三　九

第一　原史時代の風俗（高橋健自等）
　奈良朝時代の風俗（江馬務）
　平安朝時代の風俗（芝葛盛）
　平安朝の和歌と風俗（尾上八郎）
第二　鎌倉時代風俗（櫻井秀）
　室町時代の風俗（魚澄惣五郎）
　安土桃山時代の風俗（高柳光壽）
第三　江戸時代の風俗（中村孝也）
　幕末東西風俗觀（尾佐竹猛）
　幕末明治過渡期の風俗（藤井甚太郎）
　武家の儀式（有馬敏四郎）
　民間の儀式（山本信哉）
第四　日本民族史概說（喜田貞吉）
　日本民族の精神生活（藤村作）
　中世農民の生活（中村直勝）
　遊女と若衆（伊藤晋）
　賤民概說（喜田貞吉）
　日本の風土（小田内通敏）
　日本住宅史（田邊泰）
第五　風俗史概論（赤堀又次郎）
　武器武裝（有坂鉛藏）
　明治時代の風俗（藤澤衛彦）
　若者と風俗（中山太郎）
　現代風俗（今和次郎）
　醫者の風俗（富士川游）
第六　婚姻に關する法規風俗（關根正直）
　經濟と風俗（赤堀又次郎）
　通貨と風俗（入田整三）
　交通風俗（樋畑雪湖）
　日本服飾史（江馬務）
　浮世繪に表はれたる風俗（藤懸靜也）
　染織と風俗（明石染人）
　歌舞伎の風俗（伊原青々園）
　日本見世物史考（藤澤衛彦）
第七　白拍子（阪本健一）
　地方の風俗（梅澤和軒）
　琉球風俗史考（伊波普猷）
　臺灣の風俗（西岡英夫）
　朝鮮の風俗（後藤守一）
　冠禮の變遷（關根正直）
　結髮化粧、小間物、履物史（江馬務）
第八　玩具と風俗（西澤笛畝）
　庭園と風俗（龍居松之助）
　信仰と風俗（櫻井秀）
　佛教風俗（鷲尾順敬）
　寺院生活（圭室諦成）
　風俗念佛としての空也及その亞流（藤原猶雪）
　祭禮と風俗（中山太郎）
　南蠻切支丹風俗史（岩生成一）
　迷信（中村古峽）
　日本文明の特質（辻善之助）
第九　繪卷物圖說（同閣編輯部編）
　茶道及香道（今泉雄作等）
　物見遊山（笹川臨風）
　日本遊獵史（龍肅）
　遊戲（有馬敏四郎）
　食膳史話（關根正直）
　誕生日の祝（和田英松）
第一〇　風呂（中桐確太郎）
　日本音樂史（田邊尚雄）
　日本舞踊史（岩橋小彌太）
　能樂史（佐成謙太郎）
　能樂史餘錄（和田萬吉）
　淨瑠璃史要（黒木勘藏）
　江戸趣味（齋藤隆三）
　續江戸趣味（同）

日本佛教聖者傳　日本評論社發行　昭和一〇　六　六六四　一六

第四卷　弘法（高神覺昇）
第五卷　法然（友松圓諦）
第六卷　親鸞（山邊習學）
第八卷　道元（圭室諦成）
第九卷　日蓮（馬田行啓）
第一〇卷　明治高僧傳（增谷文雄）

日本プロレタリア傑作選集　日本評論社發行　昭和五　七　五九六　二四四

第一卷　密偵　他八篇（林房雄）
第二卷　敷設列車　他七篇（平林たい子）
第三卷　赤い湖　他三篇（金子洋文）

第四卷　氷河　他四篇（黑島傳治）
第五卷　暴力團記　他一二篇（村山知義）
第六卷　能率委員會　他五篇（德永直）
第七卷　血　他五篇（岩藤雪夫）
第八卷　太刀打　他五篇（片岡鐵兵）
第九卷　誰が殺したか？（葉山嘉樹）
第一〇卷　セムガ（前田河廣一郎）
第一一卷　蜂起（藤森成吉）
第一二卷　不在地主（小林多喜二）
第一三卷　敵の娘（貴司山治）

冊函號

日本プロレタリア作家叢書　戰旗社發行　昭和四、五　一一　五九八　三〇

第一篇　光と闇（藤森成吉）
第二篇　蟹工船（小林多喜二）
第三篇　五月祭前後（山田清三郎）
第四篇　太陽のない街（德永直）
第五篇　軍隊病（立野信之）
第六篇　阿片戰爭（江馬修）
第七篇　市街戰（橋本英吉）
第八篇　キヤラメル工場から（窪川いね子）
第九篇　鐵の話（中野重治）
第一〇篇　工場細胞（小林多喜二）
第一一篇　綾里村快擧錄（片岡鐵兵）

日本文學講座　新潮社編　昭和四　七　六〇一　一

第一卷　總論
日本文學研究の新意義（藤村作）
語脈より見たる日本文學（吉澤義則）
日本文學の起源（武田祐吉）
日本文學の言語學的考察（保科孝一）
日本文學の唱導的發生（折口信夫）
國語史上の一劃期（春日政治）
國史眼に映ぜる日本文學（平泉澄）
世界に於ける日本文學の地位（野口米次郎）
日本と外國文學・思潮
支那文學と日本文學との交涉（幸田露伴）
日本文學に及ぼしたる歐洲文學の影響（內田魯庵）
佛教と日本文學との交涉（山邊習學）
儒教及び道教と日本文學との交涉（清原貞雄）
基督教と日本文學との交涉（野々村戒三）

第二卷
日本文學と社會生活
日本文學に現れたる社會問題（瀧本誠一）
日本文學に現れたる農民問題（小野武夫）
日本文學に現れたる經濟生活（山本勝太郎）
日本文學に現れたる犯罪問題（尾佐竹猛）
日本文學に現れたる婦人問題（白柳秀湖）
古代及奈良朝時代
古代及奈良朝文學概說（久松潛一）
祝詞及宣命の研究（武田祐吉）
萬葉集研究（折口信夫）
萬葉集研究（澤瀉久孝）
古事記・日本書紀研究（次田潤）
記紀の歌謠（井手淳二郎）
平安朝時代
平安朝時代文學概說（尾上八郎）
竹取物語研究（手塚昇）
落窪・宇津保物語研究（宮田和一郎）
源氏物語研究（島津久基）
源氏物語研究（山岸德平）
堤中納言物語研究（藤田德太郎）

枕草紙研究（窪田空穗）
王朝時代の日記文學（池田龜鑑）
大鏡研究（五十嵐力）
榮華物語研究（和田英松）
今昔物語研究（島田退藏）
宗教讚歌研究（志田義秀）
梁塵祕抄研究（同）
平安朝勅撰和歌集研究（石井直三郎）
古今和歌集研究（尾上八郎）
伊勢物語研究（窪田空穗）

第三卷
鎌倉時代
鎌倉時代文學概說（沼澤龍雄）
山家集研究（齋藤清衛）
新古今和歌集研究（松浦貞俊）
拾遺愚草研究（風巻景次郎）
金槐集研究（齋藤茂吉）
鎌倉時代の宗教文學（松原致遠）
鎌倉時代の日記文學（佐佐木信綱）
鎌倉時代の歌論（久松潛一）
武家時代の歌謠（高野辰之）
方丈記研究（後藤丹治）
戰記物語研究（高木武）
室町時代
室町文學概說（笹川種郎）
大平記研究（魚澄惣五郎）
徒然草研究（中村直勝）
神皇正統記研究（平泉澄）
幸若舞典研究（高野辰之）
謠曲研究（野々村戒三）
狂言研究（林若樹）
武家時代の歌謠（高野辰之）
お伽草子研究（佐成謙太郎）
五山文學研究（笹川種郎）
宗祇を中心とせる室町文學（小島吉雄）

第四卷
江戸時代
江戸文學概說（藤井乙男）
江戸時代の漢詩漢文（佐久節）
南蠻文學研究（新村出）
假名草紙研究（水谷不倒）
古淨瑠璃研究（同）
近松研究（加藤順三）
近松時代物研究（黑木勘藏）
西鶴好色本研究（山口剛）
西鶴町人物・武家物研究（片岡良一）
八文字屋物研究（水谷不倒）
怪異小說研究（山口剛）
洒落本研究（朝倉無聲）
江戸の落語（林若樹）
講談・實錄物研究（三田村鳶魚）
近世の歌論（佐佐木信綱）
近世の諸歌人（同）
狂歌・狂文研究（野崎左文）
雜俳及川柳研究（阪井久良岐）
馬琴研究（藤村作）
馬琴の生涯（和田萬吉）
京傳研究（高須芳次郎）
一九研究（藤村作）
三馬研究（笹川種郎）
爲永春水研究（山口剛）
紀海音研究（黑木勘藏）

南北研究（渥美清太郎）
並木五瓶研究（伊原青々園）
芭蕉研究（太田水穂）
蕉村研究（河東碧梧桐）
一茶研究（勝峰晋風）
太祇研究（穎原退藏）
近世の俳論（樋口功）
江戸文學と遊里生活（尾崎久彌）

第五卷　明治時代

明治文學概說（生田長江）
政治小說研究（齋藤昌三）
寫實主義以前の小說（石川巖）
明治の飜譯文學研究（柳田泉）
明治新詩の展開（日夏耿之介）
明治の短歌（土岐善麿）
明治の俳句（高濱虛子）
寫生文研究（島田青峰）
明治の小說（寫實主義と自然主義）（田山花袋）
社會小說研究（木村毅）
明治の歷史小說研究（柳田泉）
明治の戲曲（長田秀雄）
明治の演劇（松居松翁）
明治大正新劇運動史（中村吉藏）
明治の史論史傳（高須芳次郎）
明治の探偵小說及び大衆物（小酒井不木）
歐化主義・國粹主義の文學（高須芳次郎）
社會史的觀點より觀たる明治文學（平林初之輔）
新聞小說研究（千葉龜雄）
自然主義文學研究（宮島新三郎）
默阿彌研究（岡本綺堂）

高山樗牛研究（高須芳次郎）
尾崎紅葉研究（德田秋聲）
樋口一葉研究（久保田万太郎）
國木田獨步研究（吉江喬松）
森鷗外研究（小島政二郎）
幸田露伴研究（柳田泉）
二葉亭四迷研究（藤森成吉）
夏目漱石研究（森田草平）
正岡子規研究（河東碧梧桐）
小泉八雲研究（田部隆次）

第六卷　特殊研究

百人一首物研究（穗積重遠）
日本文學に現れたる神話（松村武雄）
日本文學に現れたる醫學（高田義一郎）
國語及國字問題の經過（保科孝一）
往來物研究（岡村金太郎）
日本文學の傍系としての琉球文學（伊波普猷）
アイヌ文學研究（金田一京助）
朝鮮文學研究（高橋亨）
日本の童謠童話（西條八十）
連句研究（萩原蘿月）
ローマ字日本語文獻研究（土岐善麿）
少年文學の發達（安倍季雄）
科外講話
藤原文學の背景と環境（楠山正雄）
操芝居の發生と演劇史上の地位（小澤愛圖）
民謠の今と昔（柳田國男）
小說の挿繪から見た菱川師宣（水谷不倒）
元祿以前の花街文學（石川巖）
江戸時代の隨筆と柳里恭（生田春月）

「おらが春」のさし繪（山口剛）
明治の挿繪（鏑木清方）
方言研究と方言文學（東條操）
平安朝に於ける日記の研究（和田英松）
「天狗の內裏」と「イニード」（島津久基）
考古學と古代文獻（濱田青陵）
芭蕉連句の味ひ方（樋口功）
芭蕉の肖像に就いて（萩原蘿月）
江戸文學と浮世繪（織田一磨）
昔話解說（柳田國男）
傾城買の二大派別（三田村鳶魚）

第七卷　鑑賞

芭蕉鑑賞（島崎藤村）
西鶴「五人女」鑑賞（加藤武雄）
今昔物語鑑賞（芥川龍之介）
方丈記鑑賞（正宗白鳥）
飜譯文學鑑賞（宇野浩二）
謠曲詞章鑑賞（能勢朝次）
能樂鑑賞（野口米次郎）
西鶴俳諧鑑賞（佐藤鶴吉）
一茶鑑賞（吉田紘二郎）
大鏡鑑賞（小島政二郎）
源氏物語鑑賞（吉井勇）
萬葉集鑑賞（土岐善麿）
徒然草鑑賞（生田春月）
馬琴鑑賞（近松秋江）
雜錄

日本文學講座　新潮社編　昭和七至九　一五　六〇一

第一卷　日本文學總說

第二卷　日本文學と社會生活
第三卷　古代及奈良時代
第四、五卷　平安時代　上、下編
第六卷　鎌倉時代
第七卷　室町時代
第八至一〇卷　江戸時代　上、中、下編
第一一至一三卷　明治時代　上、中、下編
第一四卷　鑑賞　附　補遺
第一五卷　特殊研究

同　第一、三至五、七至一三卷　一一　六〇一　一ロ

日本文學講座　改造社編　昭和八至一〇　一七　六五四　一

第一卷　概論總說篇
第二卷　民族文學篇
第三、四卷　物語小說篇　上、下
第五卷　隨筆日記篇
第六、七卷　和歌文學篇　上、下
第八卷　俳諧文學篇
第九卷　新詩文學篇
第一〇卷　演劇戲曲篇
第一一卷　明治文學篇
第一二卷　明治大正篇
第一三卷　大正文學篇
第一四卷　大衆文學篇
第一五卷　特殊研究篇
第一六卷　國語文法篇
第一七卷　年表書誌篇

日本文學古註大成　國文名著刊行會發行　昭和九　一四　六七〇　一四

第一　竹取翁物語解（田中大秀）

		册	函	號
	竹取物語考（加納諸平）			
第二	大鏡短觀抄（大石千引）			
	附　大鏡目錄並系圖、小目錄（土肥經平）			
第三	枕草紙春曙抄（杠園抄）（北村季吟標註　岩崎美隆傍註）			
第四	落窪物語證解（笠因直麿）			
第五	土佐日記考證（岸本由豆流）			
	土佐日記創見（香川景樹）			
	土佐日記解（田中大秀）			
	土佐日記舟の直路（橘守部）			
	土佐日記地理辯（鹿持雅澄）			
第六	伊勢物語古註大成（同會編）			
第七	榮花物語古註大成（同）			
第八	大和物語古註大成（同）			
第九	清少納言枕草紙抄（加藤盤齋）			
第一〇	蜻蛉日記解環（坂徵）			
第一一	狹衣物語古註大成（同會編）			
第一二	枕草紙旁註（岡西惟中）			
第一三	榮式部日記註釋（清水宣昭）			
第一四	伊勢物語新釋（藤井高尙）			
日本文學全史	東京堂發行　昭和一〇	三	六二六	一七
卷一	上代文學史　上卷（佐佐木信綱）			
卷七	江戸文學史　上卷（高野辰之）			
卷一〇	明治文學史　上卷（本間久雄）			
日本文學叢書（新釋）	同刊行會發行　大正一三	一	三四五	一三イ
第九卷	平家物語　三版（物集高量校註）			
日本文學叢書（新釋）	同刊行會編　昭和二至五	二	五七四	三
第一輯				
第一至三卷	源氏物語　上、中、下卷（物集高量校註）			
第四卷	竹取物語（內海弘藏、物集高量校註）			
	伊勢物語（同）			
	大和物語（同）			
	落窪物語（同）			
	土佐日記（同）			
	蜻蛉日記（同）			
第七卷	古事記（內海弘藏校註）			
	大鏡（同）			
	水鏡（同）			
第八卷	今鏡（物集高量校註）			
	增鏡（同）			
第九卷	平家物語（物集高量校註）			
第一二卷	奥の細道（同）			
	鶉衣（同）			
	芭蕉七部集（同）			
	蕪村七部集（同）			
第二輯				
第一卷	日本書紀（內海弘藏校註）			
	祝詞及壽詞（同）			
	宣命（同）			
	古語拾遺（同）			
第二卷	狹衣（同）			
	濱松中納言物語（同）			
	堤中納言物語（同）			
	讃岐典侍日記（同）			
	唐物語（同）			
	中務內侍日記（內海弘藏校註）			
第四卷	新古今集（小山龍之輔校註）			
	山家集（同）			
	金槐和歌集（同）			
	新葉集（同）			
第五卷	太平記　上卷（花見朔巳校註）			
第六卷	同　下卷（同）			
	吉野拾遺（同）			
	櫻雲記（同）			
第七卷	御伽草子集（內海弘藏校註）			
第八卷	近代名家文集（同）			
第九卷	近代名家歌集（植松安校註）			
第一〇卷	井原西鶴集（土井重義校註）			
第一一卷	近松門左衞門集（內海弘藏、物集高量校註）			
第一二卷	曲亭馬琴集（內海弘藏校註）			
日本文學大系（校註）	國民圖書株式會社編　昭和二	九	五四三	一
第一卷	古事記（植松安校註）			
	風土記（同）			
	祝詞　附　壽詞（同）			
	宣命（同）			
	高橋氏文（同）			
	日本書紀（同）			
第四卷	宇津保物語（石川佐久太郎校註）			
第五卷	落窪物語（金子彥二郎校註）			
	狹衣（同）			
	住吉物語（註）			
	石淸水物語（同）			
第七卷	源氏物語　下卷（沼波守校註）			
第八、九卷	今昔物語　上、下卷（山岸德平校註）			

		册	函	號
第二一卷	謠曲　下卷（長連恒校註）			
	古拾遺（同）			
第二三卷	本朝文粹（佐久節校註）			
第二四卷	懷風藻（同）			
	凌雲集（同）			
	文華秀麗集（同）			
	經國集（同）			
	本朝續文粹（同）			
日本文學大系（校註）	第一、四、五、七至九、二一、二三、二四、二五卷（總索引）大正一五至昭和三	一〇	五四三	一イ
日本文學大系（校註）	誠文堂發行　昭和七至一〇 普及版	一九	六二九	一三
第一卷	古事記（植松安校註）			
	風土記（同）			
	祝詞　附　壽詞（同）			
	宣命（同）			
	高橋氏文（同）			
	日本書紀（同）			
第二卷	竹取物語（石川佐久太郎校註）			
	伊勢物語（佐伯常麿校註）			
	濱松中納言物語（石川佐久太郎校註）			
	無名草子（金子彥二郎校註）			
	とりかへばや物語（沼波守校註）			
	堤中納言物語（金子彥二郎校註）			
	土佐日記　他一〇（植松安等校）			
第三卷	宇津保物語（石川佐久太郎校註）			
第四卷	落窪物語（金子彥二郎校註）			
第五卷	狹衣物語（同）			
	住吉物語（同）			
	石淸水物語（同）			

第六卷　源氏物語　上、附錄　源氏物語　忍草（沼波守校註）　冊　函　號
第八、九卷　今昔物語集　上、下卷　（山岸德平校註）
第一一卷　榮華物語　（石川佐久太郎校註）
第一二卷　水鏡　（石川佐久太郎校註）
大鏡　（同）
今鏡　（同）
增鏡　（同）
第一三卷　月のゆくへ　（野村宗朔校註）
池の藻屑　（同）
豐鑑　（同）
義經記　（同）
第一六卷　源平盛衰記　下卷　（增子懷永校註）
第一八卷　太平記　下卷　（佐伯常麿校註）
吉野拾遺　（同）
神皇正統記　（同）
第一九卷　お伽草子　他五　（山崎麓校註）
第二〇卷　謠曲　上卷　（長連恒校註）
第二一卷　謠曲　下卷　（同）
古曲拾遺　（同）
第二三卷　本朝文粹　（佐久節校註）
第二四卷　懷風藻　（同）
凌雲集　（同）
文華秀麗集　（同）
經國集　（同）
本朝續文粹　（同）
第二五卷　國文學研究資料　（日本文學大系編輯部編）
國文學研究書目　（同）
和歌索引　（中山泰昌編）
本文索引　（同）

總目錄

日本文學聯講　藤村作編　昭和八　冊　函　號
第一期　上世　四　五三一　八九
第二期　中世
第三期　近世　下
第四期　明治篇

日本文化小輯　日本文化協會發行　昭和一〇　一〇　六六六　二〇一
第一　易學陰陽消長の理より見たる學の維新と日本精神論　（安岡正篤）
第二　祭祀の本領　（星野輝興）
第三　歸依三寶の精神　（金子大榮）
第四　求道　（橋田邦彥）
第五　皇道思想の覺醒　（飯島忠夫）
第六　儒教の領域　（諸橋轍次）
第七　三社託宣の信仰　（河野省三）
第八　我が國家社會の本質　（川合貞一）
第九　神社建築に現れたる日本精神　（伊東忠太）
第一〇　禪と日本人の氣質　（鈴木大拙）

日本標準規格〔解說〕　工政會發行　昭和九　縮版　一　六六三　七九
第二　機械製圖解說　（商工省臨時產業合理局編）

同　一　六六二　七九イ

〔日本貿易協會經濟調査會〕パンフレット
日本貿易協會編　昭和三至五　六　一四、五　二二五
第一篇　產業合理化問題　其一
カルテルと產業合理化運動
第二篇　金解禁實現準備の促進
第三篇　日貨排斥と其對策
第四篇　我對南洋貿易の現狀と其改善策
第五篇　本邦輸出補償制度
第六篇　我對印輸出の現狀と發展策

日本ポルトランドセメント業技術會委員報告　同會編　昭和一〇　二　一四、五　四四二
第二二號ノ一　早强ポルトランドセメント規格案に就て
第二三號ノ二　本邦に於けるコンクリート骨材の調査

〔日本ポルトランドセメント同業會〕パンフレット　昭和九、一〇　同會編　九　一四、五　三六〇
第九號　コンクリート工事の失敗原因と其豫防
第一〇號　豚舍、牛舍、禽舍
第一一號　納骨堂と墓地
第一二號　鐵筋コンクリート橋
第一三號　ラーメン橋（簡易計算法）
第一四、一五號　コンクリート工事の經驗を語る　上、下卷
第一六號　コンクリート百問答
第一七號　用水路、水路橋、樋渠（設計、計算）

日本民族研究叢書　日本民族協會發行　昭和二至五　五　三五三　一六
第一九卷　太平洋太古史上日本民族の誇り　（木村鷹太郎）
第二〇卷　日本民族東漸史　（同）
第二二卷　高千穗の天降の天孫と吾田、鹿葦津姬　（同）
第二三、二四卷　世界の驚異字和島の古代毬歌及び童謠俚謠　上、中　（同）

日本民俗叢書　磯部甲陽堂發行　昭和二、三　一〇　五六〇　二〇一
第一　民俗斷篇　（西村眞次）
第二　民俗と建築　（今和次郎）
第三　江戸情調　（笹川種郎）
第四　染織史考　（明石染人）
第五　島國の唄と踊　（田邊尙雄）
第六　民俗怪異篇　（礒清）
第七　支那の民俗　（永尾龍造）
第八　かくれさと雜考（賣女値段考）　（上林豐明）
第九　信仰と迷信　（富士川游）
第一〇　繪文字及源始文字　（岡崎仁義）

日本名著全集　同刊行會編　昭和二至四　二八　五四五　三二
江戸文藝之部
第一、二卷　西鶴名作集　上、下卷
第三卷　芭蕉全集
第五卷　近松名作集　下卷
第六、七卷　淨瑠璃名作集　上、下卷
第八卷　歌舞伎脚本集
第九卷　浮世草子集
第一〇卷　怪談名作集
第一二卷　洒落本集
第一三卷　讀本集
第一四卷　滑稽本集
第一五卷　人情本集
第一六至一八卷　南總里見八犬傳　上、中、下
第一九卷　狂文狂歌集
第二〇、二一卷　修紫田舍源氏　上、下
第二二、二三卷　膝栗毛　上、下　其他
第二四、二五卷　和文和歌集　上、下

		册	函	號
第二六卷	川柳雜俳集			
第二七卷	俳文俳句集			
第二八卷	歌謠音曲集			
第二九卷	謠曲三百五十番集			
第三〇卷	風俗圖繪集			
同	第一至八、一〇至一九、二二至二八卷		二八	五四五 三三イ
第四卷	近松名作集 上卷			
第一二卷	黃表紙廿五種			
索引				
日本名筆全集	雄山閣發行 昭和五至七		一六〇	三三七 三七九
第一卷	倭漢朗詠集（尾上柴舟編）			
第二卷	短册集（同）			
第三卷	古今集（同）			
第四卷	書狀集（岩橋小彌太編）			
第五卷	高僧名蹟集（高柳光壽編）			
第六卷	詩卷・朗詠集（尾上柴舟編）			
第八卷	金石文集（入田整三編）			
第九卷	色紙集（尾上柴舟編）			
第一〇卷	寫經集（石田茂作編）			
第一一卷	歌切集（尾上柴舟編）			
第一二卷	古文書集（伊木壽一編）			
第一三卷	和漢朗詠集（尾上柴舟編）			
第一四卷	懷紙集（同）			
第一五卷	萬葉古筆集（佐佐木信綱編）			
第一六卷	續書狀集（岩橋小彌太編）			
日本メソヂスト宗教教育叢書	日本メソヂスト日曜學校局發行 昭和六至一〇		六	六〇九 三三九
第一卷	新約聖書研究（松下績雄）			
第三卷	宗教教育の原理（龜德一男）			
第四卷	舊約聖書研究（發展的に見たる舊約文學）（松田明三郎）			
第五卷	イエス・キリスト（原野駿雄）			
第六卷	手工と遊戯の實際（石川義一、西村定淸）			
第九卷	宗教心理學（今田惠）			
如是閑・文藝全集	長谷川如是閑 昭和八		六	六四三 三六
第一、二卷	小說 第一、二			
第五卷	隨筆			
第六卷	題言錄			
第七、八卷	紀行 第一、二			
人情本刊行會〔叢書〕	同會發行 昭和五 再版 大正一五、		六	五四五 二六
第一輯	一刻千金梅の春（爲永春水） 人情本略史（村上靜人）			
第二輯	緣結娛色の糸（松亭金水著 歌川貞重畫） 兒女梛の二葉（志滿山人編） 美譚肝粒志（鼻山人著 英齋泉壽等畫）			
第三輯	契情肝粒志（同著 菱川政信畫） 珍說豹の卷（同著 白水畫）			
第二一輯	薤の花廓宇久爲壽（同著 白水畫） 後編 貞操婦女八賢誌 上（爲永春水著 歌川國直等畫）			
第二五輯	春色連理の梅（梅暮里谷峨著 歌川貞秀等畫） 松間吾嬬の春雨（金龍山人著 歌川國直等畫） 花情仕懸文庫（山東京傳） 晉羽丹七結緣日浮世鏡形（瀨川路考著 溪齋英泉畫）			
第二六輯	阿妻八郎兵衞阿傘六郎兵衞五色潮來艷合奏（式亭三馬著 歌川國貞畫） 夕左衞門霧松に藤屋鑑形（墨春亭梅麿著 歌川景松畫） 采女樣參兄弟丸蒔繪文箱（墨川亭雪麿著 香蝶樓國貞畫） 菊より三勝半七睦月深仲町（鶴屋南北著 歌川國貞等畫） 小勝平三高雪帶締如月（五柳亭德升著 歌川國安畫） 源次郎おゆ遊女初瀨操絲駒引錢（葛葉山人正二著 勝川春亭畫） 里次郎亭畫）			

		册	函	號
人蔘史	朝鮮總督府專賣局發行 昭和九		一	六七六 一四
第七卷	蔘名彙攷篇（今村鞆）			
同			一	六七六 一四イ

ネ

燃料研究所彙報	燃料協會發行 昭和二至九		九	一四、五 一四六ロ
第二號	本邦骸炭工業 附 海外に於ける狀況（新村唯治）			
第三號	石炭の完全瓦斯化及び其方式（同所編）			
第四、五號	低溫乾餾工業 其一、二（伴義定等）			
第六、七號	瓦斯發生爐 其の一、二（內田正次郎等）			
第八號	燃料アルコール（諏訪哲郎）			
第九號	煙道瓦斯計（山崎喜一郎等）			
第一〇號	煖房汽罐の操業調査（同）			
燃料研究所研究報告	同所發行 昭和三至一〇		一〇	一四、五 一四六イ
第四號	泥炭及鋸屑の利用 附 家庭燃料の着火並に燃燒試驗（賀田立二、角田貞治）			
第五號	骸炭の種類と其の性質（大島義淸、新村唯治）			
第六號	瓦斯煖爐の輻射熱に就て 附錄 各種煖爐の輻射熱（黑川眞武）			
第七號	低溫タールの成分に關する研究（同所編）			
第八號	パラフインの結晶に就て（田中芳雄）			
第九號	灰軟化點測定方法に就て 其の一（內田正次郎等）			
第一〇號	本邦褐炭の性狀並に吸濕性（賀田立二）			
第一一號	低溫乾餾用原料としての本邦石炭（伴義定）			
第一二號	燃研式斷熱熱量計（內田正次郎）			
第一三號	石炭粘結狀態及其試驗法（新村唯治）			
第一四號	石炭の粘着成分と骸炭化性（同）			
第一五號	石炭油化の研究 其の一 油化廢瓦斯より水素の回收（竹中寬）			
第一六號	フエノール類の接觸的高壓水素添加 第一報（安東新午）			
第一七號	無煙燃料用煖爐に就て（黑川眞武）			
第一八號	石炭油化の研究 其の二 本邦產各種石炭の油化成績（內田正次郎）			
燃料研究所試驗報告	同所發行 昭和二至五		六	一四、五 一四六
第二號	Tully 瓦斯製造試驗報告（伴義定等）			
第三、四號	乾餾筒を有する瓦斯發生爐試驗報告 第一、二部（內田正次郎等）			
第六號	デイーゼル機關用低溫タール油に就て（諏訪哲郎）			
第七號	家庭用煉炭の硫黃固定試驗（賀田立二、緒方九洲男）			
第八號	褐炭の工業的利用（賀田立二等）			
第九號	連續式石炭低溫乾餾爐の試驗（伴義定等）			
第一〇號	石炭完全瓦斯化試驗（內田正次郎）			

	冊	函	號
燃料研究所報告 同所發行 昭和一〇 〔「研究報告」ト「試驗報告」ノ合併改題〕			
第三〇號 揮發油類のノッキング性 (諏訪哲郎)	二	一四五	四三五
第三一號 揮發油の合成 第一報 (堤繁)			

ノ

	冊	函	號
能樂史料 ゐんや書店發行 昭和八、一〇	三	五九七	四四七
第一編 御世話筋祕曲 (坂元三郎(雪鳥)編)			
第二編 隣忠見聞集 (德田隣忠著 坂元三郎(雪鳥)校)			
第三編 豐高日記 (藤田豐高著 坂元三郎(雪鳥)編)			
農家の知囊 日新堂發行 昭和六至八	五	五九〇	四三六
第六篇 小規模家庶用最新罐詰及壜詰法 (多賀英祐)			
第七篇 販賣用・教材・家庭用蔬菜及果實加工法 (同)			
第一一篇 學校・家庭小溫室の造り方と管理 (中村吉五郎)			
第一二篇 尾張の蔬菜栽培と其の販賣 (渡會喜七)			
第一四篇 蔬菜栽培 (愛知縣農業補習學校編)			
農家副業全集 成美堂發行 昭和九、一〇	九	六三一	五一九
第一、三卷 農業經營と副業 (竹山祐太郎)			
第二、三卷 有利な畜産副業 上、下編 (田口敎一等)			
第五卷 最新の水産副業 (德久三種)			
第六、七卷 割の好い林産副業 上、下編 (中金鋼三等)			
第八卷 儲かる副業農作物 (高橋兵造等)			
第九卷 餘暇に出來る有利な副業漬物 (內海一雄、島田保男)			
第一〇卷 收益の多い農産加工 (小林正一郎、高田敏行)			
第一一卷 副業品販賣のこつ (小平權一監修)			
第一二卷 利益の確實な果樹 (德安健太郎等)			
第一三卷 手輕な農家細工物 (吉仲武之等)			
第一四卷 これからの林産加工 (中金鋼三、大國三郎)			
第一五卷 副業本位の罐詰壜詰 (永野健)			
農業教育パンフレット 農業教育研究會編 昭和九	一	二九一	九二
第一 作業教育概論 (北澤種一)			
第二 實習指導に就いての心理的考察 (青木誠四郎)			
第三 農業教育論 (松井謙吉)			
第四 畜産に關する諸問題 (岩住良治)			
第五 合成アンモニヤ及び之より製造せらるゝ新肥料に就て (麻生慶次郎)			
第六 現下に於ける肥料の趨勢を論じて自給肥料の奬勵に及ぶ (同)			
第七 教育學及教授法 (佐々木秀一)			
第八 現代教育思潮と農業教育 (日田權一)			
第九 果樹園に於ける最近の諸問題 (淺見與七)			
第一〇 果實及蔬菜の荷造法 (藤卷雪生)			
農業實行叢書 昭和七、一〇	二	六三五	二
第一 有畜農業經營法 牛馬篇 (田村新八)			
第二 實地經濟肥料施用法 (鶴田萬平)			
農業世界叢書 博文館發行 昭和八、一〇	四	六五一	一五
第一 高山植物培養法(實驗—) (吉田留作)			
第二 蔬菜果樹害蟲(豫防—驅除—) (駒村作次郎)			
第三 農家の經濟更生(自力—本位—) (木村靖二)			
第五 海外移民案內 (早速鎭夫)			
第六 滿蒙移住案內 (同)			
第七 農村繁榮策 (田畑爲彥)			
農業叢書 大日本農會發行 昭和九至一〇	五	六六六	三六
第一輯 栗の栽培と輸出 (大澤仲三)			
第二輯 無花果の栽培法 (井村憲人)			
第三輯 副業養豚 (永田厚平)			
第四輯 鏃の白痢病豫防法 (中村哲哉)			
第五輯 收益の多い茄・胡瓜・南瓜の早熟栽培 (安藤安孝)			
農山村副業叢書 大日本山林會發行 昭和七至一〇	六	三一八	五六八
第一輯 山村の副業 (川添孝藏編)			
第二輯 胡桃の栽培 (絲川祿)			
第三輯 山野の遺利萱茅の利用 (農林省山林局編)			
第四輯 コルクガシ栽培とコルクの利用 (三浦伊八郎)			
第五輯 油桐の栽培 (同)			
第六輯 山茶及び茶梅と椿油 (大國三郎)			
第七輯 銀耳(白木耳)栽培法 (三村鐘三郎)			
第八輯 桐樹栽培法 (木暮藤一郎)			
農事試驗場報告 同場編 昭和二、四	五	三九	一
第四六號 大麥の芒長及び穗長の遺傳形式を論じ其遺傳單位の量的支配價の算出に及ぶ (竹崎嘉徳)			
第四七號 亞硫酸瓦斯の植物に及ぼす障害作用に就て (米丸忠太郎)			
第四八號 蒟蒻腐敗病に關する研究 (平田榮吉)			
第四九號 ライシメータの試驗成績 (岩田武司)			
第五〇號 本邦に於ける主要飼料の榮養價値に關する試驗 (片山外美雄、後藤寛助)			
農政叢書 刀江書院發行 昭和二	三	五四八	二五
第四輯 チャヤノフ小農經濟の原理 (磯部秀俊、杉野忠夫譯)			
第五輯 德川時代百姓一揆叢談 上、下 (小野武夫編)			
同 昭和二	一	五四八	二五イ
第二輯 日本村落史考 再版 (小野武夫)			
農村更生叢書 日本評論社發行 昭和八至一〇	二八	六三〇	三
第一 農村更生の原理 (本位田祥男)			
第二 農村社會事業 (賀川豐彥)			
第三 農業金融と農家負債整理 (小平權一)			
第四 農村人口問題と移植民 (永田稠)			
第五 産業組合の諸問題 (千石興太郎)			
第六 農村の衞生と醫療 (南崎雄七)			
第七 蠶絲業經濟 (永井治良)			
第八 農村社會教育 (關屋龍吉)			
第九 農業團體の統制 (東浦庄治)			
第一〇 農産物價格統制 (東畑精一)			
第一一 農村更生と青年教育 (田澤義鋪)			
第一二 耕地整理と土地改良 (有働良夫)			
第一五 農産製造の原理と實際 (高橋偵造、坂口謹一郎)			
第一六 木材と木炭 (渡邊全)			
第一七 我國の畜産 (村上龍太郎)			
第一八 農村更生の原理と計畫 (岡田溫)			
第一九 農村家屋の改善 (今和次郎)			
第二〇 土壤と肥料 (麻生慶次郎)			
第二一 農村の體育運動 (岩原拓)			
第二二 農村更生と養鶏 (高橋廣治)			

	冊	函	號
第二三　篤農青年體驗記錄（福島繁三編）			
第二四　農林行政（石黑忠篤）			
第二五　農村非常時と農民道の眞髓（山崎延吉）			
第二六　農業保險の理論と實際（四宮恭二）			
第二七　保育事業と農繁託兒所（山中六彦）			
第二八　品種改良法（宗正雄）			
第二九　更生農村（北楯村の實情）（今井善兵衞）			
第三〇　立體農業の理論と實際（賀川豐彦、藤崎盛一）			
農村叢書　新潟縣農會發行　昭和四至七	八	五九〇	一九九
第二輯　農村部落小團體（部落農區）の理論と實際　上（三富美代治編）			
第三輯　肥料の新しき事柄（林忠昭）			
第六輯　養鷄の手引（增田久雄）			
第七輯　農村問題の諸相（同會編）			
第八、九輯　農家の副業的養魚法　上、下（新潟縣水産試驗場編）			
第一〇輯　綜合的農業經營と水田裏作（新潟縣農事試驗場佐渡分場編）			
第一一輯　新農村の建設策と協同の實際（同會編）			
農村問題解說叢書　協調會發行　昭和八、九	五	六三〇	一三
第一輯　或國に於ける農業委員會制度の話（下河部良佐）			
第二輯　農業保險の話（齋藤榮一）			
第三輯　農村生活改善の話（高橋雅介）			
第四輯　農家負債整理の話（同會編）			
第五輯　副業を中心に觀たる農村工業化の話（齋藤榮一）			
農村問題叢書　日本青年館發行　昭和七至九	一	三七三	六三三
第一輯　農村金融問題（牧野輝智）			
第二輯　農産物價格問題（東畑精一）			
第三輯　農村行政問題（頼山政道）			
第四輯　農業多角經營問題（東浦庄治）			
第五輯　村と共働（小野武夫）			
第六輯　農村人口問題（戸田貞三）			
第七輯　農村保健衞生問題（南崎雄七）			
第八輯　農業金融問題（小平權一）			
第九輯　新農村の建設（中澤辨次郎）			
農村問題大系　日本評論社發行　昭和三至九	五	五四八	八
第一編　農村社會問題（那須皓）			
第六編　農村經濟の諸問題（近藤康男）			
第七編　農業土地問題（橋本傳左衞門）			
第一一編　小作問題（氣賀勘重）			
第一二編　農村教育（小出滿二）			
農民叢書　武藤藏之助發行　昭和五至一〇	四	六三三	二八
第二篇　米麥篇（米麥增收法）（岩槻信治）			
第三篇　蔬菜篇（市川實太郎）			
第四篇　果樹篇（同）			
第九篇　病蟲篇（鍬塚喜久治）			
農務局報　農林省農務局編　昭和二至四	一四	一四二	三七三
第四九號　蔬菜及果樹栽培の狀況			
第五〇號　園藝要覽			
第五一號　麥其の他穀物要覽			
第五二號　肥料要覽			
第五三號　豆類要覽			
第五四號　世界主要國に於ける化學肥料の需給狀況			
第五六號　肥料要覽			
第五七號　穀物檢査事業要覽　第四、五號			
第五八號　茶業要覽			

	冊	函	號
第五九號　麥其の他穀物要覽			
第六〇號　豆類要覽			
第六一號　穀物檢査事業要覽　第五號			
第六二號　肥料要覽			
第六三號　主要食糧農産物改良增殖奬勵事業			
第六四號　蔬菜及果樹の種苗に關する調査			
農林省指定肥料施用方法改善試驗成績報告　香川縣立農事試驗場發行　昭和一〇	一	七三一	六九
第一號　土壤中に於ける有機物の效果に關する試驗成績（第一報）（高崎卷之）			
農林省指定肥料施用方法改善試驗成績報告　廣島縣立農事試驗場發行　昭和九	一	六二八	一三九
第一號　水稻に對する加里肥料の效果に關する試驗成績（第一報）（松木五樓、荒木正美）			
野村財界研究叢書　野村證券株式會社調査部編　昭和五	五	五三九	三七
第五輯　經濟界景氣變動の研究　下册			
第九輯　經濟界の觀測法			
第一〇輯　動態經濟の諸問題			
第一一輯　統計的産業經營法			
第一二輯　財界診療の方法			
野村實學叢書　野村證券株式會社調査部編　昭和二三	一	五七四	四
第一輯　國際經濟現象の研究			
第三輯　經濟實學の研究　上卷			
第五輯　アモン經濟學說紹介及び研究　國民厚生學　上卷			

	冊	函	號
同　第五輯　野村證券株式會社調査部發行　昭和二、三	一	五七四	四
野村放資研究叢書　野村證券株式會社調査部編　昭和二至五	六	五四八	七二
第三輯　不景氣時代の研究			
第四輯　放資の仕方			
第五輯　モラトリアム後の我財界			
第七輯　各國金解禁の實例から見たる我國金解禁の影響			
第九輯　我國主要産業の諸構成　附　金解禁の影響			
第一〇輯　日本經濟の合理化			
八			
俳諧草紙　市橋鐵　昭和九、一〇	三	六五三	二五二
その一　芋塚と西行堂との話			
その二　丈艸遺蹟めぐり　鄕土の卷			
その三　俳諧人物篇			
俳句講座　改造社編　昭和七、八	一〇	六一〇	一二七
第一卷　史的研究篇			
第二卷　俳風評傳篇			
第三卷　概論作法篇			
第四卷　俳論俳文篇			
第五卷　鑑賞評釋篇			
第六卷　俳書解說篇			
第七卷　特殊研究篇			
第八卷　現代結社篇			
第九卷　俳人評傳篇			
第一〇卷　地方俳史篇			

俳句作法講座　改造社發行　昭和一〇　冊 三　函 六八七　號 一七三

第一卷　俳句の基礎觀念（志田義秀）
入門俳諧史（淺田善二郎）
子規以後現代俳句の諸傾向（山本梅史）
芭蕉の名句（飯田蛇笏）
蕉門の名句（吉田冬葉）
蕪村の名句（河東碧梧桐）
一茶の名句（荻原井泉水）
歴代俳人の名句（萩原蘿月）
子規の名句（島田青峰）
子規以後の句解（矢田挿雲）
現代の名句（水原秋櫻子）
現代の名句（山口青邨）
第二卷　俳句の精神（寺田寅彦（吉村冬彦））
季題概論（勝峰晋風）
子規以後季題觀念の變遷（山口誓子）
現代の季題觀（水原秋櫻子）
俳句文法概說（福井久藏）
切字の意義と用法（伊東月草）
誤り易き文法（服部畊石）
俳句の修辭（吉岡禪寺洞）
俳句の形式研究（白田亞浪）
音律的分解、リズムの效用（相良守次）
俳句用語の史的研究（石井庄司）
新傾向俳句（安齋櫻磯子）
自由律俳句（荻原井泉水）
入門俳諧史（淺田善二郎）
第三卷　俳句の成立要素（松瀨青々）
作法概說（島田青峰）
人事俳句（青木月斗）
風景句作法（水原秋櫻子）
動植物句作法（飯田蛇笏）
題詠句作法（池内たけし）
畫讃作句法（室積徂春）
句作經驗を語る（星野麥人等）
添削實例（原石鼎）
實例整形外科室（本田一杉）
句會について（池内たけし）
吟行について（富安風生）
婦人と俳句に就て（長谷川かな女）
色紙短冊書法（伊藤松宇）

俳句評釋選集　非凡閣發行　昭和九、一〇　冊 六　函 六七三　號 八
第一卷　芭蕉名句評釋（島田青峰）
第二卷　蕪村名句評釋（河東碧梧桐）
第三卷　一茶名句評釋（勝峯晋風）
第四卷　子規名句評釋（青木月斗）
第五卷　古今名句評釋（矢田挿雲）
第六卷　自由律俳句評釋（荻原井泉水）

拜經堂叢書　東方文化學院京都研究所發行　昭和一〇　冊 一〇　函 三一　號 一九
拜經日記
經義雜記
盧氏禮記解詁
新譯大方廣佛華嚴經音義
詩經小學
宋爾雅
漢書音義
六藝論

三禮目錄
蔡氏月令章句

俳人眞蹟全集　平凡社發行　昭和五至一〇　冊 九　函 一五三　號 八三
第二卷　談林時代（野田別天樓編）
第三卷　芭蕉（幸田露伴編）
第四卷　元祿時代　上（巖谷小波編）
第五卷　元祿時代　下（勝峰晋風編）
第六卷　享保時代（笹川臨風、勝峰晋風編）
第七卷　蕪村（河東碧梧桐編）
第九卷　天明時代　下（志田素琴編）
第一〇卷　一茶（荻原井泉水編）
第一一卷　化政時代（石田元季編）

ハイネ全集　學藝社發行　昭和八、九　冊 四　函 六五一　號 三〇
第三卷　ロマンツエーロー（譚詩集）（吹田順助譯）
第六卷　紀行（行旅斷想）（木村謹治等譯）
第七卷　サロン　第一（上村清延等譯）
第一二卷　雜纂　第三（高橋健二等譯）

俳風柳多留　第六一編　柳多留刊行會編　昭和七　冊 一〇　函 一二〇　號 一七九
俳風柳多留　上、中、下卷　西原柳雨校（岩波文庫五五七—五六二）　昭和五　冊 二　函 五六九　號 一四

俳文學大系（校註）　同刊行會編　昭和四、五　冊 一三　函 五六六　號 五九
第一卷　七部集總覽編　第一
第二卷　作法編　第一、二
第三、四卷　註釋編　第一、二
第五卷　七部集總覽編　第二
第六卷　俳文編
第七卷　紀行編
第八卷　隨筆編
第一〇卷　俳論編
第一一、一二卷　七部集總覽編　第三、四

方言叢書　中國民俗學會發行　昭和八至一〇　謄寫版　冊 七　函 六五三　號 八一
第一篇　小豆島方言（桂又三郎）
第二篇　長崎縣西彼杵郡樺島方言（小川信一）
第三篇　和歌山縣日高郡農具繪圖（桂又三郎編）
第四篇　西美作方言集（岡崎忠志）
第五篇　岡山方言（島村知章）
第六篇　宮詣言葉の掃溜（柴田虎吉）
第七篇　現全國妖怪辭典（佐藤清明）

防災科學（普及講座）　岩波書店發行　昭和一〇　冊 五　函 六五〇　號 三一五
第一卷　風災
颱風（堀口由巳）
颱風（藤原咲平）
時化（岡田武松）
暴風警報（藤原咲平）
落雷・降雹・旱手・龍卷（寺田一彦）
避雷法及び感電救助法（密田良太郎）
漁船暴風避航法（小金丸增次郎）
船舶暴風避航法（淺井榮資）
第二卷　震災
地震　第一部（和達清夫）
地震　第二部（坪井忠二）
山崩、地辷、陷沒など（宮部直巳）

冊函號

火山（津屋弘逵）
耐震及び耐風家屋（齋田時太郎）
震災避難心得（今村明恒）
地震時化學藥品の扱ひ方（大島義清）
第三卷 水災と雪災
津浪（高橋龍太郎）
波浪（鈴木雅次）
高潮（關口鯉吉）
大雨（西村傳三）
洪水（富永正義）
雪崩（黑田正夫）
水難（石榑千亦）
津浪・高潮避難心得（今村明恒）
大雪（岡田武松）
第五卷 火災
火災の科學（中村清二）
火災と氣象（鈴木清太郎）
火災と建築（內田祥三）
山火事（田中八百八）
船火事（須川邦彥）
火災原因（緒方惟一郎）
防火對策（同）
消火器（大島義清）
消防知識（松井茂）
第六卷 諸災
災害時の心理（速水滉、天野利武）
災害地變による負傷者の救急處置（茂木藏之助）
山の危險と遭難の防止（松方三郎）
交通災害（吉江勝保）

冊函號

化學兵器（丹羽利男）
化學工場・化學實驗室等に於ける危險物質（望月喜三雄）
鑛山の災害（山口六平）
工場傷害防止（武田晴爾）
工場火災（色川三男）
邦人活躍の南洋 宮下琢磨 四版 昭和七 一 五五六 三五八イ
繃帶學提要 柳壯一 再版 昭和三 一 五四 六七イ
同 訂四版 昭和一〇 三三七頁 一 五四 六七ロ
防犯科學全集 中央公論社發行 昭和一〇 三 六八二 一〇五
第四卷 强力犯篇（同社編）
第五卷 智能犯篇（飯澤高、村上常太郎）
第七卷 少年少女犯篇（鈴木賀一郎）
女性犯篇（尾後貫莊太郎）
保歷閒記（新校群書類從第二〇卷雜部ノ內 昭和四） 五八四 五
同（群書類從第二六輯雜部ノ內 昭和四） 五八三 一四
白隱和尙全集 同編纂會編 昭和九、一〇 八 六五四 四八
第一卷 龍澤開祖神機獨妙禪師年譜因行格
獨妙禪師年譜補註
荊棘叢談
壁生草
寶鑑貽照
龍澤創建東嶺慈老和尙年譜
開山至道無難主禪師行錄
卽心記
自性記
正受老人崇行錄
第二卷 荊叢毒藁
荊叢毒藁拾遺
息耕錄開筵普說
息耕錄評唱剩語
第三卷 評唱龍寶開山國師語錄拙語
槐安國語標目
槐安國語開筵垂示
槐安國語
槐安國語骨董稿
第四卷 寒山詩闡提記聞
寒林聆寶
隻手音聲
第五卷 布鼓
再驍布鼓
假名因緣法語
遠羅天釜
遠羅天釜續集
寶鏡窟之記
於仁安佐美
藪柑子
夜船閑話
邊鄙以知吾
さし藻草
八重葬
第六卷 兎專使稿
禍來逃女
壁訴訟
假名葬
おたふく女郎粉引歌
主心お婆々粉引歌
施行歌
安心法興利多々記
大道ちよぼくれ
子守唄
草取唄
善惡種蒔鏡和讚
坐禪和讚
孝道和讚
寢惚之眼覺
毒爪牙
杖山百韻
四智辨
藻鹽集
讚語
雜纂
鵠林尺牘
第七卷 退養雜毒海
宗門無盡燈論
宗門無盡炬論願力辨
五家參詳要路門
東嶺和尙法語快馬鞭
自笑錄
要行開山靈源和尙遺錄
開山靈源和尙法語雜集
寶藏萬藏塔
爛柯柴
扶宗大綱禪師斯經和尙遺稿
願心道場旨趣

	冊	函	號
圓桂祖純禪師語錄			
九峰和尚語錄			
拾遺			
白秋全集 北原白秋 昭和四至九			
第一至四卷 詩集	一八	五九八	三六
第五、六卷 歌集			
第七、八卷 歌謠集 第一、二			
第九至一一卷 童謠集			
第一二、一三卷 詩文集			
第一四卷 小說集			
第一五卷 紀行文集			
第一六、一七卷 詩論集			
第一八卷 童謠論集			
博文館叢書 同館發行 昭和四至六			
第一至三卷 源氏物語 上、中、下			
第四至六卷 萬葉集略解 第一至三册 (加藤千蔭)	二	五六八	三五七
第七卷 芭蕉句選年考 (石河積翠園)			
第八卷 竹取物語			
伊勢物語			
土佐日記			
枕草紙			
紫式部日記			
第九卷 濱松中納言物語			
更科日記			
とりかへばや物語			
第一〇卷 落窪物語			
住吉物語			
堤中納言物語			
徒然草			
第一一卷 萬葉集略解 第四册 (加藤千蔭)			
冠辭考 (賀茂眞淵)			
幕末明治**新聞全集** 明治文化研究會編 昭和九、一〇			
第一、二卷 文久より慶應まで	五	六七七	一〇
第三卷 慶應四年、明治元年			
第四卷 慶應四年より明治三年まで			
第五卷 明治元年より明治三年まで			
函館叢書 紅茶倶樂部等發行 大正一二至昭和三			
第二册 大函館論 (阿部覺治)			
第四册 函館駐劄獨逸領事ハアバア氏遭難記 (岡田健藏)			
第五册 露西亞文化と函館 (同編)			
第六册 函館の史蹟と名勝 (同)			
第七册 ジョン、ミルン博士の生涯 (同)			
第八册 海產市場の本質と其振興策 (阿部覺治)			
函館圖書館叢書 同館發行 昭和三至一〇			
第一編 學校と圖書館 (竹林熊彦)	八	二七八	一四七
圖書の力 (田中敬)			
米國議院圖書館の漢籍について (植松安)			
佛蘭西國立圖書館に就いて (山田珠樹)			
文字の心理學的考察 (佐久間鼎)			
第二編 第一册 秩父宮妃殿下と會津の教育 (木村定三)			
第二册 津輕海峽と生物の分布 (佐々理宣造)			
第三編 駒ケ嶽噴火概觀 (根本鹿記)			
第七編 教育勅語と漢文に現はれたる「王」 附 日本學制論 (齋藤哲郎)			
第八編 カルルスバート市民より函館市に贈られたる版畫 (同館編)			
第九編 日本人の智能問題 (池田菊左衛門) 他一			
第一〇編 獨逸學生氣質 (齋藤與一郎)			
第一一編 嗚呼瓦全の僕(卅七、八年戰役從軍回想錄) (藤村駒藏)			
附錄 日露戰爭關係圖書目錄 (同館編)			
哈事資料 滿鐵哈爾濱事務所發行 昭和三至五	一	五七九	一五五
第一 東支鐵道職業組合の現狀 (同所編)			
第二 北滿に於ける土器の製造と其販路 外三 (同)			
第三 北滿への移民數と其分布 他一 (同)			
第四 呼海沿線經濟事情 附 密山縣經濟事情 (門野良造、宮本知行)			
第五 北滿及哈爾賓の工業 (スウリン著 同所譯)			
長谷川昭道全集 信濃毎日新聞社發行 昭和一〇	二	六八九	九八
上卷 皇道逃義 (同人)			
九經談總評說 (同)			
下卷 戶隱會遺稿 (飯島忠夫編)			
長谷川昭道事蹟資料 (同會編)			
長谷川昭道研究の概觀 (小西謙)			
八高短歌會年刊歌集 同會編 昭和二至一〇	五	五六八	一二〇
第二編 栂の木			
第三編 香燈			
第七編 歌畑樹			
第八編 菜黃の花			
第一〇編 菱唱			
八聖殿講演集 第一輯 日本講演通信社編 昭和九	一	六六三	二九
哈調資料 滿鐵哈爾濱調査課發行 昭和二	四	一四、五	八五
第二二號 北滿の勞働運動 (弓場慶吉編)			
第二三號 北滿主要都市商工概覽 (同課編)			
第五六號、政治的方面呼倫貝爾事情(同)			
第五七、五八號 齊々哈爾背後地調査報告 其一、二 (同課(堀內竹次郎)調編)			
羽仁もと子著作集 同人 昭和二至八	一七	五六六	九
第一卷 人間篇			
第二、三卷 思想しつゝ生活しつゝ 上、下			
第四、五卷 惱める友のために 上、下			
第六卷 家事家計篇			
第七卷 夫婦論			
第八卷 子供讀本			
第九、一〇卷 家庭教育篇 上、下			
第一一卷 若き姉妹に寄す			
第一二卷 半生を語る			
第一三卷 續思想しつゝ生活しつゝ			
第一四卷 續惱める友のために			
第一五卷 信仰篇			
第一六卷 みどりどの心			
第一七卷 家信			
附 故郷の父母へ (羽仁惠子)			
羽仁もと子著作集 同人 再版 昭和三至七	一四	五六六	九イ

第一卷　人間篇　冊函號
第二至四卷　思想しつゝ生活しつゝ　上、中、下
第五至七卷　惱める友のために　上、中、下
第八卷　夫婦論
第九卷　家事家計篇
第一〇、一一卷　家庭教育篇　上、下
第一二卷　子供讀本
第一三卷　若き姉妹に寄す
第一四卷　半生を語る

帚木叢書　帚木の會發行　昭和八至一〇　四　六五一　一八
第四、五篇　帚木年刊歌集　第二、三　（同會編）
第六篇　猪名野　（加藤時也）
第七篇　歌集野芹　（前川かよ子）

母、師、僚に贈る禮拜と教育　大森輝喜　昭和八　一　二五三　六六四

法學論集（十周年記念）　東北帝國大學法文學部編　昭和九　一　六四九　一八八
法を對象とする學問　（廣濱嘉雄）
慣習法の法源性　（橋本文雄）
刑法と意志の自由　（久禮田益喜）
混合仲裁裁判所と個人の國際法上の地位　（田岡良一）
職能代表主義を論ず　（佐藤丑次郎）
Anliegerrecht に就て　（柳瀨良幹）
債權契約の二大型　（石田文次郎）
不眞正連帶債務に就いて　（勝本正晃）
無形損害に關する一小研究（フランスに於ける判例法的發展）
（中川善之助）
荷渡指圖證論　（小町谷操三）

冊函號
危險と保險法　（伊澤孝平）
外國金錢債務の辨濟　（賀方正雄）
デュギーに於ける法思想の發展　（中井淳）
德川時代武家家族法の構成に就いて　（高柳眞三）
中世イタリイにおけるローマ法の運命（註釋學勃興前の狀況）
（栗生武夫）

法帖書論集　中村不折編　昭和八至一〇　帖一三　二六　八四
第一　原石鋏十七行本十七帖
初搨十七帖の研究及口譯
第二　弘法大師書集
附　弘法大師の書法源流
第三　魏晉唐小楷法帖
附　魏晉唐小楷の研究（解說）
第四　魏晉唐小楷法帖の續　複製
新疆と甘肅出土の寫經
附　新疆と甘肅の探險、印度
第五　潘本淳化法帖　第八　複製
附　淳化秘閣法帖考
第六　蘭亭及法帖概覽　複製
蘭亭考及法帖概說
第七　法帖概覽續及殷文周篆　複製
附　支那上代書史
第八　東周及石鼓文
東周文字並石鼓、隸草史
附　澄清堂帖考
第九　漢碑之研究　上、下
附　蔡邕考
第一〇　秦碑之研究、漢碑之形制

法帖臨書手本集成　興文社發行　昭和八至一〇　一三　二六　七八
第一　臨陌智永楷書千字文　手本付　（上田順臨書）
第二　臨晉王羲之蘭亭叙・牛截碑　手本付　（桑原翠邦臨書）
第三　臨節本十七帖　手本付　（田代秋鵬臨書）
第四　臨九成宮醴泉銘　手本付　（藤本竹香臨書）
第五　臨褚遂良行書千字文　手本付　（同）
第六　臨孫過庭書譜　手本付　（桑原翠邦臨書）
第六　臨孫過庭書譜　續　手本付　（同）
第七　臨本繼色紙・素性集　手本付　（比田井小琴臨書）
第八　臨大字麻姑仙壇記　手本付　（田代秋鵬臨書）
第九　臨魯相韓勅造孔廟禮器碑　手本付　（藤本竹香臨書）
第一〇　臨孟法師碑　手本付　（桑原翠邦臨書）
第一一　臨智永草書千字文　手本付　（上田順臨書）
第一二　臨伊都內親王願文　手本付　（鈴木翠軒臨書）

法律學叢書　有斐閣發行　昭和一〇　一　三七九　五
第三二篇　刑法研究　第五卷　（牧野英一）

同　昭和二至八　三　三七九　五イ
第二〇、二九編　刑法研究　第三、四卷　（牧野英一）
第二六編　刑法における法治國思想の展開　（同）

法律進化論叢　穗積陳重　昭和三至六　四　五七四　二六
第一冊　神權說と民約說
第二冊　祭祀及禮と法律
第三冊　慣習と法律
第四冊　復讐と法律

バルザック全集　河出書房發行　昭和九、一〇　一四　六七六　七
第一卷　人間戲曲總序　（太宰施門譯）
ゴリオ爺さん　（重野紹一郎、坂崎登譯）
第二卷　ユルシュウル・ミルエ　（神部孝譯）
アデイユ　（新庄嘉章譯）
第三、四卷　地方生活場景幻滅　上、下卷　（太宰施門等譯）
第五卷　セザアル・ビロトオの盛衰物語　（芹澤光治良、新庄嘉章譯）
第六卷　プチ・ブルジョア　（芹澤光治良譯）
第七卷　現代史の裏面　（和田顯太郎譯）
無神論者の彌撒　（秋田滋譯）
社會綱領　（山田珠樹、市原豐太譯）
第八卷　暗黑事件　（小西茂也譯）
捨てられた女　（新城和一譯）
第九卷　木苑黨　（小林龍雄譯）
第一一卷　田園生活場景村の司祭　（吉江喬松、恒川義夫譯）
第一三卷　哲學的研究神秘の書　（河盛好藏等譯）
第一四卷　シャベエル大佐　（堀口大學譯）
ゴブセック　（內藤濯譯）
知られざる傑作　（水野亮譯）
僞りの愛人　（淀野隆三譯）
戰をやめた「メルモット」　（前川堅市譯）
第一五卷　エーヴの娘　（武林無想庵譯）
不老長壽の祕藥　（難波浩譯）
フアチーノ・カーネ　（和田顯太郎譯）

財布（須川彌作譯）　冊函號

ピエール・グラスウ（高山峻譯）

「こんと・どろらていく」より（神西清譯）

哲學的研究　カトリーヌ・ド・メヂシス（鈴木信太郎等譯）

第一六卷

哈爾濱商品陳列館パンフレット　同館發行　昭和九　三　一四、五　三六四

第一七六號　昭和七年哈爾濱商況（同館編）

第一七七號　昭和八年哈爾濱商況（寺田孫次編）

第一七八號　經濟上より觀たる海拉爾（同館編）

萬有科學大系　伊藤靖編　大正一五至昭和六　一四　五四〇　六九

正篇　第二、六卷、索引

續篇　第一至一〇卷、索引

萬有科學大系　新光社發行　昭和六至八　普及版　二〇　六一四　一一一

正篇

第一卷　天體と宇宙（山本一清）

第二卷　地球（松山基範）

地球の歷史（早坂一郎）

人間（石川千代松）

第三卷　科學總論（永井潛）

生物の相互關係（內田亨）

遺傳（寺尾新譯）

進化論（石川千代松）

第四卷　植物（三好學）

植物の分類（本田正次）

第五卷　動物（內田亨等）

第六卷　人體生理（上野一晴）

食物と榮養（永井潛）

第七卷　岩石と鑛物（渡邊萬次郎）

バクテリア（竹內松次郎）

第八卷　物理（石原純）

第九卷　化學（伊藤靖、貴志二一郎）

藥學（伊藤靖）

第一〇卷　海洋（野滿隆治、內田惠太郎）

氣象（國富信一）

第一一卷　地理（綱島定治、佐々木彥一郎）

第一二卷　人類及び人種（鳥居龍藏）

續篇

第一卷　化學工業（永井彰一郎、西澤勇志智）

第二卷　電氣化學工業及窒素固定工業（內田俊一）

化學工學（友田宜孝）

染料と染織（菱山衡平）

第三卷　農學（稻垣乙丙等）

家畜（橋本重郎）

第四卷　林業（上原敬二）

水產（內田惠太郎）

第五卷　鑛業（宮崎虎一）

窯業（永井彰一郎）

第六卷　寫眞（鎌田彌壽治）

活動寫眞（石動弘）

印刷（矢野道也）

第七卷　磁氣と電氣（三枝彥雄）

機械（內田浩、東條喜一）

第八卷　ラヂオ（稻田三之助）

電信・電話（同）

第九卷　建築（岸田日出刀、大岡實）

庭園と公園（田村剛）

第一〇卷　都市計畫（石原憲治）

築港（鈴木雅次）

第一一卷　道路（牧彥七）

橋梁（成瀨勝武）

第一二卷　上下水道（草間偉）

水力電氣（森忠藏、野口誠）

第一三卷　發動機（內藤邦策）

航空機（同）

第一四卷　自動車（同）

鐵道（米澤政治郎）

第一五卷　兵器（青木保）

第一六卷　船舶（山本武藏）

第一七卷　醫學（杉田直樹、平松壽平）

第一八卷　體育學（吉田章信）

實驗心理學（增田惟茂）

社會衞生（暉峻義等）

同　正篇　第九卷　昭和七　一　六一四　一一一

萬有知識文庫　非凡閣發行　昭和九　四九　六六四　一

第一一　一般金融の知識（栗栖赳夫）

第一二　銀行金融の知識（太田黑敏男）

第一三　國家財政の知識（永田清）

第一四　貨幣の知識（服部文四郎）

第一五　租稅の知識（鈴木憲久）

第一六　簿記と會計の知識（芳野國雄）

第一七　政治の知識（喜多壯一郎）

第一八　國際外交の知識（芦田均）

第一九　社會問題の知識（加田哲二）

第二〇　婦人問題の知識（金子しげり）

第二一　勞働問題の知識（園乾治）

第二二　マルクシズムの知識（井原紀）

第二三　憲法の知識（松本重敏）

第二四　刑法の知識（岡田朝太郎）

第二五　會社法の知識（栗栖赳夫）

第二六　各國軍備の知識（大井成元）

第二七　國防の知識（竹內榮喜）

第二八　生絲と人絹の知識（福本福三）

第二九　米と肥料の知識（吉田諒藏）

第三〇　ソヴエト・ロシアの知識（昇曙夢）

第三一　南米の知識（桑原忠夫）

第三二　滿蒙の知識（金璧東）

第三三　獨逸文學の知識（山岸光宣）

第三四　佛蘭西文學の知識（豐島與志雄）

第三五　和歌入門の知識（窪田空穗）

第三六　俳句入門の知識（高濱虛子、池內たけし）

第三七　育兒と榮養の知識（津田博通）

第三八　家庭療病の知識（萩原良一郎）

第三九　妊婦及婦人病の知識（石崎仲三郎）

第四〇　性及性病の知識（長濱鑿）

美容と衞生の知識（石崎仲三郎）

美容の知識（宮崎三郎）

藥の知識（有馬賴寧）

農村問題の知識（大谷美隆）

婚姻法、相續法の知識（大谷美隆）

株式と相場の知識（小汀利得）

英文學の知識（十一谷義三郎）

ロシヤ文學の知識（昇曙夢）

宗教入門の知識（井川定慶）

國際外交の知識（芦田均）

家庭教育の知識（志垣寬）

食糧問題の知識（高木友三郎）

第四一　貿易と爲替の知識（木村增太郎）
第四二　新兵器の知識（佐藤清勝）
第四三　空中戰の知識（生田乃木次）
第四四　胃腸療病の知識（堀内信）
第四五　綿絲と綿布の知識（濱野恭平）
第四六　アメリカ產業の知識（大山卯次郎）
第四七　哲學入門の知識（松原寛）
第四八　結核療病の知識（高田重正）
第四九　血壓療病の知識（藤井靜雄）

萬有文庫　潮文閣發行　大正一五至昭和三　三四　五四五　五三

第一卷　神曲　上卷（ダンテ著　河原萬吉等譯）
第二卷　神曲　天國篇（同）
　　詩集（同）
　　新生（同）
第三卷　種の起原（ダーウイン著　三宅驥一譯）
第四卷　西鶴撰集（好色一代男、好色五人女、好色一代女）
　　（井原西鶴）
第五卷　ドン・キホーテ（セルヴンテス著　矢口達譯）
　　カラマゾーフの兄弟　下卷（ドストエーフスキイ著　矢口達譯）
第六卷　社會契約論（ルソウ著　河原萬吉譯）
第八卷　青い鳥（メーテルリンク著　河原萬吉譯）
　　ペレアスとメリサンド（同）
第九卷　社會學上よりみたる藝術（ギユヨー著　北昤吉譯）
第一〇卷　戰爭と平和　上卷（トルストイ著　河原萬吉等譯）
第一一卷　同　下卷（トルストイ著　北昤吉譯）
第一二卷　老子（和田萬吉監修）
第一三卷　デカメロン　上卷（ボツカチオ著　河原萬吉譯）
第一四卷　同　下卷（同）

冊函號

第一五卷　昆蟲記（ファーブル著　三宅驥一譯）
　　サロメ（ワイルド著　三宅驥一譯）
第一六、一七卷　源氏物語　上、下卷（和田萬吉監修）
第一八卷　人口論（マルサス著　河原萬吉譯）
第一九卷　死の勝利（ダヌンチオ著　河原萬吉等譯）
第二〇卷　ファウスト（ゲーテ著　北昤吉譯）
第二一卷　意志と現識としての世界　上卷（ショーペンハワー著　河原萬吉譯）
　　伯爵令孃（ストリントベルク著　島村民藏譯）
第二二卷　意志と現識としての世界　下卷（ショーペンハワー著　三宅驥一譯）
第二三卷　シエークスピア物語（ラム著　河原萬吉譯）
第二四卷　春のめざめ（ヴエデキント著　河原萬吉譯）
　　地靈（同）
　　負けた人（シユミツト・ボン著　河原萬吉譯）
第二五、二六卷　フランス革命　上、下卷（カアライル著　河原萬吉譯）
第二七卷　ボヴリイ夫人（フロオベエル著　河原萬吉等譯）
第二八卷・二九卷　イリアード（ホオマア著　河原萬吉譯）
第二九卷　相互扶助論（クロポトキン著　河原萬吉譯）
第三〇、三一卷　カラマーゾフの兄弟　上、中卷（ドストエーフスキー著　矢口達譯）
第三二卷　女の一生（モウパツサン著　河原萬吉譯）
第三三卷　居酒屋（ゾラ著　河原萬吉譯）
第三五卷　マルクスの資本論（カウツキー著　北昤吉編）
第三六卷　萬葉集（和田萬吉監修）

萬有文庫　文藝社編　昭和三至五　一九　五六九　九七

一　カント哲學物語
二　戀愛の進化
三　マルクス資本論物語
四　聖書の要領
五　西洋傑作笑話
六　現代歐洲哲學物語
七　性とエデンの園
八　心の不思議
一〇　西洋獨占ひ
一一　雄辯術
一二　株式取引の話
一三　議會解散と普選
一四　笑の心理學
一五　ユーモア傑作集
一六　日本神話
一七　希臘羅馬神話
一八　接吻の歷史と技巧
一九　美人になる秘話
二〇　性の常識
二一　結婚の歷史
二二　戀愛物語
二四　モダン・ガール物語
二五　幽靈物語
二六　星のローマンス
二七　理想鄕物語
二九　人類の起源
三〇　百人一首早取法
三一　ネルソン
三二　メツテルニヒ
三三　セシルローズ
三四　カイゼルウヰルヘルム
三五　ウエリントン

輓近應用化學實驗叢書　中文館發行　昭和七、八　二　六一五　三三

第一編　簡易化粧品の作り方（藤井勇美）
第二編　簡易香料及香水の作り方（同）

輓近高等數學講座　共立社發行　昭和四、五　一三　六一五　二

第一　數學概論（梶島二郎）
　　東西數學史（三上義夫）
第二　算術（藤野了祐）
　　三角法（關口雷三）
第三　高等代數學（阿部八代太郎）
第四　行列式（田中正夫）
　　方程式論（渡邊秀雄）
　　無限級數概論（國枝元治）
第五　平面立體幾何學（秋山武太郎）
　　畫法幾何（同）
第六　近世綜合幾何學（高須鶴三郎）
第七　解析幾何學（坂井英太郎）
第八　微分積分學（渡邊孫一郎）
第九　力學通論（濕美正）
第一〇　確率論及ビ其ノ應用（龜田豐治朗）
　　工業數學（梶島二郎）
第一一　整數論初步（國枝元治）
　　集合論初步（辻正次）
　　實變數函數論初步（吉田洋一）
　　群論初步（竹内端三）
第一二　函數論初步（同）
　　微分幾何學初步（河口高次）

	冊	函	號
微分方程式初步（坂井英太郎）			
數學雜談（高木貞治）			
第一三　雜錄（編輯部編）			
輓近高等數學講座　共立社發行　昭和八至一〇　新修版	二七	六五四	九
第一卷　數學雜談（高木貞治）			
第二卷　近世數學史談（同）			
第四卷　方程式論（問谷力）			
第六卷　初等整數論（國枝元治）			
第七卷　平面三角法（關口雷三）			
球面三角法（關口雷三）			
第八卷　平面幾何學（秋山武太郎）			
第九卷　立體幾何學（森本清吾）			
第一〇卷　解析幾何學（坂井英太郎）			
第一三卷　函數概論（竹內端三）			
第一四卷　無限級數概論（國枝元治）			
第一五卷　群論（竹內端三）			
第一六卷　整數論及ビ代數學（末綱恕一）			
第一七卷　微分方程式論（吉江琢兒）			
第一九卷　積分方程式論（竹內端三）			
第二二卷　實變數函數論概要（吉田洋一）			
第二三卷　複素變數函數論（辻正次）			
第二四卷　解析雜論（同）			
第二五卷　連續群論（三村征雄）			
第二六卷　幾何學基礎論（中村幸四郎）			
第二七卷　立體解析幾何學（中川銓吉）			
第二八卷　座標幾何學概論（森本清吾）			
第二九卷　非ゆうくりつど幾何學（同）			
第三〇卷　平面代數曲線論（西內貞吉）			
第三一卷　微分幾何學（河口商次）			
第三三卷　初等幾何學特論（筧田忠彥）			
第三四卷　確率論（渡邊孫一郎）			
第三五卷　力學通論（濕美正）			
輓近化學叢書　共立社發行　昭和六、七	五	四七	六三六
第一　無機定性分析（木村健二郎）			
第二　無機化學（石川總雄）			
第三　生物物理化學（野村七錄）			
第四　化學平衡論（箕作新六）			
第五　生化學（左右田德郎）			
輓近初等數學講座　共立社發行　昭和七	七	六一五	二二
第一卷　初等數學概要（國枝元治）			
數學史叢話（三上義夫）			
第二卷　算術（岩間綠郎）			
代數（同）			
第三卷　平面幾何（杉村欣次郎）			
立體幾何（秋山武太郎）			
第四卷　平面三角法（鈴木一郎）			
高等代數學階梯（阿部八代太郎）			
第五卷　幾何學餘講（柳原吉次）			
高等數學初步概要（坂井英太郎）			
統計學初步（成實清松）			
工業數學一班（久米哲一郎）			
第六卷　商業數學一班（小幡孫三）			
用器畫法一班（佐藤良一郎）			
力學初步（濕美正）			
第七卷　科外講話（同社編）			
和算史雜觀（同）			
和英數學用語集（同）			

	冊	函	號
輓近數學叢書　共立社發行　昭和二、三	二	五四二	一七三
第二編　級數論（大石喬一）			
第三編　代數學概論（田中正夫）			
輓近物理學叢書　共立社發行　昭和六	四	四六	三六一
第一　光學機械論（山田幸五郎）			
第二　一般天文學（平山清次）			
第三　音樂理論（田邊尙雄）			
第四　幾何光學（山田幸五郎）			
販賣組合調査委員會資料　產業組合中央會發行　昭和二	一	一四五	二〇五
第一　生絲販賣組合に關する資料（同會編）	一	一四、五	二〇五イ
同	一〇	一四、七	五六八
判例大完　法學研究會編　昭和七、八			
第一卷　民法總則、債權			
第二卷　物權、擔保物權、土地建物借地借家並登記法			
第三卷　親族、相續、戶籍法、人事訴訟法			
第四卷　民事訴訟法、執行			
第五卷　商法、商事特別法			
第六卷　會社法、手形法			
第七卷　刑法總則、刑法各論、特別刑法令			
第八卷　刑事訴訟法、陪審法、少年法			
第九卷　憲法、行政行爲、行政救濟、地方自治制、稅制、選擧法			
第一〇卷　民事關係特別法、破產法、和議法、工業所有權法、郵便貯金法、通信法、交通法			
判例體系　啓法會發行　昭和七至一〇	一五	一四、七	五七三
第一　民法總則編　上、下（入江眞太郎等編）			
第二、三　民法物權編　上、下（片山通夫、上田操編）			
第五、六　民法債權編　總論　上、下（奥野健一、横田正俊編）			
第七至九　民法債權編　各論　上、中、下（瀨崎憲三郎等編）			
第一〇、一一　民法親族編　上、下（白方一等編）			
第一二　民法相續編（白方一等編）			
第一三　商法總則編（佐々木良一、奥野健一編）			
商法商行爲編（島保、及川德助編）			
第一四、一五　商法會社編　上、下（入江眞太郎等編）			
第一六　商法保險編（小藤六郎、山崎一郎編）			
商法海商編（關宏二郎、堀內信之助編）			
〔彥根高等商業學校〕調査研究　同校調査課發行　昭和六至一〇	一三	五七九	五一二
第一輯　開校五周年記念近江商人史料展覽會出品目錄（同課編）			
第二輯　近江商人の活躍に就いて（菅野和太郎）			
第三輯　長濱縮緬の賣出と其の障碍（同）			
第四輯　明治維新後に於ける近江商人落魂の原因に就いて（同）			
第五輯　中央卸賣市場に於ける卸賣業者の單複制度と賣場制度（原田博治）			
第六輯　中央卸賣市場の機能と其の組織（同）			
第七輯　大阪の商業と近江商人（菅野和太郎）			
第八輯　商人の漁業家化―北海道の開發と近江商人（同）			
第九輯　德川時代の匿名組合（同）			

		冊	函	號
第一一輯	中央卸賣市場に於ける卸賣業者の單複制度と市營制度（原田博治）			
第一二輯	南米に於ける羅甸民族植民の進路及其の特質に就いて（田中秀作）			
第一三輯	松前暖寒地に於ける近江商人の活動と其の沒落原因（太刀川利男）			
第一四輯	冷藏庫を論じて中央卸賣市場に及ぶ（原田博治）			
第一五輯	植民地理の內容に就いて（田中秀作）			
	南米のABC國（同）			
第一六輯	近江商人と開國當初の外國貿易（菅野和太郎）			
第一七輯	カリビアンアメリカの經濟地理的考察（田中秀作）			
第一八輯	中世の近江商人（菅野和太郎）			
第一九輯	近江商人と地方金融（同）			
第二〇輯	紀州家名目金（同）			
第二一輯	我國の商工階級と歸化人（同）			
第二二輯	滿洲國の地域的發達と其の經濟區（田中秀作）			
第二三輯	德川時代の商人カルテル（菅野和太郎）			
	明治維新と近江商人（同）			
第二四輯	東阿の新市場エテイオピア（田中秀作）			
第二五輯	職業調査に關する若干の問題（岡崎文規）			
第二六輯	尾州家名目金（近江商人の金融力）（菅野和太郎）			
第二七輯	滿洲國に於ける熱河省の地位に就いて（田中秀作）			
第二八輯	職業分類に就いて（岡崎文規）			
第二九輯	我が國民の向外性と植民地理教育（田中秀作）			
第三〇輯	德川時代の經濟と文化（菅野和太郎）			
第三一輯	糶糴賣買の發展史的考察（原田博治）			
第三二輯	南洋に於ける日本の經濟的進出（田中秀作）			
第三三輯	減價消却の經營經濟的性質（山下勝治）			
第三四輯	職業紹介所の機能（岡崎文規）			
第三五輯	日露貿易の回顧と展望（桑原晋）			
第三六輯	商業教育の分野（矢野貫城）			
第三七輯	天災と我國の經濟（菅野和太郎）			
第三八輯	家族統計の範圍に就いて（岡崎文規）			
第三九輯	信樂陶業の起源と製品の變遷（松本雅男）			
尾三鄕土史料叢書	愛知縣教育會編　昭和七至一〇　謄寫版	九	六二六	五
第一編	明治十五年愛知縣郡町村字名調			
第二編	尾陽雜記			
第三編	三河國古蹟考（羽田野榮木）			
第四至六編	參河國名所圖繪　上、中、下卷（夏目可敬）			
第七至九編	尾張徇行記　上、中、下（樋口好古）			
非常時國民全集	中央公論社編　昭和八、九	七	六五四	一四
第一	海軍篇			
第二	外交篇			
第三	經濟篇			
第四	陸軍篇			
第五	產業篇			
第六	生活篇			
第七	航空篇			
美術叢書	同刊行會發行　昭和五	七	五九七	二三四
第一卷	日本版畫史（ザイドリツツ著　蘇武綠郎譯）			
第二卷	日本美術史（デイツク著　姑射良（若水）譯）			
第三卷	西洋美術史（石井直三郎譯）			
第四卷	埃及美術史（ペトリー著　石山徹郎譯）			
第五卷	印度美術史（アナンダ・クーマラスワミ著　岩崎眞澄譯）			
第六卷	印象派繪畫史（柳澤健譯）			
第七卷	後期印象派と立體派繪畫史（エツデイ著　久米正雄譯）			
美人畫全集（現代作家—）	鏑木清方編　昭和六、七	五	六一四	一三五
	日本畫篇　上、中、下卷			
	洋畫篇　上、下卷			
同	日本畫篇　中、下卷、洋畫篇　上卷	三	六一四	一三五イ
碑法帖大觀（昭和新選—）	寧樂書道會發行　昭和一〇　複製	七	三〇〇	四四
第一輯				
第二卷	興福寺斷碑　附　蘭亭二種（同會編）			
第三卷	漢蕩陰令張遷碑（同）			
第四卷	孟法師碑　附　古樹賦（褚遂良書）			
第五卷	王右軍草書帖（王羲之書）			
第六卷	周宣王石鼓文（同會編）			
第七卷	大唐三藏聖教序（同）			
第八卷	孔子廟堂之碑（虞世南書）			
第九卷	智永眞蹟千字文（智永書）			
第一〇卷	六朝墓誌三種（同會編）			
被服常識叢書	被服協會發行　昭和七、八	四	六三一	四八
第七輯	被服の徵と其豫防法（同會編）			
第八輯	染色物の選び方（同）			
第九輯	被服地質の選び方（內藤豐三郎）			
第一〇輯	家庭染色法（上田柳子）			
第一一輯	皮革及毛皮の常識（横山薫、瀨下精一）			
被保險者福祉問題資料	簡易保險局編　昭和五至九	五	六〇四	一〇六
第三輯	國民保健政策			
第七輯	結核療養所設計の根本原則及其の具體案			
第八輯	ソルバツケン結核療養所			
第九輯	米國に於ける兒童保健施設（同局譯）			
第一〇輯	結核死亡率に關する諸考察			
第一一輯	フラーミンガム保健運動及結核撲滅事業（アームストロング著　同局譯）			
第一二輯	生命保險被保險者福祉問題資料			
評判講談全集	第一至一二卷　昭和五至六　大日本雄辯會講談社編	一二	五〇五	七五
平賀源內全集	平賀源內先生顯彰會編　昭和七、九	二	六一〇	一七五
上卷	物類品隲			
	會藥譜			
	紀州產物志			
	火浣布略說			
	陶器工夫書			
	根無草			
	風來六六部集			
	放屁論			
	痿陰隱逸傳			
	飛んだ噂の評			

	冊	函	號
天狗髑髏鑒定緣起			
里のをた卷			
お千代傳			
蛇蛻青大通			
力婦傳			
飛花落葉			
佛法菩提樹の辨			
奇瑞志道軒傳			
風流志道軒傳			
金の生木			
日本創製寒熱昇降器			
潯貞五百介圖序			
安永八年十月初旬伊豆七島の山燒灰のふりたる折の戲文			
藥品目錄			
文書			
日記			
下卷　神靈矢口渡			
源氏大草紙			
弓勢智勇湊			
嫩葉相生源氏			
前大平記古跡鑑			
忠臣伊呂波實記			
矢口荒御靈新田新德			
後日荒御靈新田新德			
靈驗宮戸川			
實生源氏金王櫻			
病名補遺序			
番椒譜			
俳諧三十棒			
里笑草			
石の枝折			

	冊	函	號
畑苗代の傳・米麥種子撰の傳・田畑土燒竈雛形圖			
和歌一首			
七言絕句一首			
東都藥品會引札			
高松藩祿仕拜辭願			
安永七年細註暦			
そしり草			
里鶯風語			
世の中善惡鑑			
平田篤胤全集 内外書籍株式會社發行 昭和七至九	九	六三五	五
第一至四卷　古史傳　第一至四（上田萬年等編）			
第七卷　神道、道教　第一（平田盛胤等編）			
第八卷　道教　第二　附　神仙（上田萬年等編）			
第九卷　儒道佛道　第一（同）			
第一〇卷　佛道　第二（平田盛胤等編）			
第一二卷　天文　附　歲時、暦術　第一（上田萬年等編）			
廣島を繞る山の研究 登山史蹟　第二輯　結城次郎、磯貝勇　昭和六	一	五七七	一四三
廣島縣水產試驗場報告 第六、八、一一卷　昭和六至九　同場編	三	一四二イ	五四四
備後叢書 備後鄉土史會發行 昭和三至一〇	一三	五七七	六二
第一至三卷　備陽六郡志　第一至三（宮原直倭編）			
第四卷　藝備國郡志（黑川道祐）			
三原めぐり（木原尙房編）			
鞆記（荻野重富）			
行水之記（同）			
草戸記			
あくた川のまき			
鞆浦志（吉田利、日野此介）			

	冊	函	號
備後古城記			
第五卷　西備名區　初卷（深津郡、安那郡）（馬屋原呂平著　得能正通校）			
第六卷　西備名區（品治郡、甲奴郡、神石郡）（同）			
第七卷　西備名區（沼隈郡、奴可郡、惠蘇郡）（同）			
第八卷　西備名區（葦田郡、三次郡、三上郡、三谿郡、世羅郡、御調郡）（同）			
第九卷　西備名區（卷一至一一、名區略例、姓氏略例）（同）			
第一〇卷　尾道志稿（龜山士綱著　得能正通校）			
第一一卷　藝備風土記（勝島翼齋（惟恭）著　得能正通校）			
藝備風土記增補（澤井常四郎補）			
古戰場備中府志（平川親忠著　得能正通校）			
備中府志後談鈔（平川親敷著　得能正通校）			
第一二卷　增補三原志稿（青木充延著　澤井常四郎補正誤（第五至九卷）（同會編）			

フ

	冊	函	號
フアブル科學知識叢書 アルス發行 昭和二	二	五二七	七三
第三　田園の惡戲者（フアブル著　宮島賣夫譯）			
第四　化學工業の話（フアブル著　安谷寬一譯）			
フイリップ全集 同人 昭和四、五	三	五九六	一三六
第一卷　小さな町、短篇物語集、若き日の手紙、ペルドリ爺さん（小牧近江等譯）			
第二卷　シャルル・ブランシヤアル、マリ・ドナデイユ、母への手紙、野鴨雜記（吉江喬松等譯）			
第三卷　母と子、ビュビュ・ド・モンパルナス、クロキニヨル、哀れな四つの戀物語（山内義雄等譯）			
深田康算全集 同人 昭和五、六	四	三九九	二三
第一卷　プラトーの美學			
アリストテレスの藝術論			
フィロストラトスの「構想力」			
ライプニッツと美學			
カントの「判斷力批判」に就て			
シルラーが美學上の効績			
カント「判斷力批判」			
第二卷　最近美學講話			
感情移入美學に就て			
リップス教授の美學			
感情移入美學に對する一つの批評			
感情移入說非難概括			
感情の心理と美學			
美の研究			
美的假象			
美學の基礎に就ての考察			
形の問題			
美の具象性			
美學に於ける形式の問題			
ロッツェの美學			
第三卷　美學と藝術學			
藝術論の種々			
古い藝術觀と新しい藝術觀			
模倣としての藝術			
藝術上の眞			

	冊	函	號
藝術の本質に就て			
藝術一般			
第四卷　藝術哲學としての美學			
藝術の理解			
「藝術創作の心理」序文			
人生に於ける藝術の意義			
藝術批評			
客觀的批評と印象的批評			
藝術に於ける個性の表現と客觀的價値			
美術批評の意義			
美術史上の基礎概念としてのルネサンスとバロック			
小說の一つの見方			
悲劇に固有なる快感			
滑稽			
文藝上の眞			
劇作家への注意			
見ゆる世界			
繪畫と其の內容			
自然美に就て			
美術に於ける裝飾的要素			
所謂新しい畫と古い畫			
美術家と公衆			
製作と理論			
藝術家の藝術論			
ヘッベルの美學			
グローセ「藝術の始源」序文			
ロダンの藝術觀			
ロダンの遺言			
キンケルマンに就て			
フィヒテの生涯			
思想家としてのシルラー			
美しき魂			
道德的美			
宗教と美術			
自問自答			
目の色			
ハンス・カルエルの指環			
印象派の重鎭モネー			
ドガの「鐘姬」			
知られざる傑作			
うづまき			
小山鼎浦を懷ふ			
アミエルの日記の一節			
ケーベル博士論文集（獨文）			
蕗原拾葉　上伊那郡教育會編　昭和一〇	一	三〇三	一九八
第一輯　參考信濃宮傳　（中邨元恒校）			
異本信濃宮傳			
滋野親王外傳　（富岡知明）			
小平物語　（小平向右衞門）			
木曾傳記			
副業參考資料　農林省農務局編　昭和二至七	六	一四二	四五二
第二〇　本邦輸出向副業品の海外に於ける取引狀況並支那產芝麻、蒟蒻荒粉及竹製品に關する概況			
第二一　主要市場に於ける草履表の取引狀況調査			
第二二　主要市場に於ける眞綿の取引狀況調査			
第二三　東京市場及大阪市場に於ける生豚及生兎の取引狀況、橫濱市場及神戶市場に於ける兎毛皮の取引狀況			
第二四　副業に關する團體調査			
第二五　主要市場に於ける主なる輸出副業品の取引狀況調査			
第二六　北海道に於ける藁工品の取引並生產狀況			
第二七　主要都市に於ける蒟蒻及凍豆腐の取引狀況調査			
第二八　主要市場に於ける杞柳製品の取引狀況			
小樽市場に於ける竹及竹細工の取引狀況調査			
第二九　主要市場に於ける山葵の取引狀況調査			
第三三　農漁村の勞力移動狀況調査			
第四一　杞柳皮利用製紙試驗成績			
第四二　東京に於ける藁工品取引狀況調査			
復古記　太政官編　昭和四至六	一五	一四、九	一二
第一冊　慶應三年十月至明治元年二月			
第二冊　明治元年二月至同年三月			
第三冊　明治元年三月至同年四月			
第四冊　明治元年四月至同年閏四月			
第五冊　明治元年閏四月至同年五月			
第六冊　明治元年五月至同年七月			
第七冊　明治元年七月至同年九月			
第八冊　明治元年九月至同年十月			
第九冊　伏水口戰記、東海道戰記			
第一〇冊　東海道戰記、房總戰記			
第一一冊　東叡山戰記、東山道戰記、北陸道戰記			
第一二冊　北陸道戰記、奧羽戰記			
第一三冊　白河口戰記、平潟口戰記、越後口戰記			
第一四冊　越後口戰記、蝦夷戰記			
第一五冊　綱文、索引	一五	一四、九	二イ
同　福澤先生誕生百年記念論文集　理財學會編　昭和一〇	一	六七八	一〇七
福澤先生の社會思想　（高橋誠一郎）			
福澤先生の「瘠我慢の說」（小泉信三）			
福澤先生に對する追憶　（氣賀勘重）			
商品の二要素及び商品に含まれたる勞働の二重性に就て（田中昌司）			
マルクスかワルラスか　（勞働價値說と平衡理論）（遊部久藏）			
アフタリオンの爲替相場理論とその基礎理論　（西澤正）			
貨幣本質論上に於ける國定學說管見　（增山瑛之助）			
地租改正の意義　（田沼榮）			
わが國農村經濟の基本構造　（森五郎）			
英國產業革命に就いて　（服部洵）			
日本インフレーションとオープン・マーケット・オペレーションに關する一考察　（永峰正樹）			
米支兩國間に於ける「銀問題」（田村彰雄）			
日本貿易の近狀　（大島輝考）			
N・R・Aと勞働階級　（兒玉東一）			
纖維工業に於ける女工の地方的移動に關する一考察　（鈴木揚次郎）			
我國火災保險料率に關する若干の考察　（荒木勇）			
布教百科大辭典　三井晶史、菅原法嶺編　昭和八至一〇	一〇	六五四	六
第一　布教用語辭典			
第二　美談逸話辭典			
第三　因緣說話辭典			
第四　譬喩道話辭典			
第五　奇談笑話辭典			
第六　金言聖語辭典			
第七　故事俚諺辭典			

第八　式辭文範辭典　冊函號
第九　布教歌謠辭典
第一一　現代知識辭典

武相叢書　石野瑛校　昭和四至一〇

史料編
第一編　亞墨理駕船渡來日記　七
第二編　金川砂子　附　神奈川史要　五九三
第三編　相模大山緣起及文書　一九
第四編　小田原及箱根史料
第五編　横濱文書及石川家史稿
考古篇
第一編　考古集錄
第一　論考說話及武相踏査雜記
第二編　考古集錄
第二　相模中部遺蹟及史蹟調査記

同　史料編　第一、四編　昭和四、七　一　五九三　一九イ

婦人講座　社會教育協會編　昭和七至一〇　三　五一雜　四五

第二四篇　女性の行路　（三輪田元道）
第二五篇　傳統の流行と合理　（今和次郎）
第二六篇　婦人と文藝　（千葉龜雄）
第二七篇　婦人と氣象　（藤原咲平）
第二九篇　獨逸の家庭教育　（前田不二三）
第三〇篇　婦人と經濟　（前田繁一）
第三一篇　女子公民講座　（三輪田元道）
第三二篇　西洋の音樂　（牛山充）
第三三篇　住宅の知識　（佐藤功一）
第三四篇　女子と日常作法　（甫守謹吾）
第三五篇　婦人の特性　（杉浦直樹）
第三六篇　榮養と食物　（藤卷良知）
第三七篇　家庭經濟の合理化　（森本厚吉）
第三九篇　女性の惱み　（河崎なつ）
第四〇篇　婦人と俳句　（長谷川かな女）
第四二篇　非常時日本と婦人の內助　（穗積重遠）
第四三篇　日本女性物語　（小泉長三）
第四四篇　新女性和歌讀本　（生田蝶介）
第四五篇　女性と手紙　（河井酔茗）
第四六篇　夫婦の道　（渡邊英一）
第四七篇　遺傳の話　（石川千代松）
第四八篇　臺所の改良と設計　（木檜恕一）
第四九篇　齒牙と全身病　（岡浪之助）
第五〇篇　婦人と犯罪　（高田義一郎）
第五一篇　家庭と電氣　（大山松次郎）
第五二篇　お米の科學　（中澤辨次郎）
第五三篇　室內裝飾の話　（小澤省三）
第五四篇　織物の知識　（西田博太郎）
第五五篇　家庭と購買組合　（藤田逸男）
第五六篇　新女性道講話　（友松圓諦）
第五七篇　婦人と美容醫學　（林熊男）
第五九篇　榮養と美味と經濟　（櫻井省三）
第六〇篇　人形と教育　（西山哲治）
第六一篇　釋尊と家庭　（蘆谷蘆村）
第六二篇　食中毒の話　（柿沼三郎）
第六三篇　四季折々の魚　（田中茂穗）
第六四篇　水の知識　（松田良身）
第六五篇　英米の婦人氣質　（同會編）

婦人公論大學　中央公論社編　昭和六、七　二四　六〇九　一九七

第一篇　職業篇
第二篇　戀愛篇
第三篇　結婚篇
第四篇　住宅篇
第五篇　スポーツ篇
第六篇　家庭醫學篇
第七篇　社會科學篇
第八篇　料理篇
第九篇　音樂篇
第一〇篇　服飾篇
第一一篇　美容科學篇
第一二篇　政治經濟篇
第一三篇　育兒篇
第一四篇　最新科學篇
第一五篇　美術篇
第一六篇　結婚準備篇
第一七篇　手藝篇
第一八篇　演劇、映畫篇
第一九篇　社交篇
第二〇篇　裁縫篇
第二一篇　近代文學篇
第二二篇　家庭生活篇
第二三篇　編物篇
第二四篇　婦人問題篇

舞臺叢書　舞臺社發行　昭和六至九　四　六一三　七八

第一卷　歌舞伎談義　（岡本綺堂）
第二卷　女優奈々子の審判　（小林宗吉）
第三卷　大村嘉代子戲曲集　（同人）
第四卷　夕霧供養　（額田六福）

武道全集　平凡社發行　昭和九、一〇　四　六五二　一三

第一卷　武道極意　（鈴木禮太郎）
第二卷　劍道及劍道史　（高野弘正）
第四卷　弓道及弓道史　（浦上榮、齋藤直芳）
第五卷　日本刀及日本刀史　（原田道寬）

藤井武全集　同人　昭和六、七　一　六一三　四〇

第一、二卷　羔の婚姻　上、下
第三卷　豫言研究
聖書より見たる日本
第四卷　創世研究　他四
第五卷　詩篇研究
ダビデ研究
舊約雜考
第六卷　イエス傳研究
第七卷　ロマ書研究
哲學研究
神學研究
第八卷　信仰生活　他二
第九卷　樂園喪失　（ミルトン著　藤井武譯）　附　ミルトン研究
第一〇卷　ルーテル論
ルーテルの生涯及び事業　（リンゼー著　藤井武譯）
第一一卷　學生時代、官吏時代、新生、柏木時代、永遠の希望

藤井博士全集　藤井健治郎　昭和七、八　九　六一五　一九

第一卷　倫理學方法論
倫理學說研究

第二卷　主觀道德學要旨
第三卷　倫理學原論
第四卷　正義の研究
　　國家の倫理
第五卷　第一分册　倫理と經濟
　　第二分册　マルキシズム批判
第六卷　國民道德論
第七卷　倫理と教育、日本特有道德の研究
第八卷　現代思潮批判
　　自然の世界から理想の世界へ

	册	函	號
	九	六一五	一九イ

同

ブックス・アバウト・ブックス叢書　庄司淺水　昭和五至八

第一　書物の敵	四	六一三	一四
第二　書物の話			
第三　愛書狂の話（フローベル著　庄司淺水譯）			
第四　典籍隨筆　蠹魚無駄話			

佛教研究叢書　大東出版社發行　昭和七、八

第一　根本佛教概觀（宇井伯壽）	一〇	六一九	二四
第二　日本佛教發達概觀（境野黃洋）			
第三　佛教が要求する宗教生活（宇野圓空）			
第四　親鸞聖人の信念の底に流るゝ神ながらの道（曉鳥敏）			
第五　維摩經の文學（加藤咄堂）			
第六　淨土教の實踐法（梅原眞隆）			
第七　佛教哲理の發達（加藤精神）			
第八　生活と一枚の宗教（倉田百三）			
第九　念佛生活の論理的根據（本莊可宗）			
第一〇　科學と宗教（海野三朗）			

佛教宗教哲學　廣瀨文豪　昭和七

	一	六〇九	三七三

佛教思想大系　大東出版社發行　昭和六至一〇

第一卷　佛教研究法（境野黃洋）	九	六一五	一四
第四卷　佛教哲學（椎尾辨匡）			
第五卷　佛教論理學（宇井伯壽）			
第九卷　佛教文學（山邊習學）			
第一二卷　佛教の法律思想（長井眞琴等）			
第一四卷　佛教神話（小野玄妙）			
第一六卷　弘法大師の思想と宗教（神林隆淨）			
第一七卷　法然上人の思想と宗教（前田聽瑞）			
第二〇卷　日蓮聖人の思想と宗教（馬田行啓）			

佛教信仰實話全集　大東出版社發行　昭和五至七

第二卷　南都六宗篇（同社編）	二三	六〇二	一五
第三卷　天台篇（二宮守人）			
第四卷　眞言篇（高見寬應）			
第五卷　淨土篇　上（大野法道）			
第六、七卷　淨土篇　中、下（山邊習學）			
第八、九卷　禪宗篇　上、下（同社編）			
第一〇卷　日蓮篇（馬田行啓）			
第一一至一三卷　在家篇　上、中、下（加藤咄堂）			
第一四卷　婦人篇（鷲尾順敬）			
第一五至一七卷　靈蹟篇　上、中、下（加藤咄堂）			
第一八卷　禪宗篇　續（清泉芳巖）			

第一九卷　在家篇　續（加藤咄堂）
第二〇卷　皇室篇（鷲尾順敬）
第二一卷　支那篇　一（清泉芳巖）
續篇第一至四卷　支那篇　一至四（同）

佛教生活叢書　法藏館發行　昭和一〇

第三　佛を見る眼（赤沼智善）	二	六六八	三三
第四　生の宗教（源哲勝）			

佛教聖典を語る叢書　大東出版社發行　昭和九、一〇

第一卷　佛教經典を語る（山邊習學）	一三	六六八	三
第二卷　阿含經（友松圓諦）			
第三卷　華嚴經（宮島資夫）			
第四卷　觀無量壽經（佐藤春夫）			
第六卷　維摩經（武者小路實篤）			
第七卷　觀音經　附　法華經（岡本かの子）			
第八卷　般若經（高神覺昇）			
第九卷　涅槃經（藤秀璋）			
第一〇卷　釋尊の生涯（佛傳と佛傳文學）（松岡護）			
第一一卷　中論と他力信仰（稻津紀三）			
第一二卷　十住心論（弘法大師と其宗教）（菊池寬）			
第一三卷　一枚起請文・歎異鈔（法然・親鸞聖人の宗教）（倉田百三）			
第一五卷　立正安國論を中心に日蓮の人と宗教を語る（室伏高信）			

佛教聖典講義大系　佛教聖典講義刊行會發行　昭和九—一〇

第二　淨土三部經講義（柏原祐義）	一二	六七〇	一七
第五　涅槃經・遺教經・梵網經講義（大野法道）			

第六　大日經・理趣經講義（神林隆淨）
第七　阿含經講義（安井廣度）
第八　維摩經・勝鬘經講義（境野黃洋）
第一〇　法句經・六方禮經・玉耶經講義（足立俊雄）
第一一　倶舍論講義（舟橋水哉）
第一二　唯識論講義（花田凌雲）
第一四　天台四教儀講義（稻葉圓成）
第一五　華嚴五教章講義（湯次了榮）
第一八　正信偈・歎異鈔講義（梅原眞隆）
第二二　立正安國論講義（清水龍山）

佛說無量壽經叢書　曉鳥敏　昭和四

	一	五五〇	一三

阿彌陀佛の本願　下卷
本願成就の信心
聖行段講話
三毒段講話
菩薩道
聽法の釋尊

物理學叢書　內田老鶴圃發行　昭和三、六

第一　電子論（三枝彥雄）	二	四六	三三九
第二　ベクトルとテンソル（山田光雄）			

同　訂再版

物理學通論　長門屋發行　昭和三

第二卷　熱學（佐々木成材）	二	四六	三二九イ
	一〇	四六	二九三

富民叢書　富民協會編　昭和五、七

第一集　改米作多收の眞髓（手島新十郎）	四	五〇五	七二

		冊	函	號
米穀多收穫の設計要綱	（同會編）			
養魚のしをり	（藤田政勝）			
農繁期託兒所の經營	（田村克巳）			
小豆の二期作	（和田滋穂）			
麥作多收の眞髓	（外山觀三、黒川本藏）			
農村へ黎明を齎す農事組合の活動	（香月秀雄）			
米七石を實收するまで	（同會編）			
米作多收講演集	（同）			
大和西瓜の栽培法	（萩原善太郎）			
竹林經營の指針	（安藤時雄、大島甚三郎）			
實收菜種の合理的栽培法	（六ッ美農業補習學校編）			
四石成功せる農業經營	（同會編）			
有利胡瓜と茄子の栽培	（小田鬼八）			
米八石四斗を實收して	（同會編）			
趣味の家庭蔬菜園	（三木泰治）			
西洋蔬菜の栽培	（小田鬼八）			
農業はどう經營すべきか	（岡田溫）			
稻作害蟲と其驅除法	（名和梅吉）			
農業の經營	（山崎延吉）			
地力の增進法	（吉村清尙）			
精農十縣十人	（同會編）			
優良農事組合の經營	（同）			
蠶絲業の立て直し	（藤岡啓）			
小組合を完成するまで	（折目六右衞門）			
養兎と養鶏	（大山彦二）			
副業養鷄の實際	（高橋廣治）			
農村振興と婦人	（香月秀雄）			
精農と優良農事組合	（同會編）			
有利なる副業養豚	（飯田吉英）			
第二集				
第三集				

		冊	函	號
プラトン全集	岡田正三譯　昭和八、九	五	六四七	二
第一篇　メノン篇				
第二篇　カルミデス篇、イオン篇				
第三篇　ゴルギアス篇				
第四篇　饗宴篇				
第五篇　パイドン篇				
佛蘭西語入門叢書	白水社發行　昭和九、一〇	六	六五三	一五一
第一篇　恐慌理論の問題	（ラブリオラ著　岡次郎譯）			
第二篇　コントとデュルケイム	（リシャール著　高田要一譯）			
第三篇　オノレ・シュブラックの喪失、アムステルダムの水兵	（アポリネール著　川口篤譯註）			
第四篇　法學フランス語入門	（星野辰雄）			
第六篇　經濟フランス語入門	（中野英夫、綠川敬）			
第七篇　日用フランス語入門	（高木直明）			
佛蘭西小論文對譯叢書	大學書林發行　昭和九、一〇	二	六三一	四八六
第三篇　アンリー資本主義の影響	（石川湧譯註）			
第四篇　ポアセー　テル法學初步	（土澤米吉譯註）			
佛蘭西文學研究	東大佛蘭西文學研究室編　昭和三、五	四	五八五	一五
第四輯　ユイスマンス	（アンベルクロオド）			
十六世紀に於ける「本格喜劇」の世界	（渡邊一夫）			
佛蘭西古典悲劇と方法	（根岸國孝）			
オーベルマン	（市原豐太）			
厭世家ユイスマンスの進化	（田邊貞之助）			
天文學の發達と佛蘭西文學との關係　第一	（後藤末雄）			
第二				
第五輯				
第八輯				
第九輯				
第八輯				

マラルメとヴァレリイ　（中島健藏）
ポオル・ヴァレリイに就いて　（辰野隆）
ジュウル・ロマンの演劇論　（飯島正）
アンリ・バタイユ「瞥」（小川泰一）
ルノルマン「Mixture」その他　（川口篤）
ラ・ロシュフコオ　（アンベルクロオド）
「類推の魔」譯、註、案　（鈴木信太郎）
ポオドレエル對神　（辰野隆）
ヴェルハアレンの精神的推移　（田邊貞之助）
ヴィニイと浪漫主義　（平田昇）
フィリップ・デポルト管見　（渡邊一夫）
ジュウル・ロマンの「リュシエンヌ」（飯島正）
プルウストの美學に就いて　（小川泰一）
キュレル雜記　（川口篤）
シャルル・ボオドレエル書誌　第一　（中島健藏）
リブレリイ・フランスのこと　（藤田龍郎）
「エルナニ」事件の百週年に際して　（アンベルクロオド）
シラノ・ド・ベルヂュラック小論　（有永弘人）
天文學の發達と佛蘭西文學との關係　第三　（後藤末雄）
笑の考察（ボオドレエルとベルグソン）（辰野隆）
ラブレエの挿繪畫家アルベエル・ロビダに就いて　（渡邊一夫）
シャルル・ボオドレエル書誌　第四　（中島健藏）
小說エストニエ　（アンベルクロオド）
トリスタン物語（素材の檢討）（佐藤輝夫）
ウィリエ・ド・リラダンの復活（レオン・ブロア）（田邊貞之助）
ネルヴァル年譜　（小川泰一）
ヴァレリイ・ラルボオの「モオリス・セエヴ論」（渡邊一夫）
浮世繪に關する林忠正宛ゴンクゥルの書簡　（中島健藏）

		冊	函	號
佛蘭西文學譯註叢書	白水社發行　昭和二至七	七	五四八	一四
第四篇　月曜物語	（ドウデエ著　八木さわ子譯註）			
第五篇　我が家の平和　附　佛蘭西の劇作家	（クウルトリキヌ著　岸田國士譯註）			
第六篇　悲哀の娘	（コペエ著　小松清譯註）			
第七篇　幼な馴染	（ルナアル著　岸田國士譯註）			
第八篇　風車小屋からの便り	（ドオデ著　木村太郎譯註）			
第一〇篇　近代コント撰集	（秋田玄務譯註）			
第一一篇　アナトオル・フランス追憶の薔薇	（大塚幸男譯註）			
プルウスト全集	三笠書房發行　昭和九、一〇	六	六七七	一
失はれし時を索めて				
第一、二卷　スワン家の方　第一、二	（五來達譯）			
第三、四卷　花咲ける乙女の蔭に　第一、二	（同）			
第五卷　ゲルマントの方　第一	（同）			
別卷　第一　若き娘の告白　他九	（同等譯）			
プレハーノフ選集	叢文閣發行　昭和四、七	二	五九九	六
第二　チエルヌイシエフスキイ　上	（藏原惟人譯）			
第六　わが批判者の批判	（外村史郎譯）			
同　第六		一	五九九	六イ
フロイド精神分析學全集	春陽堂發行　昭和五至八	一〇	五九五	一八五

フロイ―フンカ

		冊	函	號
第一卷	夢の註釋（大槻憲二譯）			
第二卷	日常生活の精神分析（同）			
第三卷	社會・宗教・文明（長谷川誠也、大槻憲二譯）			
第四卷	快不快原則を超えて强迫神經症（對馬完治譯）			
第五卷	性慾論、禁制論（矢部八重吉譯）			
第六卷	分析藝術論（大槻憲二譯）			
第七卷	自我とエス（矢部八重吉譯） トーテムとタブー（對馬完治譯）			
第八卷	分析療法論（大槻憲二譯）			
第九卷	分析戀愛論（同）			
第一〇卷	精神分析總論（同）			
フロオベエル全集	改造社發行　昭和一〇	一	六九四	四三
第二卷	感情教育（ある青年の物語）（山田九朗譯） 短篇集 ジュリアン聖人傳（鈴木信太郎譯） エロディヤス（辰野隆譯） 純な心（吉江喬松譯）			
文學思想研究	早稲田大學文學部編　昭和二至五	九	五三一	二一
第四卷	佛蘭西古典悲劇研究（吉江喬松） 觀世三代事蹟考（野々村戒三） 戲曲家としてのグリルパルツェルの特質（小森三好） 近世英文學上の唯美派運動（本間久雄） 科學の研究（清水泰次） 近世哲學に於ける認識問題（小山甫文） 讀本の發生（山口剛）			

		冊	函	號
	エドガア・アラン・ポオ小論（谷崎精二） ランボオの初期の詩篇（西條八十） 原始社會に關する考察の二、三（關與三郎） ベールイの「シムフォニイ」にあらはれたるロマンチシズムとリアリズムに就いて（露文併記）（ブブノーワ著　岡澤秀虎譯）			
第五卷	耶蘇傳研究の問題と過去の研究（河面仙四郎） 印度哲學諸派の智量に就きて（武田豐四郎） ハムステッドの夜うぐひす（日夏耿之介） 自然主義文學の理論的體系（平林初之輔） ゴーゴリの藝術と生活（岡澤秀虎） シュニッツレル研究（中谷博） ミルトンの無韻詩について（繁野政瑠） ザエリオ傳剝僞（野々村戒三） 武士道の源流及び其將來（大森金五郎） 獨逸長篇小說の二つの型とゲーテの「ウイルヘルム・マイステル」（山岸光宣） 柿本人麿の長歌に就て（窪田通治） 下り酒情調（西村眞次） 自然主義文學の理論的體系（平林初之輔） 近代パヂアントリイの特質と新舞臺藝術との交渉（日高只一） シュニッツレル研究（中谷博） 釘の研究に就ての文學方面の一節（平沼淑郎） 佛教に關する問題一二（馬田行啓） 思索斷片（熊崎武良温） ランボオの詩と感覺（西條八十） エリザベス朝時代の文藝批評（宮島新三郎） トマス・ハァデイの運命觀（日高只一） 文學論の諸問題（江間道助）			
第六卷				
第七卷				

		冊	函	號
	現代科學の進歩と宗教の死活問題（帆足理一郎） アリストートルの政治學に於けるプレトーへの照會（渡利彌生） 明末に於ける天津地方の開墾（清水泰次） プロスペル・メリメ研究（神部孝） トーマス・マンの演劇論（小森三好） 鎌倉期の佛教文學（伊藤康安） ゴールドスミス小論（谷崎精二） ロマーノフ王朝の最後（畑山專太郎） 實現されざりし企圖（ワノーフスキー著　岡澤秀虎譯）			
第八卷	文學に現はれたる獨逸精神の二面（山岸光宣） 「源氏物語」について（窪田通治） 美しき諦悟（「キイツがオードの研究」ノ二）（日夏耿之介） 聖人の意義とその變遷（福井康順） 牽牛織女說話の考察（出石誠彦） 日本稻作の人類學的研究（西村眞次） 個性の意味と其の教育（小澤恒一） 心理學の對象としての意識の問題（赤松保羅） 文學論の諸問題（承前）（江門道助） ソウェート・ロシヤの文學理論研究（岡澤秀虎） 自然主義文學の理論的體系（平林初之輔） 默劇としての壬生狂言（中村吉藏） 好色二代男考（山口剛） メリディスの詩（繁野天來） 教育哲學の成立（稻毛金七） 文學論の諸問題（承前）（江間道助） 頭塔について（板橋倫行） ニーベルンゲンの三部曲に就いて（浦上后三郎）			
第九卷				

		冊	函	號
	歌舞伎と英國浪漫劇の比較　第一（白石靖） ソウェート・ロシヤの文學理論研究　第二（岡澤秀虎） ラブレエの生涯とその著作の解題的概說（內田傳一） 運命の鏡（ワノーフスキー著　岡澤秀虎譯） 騎士の物語（佛文併記）（メタクサ著　小林龍雄譯）			
第一〇卷	現代を規定するもの（杉森孝次郎） 個人、社會及び發達の關係についての二三の問題（增田惟茂） 原始文學斷想（金田一京助） エリザベス朝時代の文藝批評　第二（宮島新三郎） 歌舞伎と英國浪漫劇の比較　第二（白石靖） ニーベルンゲンの三部曲に就いて（承前）（浦上后三郎） アルツウル・ツアップの小說（中谷博） ソウェート・ロシヤの文學理論研究　第三（岡澤秀虎） ペルザ來航前後に於ける我が國人の海外智識（京口元吉） 毗沙都督府の名稱に就いての一考察（白井長助） 騎士の物語　第二（佛文併記）（メタクサ著　小林龍雄譯）			
第一一卷	聖書の靈魂非不滅觀と聖書の歷史觀（河面仙四郎） 古學派勃興の機運について（岩橋遵成） 好色二代男考（其の二）（山口剛） 說經の研究（黑木勘藏） 偶成と推敲と及びその錯綜詩と（日夏耿之介） 歌舞伎と英國浪漫劇の比較　第三（白石靖）			

		冊	函	號
	ツアップの長篇小説（承前）（中谷博）			
	プロスペル・メリメ研究（承前）（神部孝）			
	「エヴゲニイ・オネーギン」の詩の構想とプーシュキンの藝術に於けるその意義（ワノフースキー著 岡澤秀虎譯）			
	ペルリ來航前後に於ける我が國人の海外智識（承前）（京口元吉）			
	ソウエート・ロシヤの文學理論研究　第四（岡澤秀虎）			
第一二卷	英國近代藝術に及ぼせる「日本」の影響（本間久雄）			
	ガルガンチユアの傳說（內田傳一）			
	ニーベルンゲンの三部曲に就いて（承前）（浦上后三郎）			
	文藝科學に於ける社會學的方法（岡澤秀虎）			
	紫式部私考（岡一男）			
	歌舞伎と英國浪漫劇の比較　第四（白石靖）			
	通俗小說のエロチシズム（中谷博）			
	十二世紀に於ける優雅な靈感的な戀愛（メタクサ著 小林龍雄譯）			
	辨證法的世界觀に於ける矛盾概念に就いて（今田竹千代）			
	アングロ・サクソンの教會制度及び救貧制度の成立に就て（小島幸治）			
	ニコライ二世の日記（煙山專太郎）			

文學論パンフレツト　齋藤勇編　昭和六至一〇　五　三七三　五二二

第一	完全なる批評家 他一（エリオツト著 北村常夫譯）			
第二	批評論（ルーカス著 中野好夫譯）			
第三	近代英米小說（クロス著 織田正信譯）			
第四	文學の連續性（ゴス著 相良次郎譯）			
第五	詩のための詩（ブラツドリ著 曾根保譯）			
第六	浪漫情調（ハーフオド著 植田虎雄譯）			
第七	文學に於ける宏大性（マケイル著 酒井善孝譯）			
第八	小說の構成（フオースタ著 阿部知二譯）			
第九	詩と科學（リチヤーズ著 李歇河譯）			
第一〇	文學に於ける新精神（ニコルスン著 中野好夫譯）			
第一一	反動どしての浪漫思潮（ホワイトヘツド著 柏倉俊三譯）			
第一二	小說の科學（ハーデイ著 織田正信譯）			
第一三	新舊異教主義 他一（トムスン著 北村常夫譯）			
第一四	英・佛・西文藝の比較（マダリアガ著 相良次郎譯）			
第一五	悲劇論（スマート著 田上元德譯）			
第一六	詩の必要（ブリツヂエズ著 曾根保譯）			
第一七	藝術哲學（ケア著 酒井善孝譯）			
第一八	批評（ボウブ著 阿部知二譯）			
第一九	文學を語る（トムリンソン著 朱牢田夏雄譯）			
第二〇	古典主義（ヴアインズ著 三留久雄譯）			
第二一	人本主義（バビツト著 上田勤譯）			
第二二	スタイルの中心問題（マリ著 植田虎雄譯）			
第二三	近世詩に於ける惡魔（ツアノーフ著 堀大司譯）			
第二四	文學の技法（アバクランビ著 鍋島能弘譯）			
	アリストテレス以後（同）			
第二五	詩論（メイスフイールド著 梅原義一譯）			
第二六	文藝復興とシエイクスピア（リー著、田上元德譯）			
第二七	古典的と浪漫的（グリアスン著 原一郎譯）			
第二八	批評の屬性（リイド著 佐山榮太郎譯）			
第二九	シエイクスピア序說（ローリ著 柏倉俊三譯）			
第三〇	詩の原理（ボウ著 村上不二雄譯）			

文化科學叢書　早稻田大學發行　昭和二至五　八　五六〇　二五

第一	宗教學概論（河面仙四郎）			
第二	言語學概論（安藤正次）			
第三	人文地理學概論（中城陟）			
第四	神話學概論（西村眞次）			
第五	政治學概論（高橋清吾）			
第六	史學概論（野々村戒三）			
第七	美術概論（森口多里）			
第八	教育學概論（稻毛金七）			

文化社會學研究叢書　社會學研究會譯編　昭和六、七　三　三四二　五〇二

第一	イデオロギー論			
第二	知識社會學			
第三	文化社會學			

文科大學講座　小原國芳編　昭和四　一六　五九三　九

第一卷	哲學講話（紀平正美）			
第二卷	西洋哲學（岡野留次郎）			
第三卷	支那哲學（浦川源吾）			
第四卷	印度哲學（牛島文倉）			
第五卷	現代の宗教哲學（赤松智城）			
第六卷	教育學の諸問題（福島政雄）			
第七卷	教育史論（長田新）			
第八卷	心理學（岩井勝二郎）			
	輓近の精神分析學（久保良英）			
第九卷	美學史（相良德三）			
第一〇卷	文學概論（同）			
第一一、一二卷	西洋美術史　上、下（伊勢專一郎）			
第一三卷	自然科學概論（石原純）			
第一四卷	純正社會學概論（銅直勇）			
第一五卷	特別講座　上			
	所謂形而上學的傾向に就て（桑木嚴翼）			
	第十九世紀の佛國哲學　第一（朝永三十郎）			
	リツケルトの認識論（高坂正顯）			
第一六卷	特別講座　下			
	批判的實在主義と教育（小西重直）			
	プラトーの國家觀と理念觀（ホフマン著 松原寬譯）			
	カントの教育思想（同）			
	美學に於ける形式の問題（深田康算）			
	法律學　第一（田村德治）			
	狂瀾怒濤時代と現代文藝思潮　第一（成瀨無極）			
	寫實文學の時代（大宰施門）			
	ヒユーマニズムの曙（黑田正利）			
	コーエンの倫理學　第一（岡野留次郎）			

文化發達の法則的研究　輝文堂發行　昭和七　一　六一八　七一

第二卷	民族年齡文化誌論（下澤瑞世）			
第三卷	文化心理學的研究（同）			

文藝復興叢書　改造社發行　昭和九　二四　六五九　二一

第一	水晶幻想（川端康成）			
第二	勿體ないど時世（芹澤光治良）			
第三	散文家の日記（林芙美子）			
第四	馬（阪中正夫）			
第五	花花（横光利一）			
第六	青空（林房雄）			
第七	逃亡記（井伏鱒二）			
第八	勘定（武田麟太郎）			

第九　レドモア島誌（中河與一）
第一〇　湯河原三界（宇野浩二）
第一一　オペラ館サクラ座（宇野千代）
第一二　雪崩（深田久彌）
第一三　蹠骨（龍膽寺雄）
第一四　職業（岸田國士）
第一五　通百丁目（十一谷義三郎）
第一六　様々なる意匠（小林秀雄）
第一七　燃える石（藤澤桓夫）
第一八　權といふ男（張赫宙）
第一九　文藝從軍記（杉山平助）
第二〇　我最近の文學評論（正宗白鳥）
第二一　昭和初年のインテリ作家（廣津和郎）
第二二　文學の世界（谷川徹三）
第二三　町の踊り場（德田秋聲）
第二四　人間學的文學論（三木清）

冊函號

文檢受驗準備指導叢書　啓文社發行　昭和二至八　一六　二五九五　八八

第三　文檢定部省植物科受驗準備の指導（清水傳吉）
第四　文檢定部省生理衛生受驗準備の指導（森田保平）
第五　文檢定部省修身科受驗準備の指導（水口賢壽）
第七　文檢定部省地理科受驗準備の指導（工藤暢須）
第八　文檢定部省動物科受驗準備の指導（萩原貞一）
第九　文檢定部省日本史受驗準備の指導（目黒禧一）
第一〇　文檢定部省英語科受驗準備の指導（井上孝一）
第一一　文檢定部省教育科受驗準備の指導（安達久）
第一二　文檢定部省習字科受驗準備の指導（奥山錦洞）
第一三　文檢定部省圖畫科受驗準備の指導（井口亘、清水傳吉）
第一四　文檢定部省西洋史受驗準備の指導（三橋直喜）
第一五　文檢定部省東洋史受驗準備の指導（泉安雄）
第一六　文檢定部省家事科受驗準備の指導（谷忠一）
第一七　文檢數學科受驗準備の指導（柘植茂三郎）
第一八　文檢定部省手工科受驗準備の指導（日高長平）
第一九　文檢定部省公民科受驗準備の指導（藤谷保）

文明協會ライブラリ　同會發行　昭和三至五　二七　五六六　三六

第一　列國海軍と其の國民（バイウオーター著　石丸藤太譯）
第二　大戰後の世界の動き（ウオラス著　下山鎌吉譯）
第三　米國政治外交概觀（藤井新一）
第四　藝術による生活改造（横山有策）
第五　山の呼ぶ聲（藤木九三編）
第六　自然、田園、農人（和田傳）
第七　輓近佛國に於ける經濟學說（關未代策）
第八　消費組合運動概觀（山崎勉治）
第九　墺國農産政策（シツフ著　長崎常譯）
第一〇　英國社會主義立法（大濱信泉）
第一一　航空の現狀と將來（小磯國昭、武者金吉）
第一二　勞働の哲學（バーンス著　浮田和民譯）
第一三　現代丁抹の農村研究（長崎常譯）
第一四　我れ等（リンドバーグ半自敍傳）（リンドバーグ著　宇都宮爽平譯）
第一五　水上勞働者と寄子の生活（草間八十雄）
第一六　新獨逸の政治組織（オーベンハイマー著　藤井新一譯）
第一七　日光と健康（武者金吉）
第一八　婦選問題と婦人の要求（同會編）
第一九　注目すべき南阿と東阿（今井忠直）
第二〇　ドレイサアの見たソヴイエト、ロシア（ドレイサア著　下山鎌吉譯）
第二一　現代政治是非（同會編）
第二二　倫敦軍縮會議と日本（小槇和輔）
第二三　英國政治制度論（ウオレス著　藤井新一譯）
第二四　現代の海權爭覇（ムーア著　石丸藤太譯）
第二五　ボルシエウイズムとアメリカニズム　外現世の五大問題（浮田和民譯）
第二六　政黨資金論（同會編）
第二七　日本勞働爭議史概觀（村山重忠）
第二八　近世文化史上大隈重信侯に於ける（同會編）
第二九　勞働組合法案批判（同）

同　第七、八、一〇至二七　昭和三至五　二〇　五六六　三六イ

第一七卷　佛和對譯ドンキホーテ（山根正吉譯）
第一八卷　佛和對譯トト（ピエジョオル著　小出峻譯）
第一九卷　佛和對譯咆えろ！ヴオルガ　附　自由を我等に（ブーシュキン著　山根正吉譯）
第二〇卷　獨和對譯トンネル（ケラーマン著　倉田圭吉譯）
第二一卷　佛和對譯母の手（フラビエ著　小出峻譯）
第二二卷　佛和對譯商船テナシチー（ヴイルドラック著　山根正吉譯）
第二三卷　獨和對譯黒騎士（レンツ著　牧村吾郎譯）
第二四卷　獨和對譯女の心（チンナー著　倉田圭吉譯）
第二五卷　英和對譯朱金昭（アッシュ著　牧村吾郎譯）
第二六卷　佛和對譯最後の億萬長者（クレール著　山根正吉譯）
第二七卷　獨和對譯未完成交響樂　他一（ライシ著　元野伊作譯）
第二八卷　英和對譯猶太人ジュス（ファーナム著　草敏夫譯）
第二九卷　佛和對譯家なき兒（マロー著　山根正吉譯）
第三〇卷　佛和對譯別れの曲（マリシカ著　山根正吉譯）

B

第一卷　獨和對譯南の哀愁（スツエケリー著　山科正美譯）
第二卷　獨和對譯ポートの八人娘（ブランデス著　山科正美譯）
第三卷　獨和對譯クーレ・ワムペ（ドデュドオ著　山科正美譯）
第四卷　獨和對譯オー・エフ氏のトランク（クラノフスキー著　山科正美譯）
第六卷　獨和對譯銀嶺征服（ウエンツラー著　山科正美譯）

平原社トーキー・シリーズ　平原社發行　昭和八至一〇　三三　六五一　二七

A

第八卷　獨和對譯戀の日曜日（ボニイ著　山科正美譯）
第一二卷　獨和對譯ヒットラー青年（シエンツインガー著　山科正美譯）
第一三卷　英和對譯ゆりかごの唄（シーラ著　阿部謙太郎譯）
第一四卷　獨和對譯激情の嵐（ボマー著　山科正美譯）

		冊	函	號
米國講座叢書 有斐閣發行 昭和三至六				
第三編 米國三偉人の生涯と其史的背景（ジョンソン著 高木八尺等譯）		二	三七九	四
第四篇 米國政治史序說（高木八尺）				
米穀資料 農林省農務局編 昭和七、八		六	一四、二	二六一
第一號 米穀法の沿革				
第三號 米穀法の沿革 第二				
第四號 米穀專賣資料（謄寫版）				
第五號 主要國の食糧政策に關する資料				
第六號 米穀政策資料（謄寫版）				
第七號 米穀法案、罹災救助基金法中改正法律案議事錄				
第八號 第六十三回帝國議會議事錄（米穀關係）				
第九號 各種調査會米穀に關する調査の經過概要				
第一〇號 大正十四年十一月至昭和八年二月米價及米穀日誌				
第一九號 支那に於ける義倉及社倉、四民生活、耕地制度、穀物の名稱の研究				
兵法全集 公田連太郎譯 大場彌平講 昭和一〇		三	六八〇	九九
第一卷 孫子の兵法				
第二卷 吳子の兵法				
第三卷 尉繚子				
標準用語集 資源局編 昭和六至一〇		三	五九〇	四四五
第一輯 藥品ノ部				
第二輯 化學用語ノ部				
第三輯 機械用語ノ部				
ヘーゲル全集 岩波書店發行 昭和六至一〇		七	六一五	六
第一 哲學體系 第一 小論理學（眞下信一、脇坂光次譯）				
第三 哲學體系 精神哲學 第三（船山信一譯）				
第四 精神現象學 上卷（金子武藏譯）				
第六、七 大論理學 上、中卷（鈴木權三郎譯）				
第一〇 歷史哲學（同）				
第一一 哲學史 上卷（武市健人譯）				
碧瑠璃園全集 渡邊霞亭 昭和四、五		一三	五九八	三三
第一卷 高野長英				
第二卷 大石內藏助				
第三卷 山鹿素行、木村長門守				
第四卷 二宮尊德				
第五卷 由比正雪				
第六卷 荒木又右衞門				
第七卷 日蓮聖人				
第九卷 渡邊崋山				
第一〇卷 錢屋五兵衞				
第一五卷 楠正成				
第一六卷 栗山大膳				
第一七卷 山中鹿之助				
ペスタロッチー全集 同人 昭和二至一〇		五	五五五	三四
第一卷 ペスタロッチーの生涯（玖村敏雄）				
スキス週報に現れたる教育思想 一七八二年（市村秀志譯）				
第二卷 隱者の夕暮（小原國芳譯）				
立法と教化（大槻正一譯）				
基礎教育の理念に關する見解と經驗（伊藤宗一郎譯）				
第三卷 メトーデ（長田新譯）				

		冊	函	號
リーンハルトとゲルトルード（松本義懿譯）				
レンツブルグの講演（杉浦竹治郎譯）				
第四卷 探究（ペスタロッチーの社會哲學解說）（福島政雄譯）				
祖國社會の更生と教育（文明より文化への教育）（大槻正一譯）				
學園講演集（北島修一郎譯）				
第五卷 幼兒教育の書翰（皇至道譯）				
シュタンツだより（長田新譯）				
ゲルトルードは如何にしてその兒等を教へるか（阿部六郎譯）				
辯證法的唯物論叢書 ナウカ社發行 昭和八		三	五九八	六二
第一 近世哲學史および辯證法的唯物論における因果性の問題（ボグダーノフ、ミハイロフ共著 廣島定吉譯）				
第二 スピノザと辯證法的唯物論（ミーチン、ラリツエウイチ共編 廣島定吉譯）				
第三 臨牀醫學と辯證法的唯物論（リフシツツ著 安田德太郎譯）				
變態十二史 文藝資料研究會發行 昭和二、三		九〇	一八七	五一〇
第三卷 變態見世物史（藤澤衞彥）				
第五卷 變態廣告史（伊藤竹醉）				
第七卷 變態商賣往來（宮本良）				
第八卷 變態仇討史（梅原北明）				
第九卷 變態崇拜史（齋藤昌三）				
第一〇卷 變態遊里史（青山倭文二）				
第一一卷 變態浴場史（藤澤衞彥）				
附錄第一卷 變態妙文集（內海弘藏編）				
第三卷 變態荒藉志（齋藤昌三）				

		冊	函	號
貿易經濟叢書 大阪市役所產業部調査課編 昭和五至九		一八	六〇四	一八四
第三三輯 波斯關稅定率表				
第三四輯 露西亞社會主義聯邦ソヴエート共和國關稅定率表				
第三五輯 支那貿易年報 民國一八年				
第三七輯 英領印度關稅定率表				
第三八輯 東洋諸國現行商標條例集 上卷				
第三九輯 企業地としての上海				
第四〇輯 土耳古關稅定率表				
第四一輯 販路調査の要諦				
第四二輯 支那貿易年報 民國一九年				
第四三輯 支那貿易年報 民國二〇年				
第四四輯 東洋諸國の現行商標條例と其登錄手續				
別冊 滿洲國の商標條例				
第四五輯 改訂支那輸出入關稅定率表				
第四六輯 支那貿易年報 民國二一年				
第四七輯 新度量衡支那輸出入關稅定率表				
第四八輯 蘭印市場に於ける本邦綿布				
第四九輯 支那輸出入關稅定率表（一九三四年七月現在）				
第五〇輯 新市場ラテン・アメリカ				
第五一輯 支那貿易年報 民國二二年				
第五二輯 支那貿易年報 民國二三年				
同 第四八輯		一	六〇四	一八四イ
鳳氏交流工學理論階梯 丸善發行 昭和八		一	六三八	二三
第四編 交流整流子電動機（鳳秀太郎）				

鳳氏交流理論詳解　前編　杉浦弘　昭和三　　一　五四九　四五四

北海道帝國大學農學部演習林研究報告　北海道帝國大學農學部演習林編　昭和二、四　　八　三三一　一五三

第四卷　コガネムシに關する研究報告　第三（新島善直）
我國に產するコガネムシ及其分布（追加及訂正）
（木下榮次郎）
阿寒植物景觀（第一報）（館脇操）
苫小牧演習林に於ける氣象觀測成績（中島廣吉）

第五卷　天鹽演習林植物目錄（第一報）（館脇操）
日高樣似アポイヌブリ植物（同）
同齡林分中の各直經階に對する本數配分關係の統計的研究（第二回）（石尾和作）
野鼠の森林保護學的研究（木下榮次郎）

第六卷　エゾマツ天然更新上の基礎要件と其適用（佐藤義夫）

第七卷　北海道產濶葉樹材四種（檜、樺、栴、栓）の强度（大澤正之）
人工植栽落葉松材の强度（同）
雨龍演習林植物調査（第一報）（館脇操）
和歌山演習林植物目錄（第一報）（同）
天鹽演習林植物目錄（第二報）（同）
アカエゾマツ及びクロエゾマツの苗樹に寄生する線蟲に就いて（山口捨雄）
雨龍演習林內勞働及植民に關する調査（第一報）（渡邊侃、南原信夫）
火田と火田民に就て（主として朝鮮演習林に於ける火田）（渡部義郎）
天鹽演習林八線澤產白金砂の研究（第一報）（柴田善一、寺崎義男）

第八卷　天鹽演習林生態調査（第二報）（館脇操）
アカエゾマツ林の群落生態的調査（森本傳男）

第九卷　第一號　エゾマツ、アカエゾマツ、トドマツの毬果及種子に關する研究（田添元、齋藤雄一）

第一〇卷　第一號　天鹽演習林生態調査（第三報）天鹽演習林林型の群落生態學的調査（館脇操、內田映）
第二號　トドマツ、クロエゾマツ、アカエゾマツ種子の發芽に對する溫度の影響に就て（田添元）
トドマツを主とせる天然生針濶混淆林に對して帶狀に施せる第一回光伐の成績報告（石尾和作）

北海道農事試驗場彙報　同場發行　昭和八　　二　一四、イ　三七五

第五五號　小麥（同場編）
第五六號　結球白菜（同）

北海道農事試驗場報告　同場發行　昭和三至九　　九　一四、イ　三七五

第二一號　第一分冊　亞麻生育に關する調査（第一報）（松野傳編）
第二三號　北海道に於ける主要農園藝蚜蟲類（堀松次）
第二四號　オホワタカイガラモドキに關する調査（桑山覺、堀松次）
北海道に於けるリンゴノワタムシ特に其の防除法に就て（堀松次）
藥劑撒布による夜盜蟲防除效果の一例（桑山覺、山口玉雄）
第二五號　アハノメイガに關する研究（桑山覺）
農園藝害蟲としての日本產ノメイガ亞科に就きて（同）
第二六號　蠶卵の貯藏保護に關する試驗成績（第一報）（內藤正雄、小林國造）

第二八號　豌豆種子斑點病に關する調査（岩垂悟）
水稻主要病害第一次發生と其の綜合防除法（安孫子孝次）

第二九號　稻泥負蟲に關する研究（第一至三報）（桑山覺）

第三〇號　亞麻の栽培に關する試驗及調査成績（安孫子孝次）

第三一號　紅變米に關する研究（伊藤誠哉、岩垂悟）
洋梨胴枯病に關する研究（田中一郎）
須具利ウドンコ病に就きて（同）

北信鄉土叢書　同刊行會發行　昭和九、一〇　　一、二〇　二一五　二三九

卷一、二　朝陽館漫筆　卷之一至一二（鎌原桐山）
卷三　朝陽館漫筆　卷一三、一四　他二（同）
卷四　朝陽館漫筆　卷一五、一六（同）
藩幣賦授調査書（同）
卷五　朝陽館漫筆　卷之一七至二〇（同）
藩幣賦授調書　地・人之部（同）
卷六　松代須坂中野賦授風說聞書（片岡志道）
朝陽館漫筆　卷第二一、二二（同）
非土里倭羅飛（鎌原桐山）
卷七　朝陽館漫筆　卷之二三至二七（鎌原桐山）
一誠齋紀實（眞田貫道）
卷八　朝陽館漫筆　卷第二八至三二（鎌原桐山）
日暮硯トヨ異本鳥籠の山彥
卷九　朝陽館漫筆　卷之三三、三四（鎌原桐山）
越奥戰爭見聞錄（片岡志道）
卷一〇　朝陽館漫筆　卷之三五（鎌原桐山）
越奥戰爭見聞錄（片岡志道）
卷一一　朝陽館漫筆　卷之三六（鎌原桐山）
朝陽館漫筆　卷之三一（鎌原桐山）
家童示訓（岡川美矩）
卷一二　越奥戰爭見聞錄（片岡志道）
朝陽館漫筆　卷三七（鎌原桐山）

法華經大講座　小林一郎　昭和一〇　　四　六八六　八六

第一卷　序品　第一
第二卷　序品　第一（續）
方便品　第二
第三卷　方便品　第二（續）
譬諭品　第三
第四卷　信解品　第四　他四篇

蒲壽庚の事蹟宋末の提擧市舶西域人　桑原隲藏　大正一二　　一　六六九　五四

穗積陳重遺文集　同人著　穗積重遠編　昭和七至九　　四　六三四　一

第一冊　國際法の起源
「ローマ」帝「ユスチーニアーヌス」(Justinianus)の立法事業
祭祀と政諸法律との關係
「ベンサム」「カント」の恒久平和論と國際聯盟の由來
泰西讒謗律の解
法理沿革史（法理學の起原）
婚姻法論綱
法律六主義（東京大學法學部に於ける課外講義第一）
監獄學大綱（同第二）
法律道德の關係區別
東京大學法學部卒業學位授與式に於ける演說
海上法講義
刑罰權を論ず
警察學講義
法律五大族之說
法律の大改正は大革命に次ぐ
出獄囚徒救助論

英佛獨法學比較論
英國普通法原論之序
萬法歸一論
英國謀殺犯の奇獄
離婚法比較論
英國判決例
夫婦別居法比較論
承諾狀を取消したる電信の效力の有無
法律進化主義
代言職の起原
英佛獨商人比較論
證據法論綱序
鈴木券太郎氏著「日本婚姻法論略」批評
輕氣球侵界の訴
「ノルマントン」號沈沒事件に關する決議案の說明
高橋法學士著「英米身分法」批評
山田法學士著「英米親族法及英米代理法」批評
歐米諸國の死刑
宇都宮五郎君稿「ベンサム」小傳附評
刑法進化主義
東京高等女學校に於ける演說
自殺の話
「スペンサー」氏の法理學に對する功績
江木法學士新著「刑法汎論」批評
婦女權利沿革論
出版月評
松井慶四郎君譯「英國賣買法」序
奥田法學士著「英米私犯法論綱」
第二冊　獄制論
相續法三變
「サー・ヘンリー・メイン」氏の小傳
五大法律學校聯合討論筆記序
權利の感想
責任新說
正當防衛の原理
法律學の革命
羅馬法を講ずるの必要
法理難問
國際私法の性質を論ず
占有論
婦人の財產
英佛獨法律思想の基礎
英米議會法規序
貴族院第一回通常會に於ける演說
法案三讀會表決の性質
鶴城新報發刊祝辭
隱居により移動すべき權利義務
代言制の進化
國際私法序
日本古代法典批評
飯野謹一君「國家法制起原」序
法學博士末岡精一君を弔する文
小河滋次郎君著「監獄學」序
權利競爭論序
法學士岡山兼吉君を弔する辭
祭祀と法律
葬華帖序
法典の繁簡
法學士山田三良君著「民法第二條修正案反對私見」序
民法第二條修正案に就て

宮本法學士に答ふ
五人組制度
祖先教と法律
獨逸民法論序
明治法令索引序
法律と宗教の關係
西遊所感
國際私法の範圍
公德教育に就て
松井茂君著「日本警察要論」序
法律と社會の調和
電氣と法律
電氣と刑法
英法の特質
獨逸刑法論序
法例の題號
模倣性と豫防警察
第三冊　世界最古の刑法序
佛蘭西民法の將來
大倉商業學校に於ける演說
米國視察所感
萬國學藝會議に就て
經濟教育と教育經濟
電話と法律
岡本芳二郎君譯「最新獨逸商法論」序
中央大學創立滿二十年記念式祝辭
廣池千九郎君著「東洋法制史序論」序
禮と法
吉田盛三郎君墓碑銘
朱子全集書函銘
花井卓藏君著「空前絕後之疑獄」序
法曹論
穗積奬學財團設立祝賀會席上に於ける謝辭
法科大學沿革談
慣習の起原
米國に於ける子供裁判所
松浦賴孝君著「擔保附手形取引論」序
尾高藍香先生記念碑除幕式に於ける演說
都築大使歡迎會席上演說
前法律取調委員會會長松田正久君招待會に於ける演說
濱尾男爵還曆祝賀會に於ける演說
英國に於ける養老期金法と社會權
英國の陪審制度
伊藤公追悼會に於ける演說
英國の辯護士と公判
阪本・池田・津輕三氏譯「獨逸新民法論」序
詩體法
受驗要訣
法學博士鳩山和夫君を弔する文
宇田川興齋譯「和蘭刑法及び刑事訴訟法」に題する辭
松尾男爵古稀壽祝賀會に於ける演說
古革囊の記
寺田四郎君著「法律學說研究」序
養子正否論
阿兄一週年祭祭文
先師祭祭文
獨逸法學の日本に及ぼせる影響
由井正雪事件と德川幕府の養子法
三浦德義君に南淵の號を贈るの記
末松謙澄子爵譯並註解「ユスチーニヤーヌス帝欽定

羅馬法學提要」序
三好君に樂翁公の書を贈るの辭
第四冊　末松謙澄子爵譯並註解「ガーイウス羅馬法解說」序
末松謙澄子爵譯並註解「ウルピアーヌス羅馬法範序」後序
八十島親德君第四男命名の辭
岡野敬次郎博士に謝する文
故萩原法學士を憶ふ
還曆祝賀會並に法理研究會創立二十年記念會に於ける謝辭
英國在留法學士諸君開催の還曆祝賀會に對する禮狀
パールトルス國際私法論を山田博士に呈する辭
中井氏藏澁澤青淵翁眞蹟の書函に題する辭
法律政治に關する學語の由來
余が見ざる朗廬先生
文學博士法學博士男爵加藤弘之先生に對する告別の辭
マルサヌス誕生百五十年記念祭祝辭
嗚呼岡村輝彥君
家祖鈴木源兵衞大人三百年祭祭文
笠原恕道先生を祭る文
岡村輝彥君著「英國證據法」序
兵頭賢一君著「北宇和郡誌」序
本邦に於ける海法
刑事訴訟法改正案主査委員長報告案
穗積八束遺稿「憲政大意」跋
パラオ島館甲皿の記
分家章刀
伊達春山公親筆五箇條御誓文模寫頒贈趣意書
花井卓藏君著「自救權論」序
故奥田義人博士追懷錄

帝國學士院授賞式に於ける演說
學術研究會議の設置に關する建議
日本經濟叢書完成記念會に於ける演說
金子喜代太氏長男誠命名狀
穗積奬學財團評議員會に於ける挨拶
刑事訴訟法改正案主査委員長報告案
明治憲政經濟史論序
少年法案に關する報告
帝國學士院授賞式に於ける演說
社司毛山正辰氏に對する祝辭
高野長英遺墨記
學術研究會議第一回總會に於ける演說
平洲全集序
隋書法立案報告書
八十島親德君碑文
聖德太子一千三百年遠忌頌德文
刑事訴訟法改正調査委員會委員長口演要旨案
皇太子殿下歐洲御巡遊より還啓につき賀牋奉呈に關する演說
皇太子殿下歐洲御巡遊より還啓につき奉呈の賀牋
刑事訴訟法改正調査委員會委員長報告案
岡野敬次郎教授在職二十五年祝賀會に於ける祝辭
楠長諳筆御成敗式目記
帝國學士院授賞式に於ける演說
警察官は國の看板である
寓橋作衞博士追悼會演說
宇和島中學校に於ける講演
合翠樓記
讀律書屋所藏御成敗式目目錄序
造船協會創立二十五年祝賀會に於ける演說

アインスタイン先生歡迎の辭
松浦氏尊影拜寫之記
宇和島高等女學校生徒の作文に對する短評
信託法及び陪審法の制定に就て
法律の進化
土居通夫君傳
花井博士に贈りたるキケローの銅像に題す
東川德治君著「支那法制史研究」序
愉顏帖記
杉浦重剛君の柩前に於ける告別の辭
帝國學士院授賞式に於ける演說
農學博士脇屋洋次郎君の學位受領を其先考先妣に告ぐる文
キケローの胸像を贈るの記に添へたる辭
帝國辯護士會發會式祝辭
帝國學士院授賞式に於ける演說
小河滋次郎博士と監獄學の專攻
平井彥三郎博士に伊達春山公揮毫の扁額を贈呈する文
濱尾樞密院議長を弔する辭
極東熱帶醫學協會總會に於ける歡迎の辭
林賴三郎博士著「日本陪審法義解」序
御子の命の御光を仰ぎ奉る
岡野敬次郎男爵を悼む
平井彥三郎博士著「刑事訴訟法要論」序
日本學術協會第一回大會開會式に於ける演說
離婚法修正提案
祭と法

必ずや訴あらしめん乎
齊家必携　卷之一
ポトナム叢書　ポトナム社等發行　昭和三至一〇　八　五一五　六七
第二編　歌集くさふぢ（小泉苳三）
第一一編　玉葱畑春景（青山宣紀）
第一二編　曇天と樹木（大坪晶一）
第一五編　歌集仙魚集（頴田島一二郎）
第一六編　鐘路風景（百瀨千尋）
第一七編　COCAINE とマダム（大坪晶一）
第一九編　歌集韓草（カクサウ）（君島夜詩）
第二〇編　歌集龍墟集（小島清）
法體裝束抄　（新校群書類從第六卷裝束部ノ內　昭和六）　五八四　五
法中裝束抄　（新校群書類從第六卷裝束部ノ內　昭和六）　五八四　五
法然上人和語燈錄（了惠—輯錄）　了惠上人六百年忌記念出版　法林寺編　昭和五　一　六〇九　一三四
法隆寺研究　東洋美術研究會發行　昭和七　二　六二八　二七
第一　法隆寺壁畫の研究　第一分冊（內藤藤一郎）（壁畫ニ關スル書目アリ）
第二　同　第二分冊（同）
法隆寺國寶保存工事報告書
法隆寺國寶保存事業部編　昭和一〇　一　五六七　一二二
第一冊　國寶建造物東大門修理工事報告
堀江歸一全集　同人　昭和三至五　一〇　五八三　四九

第一卷　財政篇
第二、三卷　貨幣及金融篇　上、下
第四至六卷　國際經濟論　上、中、下卷
第七卷　社會問題篇
第八、九卷　雜纂　上、下
第一〇卷　雜誌論文、日記及書簡

マ

	冊	函	號
正岡子規全集　正岡子規　昭和六至九	五	三三八	三九五
第一卷　隨筆			
俳論俳話			
俳句全集			
第二卷　小說			
紀行			
小品			
俳句全集			
編著			
評論			
第三卷　歌論及歌話			
和歌			
新體詩			
編著			
俳家全集一（元龜—元祿、享保—明和、天明時代）			
俳家全集二（天明、寬政—嘉永時代）			
俳家全集乙號			
俳書年表			
たね本			
飲食考			
第四卷　少年時代創作			
編著			
漢詩稿			
日記			
第五卷　書簡			
和歌手抄			
子規居士年譜			
子規文庫藏書目錄			
同　松井博士古稀記念論文集　松井博士古稀祝賀會編　昭和七	五	三三八	三九五イ
本朝文粹の文句と平家物語　（神村重松）	一	六二	一四一
假名の發生に關する考察　（春日政治）			
奥州本義經記の考察　（湯澤幸吉郎）			
おつとつて・さしわたし　（佐藤鶴吉）			
宗祇の萱草・老葉・下草　（穎原退藏）			
花修及び五音に就いて　（能勢朝次）			
文法の立體的研究　（木枝增一）			
蕉風に於ける虎實の辨　（中澤信治）			
萬葉集「不知」の訓について　（佐伯梅友）			
人形を抱くまで　（大島庄之助）			
論語を中心として觀たる訓點の變遷　（內野合嶺）			
白氏文集の渡來について　（金子彥二郎）			
國語法に於ける Syntax の發達について　（日下部重太郎）			
阿佛尼雜考　（玉井幸助）			
秋津島物語　（沼澤龍雄）			
讀方教育の體驗　（馬淵冷祐）			
蜀山人の狂歌の師承　（山岸德平）			
源氏物語文體の研究（その階調について）（矢澤邦彥）			

	冊	函	號
友鏡底の影について　（保科孝一）			
松宮觀山集　（國民精神文化文獻第一）同人著　國民精神文化研究所編　昭和一〇	一	六八五	一
第一卷　三教要論			
續三教要論			
神樂歌面白草			
異說辨解			
同　第一卷	一	六八五	一イ
前田慧雲全集　同刊行會編　昭和六、七	七	六〇一	三〇
第一卷　大乘佛教史論			
三論宗綱要			
佛教古今變一斑			
日本佛教の大系			
第二卷　天台宗綱要			
天台宗教義提要			
天台宗教義提要			
天台西谷名目講義			
天台宗大意			
第三卷　眞宗問答			
眞宗道德新編			
正信偈講義			
本願寺派學事史			
眞宗學苑談叢			
第五卷　佛教人性觀			
力の生活			
覺路			
佛教要義と文學			
第六卷　道味一嘗			
禪榻茶話			
修養極致			
信を求むる者へ			
佛とその眞理			
第七卷　樂しい人生			
活修養			
大無量壽經大意			
大經五惡段講話序說			
親鸞聖人			
第八卷　文集			
詩集			
日記			
前田慧雲和上傳			
マリア・スチユアルト（悲劇）シルレル著　相良守峰譯　昭和三　（獨逸文學叢書第一四編）	一	五四八	二〇
萬葉集總釋　樂浪書院發行　昭和一〇	五	六八一	三
第一　萬葉集總說　（武田祐吉等）			
萬葉集　卷第一　（武田祐吉）			
同　卷第二　（土屋文明）			
第二　同　卷第三　（吉澤義則）			
同　卷第四　（石井庄司）			
第三　同　卷第五　（森本治吉）			
同　卷第六　（新村出）			
第四　同　卷第七　（窪田通治）			
同　卷第八　（藤森朝夫）			

第八　萬葉集　卷第一五（今井邦子）　冊函號
同　卷第一六（高木市之助）
第一〇　同　卷第一九（森本健吉）
同　卷第二〇（豐田八十代）

漫畫講座　日本漫畫會編　昭和八、九　四　六五四　一八

第一卷　總論（岡本一平）
描く材料と印刷と技法一端（宮尾しげを）
漫畫スケッチ法（池部鈞）
子供に描ける漫畫の敎へ方（長崎拔天）
續き漫畫の描き方（前川千帆）
婦人・家庭漫畫の描き方（田中比左良）
世相漫畫の描き方（池田永一治）
ニュース漫畫の描き方（小川武）
新語・流行歌等よりの素材のつかみ方（安本亮一）
街頭漫畫採集法（阪本牙城）
名士訪問漫畫の要領（和田邦坊）
版畫應用年賀狀漫畫の作り方（前川千帆）
第二卷　日本漫畫略史（細木原青起）
漫文といふもの（水島爾保布）
似顔の描き方（池部鈞）
漫謠漫畫の描き方（阪本牙城）
畸形畫の描き方（服部亮英）
トーキー漫畫の作成法（寺内純一）
漫畫芝居の演り方
漫畫レヴユウの演り方（安本亮一）
レヴユウ型式に（小野佐世男）
漫畫舞臺裝置法（宮尾しげを）
漫畫挿繪の描き方　第一（田中比左良）　冊函號
同　第二（池田永一治）
漫畫家の修養法（岡本一平）
第三卷　日本漫畫史論（水島爾保布）
議會漫畫の描き方（服部亮英）
ラヂオ風景の描き方（池部鈞）
明治時代に於ける漫畫家（宮尾しげを）
大正時代の漫畫界（京谷金介）
演劇漫畫の描き方
シネマ漫畫家出でよ（加藤みの助）
レヴユウ漫畫の描き方（スギタ・サンタロ）
芝居漫畫の描き方（宮尾しげを）
ナンセンス漫畫の描き方（近藤日出造・矢崎茂四・杉浦幸雄）
時局漫畫の考へ方（幸内純一）
邦坊の遍歷時代（和田邦坊）
漫畫家が賣出すまで（岡本一平）
第四卷　繪卷物とその漫畫的場面（水島爾保布）
文藝作品の漫畫化研究（細木原青起）
觀賞及展覽會漫畫の描き方（服部亮英）
展覽會漫畫の描き方（池部鈞）
動物漫畫の描き方（代田收一）
流行漫畫の描き方（スギタ・サンタロ）
現代日本漫畫壇の展望（加藤悅郎）
西洋漫畫の展望（矢崎茂四）
俳漫畫の要領（池田永一治）

滿洲醫科大學創立二十週年記念論文集　同學編　昭和六　一　六〇一　一九〇

鳥類に於ける毛様神經節及之に出入する神經に關する解剖學的及組織學的研究
第一報　成長せる鷄に就きて（瀨戸八郎）
支那人喉頭の研究（佐山光章）
蒙古產牛蠅の蛆毒素の研究
蛋白質溶解作用に就て（寺田文次郎）
胡滿强の研究　第一回報告（岡西爲人）
「ヴイタミン」B製劑の腸管運動に及ぼす作用（伊藤亮一）
「チアン」の生化學的研究　第七回報告「チアン」過血糖の起因に就て（工藤文雄）
脂肪族並に芳香族「ニトリール」化合體の生化學的研究　第一回報告　家雞血中「ロダン」含有量に及ぼす影響に就て（津留親）
不感蒸泄（久野寧）
腦內滯留性再歸熱「スピロヘータ」に對する化學的療法劑主として金製劑の效果並びに再歸熱「スピロヘータ」の腦內滯留性に關する基礎的實驗　其の一「スピロヘトージス」の治療に關する實驗的研究知見補遺（戸田忠雄）
淋巴腺の機能に關する知見補遺　特に淋巴腺と鐵代謝に就て（久保久雄）
何故に犬には鬱積性黃疸發生し難きか（大野章三、伊藤尹）
中國人の血液型に就て　第一報（森繁春）
生理的及病的狀態に於ける網狀赤血球　第一　網狀赤血球の檢出及生理的網狀赤血球（山口淸治、鈴木祐）
腹腔內に於ける液體の分布吸收に關する實驗的研究　其一　腹腔內に於ける液體の分布に就て（入江義一）
奉天に於ける日光紫外線に就て　第一　紫外線量（遠藤賢）
所謂分散麻痺に似たる一症例（前田勝和）
「ツオンデツク」「アツシュハイム」氏姙娠反應の研究　其三　姙娠反應の本態並に反應機轉に關する實驗的研究（空閑重秋）
皮膚結核と無食鹽食餌療法　第一報　臨床的治驗（北村精一）
「サルワルサン」溶媒として次亞硫酸曹達の臨床的並に實驗的研究
第一報（岩切友志、村山實）

滿洲經濟法令集　大連商工會議所編　昭和八至一〇　六　一四七　六四一
第三輯　滿洲國金融機關其他に關する法令
第四輯　暫行商租權登記法・商標登錄令其他關係法規
第五輯　政府契約・民事訴訟・稅關並郵便局關係法規
第一一輯　暫行滿華爲替規則・石油類專賣法・中央卸賣市場法・消費稅加稅物件製造取締法
第一三輯　關東州臨時利得稅令・關東州及滿鐵附屬地電氣事業令・營業稅法其他
第一四輯　鑛業法・鑛業法施行細則・鑛業稅法・鑛業登錄令・鑛業登錄稅法其他

滿洲國大系　滿洲國國務院總務廳情報處編　康德元、二　六　六六六　一四
第一二輯　施政綱要
第一三輯　滿洲帝國組織法
第一四輯　康德元年度豫算に就て
第一五輯　產業（康德元年度版）
第一六輯　財政金融篇
第一七輯　司法制度篇（康德元年度版）
第一八輯　交通篇（康德元年度版）
第一九輯　文化篇（康德元年度版）
第二〇輯　都市（特別市）篇（康德元年度版）
第二一輯　民政篇　同（康德元年度版）

第二二輯　外交篇（康德元年度版）
第二三輯　軍政篇（康德元年度版）
第二四輯　康德二年度豫算に就て

滿洲國の開發と日本經濟の動向　報知新聞經濟部編　昭和七　一　六三一　六〇

滿洲國法令輯覽　滿洲帝國國務院法制局編　昭和九　一〇　一四、七　六八四

第一卷　基本法・帝室篇
官制篇
官規篇
第二卷　服制・徽章・褒賞篇
文書・統計篇
寺廟・宗教篇
地方制度篇
財務篇
實業篇
第三卷　學務篇
社會篇
土地・建築物篇
第四卷　警察・衛生篇
軍事篇
第五卷　法務篇
第六、七卷　財務篇　上、下
第八卷　交通通信篇
外事篇
第九卷　產業篇
目錄索引

〔滿洲電業股份有限公司調査課〕調査資料

同課發行　昭和九、一〇　冊函號

〔「滿洲電業株式會社調査課」調査資料」ト改題）　三　一四、五　四一五

第一輯　北滿鐵道沿線に於ける電氣事業概況（同課編）
第四輯　滿洲に於ける電氣事業概況（村井博介、大石日出刀編）
第九輯　中華民國電氣事業　第一卷（江蘇省・浙江省）
（同課編）

同　第四輯　訂再版　一　一四、五　四一五イ

滿鐵調査資料　滿鐵社發行　昭和二至六　三六　一四、五　一七イ

第六四編　東三省に於ける度量衡（三浦秀次）
第六五編　各國に於ける植物性油　下卷（中村藤三譯）
第六七編　南北滿洲の主要海港河港（星田信隆）
第六八編　ソヴエート聯邦國民經濟の概況（田中有年）
第六九編　支那の戎克と南滿の三港（夷石隆壽等編）
第七〇編　民國十六年の滿洲出稼者（中島宗一）
第七二編　關東州鹽業統計　昭和元年（石井正泰）
第七三編　支那に於ける家族制度（水谷國一編）
第七四編　奉天省の財政　其一（中濱義久編）
第七五編　我國人口問題と滿蒙（工藤武夫編）
第七六編　滿蒙に於ける日本の投資狀態（三上安美）
第七七編　滿蒙に於ける露國の現勢力（市川倫）
第七八編　關東州鹽業統計　昭和二年（石井正泰）
第七九編　滿洲に於ける支那の特殊關稅制度（平田五郎編）
第八〇編　吉林省之林業（木村繁太郎編）
第八二編　吉林省の財政（中濱義久）
第八三編　滿洲粟の鮮內事情（大西健吉編）
第八四編　一九二五年廣東對英經濟絕交運動（同社編）
第八五編　一九二六年支那工場事情（栗本豐）

第八六編　滿洲に於ける日本取引所（齋藤征生編）
第八八編　南滿三港海運事情（夷石隆壽編）
第八九編　滿洲に於ける水產物の需給（工藤武夫編）
第九〇編　哈爾濱大洋票流通史（南鄕龍晉編）
第九二編　滿洲物價調査（安盛松之助）
第九三編　中華民國憲法（原武編）
第九五編　最近に於ける支那關稅問題（中濱義久）
第九六編　經濟方面より見たる呼倫貝爾事情（中村撰一）
第一〇〇編　民國十七年の滿洲出稼者（栗本豐）
第一〇一編　大連附近諸港背後地歐米向商品事情（大連港中繼貿易振興策參考資料）（南鄕龍晉等編）
第一〇二編　關東州鹽業統計　昭和三年（石井正泰編）
第一〇三編　滿洲の莫大小工業（工藤武夫編）
第一〇四編　滿蒙要覽（原武編）
第一〇八編　最近支那財政概說（竹內元平）
第一一〇編　北滿洲支那農民經濟（シヤノフ著　哈爾賓事務所譯）
第一一一編　滿洲に於ける紙の需要と製紙工業（三上安美）
第一一二編　支那の對外政治借款（中濱義久編）
第一一四編　支那に於ける列國の海運勢力（夷石隆壽）
第一一五編　北滿に於ける大豆と麻袋の採算（同社編）
第一一六編　東省特別區行政一般（槇田猷太郎）
第一一七編　滿洲に於ける邦人倉庫業（齋藤征生）
第一二〇編　滿洲に於ける支那銀行の概要（藤井諒）
第一二一編　滿蒙に於けるブリツスル（豚毛）事情（川野末吉）
第一二二編　印度の黃麻工業と滿洲に於ける麻袋（石井正泰）
第一二三編　國民政府の產業政策（小谷綱吉譯編）
第一二五編　支那に於ける外國租界回收問題（水谷國一）
第一二六編　大連市中央卸賣市場に就て（齋藤征生）
第一二七編　支那內國公債事情（中濱義久）
第一二八編　關東州鹽業統計　昭和四年（石井正泰）
第一二九編　遼寧の準備庫と現大洋票（藤井諒）
第一三〇編　民國拾八年滿洲出稼移民移動狀況（栗本豐）
第一三一編　滿洲材の日本に對する價値（三上安美編）
第一三二編　滿洲油坊現勢（統計編）（同社調査課編）
第一三三編　民國十八年東三省地方法令（濱岡福松譯）
第一三五編　滿洲油坊現勢（記述編）昭和四年（三上安美）
第一三六編　滿洲にセメント工業と其の需給狀況（原田健次郎）
第一三七編　國民政府中華民國民法對譯（總則編、債權編、物權編）（山田弘之編）
第一三八編　滿洲及北支那に於ける獸骨と骨粉
附「日本內地に於ける獸骨及骨粉の需給狀況」（石井正泰）
第一四〇編　支那の對外交通經濟借款（中濱義久編）
第一四一編　滿洲に於ける高粱酒釀造業（安村義一編）
第一四二編　大連を中心と銀市場と銀相場の研究（南鄕龍晉）
第一四三編　北滿地方に於ける特產物の取引及採算（加悅秀二）
第一四五編　各國植民地銀行制度（坂田謙吉編）
第一四九編　黑龍江省の財政（中濱義久）
第一五〇編　支那航行權概論（夷石隆壽）
第一五一編　滿洲に於ける糧棧　華商穀物問屋の研究（齋藤征生）
第一五三編　滿蒙鐵道の社會及經濟に及ぼせる影響
前編　滿蒙鐵道概論（星田信隆、平野博）
第一五四編　支那銀行關係規定集（藤井諒）
第一五五編　民國十九年東北五省區地方法令（濱岡福松譯）
第一五六編　公布國民政府中華民國民法對譯（親族編、相續編）（山田弘之譯）

第一五七編　滿洲出稼移住漢民の數的考察（栗本豐）　冊函號
第一五八編　大連に於ける特産物の取引及採算（加悦秀二）
第一五九編　關東州鹽業統計　昭和五年度（石井正泰）

滿蒙研究資料　北海道帝國大學滿蒙研究會發行　昭和一〇

第一七號　日滿技工の能率比較と滿洲國機械工業私見（久次米三夫）　一　一四、五　四五五

滿蒙全集　滿蒙學校出版部發行　昭和九

第一卷　滿洲建國遡原史略（鄭孝胥）　五　六七六　一一
滿洲國歷史講座（岡田銘太郎）
滿蒙地理講座（遠藤壽儼）
附　地圖の讀方（山内三吾）
滿洲國交通講座（加藤鎌三郎）
滿洲國國法講座　附　帝制實施後の滿洲國（山田陸槌）
滿洲國軍事講座（柴山兼四郎）
支那事情講座（多賀萬城）
支那民情風俗講座（後藤朝太郎）
附　滿洲の家屋建築（山内三吾）
第三卷　滿洲國商業講座（井出正壽）
滿洲國工業講座（細見健三）
滿洲國鑛産講座（村上鈑藏）
滿蒙水産講座（齋藤正之）
第四卷　滿洲農業講座（神田勝亥）
滿蒙の家畜及畜産講座（澤田壯吉）
滿蒙林業講座（庄田作輔）
第五卷　滿洲國金融財政講座（雪竹榮、五十子宇平）
滿洲移植民講座（森重干夫）
滿洲衞生講座（安井洋）
精神訓練講座（山田陸槌）
蒙古語講座（下永憲次）

同　第一至五卷　昭和九　五　六七六　一一イ

三上於菟吉全集　同人　昭和一〇　六　六八二　一三

第一卷　雪之丞變化
第二卷　激流
第三卷　愛憎祕刄錄、雪之丞變化（續）
第四卷　千姬、敵討三都錦繪
第五卷　日輪
第六卷　白鬼、熟風

未刊國文古註釋大系　吉澤義則編　昭和九、一〇　九　六五四　四〇

第二冊　萬葉集殘考（高井宣風）
萬葉集名物考
萬葉集動植考（伊藤多羅）
萬葉草木考（西門蘭谿）
第三冊　萬葉緯（今井似閑）
第四冊　古今集註
古今秘註抄
第五冊　後撰和歌集增抄（萩原宗固）
拾遺和歌集增抄（同）
第八冊　伊勢物語註（高宮環中）
伊勢物語雜語考（屋代弘賢）
伊勢物語直解（三條西實隆）
勢語諸註參解
伊勢物語臆斷
第一四冊　大鏡抄（屋代弘賢）
大鏡系譜（岡本保孝）
增鏡攷（同）
義經記大全（松風廬）
古事談攷證（岡本保孝）
古事談私記（矢野玄道）
續古事談私記（同）
十訓抄典故攷（岡本保孝）
十訓抄私記（矢野玄道）
古今著聞集私記（同）
宇治拾遺物語私記（同）
鴨長明發心集攷（岡本保孝）
第一五冊　平家物語集解
長門平家物語標註（平道樹）
第一六冊　徒然草拾遺抄（黑川由純）
第一八冊　笈の底（信天翁信胤）

未刊隨筆百種　隨筆同好會編　昭和二至四　二三　五六〇　二九

第一　岡場遊廓考
操曲入門口傳之卷
新役龍の庖丁
第二　江戸拾葉
吉原春秋二度の景物
文政年間漫錄
慶應雜談
博奕仕方風聞書
第三　享和雜記
俗事百工起源
淺草志
勝扇子
第四　青樓年曆考
天明紀聞
寛政紀聞
濟生堂五部雜錄
小歌事文類聚
謠文選語心註
淨瑠璃通鑑綱目
歌舞妓始記評林
類聚世話百川合海
第五　尾陽戲場事始
迂鈍
吉原失墜
村攝記
第六　事々錄
文政天保改革雜談
外記
第七　業要集
傾城百人一首
古今東名所
第八　かくやいかにの記
戲言養氣集
文化祕筆
七種寶納記
第九　及瓜漫筆
天保見聞祕錄
風說
第一〇　東都一流江戸節根元集
藝界きくまゝの記
祕登利古刀
寛延雜祕錄
寶丙密祕登津

世のすがた
第一一　きゝのまに〳〵
豐島郡淺草地名考
白石先生寶貨事略追加
俗語問屋場始末
第一二　寶夢錄
關東潔競傳
江戸圖書目提要
家守杖
洛水一滴抄
第一三　鄙雜俎
江戸愚俗徒然噺
素謠世々之蹟
崎陽賊船考
高田雲雀
第一四　露草雙紙
楓林腐草
柔話
文廟外記
一德物語
江戸自慢
第一五　柳營譜略
公鑑
水戸前中納言殿御系記
三十三ケ條案文
御町中御穿鑿遊女諸事出入書留
第一六　踊之著慕駒連
まさきのかつら
雜交苦口記
角力め組高人足一條

愚痴拾遺物語
頃日全書
使奏心得之事
第一七　公侯照績
享保通鑑
狩野五家譜
獄祕書
第一八　裏見寒話
小うた打聞
柳亭淨瑠璃本目錄
新微組目錄
六國列香之辨
第一九　六國四季之火合
在京在阪中日記
貴賤上下考
文政雜說集
天狗騷動實錄
緣山砂子
第二〇　十寸見編年集
雪のふる道
花柳古鑑
大江戸春秋
東臺見聞誌
寛政祕策
第二一　江戸芝居年代記
第二二　天保新政錄
川越松山之記
峽陽來書
身延攻
近世珍談集

第二三　難廼爲可話
門前地改更之實錄
桐竹紋十郎手記
玉川參登鯉傳
一本草
未刊隨筆百種書名索引

水甕歌書叢刊　水甕社發行　昭和四　二　五九〇　九八
第三篇　明治大正歌人評傳（安倍忠志）
第一二篇　上代歌謠集（兒山信一）

水甕叢書　水甕社發行　昭和四至八　一八　五一五　六八
第一一篇　岩谷莫哀短歌全集（岩谷莫哀）
第一六篇　水甕年刊歌集（昭和三年度）（同社編）
第一八篇　蓼花集（同社編）
第一九篇　水甕年刊歌集（昭和四年度）（同社編）
第二〇篇　歌好日（松田常憲）
第二一篇　間歩集（尾上柴舟）
第二四篇　歌密林（金澤種美）
第二八篇　短歌絲廊（湯本喜作）
集
第二九篇　歌早春（平原勝郎）
集
第三一篇　歌山茶花（日比野友子）
集
第三三篇　水甕年刊歌集（昭和五年度）（同社編）
第三六篇　短歌雜考（安部忠三）
第三七篇　歌壇史稿（同）
第三八篇　歌三徑集（松田常憲）
第四五篇　色彩（新人合著歌集A）（同社編）
第四六篇　構圖（新人合著歌集B）（同）
第四九篇　蓮月、元義、愚庵（湯本喜作）

第五〇篇　水甕年刊歌集（昭和七年度）（同社編）

水戸學全集　高須芳次郎編　昭和八、九　六　六三五　二五
第一編　藤田東湖集
第二編　會澤正志集
第三編　安積澹泊集
第四編　水戸義公集
水戸烈公集
附　藤田幽谷集
朱舜水集
第五編　栗山潛鋒集
三宅觀瀾集
附　栗田栗里集
內藤碧海集
第六編　青山延光集
青山延于集
附　鵜峰海西集

綠色の風景（詩集）　椎橋好　昭和四　一　五七九　三〇四

南支那及南洋調査　臺灣總督官房調査課發行　昭和二至一〇　三一　一四、二　四七八
第一二六輯　英領馬來の漁業（同課編）
第一二八輯　蘭領東印度に於ける外國人の投資（同）
第一二九輯　比律賓の農業教育（井上德彌）
第一三〇輯　英領北ボルネオタワオ地方に於ける椰子栽培業　附　企業參考資料（同課編）
第一三一輯　支那地質調査報告類集　第三卷（同課譯編）
第一三二輯　暹羅研究　第一篇（クレーム著　同課譯編）
第一三三輯　內外情報記事總索引（大正一〇年六月至同一四年一二月）（同課編）
第一三四輯　支那關稅特別會議の經過（井出季和太）

第一三六輯　新汕頭（內田五郎）
第一三七輯　比律賓の米（カムス著　同課譯編）
第一三八輯　南支那及南洋の園藝（櫻井芳次郎）
第一三九輯　英領馬來事情（同課編）
第一四一輯　比律賓に於ける肉製品需給の狀況（飯田吉英）
第一四二輯　南支那に於ける養豚業と豚肉加工品需給の狀況（同）
第一四三輯　支那の時局と支那貿易の消長（井出季和太）
第一四四輯　新嘉坡阿片、印度阿片（阿片調査其一）（鎌田正威）
第一四五輯　南支鳳梨事業（櫻井芳次郎）
第一四六輯　比律賓、ボルネオ並に漁業試驗報告（森脇虎藤等編）
第一四七輯　瓜哇の糖業政策及糖業機關（土井季太郎）
第一四八輯　波斯阿片、土耳古阿片（阿片調査其二）（鎌田正威）
第一四九輯　支那の國民革命と國民政府　第一編（井出季和太）
第一五〇輯　サラワク王國邦人企業一覽（一九二八年一月末現在）（同課編）
第一五一輯　サラワク王國在留邦人の狀況（松本辰藏）
第一五二輯　支那の國民革命と國民政府　第二編（井出季和太）
第一五三輯　印度支那の甘蔗（同課譯編）
第一五四輯　蘭領印度モロッカス群島近海の鰹漁業並に同地方沖繩縣漁民の狀況（江川俊治）
第一五五輯　蘭領東印度立法行政法並選擧法　附　蘭領印度の政黨（同課譯編）
第一五六輯　ココ椰子（サムプソン著　同課譯編）
第一五七輯　海南島に於ける農產業調査（平間惣五郎）
第一五八輯　支那內國關稅制度　其一（井出季和太）
第一五九輯　國策としての南洋移民問題（隈川八郎）
第一六〇輯　比律賓ダバオ州に於ける邦人產業調査報告　附　同地在住邦人の保健に關する意見書（同）
第一六一輯　南洋に於ける養蠶業　附　比律賓ダバオ蠶業調査報告（同）
第一六二輯　佛領印度支那金融事情（田名瀨勝吉）
第一六三輯　支那最近の工業並に財政（同課編）
第一六四輯　比律賓群島の水產資源（アルバート・ハレ著　同課譯編）
第一六五輯　新嘉坡に於ける漁業狀況（永福虎）
第一六六輯　馬來半島とスマトラとの栽培企業比較（增淵佐平）
第一六七輯　南洋各地物產、交通、人口地圖（同課編）
第一六八輯　南洋各地邦人栽培企業要覽　附　同地圖（同）
第一六九輯　支那に於ける列强の利權運動（徐之圭著　同課譯編）
第一七〇輯　支那最近の時局と貿易關係（井出季和太）
第一七一輯　緬甸米（同課編）
第一七二輯　熱帶地に於ける煙草の栽培法（增淵佐平）
第一七三輯　英領印度、馬來半島及瓜哇に於けるマラリア（森下薰）
第一七四輯　南支那漁業試驗報告　附　漁業資料（大熊保道）
第一七五輯　佛領印度支那國情調査　第一卷（同課編）
第一七六輯　支那內國關稅制度　其二（井出季和太）
第一七八輯　サラワク勞働法（同課編）
第一七九輯　蘭領東印度群島地質論（同）
第一八〇輯　支那農民の經濟狀態（同）
第一八一輯　蘭領印度關稅定率法及關係法規（同）
第一八二輯　瓜哇紅茶の製造（デウイス著　同課譯編）
第一八三輯　蘭領印度の政治並に其批評（同課編）
第一八四輯　南支那の開港場　第一編（井出季和太）
第一八五輯　日本、臺灣對南洋貿易統計　附　南洋各地船舶統計（同課編）
第一八六輯　英領北ボルネオ事情（同）
第一九一輯　比律賓群島に於ける鳳梨事業（岡崎仁平）
第一九二輯　支那重要貿易品解說　第二編（ウオトスン著　鮫島清譯）
第一九三輯　南洋及印度に於ける養豚業と豚肉加工品需給狀況（飯田吉英）
第一九四輯　蘭領印度行政關係法規及選擧法（同課譯編）
第一九五輯　中華民國茶業史（同）
第一九六輯　退羅の森林（同課編）
第一九七輯　佛領植民地の關稅政策（同課譯編）
第一九八輯　南支那の開港場　第二編（同課編）
第一九九輯　比律賓の現狀（商工省商務局編）
第二〇〇輯　蘭領東印度に於ける土人ゴム栽培（同課編）
第二〇三輯　蘭領印度に於ける金融狀況（同）
第二〇四輯　南支那の開港場　第三編（同）
第二〇八輯　支那內國關稅制度　其三（井出季和太）
第二一〇輯　ガツタパーチヤ・バラタ・チツクル及其他の護謨（同課編）
第二一一輯　蘭領印度に於ける歐人農鑛企業（同）
第二一二輯　世界に於ける苞麻產業（同）
第二一三輯　蘭領印度主要粗稅關係法規（同）
第二一四輯　支那關稅制度の由來（井出季和太）
第二一五輯　支那內國關稅制度　第四（同）
第二一七輯　シサル纖維（スミス著　同課譯編）
第二一八輯　英領馬來に於けるタピオカ產業（同課編）
第二一九輯　カツサバ栽培に關する研究（同課譯編）
第二二〇輯　海南島奧地旅行報告（デイール著　同課譯編）
第二二一輯　カサバの栽培及びカサバ粉の製造法（同課譯編）
第二二七輯　南洋各地邦人栽培企業要覽　附　南洋邦人林・鑛・水產業要覽（同課編）
第二二八輯　南支南洋貿易概觀（同）

同　昭和八　第一八五輯　訂　一　一四、二イ　四七八イ

〔南滿洲鐵道株式會社教育研究所〕研究要報

同所編　昭和九〔南滿洲鐵道株式會社地方部學務課研究要報〕ノ改題〕　一　二五九五　一三二

第三輯　滿洲產化石を主としたる古生物學的考察（遠藤隆次）
日本語に於ける支那語の浸潤（山下藤次郎）
讀方考査法（千代田小學校國語研究部編）
新國語讀本卷四の研究（同）
$X^2+Y^2=Z^2$ の正整數解（渡邊辰造）
數學に於ける科學的訓練（安原利男）
滿蒙に於ける國史教育の立脚點（久原市次）
尋一學級經營上の基礎調査（小宮生計）
學童に於ける寄生蟲に就て（守安直孝）
滿洲兒童の特性と其環境（古橋猛雄）

〔南滿洲鐵道株式會社地方部學務課〕研究要報

同課編　昭和九　二　二五九五　一三二

〔第三輯以下〔南滿洲鐵道株式會社教育研究所〕研究要報〕ト改題〕

第一輯　中等學校の部
教育思想と教科の歷史的變遷（高橋廣藏）

冊函號	
	萬葉年表（瀨古確）
	書道の趣味と研究法（則武信夫）
	南滿洲鞍山出土畫像石の調査（鞍山中學校歷史研究室編）
	鞍山中學校歷史研究室蒐集品目錄（同）
	滿洲考古資料餘話（梅本俊次）
	羅津港及敦圖鐵道並その沿線の經濟地理に就いて（今江勇也）
	日本に於ける化石昆蟲類の研究に就いて（小貫義男）
	日滿商品學（向井清二）
	生徒實習指導要領（營口商業實習所編）
	滿洲市場に於ける支那語商品名調査（野本政治）
第二輯	初等學校の部
	自然科教材要目並に指導案例（初等教育研究會第一部自然科研究委員會編）
	滿洲補充讀本教材研究（初等教育研究會第一部國語研究委員會編）
	讀方教材の時間配當と配列（千代田小學校編）
	兒童生活調査—家庭に於ける勤勞（加茂小學校編）
	夏期休暇中の作業記錄（本溪湖小學校編）
	綜合作業による鷄舍の建築（千金小學校編）
	新屯聚落要錄（千代田小學校編）
	養護學級の實際（鐵嶺小學校編）
	滿洲國重要宣言聲明之解釋（初等教育研究會第二部公民研究委員會編）
	公學校兒童應知的滿洲國普通作法（同）
	滿洲國人兒童生徒の日本語發音誤謬の調査（鐵嶺日語學堂編）
	滿洲國人兒童生徒の日本語助詞誤謬の調査（同）

冊函號	
	研究物目錄（昭和八年度）附 昭和六、七年度研究物目錄
〔南滿洲鐵道株式會社〕農事試驗場彙報	滿鐵社發行 昭和三至五〔第三〇號以下〔南滿洲鐵道株式會社〕農事試驗場報告〕ト改題〕
第二六號	滿洲に於ける牧草（同場編） 一 一四、二 四一三
第二七號	滿洲の高粱栽培の卷（同）
第二八號	南滿洲土性調査報告（突永一枝）
第二九號	改訂滿洲の在來農具（同場編）
同	昭和八
第五號	滿洲在來農業 訂補（同場編） 一 一四、二 四一三
〔南滿洲鐵道株式會社〕農事試驗場報告	同場發行 昭和五至一〇〔「〔南滿洲鐵道株式會社〕農事試驗場彙報」ノ改題〕
第三〇號	粟黑穗病と其防除法（高杉英男、赤石行雄） 七 一四、二 四一三
第三一號	滿洲の粟（村松榮）
第三二號	滿洲に於ける水稻栽培（伊藤榮之祐）
第三三號	桑の品種に關する調査報告（同場編）
第三四號	滿洲の土產牛（坪井清）
第三五號	滿洲梓蠶の微粒子病並にその防除法に關する研究（湯川秀夫等）
第三六號	滿洲に於けるルーサン栽培法（小佐井元吉）
〔南滿洲鐵道株式會社〕パンフレット	滿鐵調査課編 昭和二至六 二 一四、五 一一八

冊函號	
第三一號	露國復興策（オストロウモフ著 滿鐵調査課譯編）
第三二號	滿洲包米に關する調査（熊野御堂健兒編）
第三三號	東支鐵道商業部及經濟調査局の組織と事業一班（田中有年譯）
第三四號	商品としての滿洲米（大西健吉編）
第三五號	奉天に於ける司法制度（水谷國一編）
第三七號	奉天省吉林省に於ける警察、保衛團、鄉村制度（山田弘之編）
第三八號	中國國民黨の思想的根據（同課編）
第三九號	各國の對支投資機關（同）
第四〇號	入關後に於ける奉天派（船橋半三郎編）
第四一號	續南滿洲工業事情（阿部勇）
第四二號	「ソウエート」聯邦の失業對策（田中有年譯）
第四四號	滿洲貨幣相場集成 其一至三（同課編）
第四五號	最近に列國の對支關稅關係（中濱義久）
第四六號	北支那沿岸の航路網（寒石隆壽）
第四八號	支那に於ける無盡の慣習（山田弘之譯編）
第四九號	新聞に傳滿蒙の豫定鐵道（住吉平治）
第五〇號	東寧縣事情（中村撰一）
第五一號	一九二七年ソウエート聯邦の對東方諸國貿易度に於ける（同課編）
第五二號	本邦工業と滿洲の原料 第一（熊野御堂健兒編）
第五三號	北伐完成迄の國民黨（同課編）
第五四號	滿洲に於ける通貨及金融の概要（同）
第五五號	東支鐵道の輸送並に營業成績（槇田猷太郎譯）
第五六號	改支那關稅定率表（中濱義久譯）
第五七號	東支鐵道の滿洲經濟界に及ぼせる影響と創業廿五年間に於ける運賃政策の變遷（滿鐵哈爾賓事務所編）
第六〇號	哈爾濱に於ける通貨及金融機關（南鄉龍晉）
第六一號	滿蒙に於ける鐵道の概要（星田信隆編）
第六二號	興安屯墾區事情（栗本豐譯）
第六三號	北滿に於ける特產物擔保貸出（南鄉龍晉）
第六四號	北米に於ける灌漑事業 附 滿洲の灌漑（岡崎文吉）
第六五號	支那關稅制度綱要（中濱義久）
第六七號	豆粕の飼料化に就ての考察（三箇功）
第六八號	支那降雨量の研究（岡川榮藏譯）
第六九號	國民政府の財政報告（中濱義久譯）
第七一號	支那の門戶開放主義に關する條約協定及公文（水谷國一）
第七二號	滿洲の柞蠶（三上安英）
第七三號	商租權概說（松本俠）
第七四號	民國十八年七月一日至同十九年六月三十日）民國十八年度國民政府財政報告（中濱義久譯）
第七五號	銀問題の大要（同課編） 一 一四、五 一一八
同	昭和四
第八號	滿蒙より何を期待すべきか（滿蒙資源要說）訂（野中時雄）
〔南滿洲鐵道株式會社臨時經濟調査〕資料	同社發行 昭和三至五 一七 五八八 七三
第一編	滿蒙に於ける荷馬車（住吉平治）
第二編	滿鐵各個所使役華工調査報告 第一（同社編）
第三編	第一、丸粕輸出試驗報告（池邊重熾）
	第二、歐洲に於ける滿洲大豆工業の現況（同）
第四編	滿洲大豆品質等級査定に關する調査（池邊重熾等）
第五編	經濟上より觀たる滿蒙の道路（住吉平治）

第八編　大連港と密接の貿易關係を有する各港灣諸掛便覽（內丸男、西田勇吉編）　冊　函　號

第一〇編　吉敦治線水田候補地調査報告書　附　日本內地、朝鮮、臺灣產米增殖に關する方策（同社編）

第一一編　帝國植民地課稅一覽（香川岩雄、二瓶治夫編）

第一三編　吉林省に於ける土地整理に關する法律（板倉眞五等編）

第一四編　日本內地に於ける家畜飼料の需給（佐伯新之等編）

第一五編　滿洲に於ける鐵鋼需要調査　附　支那民間需要鐵鉤に關する調査（米岡昌策）

第一六編　支那毛皮（三田了一、富樫嶺雄編）

第一八編　遼陽附近を太子河の流勢と洪水記錄（住吉平治編）

第二〇編　中心とする本邦及朝鮮に於ける無煙炭の需給並滿洲產無煙炭に關する調査（藤平田文吉）

第二一編　滿蒙に於ける工業用家專用燃料需要調査報告書（柴部一之等）

第二四編　滿蒙牛日本輸出に關する調査（伊藤猛、植木剛）

第二五編　黑龍江省植民に關する省單行土地法令（板倉眞五）

第三〇編　混保大豆規格調査（池邊重熾）

第三三編　支那羊毛（三田了一）

第三四編　支那の動亂と山東農村（小澤茂一）

三重高農同窓會學術彙報　第二至四號　同會編　昭和八至一〇　三　一四、五　二八九

名目抄（群書類從第二六輯雜部ノ內　昭和四）　五八三　一四

同（新校群書類從第二〇卷雜部ノ內　昭和四）　五八四　五

三宅やす子全集　第一至五卷　同人　昭和七　五　六一三　七三

都路大寄藏（改正新板）（豐後節正本）　特〇一　京　三八九

民衆娛樂調査資料　文部省社會教育局編　昭和六至一〇　三一八　冊　函　號

第一輯　全國農村娛樂狀況

第二、四輯　興業映畫調査　第一、三

第五、六輯　全國農山漁村娛樂狀況　上、下

第七輯　興行映畫調査　第四

第八輯　學生生徒の娛樂に關する調査

第九輯　興行映畫調査　第五　八　六二五　三

民衆政治講座　青雲閣等發行　昭和三至五　一八　五八七　一一〇

第一卷　議會制度改革論（馬場恒吾）

第二卷　對支外交論（宮崎龍介）

第三卷　民衆外交論（龜井貫一郎、吉川末次郎）

第六卷　國家財政論（松永義雄）

第七卷　無產階級金融論（井關孝雄）

第八卷　勞働立法論（鈴木文治）

第九卷　無產階級と國防問題（水野廣德）

第一〇卷　解放運動の指導理論（赤松克麿）

第一一卷　勞働組合論（松岡駒吉）

第一三卷　農村經濟論（笠置運）

第一五卷　婦人解放論（赤松明子）

第一六卷　小作立法論（片山哲）

第一七卷　小經營者論（小池四郎）

第一八卷　地方財政論（松永義雄）

第一九卷　民衆教育論（爲藤五郎）

第二〇卷　失業問題（小山壽天）

第二一卷　階級論（小池四郎）

第二二卷　政治道德論（安部磯雄）

第二四卷　近代政治の根本問題（吉野作造）

無窮樹（靈能心柱）　押尾儀兵衞（大虛）　昭和三　一　五四九　四一〇

武者小路實篤全集　同人　昭和三　一　五〇五　六三

第一二卷　運命と碁をする男

愛慾

孤獨の魂

ある畫室の主

浦島と乙姬

生命の王

一休の獨白

みない鳥

須世理姬

同　昭和三　四　五〇五　六三イ

第四卷　歷史劇

清盛と佛御前

日本武尊

楠正成

桃源にて

秋の曲

だるま

蕉

對話

無知萬歲

亡友

夢

空想

或る若き男

平凡な四人の男の話

おどりくらべ

呑氣な二人の女の會話

後ちに來る者

「あれ」

或る若き女

今に見ろ

二人

鰻と鮭

私生兒

釘をうつ音

庭にゐる男

人間造りの一瞬間の會話

簡單さ

死後のイスガリオテのユダ

耶蘇を見た

ダビデの運命

勇士と聖人

呑氣な親子

第七卷　幸福者

耶蘇

ある隱者の運命

第八卷　或る男

或る男の話

第一〇卷　感想集

無線科學講座　新光社編　大正一四　二　五六二　六五

第一輯　無線電信電話の沿革（稻田三之助）

應用數學（倉持佐重）　三一九

		冊	函	號
電氣磁氣學及電氣機械（竹林嘉一郎）				
電波（小野孝）				
送信送話裝置（中上豐吉）				
受信及受話裝置（荒川大太郎）				
眞空管（小野孝）				
第二輯 測定と計算（寺畑松太郎）				
各種無線設備概要（伊藤豐）				
通信術（吉本要）				
世界に於ける長距離無線通信の現況（中上豐吉）				
放送無線電話（穴澤忠平）				
機械製作組立及修理（佐々木諦）				
無線法規（中鄕孝之助）				
無線工學講座 共立社編 昭和八至一〇		七	七〇一	二七
第一卷 無線工學理論（楠瀨雄次郎）				
電波傳播理論（難波捷吾）				
電氣音響學（小林勝一郎）				
電氣濾波器（千葉茂太郎）				
第二卷 受信機械（稻波季雄）				
テレビジョン（高柳健次郎）				
トーキー（中井將一）				
無線寫眞電送（丹羽保次郎）				
光通信（阪本捷房）				
第三卷 無線電話端局裝置（庄司養二）				
無線絕緣材料（貞清玄龜）				
熱電子放出理論（濱田成德）				
超短波の發生と應用（神尾敬一）				
受信眞空管（大塚雄二）				
第四卷 ブラウン管及び光電管（長島躬行）				
送信機械（新堀正義）				
送信眞空管（松井邦寧）				
特殊眞空管（濱田成德）				
ピエゾ電氣と其應用（松村定雄）				
第五卷 特殊無線通信方式（林卓）				
搬送波電信電話（堀孝治）				
空中線（加藤安太郎）				
無線遠隔操縱（八木秀次、林龍雄）				
第六卷 無線局の設計（網島毅）				
車輛無線（今岡賀雄）				
空電並に其除去法（金原淳）				
方向探知器（難波捷吾、塚田太郎）				
無線工學公式並に圖表集（千葉茂太郎）				
第七卷 放送無線電話（丸毛登）				
無線航空標識（今岡賀雄）				
無線の航空上の應用（土方鹿之助）				
熱電子管其他放電管の各種應用（星合正治）				
無線工學測定法（松村定雄、高谷道弘）				
無線工學術語集（小野孝）				
名人圍碁講座 平凡社發行 昭和七至一〇		一三	二二三	六一六
第一 實戰詳解素人碁鑑 上、下（廣月絕軒編）				
茗溪會パンフレット 目黑書店發行 昭和三、四		二	五八四	一三
第三輯 西洋家族史（木下一雄）				
第四輯 御大禮勅語解（萩原擴）				
茗溪會讀物調査部推薦優良圖書一覽 第（一）、（二）輯 昭和三、八 同調査部編		二	五八五	四六
第二、三卷 大藏省沿革志 上、下卷（大藏省編）				
第四至六卷 歲入出決算報告書 上、中、下卷（明治元至一八年度）（同）				
第七卷 地租改正報告書（同）				
地租改正例規沿革撮要（同）				
地租關係書類彙纂（大藏省主稅局編）				
第八卷 族祿處分錄（大藏省國債局編）				
秩祿處分顚末略（大藏省編）				
秩祿處分參考書（大藏省理財局編）				
第九卷 藩債處分錄（大藏省國債局編）				
藩債輯錄（大藏省編）				
舊藩外國通債處分錄（同）				
第一〇卷 九分利付外國公債紀事（大藏省記錄局編）				
七分利付外國公債發行日記（同）				
在歐吉田少輔往復書類（同）				
第一一卷 準備金始末（大藏省編）				
準備金始末參考書（同）				
紙幣整理始末（松方正義）				
明治三十年幣制改革始末概要（同）				
明治年間米價調節沿革史（大藏省理財局編）				
第一二卷 貨幣制度調査會報告（貨幣制度調査會編）				
同附錄（同）				
第一三卷 明治貨政考要（大藏省編）				
上編（正貨事歷）				
中編（政府紙幣事歷）				
下編（會社及銀行紙幣ノ部）				
第一四卷 貨政考要 法令編（同）				
第一五、一六卷 會社全書 上、中卷（同）				
第一卷 理財稽蹟（小宮揆一編）				
松方伯財政論策集（松方正義著 平山成信等編）				
第二、三卷 大藏省沿革志 上、下卷（大藏省編）				
第四至六卷 歲入出決算報告書 上、中、下卷（明治元至一八年度）（同）				
第七卷 地租改正報告書（同）				
地租改正例規沿革撮要（同）				
地租關係書類彙纂（大藏省主稅局編）				
第八卷 族祿處分錄（大藏省國債局編）				
秩祿處分顚末略（大藏省編）				
秩祿處分參考書（大藏省理財局編）				
第九卷 藩債處分錄（大藏省國債局編）				
藩債輯錄（大藏省編）				
舊藩外國通債處分錄（同）				
第一〇卷 九分利付外國公債紀事（大藏省記錄局編）				
七分利付外國公債發行日記（同）				
在歐吉田少輔往復書類（同）				
第一一卷 準備金始末（大藏省編）				
準備金始末參考書（同）				
紙幣整理始末（松方正義）				
明治三十年幣制改革始末概要（同）				
明治年間米價調節沿革史（大藏省理財局編）				
第一二卷 貨幣制度調査會報告（貨幣制度調査會編）				
同附錄（同）				
第一三卷 明治貨政考要（大藏省編）				
上編（正貨事歷）				
中編（政府紙幣事歷）				
下編（會社及銀行紙幣ノ部）				
第一四卷 貨政考要 法令編（同）				
第一五、一六卷 會社全書 上、中卷（同）				
第二 名人指南碁（同）				
第三 圍碁全史 坐隱談叢 卷一至四（安藤忍意編 廣月絕軒補）				
明治學院高商論叢 明治學院高商學會編 昭和六、七		二	一四、五	二七二
第一號 累進的課稅原理と我が國の租稅政策（嶺岸忠之助）				
ダムピングに就いて（齋藤茂夫）				
獨逸に於けるカルテル及びコンツエルン（川島外治）				
各國計理士制定の歷史的考察（渡邊啓介）				
配當金に就いて（伊藤光雄）				
近代歐洲文學と贖罪觀念（中山昌樹）				
トマス・アクキナスの善觀念を通じてみたる價値と存在の關聯に就て（高桑純夫）				
資料 法律の宗教哲學（ラードブルヒ著 竹內敏夫譯註）				
ロッチデール開拓者消費組合（佐原明次）				
阿片に就て（高橋保）				
第二號 保險は文化の尺度（森莊三郎）				
聖アウグスティヌス「神の都」序說（中山昌樹）				
金輸出再禁止に對する檢討（小泉嘉章）				
我が國產業の一斷面（嶺岸忠之助）				
信用恐慌に對する獨逸政府の措置（川島外治）				
純益論（間山秀己）				
學生の眼に映じたる現代の產業（藤本英二等）				
調査課資料一覽（昭和六年一二月現在）				
明治聖德記念學會紀要（財團法人）				
第二七、二九、三二至四四卷 同會編 昭和二至一〇		一三	一四、五	一
明治前期財政經濟史料集成 大內兵衞、土屋喬雄編並校 昭和六至一〇		二〇	六〇一	三一

	冊函號
第一七卷　工部省沿革報告（大藏省編）	
會計檢査院史（川口嘉編）	
第一八至二〇卷　興業意見　上、中、下卷（農商務省編）	

明治大學創立滿五十年記念論文集　明大學會編　昭和六　三　六〇〇　二四六

商學篇（明大商學論叢第一〇卷第五、六號）	
保險募集取締規則を論ず（石川文吾）	
兌換銀行券發行と預金銀行業務との關連（通貨主義研究の一側面、オヴァーストウン卿）（春日井薫）	
廣告の法學的研究に就て（井關十二郎）	
公企業の經營經濟的吟味（佐々木吉郎）	
外國貿易統計の重要性に就きて（藤本幸吉郎）	
統制勘定處理に於ける若干の特殊問題（金洵植）	
法定積立金論（橋本良平）	
暖簾に就て（柳樂健治）	
讃護栽培事業の沿革及世界に於ける供給並に消費を論ず（小此木爲二）	
農業原價會計論（武田孟）	
生命保險信託の經營（細矢祐治）	
ボランタリー・チェン・ストーア（Voluntary chain store）の發生と其の特質（林久吉）	
保險者の共同海損塡補額（瀨戸彌三次）	
英國の初期鐵道とその經濟的背景（太田黑敏男）	
日本商法典の編纂と其改正（志田卿太郎）	
政治經濟學篇（政經論叢第六卷第三、四號）	
國民經濟と世界經濟（河津暹）	
ドイツ賠償問題（米田實）	
「國民經濟學の主要原理論」を通してなすシュパンの一考察（西村文太郎）	
ペレー教授の價値論に就て（栗原信一）	
公營事業論（小島憲）	
殘身を見せよスフィンクス（村瀨武比古）	
相續稅の制度及學說の發展（北崎進）	
個人主義經濟の哲學的基礎（關末代策）	
サン・シモンの社會學（赤神良讓）	
法學篇（法律論叢第一〇卷第一〇、一一號）	
會社の機關を論ず（水口吉藏）	
教授宮本英脩君の刑法學粹を讀む（岡田庄作）	
勞働契約の基礎形態に關する若干の考察（森山武市郎）	
法律の不可侵性を論ず（大谷美隆）	
商業使用人概論（松岡熊三郎）	
不法行爲に因る損害賠償に關する英法の原則（冠木精喜）	
獨逸の養子媒介制度に就て（野田孝明）	

同　商學篇、政治經濟學篇　二　六〇〇　二四六イ

明治大正大阪市史　大阪市役所編　昭和八至一〇　八　六四〇　二二

第一卷　概說篇	
第二至四卷　經濟篇　上、中、下	
第五卷　論文篇	
第六卷　法令篇	
第七卷　史料篇	
第八卷　總目次、年表、索引	

同　第一卷　昭和九　一　六四〇　二三イ

明治大正史　朝日新聞社編　昭和五、六　六　六一〇　一九

第一卷　言論篇	
第二卷　外交篇	
第三卷　經濟篇	
第四卷　世相篇	
第五卷　藝術篇	
第六卷　政治篇	

明治大正實話全集　第一至一二卷　平凡社發行　昭和四、五　一二　五九八　二

明治大正文學全集　春陽堂編　昭和二至七　六〇　五四五　六六

第一卷　東海散士篇	
矢野龍溪篇	
第二卷　末廣鐵腸篇	
丹羽純一郎篇	
成島柳北篇	
假名垣魯文篇	
饗庭篁村篇	
幸堂得知篇	
第三卷　坪內逍遙篇	
第四卷　長谷川二葉亭篇	
山田美妙齋篇	
矢崎嵯峨の舍篇	
第五卷　尾崎紅葉篇	
第六卷　幸田露伴篇	
第七卷　森鷗外篇	
第八卷　森田思軒篇	
黑岩涙香篇	
第九卷　廣津柳浪篇	
廣津和郎篇	
第一〇卷　齋藤綠雨篇	
後藤宙外篇	
巖谷小波篇	
若松賤子篇	
第一一卷　高山樗牛篇	
樋口一葉篇	
川上眉山篇	
第一二卷　泉鏡花篇	
第一三卷　德富蘆花篇	
第一四卷　村上浪六篇	
塚原渋柿園篇	
第一五卷　江見水蔭篇	
村井弦齋篇	
第一六卷　小杉天外篇	
第一七卷　小栗風葉篇	
第一八卷　菊池幽芳篇	
第一九卷　柳川春葉篇	
佐藤紅綠篇	
第二〇卷　正岡子規篇	
第二一卷　長塚節篇	
高濱虛子篇	
吉村冬彥篇	
第二二卷　國木田獨步篇	
第二三卷　田山花袋篇	
第二四卷　島崎藤村篇	
第二五卷　德田秋聲篇	
葛西善藏篇	
第二六卷　和歌、俳句篇	
第二七卷　夏目漱石篇	
第二八卷　鈴木三重吉篇	
第二九卷　森田草平篇	
第三〇卷　岩野泡鳴篇	
小川未明篇	
中村星湖篇	

第一卷
第一編　一般資料
第一類　保護さの字

明治大正保護史料

生命保護會社協會編
昭和九(一九三四)年

第一卷　四六判　五四〇頁　定價　三五

同　第二(一九二三)、四至七、九至一〇、一二、一三、一五、一七、一八、二〇、二二、二四至二六、二七、四八、五〇、五四、六六、六九、七〇、七三、七七、九〇、九三、九五、九六、九八、一〇一

目次

岡田三郎篇
池谷信三郎篇
大釜健篇
澁原大助篇
小島藤二郎篇
平林彔い子篇
金子洋文篇
前田河廣一郎篇
渠山嘉樹篇
現代作家篇　第二
第六〇卷
直木三十五篇
佐々木味津三篇
第五九卷
自井霞川仲篇
第五八卷
長谷川伸篇
中村正常篇
底野九樂篇
佐々木邦篇
第五七卷
甲賀三郎篇
大下宇陀兒篇
第五六卷
小酒井不木篇
江戸川亂歩篇
片岡鐵兵篇
黒島傳治篇
田中貞二郎篇
橋本英吉篇
立野信之篇
中野重治篇
村山知義篇
中村武羅夫篇
加藤武雄篇
牧野信一篇
下村千秋篇
細田民樹篇
細田源吉篇
第五二卷
村山知義篇
第五一卷
佐々木孝丰篇
川端康成篇
中河與一篇
稲垣足穂篇
浮田和民篇
龍膽寺雄篇
久保榮篇
井伏鱒二篇
堀辰雄篇
嘉村礒多篇

メイテ

第五大篇
江戸川亂歩篇
小酒井不木篇
甲賀三郎篇
大下宇陀兒篇
第五六卷
佐々木邦篇
底野九樂篇
中村正常篇
長谷川伸篇
第五八卷
自井霞川仲篇
第五九卷
佐々木味津三篇
直木三十五篇
第六〇卷
現代作家篇　第二
渠山嘉樹篇
前田河廣一郎篇
金子洋文篇
平林彔い子篇
小島藤二郎篇
澁原大助篇
大釜健篇
岡田三郎篇
池谷信三郎篇

第五七卷
小酒井不木篇
江戸川亂歩篇
第五六卷
甲賀三郎篇
大下宇陀兒篇
第五五卷
橋本英吉篇
立野信之篇
中野重治篇
村山知義篇
第五四卷
中村武羅夫篇
加藤武雄篇
牧野信一篇
第五三卷
下村千秋篇
細田民樹篇
細田源吉篇
第五二卷
村山知義篇
第五一卷
佐々木孝丰篇
川端康成篇
中河與一篇
稲垣足穂篇
浮田和民篇
龍膽寺雄篇
久保榮篇
井伏鱒二篇
堀辰雄篇
嘉村礒多篇

メイテ

第三一卷　永井荷風篇
第三二卷　上司小劍篇
第三三卷　正宗白鳥篇
第三四卷　長田幹彥篇
第三五卷　野上彌生子篇
第三六卷　武者小路實篇
第三七卷　長與善郎篇
第三八卷　谷崎潤一郎篇
第三九卷　佐藤春夫篇
第三十卷　有島武郎篇
第三一卷　有島生馬篇
第三二卷　久保田万太郎篇
第三三卷　水上瀧太郎篇
第三四卷　倉田百三篇
第三五卷　吉田絃二郎篇
第三六卷　志賀直哉篇
第三七卷　佐藤春夫篇
第三八卷　加藤武雄篇
第三九卷　豐島與志雄篇
第四〇卷　松岡讓篇
第四一卷　田村俊子篇
第四二卷　近松秋江篇
第四三卷　里見弴篇
第四四卷　宇野浩二篇
第四五卷　小山内薰篇
第四六卷　久米正雄篇
第四七卷　芥川龍之介篇
第四八卷　室生犀星篇
第四九卷　葛西善藏篇

第二類　總說　　冊函號
第三類　法規
第四類　物保險
第五類　人保險
第六類　雜
第二編　會社資料
第一類　物保險　附　第一卷　追補
第二類　人保險

明治文化全集　吉野作造編　昭和二至五　三三　五七四　一〇

第一卷　皇室篇
第二卷　正史篇　上卷
第四卷　憲政篇
第五卷　自由民權篇
第六卷　外交篇
第七卷　政治篇
第八卷　法律篇
第九卷　經濟篇
第一〇卷　教育篇
第一一卷　宗教篇
第一二卷　文學藝術篇
第一三卷　時事小說篇　附　續譯文藝篇
第一四卷　飜譯文藝篇
第一五卷　思想篇
第一六卷　外國文化篇
第一七卷　新聞篇
第一九卷　風俗篇
第二〇卷　文明開化篇
第二一卷　社會篇
第二二卷　雜史篇
第二三卷　軍事篇、交通篇
第二四卷　科學篇

同　第一至一一、一三至二四卷　三三　五七四　一〇イ
第三卷　正史篇　下卷
第一八卷　雜誌篇

明治編年史（新聞集成）　明治編年史　昭和九、一〇編纂會編　八　六一四　一八一
第一卷　維新大變革期　（文久二年至明治五年）
第二卷　民論勃興期　（明治六年至同九年六月）
第三卷　西陲擾亂期　（明治九年七月至同一一年一二月）
第四卷　國會開設運動期　（明治一二年至同一四年）
第五卷　民論大彈壓期　（明治一五年至一七年）
第六卷　歐化政治期　（明治一八年至同二〇年）
第七卷　憲法發布期　（明治二一年至同二三年）
第八卷　國會搖籃期　（明治二四年至同二六年）

同　第一至八卷　八　六一四　一八一イ

名碑帖選　興文社發行　昭和九、一〇　九〇　二一六　一五六
第一　王羲之全集　第一
第二　歐陽詢全集
第三　顏眞卿全集　第一、四、五
第四　王獻之全集　第一
第五　褚遂良全集　第一
第六　北魏集　第一、二
第七　漢碑集
第八　趙子昂集　第一、二
第九　虞世南全集
第一〇　唐太宗全集

綿業調査資料　日本綿業倶樂部發行　昭和四至八　一三　一四二イ　六一四
第三輯　印度紡績事業統計調査報告　（英國綿絲同盟會編　同倶樂部譯編）
第四輯　米國紡績業統計的調査報告　（同）
第八輯　英國綿業界集中論　（ウツセンリング著　同倶樂部譯編）
第九輯　露西亞の棉業に就て　（同倶樂部編）
第一一輯　英國綿業概觀（一九三〇年）（同）
第一二輯　紡績懷舊談　（岡村勝正）
第一三輯　紡績懷舊談　（高木修一）
第一四輯　世界不況と佛獨の經濟關係　（ダムビアー著　同倶樂部譯編）
第一五輯　非常時財政經濟策　（武藤山治）
第一六輯　一九三二年印度綿布關稅引上問題の顚末　（玉垣德藏）
第一七輯　綿品貿易尻に日英の比較研究並其對策　（伊藤竹現はれたる之助）
第一八輯　ランカシヤーと印度市場　（ハースト著　寺本雄造譯）
第一九輯　文字ノナヤミト事務能率　（伊藤忠兵衞）
第二〇輯　米棉の栽培に就て　（原田立之祐）

モーパツサン傑作短篇集　河出書房發行　昭和一〇　四　五九八　六四
第一卷　戀愛小說集　（豐島與志雄等譯）
第二卷　都會小說集　（杉捷夫等譯）
第三卷　怪奇小說集・娼婦小說集　（辰野隆等譯）

第四卷　田園小說集　（豐島與志雄等譯）
動物小說集　（青柳瑞穗等譯）
鐵道小說集　（秋田滋等譯）

物集高見全集　物集高量編　昭和九、一〇　五　六七〇　八
第一卷　御國まなび
日本の人
國體新論
國のこゝろ
百學の母
附　史學須知
國民須知
百學之母の歌
第二卷　勅語逢原
勅語逢原衍義
扶桑皇典
附　國民須知
國忠孝譜
新撰大倭二十四孝
附　漢土二十四孝
幼年言行錄
少年言行錄
日本文語
第三卷　日爾乎波
國語假字づかひ
字音假字づかひ
修辭通
言文一致
文章誤謬論
國文史
國文叢話

第四卷　修訂日本文明史略　冊函號
假字日本小史
冠位沿革圖說
附　引用書並要語拔萃
神教要略
教典側聞
祇教三魂辨
神人
人界の奇異神界の幽事
鬼神論講話
道の莠
杵築若宮八幡宮御由來
佛門墻窺
靈祭の作法
婚禮の作法
大正國民の心しわざ
無窮國民の心しわざ
日本道德史
濟時危言
東西醫事
第五卷　源氏物語提要
詠史抄
和歌抄
女流和歌抄
標註世繼の歌
世繼千辭文
埋書居士歌集
埋書居士歌談
文集
小傳
追憶記

本居宣長全集（增補）　本居豐穎校　昭和二　本居清造再校　冊函號

第四　古事記傳　三五至四四之卷、索引　五　四一　九八
第七　萬葉集玉の小琴
新古今集、美濃の家づと、同折添
古今集遠鏡
源氏物語年紀考
源氏物語玉の小櫛
第九　ひも鏡
言葉の玉緒
玉あられ
後撰集詞のつかね緒
漢字三音考
字音假字用格
地名字音轉用例
うひ山ふみ
菅笠日記
紀見のめくみ
むすひすてたる枕の草葉
鈴屋集
おもひくさ　一名　乎波那賀毛登
まくらの山
詩文稿
家の昔物語
遺言書
第一一　本居春庭全集
詞八衢
詞通路
後鈴屋集
本居大平全集

古學要
倭心三百首
玉鉾百首解
百人一首あづさ弓
馬名合解
神樂歌新釋
近世三十六人撰
萬葉山常百首
藤垣內答問錄
稻葉集
藤垣內文集
草まくらの日記
おかげまうでの日記
關の驛
有馬日記
名草の濱づと
己未紀行
第一二　本居內遠全集
古學本教大意
伊太祁曾三神考
本宮神社考定
熊野神社神號神位
三穗窟考
大地主神の一則
天野告門考　附　丹生氏文考
紀伊國造職補任考
大饗机の考證
古今官位指圖
冠帽革制考
布遲古路毛
牛臂鏃頭考證
小野小町の考
賤者考
かはらよもぎ
尾張連濱主和風長壽樂考證
丹敷浦考
妹山春山辨
黑鳥考
後奈良院御撰何曾之解
和歌の浦鶴鈔

物語支那史大系　早稻田大學發行　昭和四、五　一三　三七四　一三四

第一卷　通俗十二朝軍談（同學編）
通俗列國志　前編（淸地以立）
第二卷　通俗列國志　後編（同）
通俗漢楚軍談（夢梅軒章峯、稱好軒徹庵）
第三卷　通俗西漢紀事、通俗東漢紀事（同學編）
第四、五卷　通俗三國志　上、下（同）
第六卷　通俗續三國志（中村昂然）
第七卷　通俗續後三國志（尾田玄古編）
第八卷　通俗南北朝軍談　前、後編（同學編）
隋煬帝外史（同）
第九卷　通俗唐太宗軍鑑（夢梅軒章峰）
通俗唐玄宗軍談（中村昂然著　林九成校）
第一〇卷　通俗五代軍談（毛利貞齋）
通俗宋史軍談（尾陽舍松下氏）
第一一卷　通俗兩國志（入江兼光）
通俗宋元軍談（源忠孚）
第一二卷　通俗元明軍談（岡島璞）

通俗明清軍談（岡島璞）
支那近世治亂志（青柳篤恒）

冊函號

物語日本史大系 早稲田大學發行 昭和二、三 一三 五六六 三三

第一巻 日本神代志（後藤宙外）
上代王朝志（同）
前々太平記（橘墩）
第二巻 前太平記（藤元元）
保元平治（秋里籬島）
第三巻 源平盛衰記 上（同學編）
第四巻 源平盛衰記 下（同）
北條九代記（同）
第五巻 太平記 上（同）
第八巻 太閤記 上（同）
第九巻 太閤記 下（同）
三河後風土記 上（成島司直）
第一〇、一一巻 三河後風土記 中、下（同）
第一二巻 德川太平志（後藤宙外）
第一三、一四巻 明治太平記 上、下（薄田斬雲編）

物語日本文學 至文堂發行 昭和一〇 一六 六六八 三八

第一巻 古事記（武田祐吉譯）
第三巻 竹取物語・羽衣・浦島（久松潛一譯）
第四巻 落窪物語（藤村作等譯）
第五巻 源氏物語 上（島津久基譯）
第八巻 蜻蛉日記 上（池田龜鑑譯）
第一〇巻 大鏡（平林治德譯）
第一一巻 堤中納言物語（池田龜鑑等譯）
第一二巻 平家物語（志田義秀譯）
第一五巻 徒然草（能勢朝次譯）
第一六巻 義經記（藤村作等譯）
第一八巻 西鶴名作集（同）
第一九巻 近松世話物集（同）
第二一巻 一茶一代物語（志田義秀編）
第二二巻 雨月物語（志田義秀譯）
第二三巻 假名手本忠臣藏（藤村作等譯）
第二四巻 椿說弓張月（同）

モリエール全集 中央公論社發行 昭和九 二 六七〇 一三

第二巻 人間嫌ひ（吉江喬松譯）
女學者（恒川義夫譯）
スカパンのぺてん（川島順平譯）
慌て者（恒川義夫譯）
詩神の舞踊劇（川島順平譯）
メリセルト（恒川義夫譯）
田園喜劇（恒川義夫譯）
シシリー人（奥村實譯）
堂々たる戀人たち（同）
プールソーニャック氏（川島順平譯）
强制結婚（恒川義夫譯）
プスイシェ（吉江喬松譯）
第三巻 女房學校（同）
女房學校是非（奥村實譯）
ヴェルサイユの即興劇（同）
亭主學校（川島順平譯）
守錢奴（奥村實譯）
アンフィトリヨン（恒川義夫譯）
戀の遺恨（川島順平譯）

ドン・ガルスイ・ド・ナヴァル（恒川義夫譯）
才女氣取り（奥村實譯）
うるさ方（川島順平譯）
エリード姫（奥村實譯）
氣で病む人（井上英三譯）
モリエール著作の分類及び年表（恒川義夫）
モリエール評傳（吉江喬松）

冊函號

盛岡高等農林學校學術報告 同校發行 昭和四至一〇 四 一四五 二四四

第一二號 平麥の成分及び其の榮養價値に就て（村松舜祐、岩田久敬）
第一三號 紫雲英の土壤中に於ける分解及び其稻作に及ぼす影響（小野寺伊勢之助）
第一四號 Morphological studies of Leucostoma and Valsa Japonica, the causal fungi of canker or die-back disease of peach trees.（富樫浩吾）
第一七號 A list of parasitic fungi collected on Mt. Hayachine, Iwate prefecture.（富樫浩吾等）
第一八號 Biometrical and biological studies of *Albugo candida* (PERS) O. Kuntze in connection with its specialization.（富樫浩吾等）
第一九號 日本內地產實竹の成因に關する研究及び其增產に就ての一二の考察（內田繁太郎）
第二〇號 Physiological research on self-incompatibility in *Petunia violacea*.（安田貞雄）
第二一號 Biochemical studies on xylan.（岩田久敬）

ヤ

山形經濟志料 山形商工會議所經濟志料編纂部編 昭和二、六 二 五〇五 二

第五集 最上川の研究（五十嵐晴峰）
通貨の兩替（近藤賢治）
平清水の窯業（菅原生）
昔の遊日（五十嵐晴峰）
經濟志料
山形市蠟燭町の事
諸職人賃銀改願之事（天保十四年九月）
山邊市場取締之事（嘉永七年）
酒造高改之事（慶應三年正月）
北海道移住民募集之事（明治四年三月）
本縣布告書（明治四年十二月十四日）、
附 古今夢物語（洪水火災の事）
第六集 經濟志料
最上川運賃定法（天保四年正月）
從酒田上郷行積口運賃附（享保十四年十二月）
古今記錄（文久元至慶應三年）
拂米入札仕法書（弘化三年十月）
尾花澤出張所御用留（明治四年正月）
役儀勤書控帳（天明四年）
架橋一件留書（明治十二年）
附 年中行事

同 第五集 一 五〇五 二イ

山崎直方論文集　同人著　昭和五、六刊行會編　冊　函　號
二　五一　三四

前編

第一部　火山に關する研究
妙高火山集地質調査報文
大島火山調査報文
八ヶ嶽火山集地質調査報文
北海道火山雜記
明治二十七年三月阿蘇の噴出に就て
沖繩縣島島噴火調査報文
明治二十七年四月淺間山噴出記事
淺間火山近時の活動に就て
再び淺間火山の活動に就て
天明三年淺間山噴出の實況
櫻島噴火略報

第二部　地質・地形に關する研究
深井地質第一回報告
同第二回報告
東京灣小笠原島間太平洋海底地質の梗概
本邦火山噴出物中に在る重晶石の成因に就きて
信濃產紅簾流紋岩に就きて (On the piedmontiterhyolite from Shinano)
磐城小原產の纖沸石に就きて
瀨戸內海の地形學的考察 (Morphologische Betrachtung des japanischen Binnenmeers Setouchi)
清國山西省の地形に就きて
秋吉臺のカルストに就きて
丹那盆地の地形につきて
斷層地形の自然的模型
地形的統一 (Physiographical unity)

第三部　氷河に關する研究
氷河果して本邦に存在せざりしか
氷期に關する論爭
飛騨山脈に於ける氷河作用に就て
高山に於ける雪の營力 Nivation につきて

後編

第四部　地震及び地塊運動に關する研究
臨海地震調査概報
史前時代以來上總東南海岸の昇降につきて
房總半島東南部に於ける傾斜地塊に就きて
關東地震の地形學的考察
但馬地震の震源
琵琶湖附近の地形と其の地體構造につきて
一九二七年の奥丹後地震 (The Oku-Tango earthquake of 1927)
地震と地塊運動
地塊の活傾動
地塊運動の緩急
日本に於ける地塊の急性的・慢性的傾動 (Acute and chronic tilting of land blocks in Japan)

第五部　考古學及び人類學に關する研究
和泉國陶器莊實踏記
河內國に石器時代の遺跡を發見す
河內國に於ける石器の新發見地
貝塚は何れの時代に造られしや
日本の穴居 (Erdställe in Japan)
臺灣番社實見記 (Ein Besuch in den Kopfjägerdörfern auf Formosa)
番族につきて

第六部　人文地理に關する研究
本邦市邑の地理學的組織に關する一二の例
清國都邑の構造に付て
平和條約に伴ふ獨逸の損失
地名の起源
第二回太平洋問題調査會に臨みて
ミクロネシアとミクロネシア人 (Micronesia and Micronesians)
日本に於ける人口密度・出生率・死亡率の地理的分布に就て (A note on the geographical distribution of the density of population, birth-and death-rates of Japan)

第七部　地誌に關する研究
臺灣島の地理 (Unsre geographischen Kenntnisse von der Insel Taiwan (Formosa))
樺太島誌 (A glimpse of the Island Sakhalin)
日本の地理的概觀 (Geographical sketch of Japan)

第八部　地理教育に關する研究
高等中學校の地理學科に就きて
地理學說の進歩と中等教育
時代と地理學
國民教育に於ける地理學
著作目錄
略年譜
山崎博士と日本の地理學　（辻村太郎）

山崎延吉全集　同人　昭和一〇　六　六二七　三四

第一卷　農村自治篇
農村自治の研究

第二卷　農村建設篇
農村計劃
農村の經營
朔鮮農村振興計劃
全國農村計劃事例

第三卷　農村教育篇
農村教育論
青年の訓練
農民の訓練

第四卷　農業經營篇
興家三道
齊家の栄
婦人の覺醒
農家の經濟
農業經營の基礎觀念
農業の經營
全國模範農業經營事例
附　我が家の更生

第五卷　農民道篇
農民道の開明
農民道
農民道眞髓

ヤマサ—ヤマモ

冊函號

親愛なる青年へ
農家少年訓
農村小話
田舍草紙
土と人生
農道に生きる人々
篤農家論
農民道の敎導
第六卷　農村講演篇
農山漁村指導大講演錄　農村の指導精神並に其實際的指導要項
日本精神と產業組合
一魂五事
經濟生活の原則
農村の現狀と振興策
町村の現狀と振興策
町村自治と各種團體
地主者の心得
農村文明
不動心
農民指導者の心得
農村指導者精神大綱

山本有三全集　同人　昭和六　一　三三八　三八九

戲曲
津村敎授
生命の冠
坂崎出羽守
同志の人々
本尊
嬰兒殺し
女親
指鹿緣起
海彥山彥
スサノヲノ命

冊函號

熊谷蓮生坊
大磯がよひ
雪
西鄕と大久保
盲目の弟
長篇小說
生きとし生けるもの
雜
兄弟
小人國
表現主義雜感
折にふれて
見る眼、見る人
錯覺
その日から翌朝まで
大地
正方形と圓
展覽會を見たあとで
夫婦喧嘩
藝術座の「海の夫人」を觀て
復讐と Phil
史劇と史實
「布施太子の入山」を評す
築地小劇場の反省を促す
小山內薰氏に答ふ
芝居無駄話
芝居談義
國立劇場について
菊五郎の藝
宗之助の思ひ出
女中の病氣
父親
嘉門と七郎右衞門
霧の中
女人哀詞
波
おみおつけ
藝術は「あらはれ」なり
久米正雄に
一人一回限
道標
心のおきどころ
地震と有一
坐り
空外飛行
途上
一卽多
美術劇場と無名會
「酒中日記」を觀て
「父歸る」を觀て
「坂崎出羽守」と悲劇の主人公
文學の輸移入
「嬰兒殺し」の評を見て
女優劇廢止論
觀劇料問答
俳優のために
井上と私
澤田君

「その妹」の上演
「指鹿緣起」について
「坂崎出羽守」漫談
「演劇新潮」を編輯するに當つて
「演劇新潮」の編輯方針を問はれて
第二次「演劇新潮」
當分原稿御依頼謝絕
小學讀本と童話讀本
飜譯權の問題
演劇映畫檢閱問題
新聞社はあやまらなくつてもいゝのか
何處に訴へん
ドイツの三大戲曲家小觀
ゲーテ
クライスト
シルレル
創作で立たうとする人々に
病間雜吟
飜譯
「死の舞踏」について
死の舞踏（ストリンドベリイ）
最初の警（同）
上手の女（同）
貸と借（同）
「青い本」より（同）
虱の王
運命の緩和
處生の道
投げ出されし人々
義兄弟
わかれ（シュニツツレル）
死人に口なし（同）
盲目のジェロニモとその兄（同）
妙な女（同）
上演された時不愉快なこと
「同志の人々」の上演に際して

ヤマモ—ユウワ

レデゴンダの日記（同）
情婦殺し（同）
永遠の兄弟の眼（ツワイク）

同
夜話くるひ　安井知之（小酒）校　昭和二（蕗門珍書百種　第一八編）　一　三三八　三八九イ
一　五四五　四

ユ

唯物論全書　三笠書房發行　昭和一〇　一四　六四六　六
第一　生物學（石井友幸、石原辰郎）
第二　藝術論（甘粕石介）
第三　文學論（森山啓）
第四　無神論（秋澤修二）
第五　近代唯物論（森宏一）
第六　戰爭論（堀伸二）
第七　論理學（三枝博音）
第八　ファシズム論（今中次麿、貝島兼三郎）
第九　自然辯證法（岡邦雄等）
第一〇　明治思想史（鳥井博郎）
第一一　科學論（戶坂潤）
第一二　現代唯物論（永田廣志）
第一三　數學論（今野武雄）
第一四　技術論（相川春喜）
第一五　現代物理學（石原純）
第一六　歷史論（服部之總）

融和問題研究叢書　中央融和事業協會發行　昭和六　一　五九〇　四六五
第三編　融和問題の社會心理學的研究（下地寬令）

融和問題叢書　中央融和事業協會發行　昭和四至一〇　冊　函　號
第一編　融和事業概論　訂四版（三好伊平次）　七　六六
第二編　融和問題に關する歴史的考察　五版（喜田貞吉）　六六
第三編　維新前後に於ける解放運動　訂三版（三好伊平次）
第五編　融和團體の指導方針（山本正男）
第六編　明治以後の解放運動　三版（同）
第七編　青年融和運動の本質とその實際（下村春之助）
第八編　小學校に於ける融和教育（土屋政一）

輸出品包裝改善ニ關スル調査
第二至一一、一三至二〇輯　商工省貿易局編　一七　五二四　四七九
大正一五至昭和一〇

ヨ

〔横濱正金銀行〕調査資料　同銀行編　昭和二至八　五　一四、五　四九
第二一號　Monthly records of Y. S. B. exchange quotations, with appendices of silver prices in London & New York 1913—1926.
第二二號　孟買地金銀市場（鳥賀陽恒正譯）
第二三號　蘭領東印度貿易經濟統計
第二五號　世界主要諸國貨幣制度一覽
第二六號　銀行實務より見たる英國手形法解說（横山隆四郎）
第二八號　米國加州銀行法（中島鐵次譯）

〔横濱正金銀行〕調査報告　同銀行調査課編　昭和二至一〇　一四　一四、五　二九
第六六號　大連を中心として見たる滿洲の金融爲替貿易（關惠行）
第六七號　紐育株式取引所の組織及金融（藤崎義幸）

第六八號　瓜哇に於ける「カツサバ」及其の製品（高比良健次）　冊　函　號
第六九號　開原糧穀取引所事情（須賀勝知）
第七〇號　米國に於ける外債市場と日本公社債に就て（中山與四郎）
第七一號　The organization and system of the commonwealth bank of Australia. (Yuzaburo Kurata)
第七二號　本邦金融の季節關係（田中瑞穂）
第七三號　「ドーズ」案から「ヤング」案まで（荒木精一）
第七四號　波斯經濟事情（二關壽郎）
第七五號　紐育「ブローカースローン」に就て（清水五郎）
第七六號　米國に於ける Factor に就て（平柳安行）
スマトラ事情　附　貿易港としてのメダンの地位（宇野總七）
第七七號　米國に於ける國内商取引の決濟方法と其金融（同銀行編）
第七八號　爲替安定の研究　第三篇（同）
第七九號　松花江に就て（宗岡保太郎）
第八〇號　重要商品の國際市場（同銀行編）
第八一號　本邦貿易の數量並に單價統計法（田中瑞穂）
第八二號　輸出貿易を中心として見たるレーヨン問題概觀（荒木精一）
第八三號　阿弗利加西部海岸視察報告書（同銀行編）
第八四號　兵庫縣に於ける綿製靴下と百四靴下の統制に就て（伊藤宏一）
支那漆に就て（眞鍋勝）
第八五號　佛領印度支那貨幣史（名和田政一編）
第八六號　齊克、四洮、洮昂鐵道沿線經濟事情（西村晃文）
第八七號　米比間自由通商貿易問題と比律賓群島國際貿易の趨勢に就て（二宮謙）
第八八號　印度の金流出に就て（萩原貞雄）
第八九號　伯國幣制と貨幣史の梗概（名和田政一）
第九〇號　爲替安定の研究　第四編（同銀行編）
第九一號　天津に於ける小切手の法律關係と商習慣（松田昌壽）
第九二號　英印比率問題の歴史的背景（海老原竹之助）
第九三號　輸出關係の Rags 及 Wastes に就て（新宅忠作）
第九四號　天津を中心としたる支那及滿洲國羊毛に就て（安藤茂）
第九五號　パレスタインの近情　他二（藤崎義幸）
第九六號　英領馬來に於ける重要資源の調査（金子義雄）
第九七號　スダン（Sudan）經濟事情（藤崎義幸）
第九八號　イラク（Iraq）經濟事情（同）

〔横濱商業會議所〕調査資料　同所調査部編　昭和二、三　一　一四、五　一八九
〔第一一輯以下「〔横濱商工會議所〕調査資料」ト改題〕
第一輯　内國貿易ニ於ケル横濱港ノ地位
第二輯　英支兩國の紛爭と日英貿易の消長
第三輯　外國貿易に於ける横濱港の地位
第四輯　横濱港重要貿易品解說　其一（生絲・絹織物）
第五輯　同　其二（麻眞田）
第七輯　同　其三（薄荷腦　附　薄荷油・薄荷玉）
第八輯　製絲金融の現況
第九輯　生絲生産の概況
第一〇輯　横濱港重要貿易品解說　其四（絶緣電線）
第一一輯　本邦輸出絹織物に就て
第一二輯　支那の動亂と我對支貿易
第一三輯　輸出生絲の諸問題
第一四輯　横濱港重要貿易品解說　其五（蜜蠟詰）
第一五輯　金解禁問題とその影響
第一六輯　最近に於ける内外貿易と横濱港の地位

〔横濱商工會議所〕調査資料
同所調査部編　昭和三、四　三　一四、五　一八九
〔〔横濱商業會議所〕調査資料」ノ改題〕

與謝野晶子全集　同人　昭和八、九　一三　六五一　二
第一卷　歌集
亂れ髪
小扇
毒草
戀衣
舞姫
夢の華
常夏
佐保姫
春泥集
第二卷　歌集
青海波
夏より秋へ
櫻草
朱葉集
舞ごろも
晶子新集
第三卷　歌集
火の鳥
太陽と薔薇
草の夢
流星の道

繪巻のために
附　諸歌集の序跋　冊函號
第四巻　歌集
瑠璃光
心の遠景
滿蒙遊草
第五巻　歌集
霧島の歌
深林の香
落葉に坐す
北海遊草
沙中金響
第六巻　歌集
綠階春雨
冬柏亭集
山のしづく
草と月光
牡丹
第七巻　歌集
いぬあぢさい
山上の氣
詩集
第一詩集
粘土自像
室内と風景
季節の感激
花と雜草
西土往來抄
第八巻　詩集
風景と靜物
沙中の水
眞珠貝
母の歌
動物雜詠
小鳥の巣
第九巻　散文集
一隅より
巴里より
雜記帳
人及び女として
我等何を求むるか
愛・理性及び勇氣
若き友へ
第一〇巻　散文集
心頭雜草
激動の中を行く
短歌の鑑賞と作り方
第一一巻　散文集
光る雲
街頭に送る
優勝者となれ
第一二巻　散文集
女人創造
人間禮拜　上
第一三巻　散文集
人間禮拜　下
愛の創作
砂に書く
紫式部新考
和泉式部新考

第一巻　金忠輔
劍難女難
第二巻　貝殼一平
第三巻　牢獄の花嫁
かんかん蟲は唄ふ
第四巻　江戸城心中
春秋編笠ぶし
第五巻　神變鷹香猫
佩刄たる彰義隊
第六巻　萬花地獄
第七、八巻　戀ぐるま　上、下
第九、一〇巻　鳴門秘帖　前、後篇
第一一巻　處女爪占師
女來也
第一二巻　坂東俠客陣
一領具足組
第一三、一四巻　江戸三國志　前、後篇
第一五巻　さけぶ雷鳥
ナンキン墓の夢
梅颷の杖
治郎吉格子
勤王田舍嘶
花街三和荷
月笛日笛
第一六巻
第一七巻　短篇集
田崎草雲とその子
八寒道中
野槌の百
銀河まつり
菊一文字
郡鄰片手双紙
蜘蛛賣紅太郎
增長天王
第一八巻　紅騎兵

同　第七、八巻　二　五九八　四五イ

吉田絃二郎全集　同人　昭和六、七　一六　六一三　三七

第一巻
第一短篇小說集
島の秋
法妙寺の叔母
山上の小屋
靜かなる死
麥見の前
小梅の母
隅田川
半島の町
秋一人
帽子を振る
眠られぬ男
雄鷄
別れ行く人々
落葉の路
麥日和
犬の死

宵暗
白い木槿
初戀のころ
凡人の一生
貸家札
海峽の夜
飾窓のなかの
地に平和
淺草の裏
達磨山の老人
愛執の日
謀叛人の死
第二卷
第二短篇小說集
大地の涯
熊のわな
蜥蜴
彼岸詣り
秋
人間を悲しむ
霧の中
ひとり者
盜人の妻
少年
草原
濱
紅梅
罪を知るころ
三人
雪の野邊

紀元節の朝
春日
靜かなる墓
行く秋
落葉して
さるすべり
夜船
法然と敎阿彌(戲曲)
第三卷
第三短篇小說集
雉子笛を吹く人
青い毒藥
淸作の妻
叔父夫婦
姉への手紙
草の上
德さん
去來
岬
尺八を吹く男
或る時
小犬
山の湯
凧
かの女と癈兵
移轉
疲れたる魂
癈兵の墓地
山の娘
囚人の子

結構な空
町はづれの店(戲曲)
第四卷
第四短篇小說集
山寒し
二人の無能者
母を思ふ日
高原
花梨の下
二老人と彼
秋をゆく
生まれざりし兒
髭
大和の菜畑
傷める巢
生まれ來る者
回想の日
年の瀨
或る秋の馬琴
欅
ダビデと子たち
第五卷
第五短篇小說集
芭蕉
壁
屋上白夜
笑ふ彼
蛤
お園子を持つ役
草枯れ

地に落つるもの
一切れの牛肉
秋の朝の散步
冬の日
支那燈籠
故鄕の町
カフスとカラー
川口の決心
歸鄕兵
鰯雲
父と母の墓
武藏野
白雲飛ぶ
忠信の父(戲曲)
第六卷
第六短篇小說集
父
金
家出
二人の老人
時計
秋の海
寒日
形見分け
鷺
寂光院まで
靄の中
螢
京極を出て
枯れ山の男

佛を刻む男
或る男と女
藁を打つ叔母
草の秋
冬枯れ
啄木鳥
霜夜
桑畑の男
支那鞄
入江の家
小野田軍曹
或る中學教師
石田老人
救はれぬ人間
寂しき人々
雪の日
砂丘日記

第七卷
第一長篇小說集
靜夜曲
光り地にありや
人間苦

第八卷
第二長篇小說集
無限
高原の日記

第九卷
第三長篇小說集
白路
石に擊たるゝ女

犬吠ケ崎
神の子
孤獨なる女

第一〇卷
戲曲集
大谷刑部
大阪城
足輕三左衞門の死
燕
丈草庵の秋
西鄕吉之助
棄樂の人
坂上兄弟とその父
狂人となるまで
山峽の家
隅田川のほとり
國法の罠

第一一卷
第一感想集
小鳥の來る日
生の悲劇
雜草の中
生命の微光

第一二卷
第二感想集
草光る
山家日記
旅人
生くる日の限り

第一三卷

第三感想集
木に凭りて
心より心へ
わが詩わが旅

第一四卷
第四感想集
靜かなる土
麥の丘
青鳩

第一五卷
第五感想集
白日の窟
霧島紀行
春の日

第一六卷　童話集

同　第一至三、九、一一、一二、一四至一八卷　昭和九、一〇　一一　六一三　三七イ

第一七卷
第七短篇小說集
山靜かに
G線上のアリア
父と河童の子
荒井良輔
除夜
聖白夜
秋風
防風の花
熔岩の徑
雪の後
北十左衞門

こほろぎ
奈香子
友の遺稿
忘年會
二つの甕
樫の森
紙鑑
磯どよみ

第一八卷
第六感想集
煙れる田園
タゴールの詩と言葉
山椿集

吉田松陰全集

山口縣教育會編　昭和九、一〇　九　六七〇　一六

第一卷　述作篇の一
野山獄文稿
清國戚豐亂記
野山雜著（獄舍問答　附　資治通鑑抄、江戸獄記、福堂策、儲糧話）
賞月雅艸
獄中俳諧
冤魂慰草
講孟餘話（舊名講孟劄記）
講孟餘話附錄

第三卷　述作篇の三
丙辰幽室文稿
叢棘隨筆
武教全書講錄
幽窗隨筆

丁幽室文稿
巳・吉田語略
討賊始末　附　書寐夢四之卷
松陰詩稿
第三卷　別册附錄
吉田松陰年譜
第四卷　述作篇の四
戊幽室文稿
午幽室文稿
急務四條
意見書類
西洋步兵論
讀綱鑑錄
己未文稿
孫子評註
坐獄日錄
照顏錄
縛吾集
淚松集
留魂錄
詩文拾遺
欄外書
詩文評
第五卷　書簡篇の一
嘉永二至六年
安政元至四年
第六卷　書簡篇の二
安政五、六年
萬延以後
第五卷補遺
第七卷　日記篇

稽古事控
公事控
上覽控
明倫館御再建控
廻浦紀略
西遊日記
東遊日記
費用錄
辛亥日記
東北遊日記　附　東征稿
睡餘事錄
癸丑遊歷日錄
長崎紀行
野山獄讀書記
回顧錄
書物目錄
借本錄
丙辰日記
丙辰歲晩大會計
丁巳日乘
吉日錄
松下村塾食料月計
松下村塾食事人名控
東行前日記
第八卷　抄錄篇の一
雜錄
辛亥歲雜抄
拙鈔
猛省錄
鴻鵠志

宋元明鑑紀奉使抄
明倫抄
外蕃通略
外史彙材
東坡策批評
太史公曰
讀餘雜抄
汪文抄
第九卷　抄錄篇の二
李氏焚書抄
李氏續藏書抄
舊鈔
業餘漫錄
二十一回叢書
七册ノ外二十一回叢書
號外二十一回叢書
二十一回叢書拾遺
叢書
雜集
七種之外二十一回叢書
抄錄輯
外夷小記
辛亥筆記
屏居讀書抄
抄錄四種（鈐錄抄・高青邱詩鈔・抄制度通・擬明史列傳鈔）
武教全書書入
七書直解書入
雜纂
關係文書篇の一

關係公文書類
爰書
家系參考書
兵學傳授文書
兵學入門起請文
年譜草稿
關係詩文
松陰先生東行送別詩歌集
葬祭關係文書

吉屋信子全集　同人　昭和一〇　一〇　六六四　二

第一卷　女の友情
第二卷　一つの貞操
小市民
第三卷　追憶の薔薇
空の彼方へ
第四卷　三聯花
彼女の道
白梅の宿
女歌舞伎
第五卷　女人哀樂
鳩笛を吹く女
第七卷　屋根裏の二處女
花物語
第八卷　地の果まで
ミス・Rと私
夏草
姉妹
ハモニカ
櫟林の家

	冊	函	號
王者の妻			
女人涅槃經			
童貞女昇天			
巴里の鹽鮭			
第九卷　暴風雨の薔薇			
寧樂祕抄			
第一〇卷　海の極みまで			
異國點景			
隨筆小片			
第一一卷　愛情の價値			
失樂の人々			
澳城溫故會報告　同會編　昭和二至一〇	六	五三四	二四五
第二回　春日局の御親族關係補遺　（田邊密藏）			
近松門左衞門の出自に就ての補遺　（同）			
「維新史上に於ける淀藩」の一史料（先考默翁府君行狀）（田邊敬信）			
第五回　春日局御親族關係補遺の第三　石谷兵部小輔の事蹟に就て　（田邊密藏）			
溫良公御事蹟の一端に就て　（同）			
平野みや子のことども　（半田後子）			
「維新史上に於ける淀藩」の史料二（松田典禮氏戊辰役報告書）（田邊密藏）			
江戸初期より我藩には隱然蘭學の流ありしにあらずやとの疑問に就て　附　南小柿寧一の事蹟（同）			
第六回　春日局御親族關係補遺　第四　（同）			
高德公の御文藻　松原日記　たか刪日記　（同）			
正邦公の御勸學　川俣右門道和氏日記拔萃　（同）			
乾市郎右衞門永貞事蹟補遺　（同）			
南小柿寧一事蹟補遺　（同）			
本多芦軒の事蹟に就て　（同）			
小澤芦庵翁と的場家との關係　的場連太夫的場連助兩翁事蹟　（同）			
淀地方の俗謠　（管谷定輿）			
第七回　稻葉石見守正休侯の刃傷一件に就て　（田邊密藏）			
正邦公の嵐山御觀櫻に就て　故的場連助翁の春廻山不美　（同）			
故的場連助翁考證淀姫神社考及び追考に就て　（同）			
澳城史談　（同）			
甲賀孫兵衞の事			
安東市左衞門の事			
稻葉伊勢守樣一件			
堀平右衞門一件			
第八回　紹太公の御法度書と家臣の誓書　（同）			
泰應公と風外和尙　（同）			
故的場連助勝美翁を欽慕して　（堀永休）			
澳城史談　第二　（田邊密藏）			
甲賀孫兵衞事蹟補遺			
堀平右衞門事蹟補遺			
松尾一左衞門直員書狀			
衣笠忠左衞門の事			
磯部昌言事蹟			
松井半平道輔事蹟補遺　（同）			
第九回　泰應公と鐵牛禪師　（田邊密藏）			
乾市郎右衞門永貞事蹟補遺　第二　（同）			
本多芦軒事蹟補遺　（田邊密藏）			
本多思齋と其學風　（人見傳藏）			

	冊	函	號
卷頭に揭げし貳葉の地圖に就て　（田邊密藏）			
山田歌子に就て　（同）			
第一〇回　稻葉家御列代學問を重ぜられし事に就て　（同）			
美津頓宮の所在に就て　（同）			
松尾家の事跡殊に昌水筑峰兩先生に就て　（同）			
ラ			
ラーメンの解法　泉谷平次郎　昭和五	一	六〇八	二五
ラーメンの公式集　木村又左衞門　昭和四	一	五九七	七九
雷雨報告　大正一三至昭和八年　中央氣象臺編　昭和二至一〇	五	一四、六	二七六
禮記　昭和二　（漢文叢書第一七）	一	三七五	四二
禮記國字解　上、下　桂五十郎　昭和二　（漢籍國字解全書第一三、一四卷）	二	五五五	一
同　昭和七	二	五五五	一イ
禮記授讀　卷一至一一　熊松之（子客）　昭和五	二〇	二一八	四七
禮記正義　東方文化學院編　昭和五　（東方文化叢書第二）	二〇	二一八	二八
禮經本義　清、蔡德晉　民國二三　影印　一七卷　（四庫全書珍本初集ノ內）	一〇	八四四	三八
賴山陽　坂本辰之助（箕山）　訂　昭和四	一	三四八	三四イ
賴山陽（小說）　日本外史篇　木村毅　昭和一〇	一	五六八	五三九
賴山陽研究叢書　賴山陽先生遺蹟顯彰會編　昭和八	一	六二五	三四〇
第一編　賴山陽先生の眞骨頭　（北村澤吉）	一	八四一	四九
賴山陽實甫帖　賴山陽書　神田孝平編　明治一二	一	六二一	三〇
賴山陽詩集　木崎愛吉輯注　昭和五	五五四	二二三	
賴山陽詩集　（賴山陽全書詩集ノ內　昭和七）	五五四	二二三イ	
同	六〇一	二六	
賴山陽集　賴山陽　（大日本思想全集第一五卷ノ內　昭和六）	三	五三一	一一五
賴山陽書翰集　上、下卷、續編　德富猪一郎編　昭和二四	八	五五四	二二三
賴山陽全書　木崎愛吉、賴成一編　昭和六、七			
第一部　全傳　上卷　賴山陽全傳（安永九至文政五年）			
同補訂（天明元至文政五年）			
師友及關涉諸家生歿			
山陽文獻（外傳）			
下卷　賴山陽全傳（文政六至天保三年及歿後天保三至昭和六年）			
賴氏略系			
師友及關涉諸家生歿（文政六年以降）			
肖像（諸家の作品に就て）			
追悼			
文集　賴山陽文集			
賴山陽文集（外集）			
賴山陽文集（追補）			
山陽先生書後			
山陽先生題跋			
詩集　賴山陽詩集			
日本樂府			
第二部　全集　上卷　日本外史			

	冊	面	號
中卷 日本政記	八	五五四	二三三イ
新策	一	六八三	八三
通議		五五四	二二三
下卷 春秋遊家錄		五五四	二二三イ
孟子評點			
古文典刑			
小文規則			
謝選拾遺			
唐絕新選			
宋詩鈔			
浙西六家鈔			
韓昌黎詩抄			
東坡詩鈔			
彭澤詩鈔（一名陶詩鈔）			
錦繡段選選（一名麝囊小結）			
賴山陽先生一夜話			
藝圃茗談			
附錄 春水日記			
梅颿日記			
同	一〇	四二四	九四
賴山陽先生 木崎好尙、賴樺崖編 昭和一〇 （近世偉人傳記叢書第一輯第一編）	一	二二三	二三八
賴山陽先生一夜話 （賴山陽全書全集下卷ノ內 昭和七）	一	五五四	二二三
同		五五四	二二三イ
賴山陽先生眞蹟百選 木崎愛吉編 昭和六 複製	一〇	四二四	九三
賴山陽先生小傳 松浦魁造 昭和八	一	六三一	二七六
賴山陽先生傳 京都府教育會編 昭和六	一	三七三	五二八
賴山陽先生の眞骨頭 北村澤吉 昭和八 （賴山陽研究叢書第一編）	一	六二五	三四〇
賴山陽先生百年祭記念遺芳帖 賴山陽先生遺蹟顯彰會編 昭和六	一〇	四二四	九四
賴山陽先生百年祭獻詠集 賴山陽先生遺蹟顯彰會編 昭和七	一〇	二三二	三三八
賴山陽全傳 （文政六至天保三年及歿後天保三至昭和六年） 木崎愛吉 （賴山陽全書全傳ノ內 昭和六、七）		五五四	二二三
同		五五四	二二三イ
賴山陽文集・同外集・同追補 木崎愛吉編 （賴山陽全書文集ノ內 昭和六）		五五四	二二三
同		五五四	二二三イ
來世の福音 パタソン・スミス著 昭和二 岩井順一譯	一	五三三	二六九
雷鳥 矢澤米三郎 昭和四	一	五九七	四
癩に關する論文 第一輯 光田健輔 昭和一〇	一	五三	三六八
禮拜の精神 ハイラー著 昭和七 金井爲一郎、近藤治義譯	一	六〇九	三九七
ライヒマン報告書 國際聯盟事務局東京支局譯編 昭和九 （日本國際協會叢書第一二八輯）	一	五一五	五二
癩病ト其ノ救濟施設 小林和三郎 昭和五	一	五三	二九七
ライプチッヒの作業教育と其の批判 北澤種一 昭和五	一	二五三	四七四
癩豫防協會事業成績報告書（財團法人） 第三回（昭和八年度） 昭和一〇 同協會編	一	五三	三五八

ラインのほとり 早川三代治 昭和八	一	六四三	二〇五
老媼夜譚 佐々木喜善 昭和二 （鄉土研究社第二叢書第五）	一	五五六	一五七
老醫の繰言（隨筆） 渡邊房吉 昭和九	一	六〇	一三九七
朗詠新抄 東京美術書院編 昭和二	一	一八三	五三二
朗詠百首 （新校群書類從第八卷和歌部ノ內 昭和三）		五八四	五
同 （群書類從第一一輯和歌部ノ內 昭和四）		五八三	一四
琅玕 中勘助 昭和一〇	一	六一七	二八一
琅玕記 新村出 昭和五	一	六〇九	一七
老記者叢話 德富猪一郎 昭和五	一	五九五	二三八
老境の黎明 曉鳥敏 昭和二 （にほひぐさ叢書第二輯第四卷）	一	三三八	三七八
朗吟詩選 鹽谷溫撰 昭和五	一	五一七	六六一
浪化俳句集 岩谷山梔子編 昭和七	一	六三〇	一一〇
牢獄の五月祭 林房雄 昭和二	一	五六八	一三五
老莊哲學 小柳司氣太 昭和三	一	五七〇	一三七
老莊の思想と道敎 小柳司氣太 昭和一〇 三九二頁	一	六八九	一九
老莊漫筆 猪狩史山 昭和二	一	五七〇	六六
勞作を中心とする農村學校の敎育 古川政次郎 昭和九	一	二九一三	二九
勞作學校の參觀と報告 水木梢 昭和九	一	二五九	六五三
勞作學級經營論 松本浩記、池田榮一郎 昭和六	一	二五三	五〇三
勞作敎育 小西重直 昭和五	一	二五三	四六八
勞作敎育を具體化せる直觀科新學習の實際 藤井利龜埰 昭和五	一	二六三	三四四
勞作敎育學研究 水木梢 昭和八	一	二五三	六一九
勞作敎育學精義 水木梢 昭和九 （「勞作敎育學研究」ノ改題）	一	二五三	六一九イ
勞作敎育學の發達 竹井彌七郎 昭和四 （最新敎育研究叢書第二）	一	二五九五	一〇六
勞作敎育原論 野田義夫 昭和七	一	二五三	五八一
勞作敎育思想史 小林澄兄 昭和九	一	二五五二	三九
勞作敎育による各科生活指導の實際 和歌山縣師範學校附屬小學校編 昭和八	一	二六三	三七三
勞作敎育の實際 玉川學園小學部編 昭和一〇 三五五頁	一	二六三	四一一
勞作敎育の實際的研究 堀內喜一郎 昭和七	一	二五三	五五七
勞作敎育論及敎授法 小川正行 昭和一〇 四〇六頁	一	二五三	七六八
勞作生活中心理科敎育の原理と實際 栗山重 昭和六	一	二六三七	一五四
勞作中心生活の算術新敎育 藤原安治郎 昭和八 （扉ニハ「算術敎育」トアリ）	一	二六三四	一八九
勞作中心生活の修身新敎育 野瀨寬顯 昭和八	一	二六三五	一〇二
勞作と敎育 廣島高師附屬小學校敎育編輯部編 昭和六	一	二五三	五三三
勞作に據る鄉土敎育の實際 石田利作 昭和八	一	二五三	六二五
勞作の新學校 稻森縫之助 昭和五	一	二五三	四四六
勞作の新課程 稻森縫之助 昭和六	一	二五三	五〇九

		冊	函	號
老子 加藤一夫 昭和一〇		一	六一九	二七一
老子 西田長左衛門譯（詳解全譯漢文叢書第一〇卷ノ内 昭和二）			五四五	四八
老子 和田萬吉監修（萬有文庫第一二卷） 昭和三		一	五四五	五二
老子 上之卷 五十澤二郎譯（支那古典叢函第三） 昭和八		一	六二五	二三九
老子 長谷川如是閑 昭和一〇（漢籍を語る叢書第六卷）		一	六六四	二〇
老子億（尊經閣叢刊） 上、下 複製 育德財團發行 昭和七		二〇	二三三	三五三
同 解說共		三	二三二	三五三イ
老子解說 北村佳逸 昭和八		一	六三六	一五四
同		一	六三六	一五四イ
老子考 上、下冊 王重民 昭和二（中華圖書館協會叢書第一種）		二	五六六	二七
老子講話 小柳司氣太 昭和九		一	六六三	八二
勞資共存への途 前田一 昭和五		一	六〇七	二六
勞資協調の諸方法 協調會編 昭和五		一	五八六	三〇二
勞資協調の方策 東京大勢新聞社編 昭和二		一	五七五	九
老子諺解 山本珂雲（漢籍國字解全書第九卷ノ内 昭和二）			五五五	一イ
同 昭和八			五五五	一ロ
老子集說 渡政輿 再版 昭和五		一	二一三	五四六イ
老子新釋 小柳司氣太 昭和四（昭和漢文叢書第四卷）		一	五六八	三五八
老子正義 渡邊秀方、大野實之助 昭和一〇 二八九頁		一	六八六	三七
老子大意 森數馬 昭和八		一	六四五	六四
老子大觀 福士繁吉（社會教育パンフレット第一六二輯） 昭和九		一	二七五	二九
老子道德經 王弼注 石田羊一郎訂（扉等ニハ「老子王弼注」トアリ） 昭和九		一	六七二	一三九
老子註釋全書 關儀一郎編 昭和七		一	五八〇	一七三
老子と易經との比較研究 山縣初男 昭和二		一	五七〇	二八
老子と莊子 武內義雄（學藝叢書第一〇） 昭和五		一	五六〇	四三
老子之研究 武內義雄 昭和二		一	五五八	五六
老子の研究 鵜澤總明 昭和一〇 八〇二頁		一	六九七	七
老松堂日本行錄（校注） 宋希璟（老松堂）著 谷村一太郎、小川壽一編 昭和八		一	六四〇	一
老子、列子 野村岳陽譯 昭和四（現代語譯支那哲學大系第三編）		一	五九五	四一
老衰と老病 入澤達吉（醫學常識第六卷ノ内 昭和四）			六〇	九七五
老戰友に與ふ エンゲルス著 小宮義孝等譯 昭和二		一	五四九	三〇九
老船長の航海餘錄 五野經三 昭和四		一	五五六	四一三
老船長の回顧六十年 横山愛吉 昭和七		一	五九七	二七八
老談岩槻軍記 寫		三〇	八三八	九五
老女繪島 長坂淵編 昭和一〇		一〇	三〇二	七九
勞賃學說の史的發展 森耕二郎 昭和三		一	五八〇	一三
勞働醫學概論 大西清治 昭和六（自然科學叢書第八編）		一	六〇一	二四
勞働以外 井上吉次郎 昭和八		一	六四四	一六〇
勞働移動調査 中央職業紹介事務局編 昭和三五五		五	五七九	一七〇

第一輯 東京大阪兩市への出稼求職者調 春季			
第二輯 群馬縣下に於ける養蠶勞働事情			
第三輯 酒造勞働事情			
第四輯 東京大阪兩市への出稼求職者調 秋季			
第五輯 昭和三年中に於ける道府縣外出稼者に關する調査概要			
勞働運動及無產者政治運動 長谷川良信 昭和三		一	五七三
勞働運動二十年 鈴木文治 昭和六		一	五九九
勞働衞生（工場衞生）講話 助川浩 昭和九		一	六四九
勞働及農民運動と其取締 樋武人 五版 昭和六		一	六〇七
勞働階級の政治的能力 ブルウドン著 石川三四郎譯（世界大思想全集第一六ノ内 昭和五）			五四五
勞働學校 ブロンスキー著 堀秀彥譯（世界大思想全集第一〇九）		一	五四五
勞働價値說發達史上に於けるスミス並リカルド 請川健藏 昭和四		一	五七九
勞働價値說の吟味 高田保馬 昭和六（理論經濟學叢書第一編）		一	五九一
勞働價値說の擁護 ヒルファディング著 塚本三吉譯 昭和五（改造文庫第一部第六五篇）		一	五六九
勞働行政綱要 河原田稼吉 昭和二		一	五六一
勞働銀行 コンブリックス著 井關孝雄譯 昭和六		一	六〇七
勞働銀行研究 長沼弘毅 昭和一〇		一	六六〇
勞働組合運動 田邊忠男 昭和四（社會科學叢書第二一編）		一	五八三
勞働組合運動に於ける前衞當面の任務 ロゾフスキー著 福島一郎譯 昭和二		一	五四九
勞働組合運動の理論と戰術 ロゾウスキー著 上西藏譯（政治批判叢書第七編） 昭和二		一	五六六
勞働組合及勞働爭議統計 協調會編 昭和八		一	六二五
同 訂補再版 昭和一〇		一	五六五
勞働組合組織論 菊川忠雄 昭和六		一	五六六
勞働組合の指導理論 鈴木安藏譯 昭和三（政治批判叢書第一〇卷）		一	五六六
勞働組合の話 附 勞働組合法批判 山川均 昭和五		一	五八六
勞働組合法案に關する實業團體の意見 日本工業倶樂部調査課編 昭和五		一	六〇四
勞働組合法案批判 文明協會編 昭和五（文明協會ライブラリ第二八）		一	五六六
勞働組合法講話 柴田義彥 昭和五		一	六〇七
勞働組合法とは何ぞや 松永義雄 昭和五		一	六〇七
勞働組合法の生成と變轉 （英國）山中篤太郎 昭和四		一	五九一
勞働組合法の話 朝日新聞社政治經濟部編（朝日政治經濟叢書第八） 昭和六		一	五〇五
勞働組合論 松岡駒吉 昭和四（民衆政治講座第一一卷）		一	五八七
勞働關係法規 勞働法規研究會編 昭和四		一	一四七
勞働管理 蒲生俊文 昭和三		一	五七三
勞働訓練 和田誠一 昭和二		一	二九〇
勞働契約の研究 八木清信 昭和九		一	六四九

	册	頁	號
勞働教育原理　マロー著　丸山茂樹譯　昭和三	一	五八六	二四
勞働協約理論史　後藤清　昭和一〇　三六八頁	一	六八〇	四三
勞働宰相マクドナルド　澤田謙　昭和四	一	五五六	三七九
勞働爭議調停法論　北原安衛　昭和二	一	五六五	二〇三
勞働爭議の解剖　町田辰次郎　昭和四	一	五九九	一三六
勞働爭議の戰術と對策　繁田淺二　昭和七	一	六三四	一〇三
勞働爭議野田血戰記　日本社會問題研究所編　昭和三　五版	一	五七五	二三五イ
勞働創造の修身教育　河野通賴　昭和六	一	二六三五	八四
勞働史講話　アルベール・トマ著　松本重治譯　昭和七	一	六三四	九一
勞働時間短縮問題　マネジメント社調査部編　昭和八	一	六三一	二七八
勞働時間ト休息時間ノ關係ニ就イテ　田中作治郎　昭和七	一	六三八	一五
勞働事情調査　大阪地方職業紹介事務局編　昭和八	一	六五三	一二〇
勞働事情調査報告　勞働事情調査所發行　昭和一〇　第一輯　臨時工問題の研究　（同所編）	一	一四五	四三九
勞働指導法　日東社編　昭和三	一	五九一	一五
勞働市場の統制　第一編　一八二頁　遊佐敏彥　昭和一〇	一	六八〇	九〇
勞働兒童の保護　三澤房太郎　昭和九　（社會教育パンフレット第一九三輯）	一	二七五六	二九
勞働者教育施設資料輯錄　協調會編　昭和二　（勞働者教育資料第九）	一	二九〇	四六
勞働者教育資料　協調會發行　大正一五至昭和四　第八　丁抹に於ける農村の更生と教育　（愛田太郎吉編）　第九　勞働者教育施設資料輯錄　（同會編）　第一〇　勞働者教化の實例　（同）　第一一　米國に於ける工場勞働者の職業教育　（同）　第一二　工場に於ける職長の任務及教養　（同）　第一三　本邦勞働學校概況　（同）　第一四　本邦工場鑛山職長制度概要　（同）	七	二九〇	四六
勞働者災害扶助責任保險事業年報　昭和六・七年度　社會局勞働部編　昭和九	一	一四四	一〇二五
勞働者災害扶助年報　昭和七年　昭和九　社會局勞働部編	一	一四四	一〇二四
勞働者災害扶助年報・勞働者災害扶助責任保險事業年報　昭和八年度　昭和一〇　社會局勞働部編　九四頁	一	一四四	一〇六五
勞働者災害扶助法令及勞働者災害扶助責任保險法令說明　社會局勞働部編　昭和六	一	一四七	五四八
勞働者待遇比較統計　井上信明編　昭和九	一	六四九	二七六
勞働者の居ない船　葉山嘉樹　昭和四　（改造文庫第二部第五〇篇）	一	五六九	一四三
勞働者農民の代議士山本宣治は議會に於て如何に闘爭したか　政治的自由獲得勞農同盟編　昭和四	一	五八七	一八七
勞働者農民文庫　共生閣發行　昭和四　第三册　資本の攻勢と勞働婦人　附　ソヴィエット・ロシアの勞働婦人　（シュトラツセル著　冬木圭譯）	一	五八七	一七六
勞働者のための勞働法　奈良正路　昭和四	一	五九〇	九六
勞働者保護法規概說　北岡壽逸　昭和八　（勞働立法パンフレット第一輯）	一	六三一	二〇七
勞働者募集年報　大正一五、昭和二年　社會局勞働部編　昭和二、三	二	一四四	七七九
勞働生活史　ブリゾン著　松本（白井）勝喜代譯　昭和一〇　（「中世職人史」ノ改題）	一	五七五	一八〇イ
勞働黨と新世界　スノーデン著　早坂二郎譯　（社會思想全集第四卷ノ内　昭和五）		五六六	五三
勞働黨内紛と英國政變　葛岡常治　昭和六　（社會教育パンフレット第一三五輯）	一	二七五六	二九
勞働調査　福岡地方職業紹介事務局編　昭和二、三　一　管内重要勞働雇傭調査　二　管内仲仕勞働事情　三　出稼女工に關する調査　六　筑豐炭鑛勞働者出身地調査	四	一四五	二一八
勞働調査報告　大阪市社會部調査課發行　大正一五　第四九號　工場勞働者採用條件及募集方法	一	一四五	二七
勞働哲學概論　スコット著　松本悟朗譯　昭和三	一	五三六	三三一
勞働統計要覽　昭和二至五、七至一〇年版　内閣統計局編　昭和二至一〇	八	一四四	六七九
勞働統計實施調査　東京市役所發行　昭和三、四　第二回　東京市及近郊町村勞働統計原表　第一、二卷　（同所編）	二	一四四	七二イ
勞働統計實地調査　第二回統計篇、記述篇　神戸市役所編　昭和四	二	一四四	八三四
勞働統計實地調査　第四回　昭和一〇　神戸市社會課編	一	一四四	八三四
勞働統計實地調査概要　第三、四回　昭和六、九　千葉縣編	二	一四四	八六一
勞働統計實地調査概報　第二至四回　昭和三至九　兵庫縣統計課編	三	一四四	七八六
勞働統計實地調査概報　昭和六年　關東長官官房文書課編　昭和六	一	一四四	八八四
勞働統計實地調査結果概要　第四回（昭和八年一〇月一〇日現在）　東京市役所編　（「昭和九　東京市及近郊町村勞働統計實地調査概要」ノ改題）	一	一四四	九六四イ
勞働統計實地調査結果ノ概要　第二、三回　愛知縣編　昭和五、七	二	一四四	八四九
勞働統計實地調査報告　大正一三（第一、二卷）、昭和二（第一至四卷）、昭和五（第一、二卷）年　内閣統計局編　昭和二至九	八	一四四	七三二
勞働統計圖表　昭和三、四年度　東京市電氣局勞働課編　昭和四、五	二	四一二	一一七
勞働と榮養　阪峻義等　昭和一〇　五四頁	一	六八三	一〇五
勞働讀本　山名義鶴　昭和二	一	五六一	一四五
勞働年鑑　昭和八至一〇年版　協調會編　昭和八至一〇	三	六五四	二三
勞働の組織　ブラン著　淺野研眞譯　（社會思想全集第三卷ノ内　昭和六）		五六六	五二
勞働の哲學　バーンス著　浮田和民譯　昭和三　（文明協會ライブラリ第一三）	一	五六六	三六
勞働法　上、下卷　ビック著　協調會譯　昭和七、八	二	六二四	一〇一
勞働法案ト根本思想　矢野政二（滄浪）　昭和五	一	五九〇	三二六

		冊	頁	號
勞働法要論	兒玉兼道 昭和四	一	五九一	五五
同 訂再版	昭和五	一	五九一	五五イ
勞働法綱要	孫田秀春 昭和二	一	五七三	六八
勞働法原理	山口正太郎 昭和三	一	五八七	五二
勞働法原理	津曲藏之丞 昭和七	一	六二四	一二四
勞働法大意	柴田義彦 昭和七	一	六〇〇	二八九
勞働法通義	孫田秀春 昭和四	一	六〇〇	五
勞働法提要	カピタン、キューシュ共著 石崎政一郎譯 昭和七	一	六二一	七九
勞働法論 卷の二	各論 上 孫田秀春 昭和四	一	五九一	二
同 (全)	昭和六	一	五九一	二イ
勞働婦人アンナ	オルブラハト著 神近市子譯 昭和五	一	六〇三	二二〇
勞働保護資料	社會局勞働部編 昭和三至七	一四	一四、五	一七三
第二五輯	工場災害豫防に關する各國法規 (同部譯編)			
第二六、二七輯	綿紡織機械安全設備 紡織、機織の部			
第二八輯	我國に於ける產業災害豫防の概況			
第二九輯	安全委員會及安全週間に關する調査			
第三〇輯	產業災害統計の方法			
第三一輯	護謨工場の災害防止 (佐々木鉞三)			
第三二輯	工場安全規則集			
第三三輯	製紙工業の災害とその豫防 (井口幸一)			
第三四號	獨逸勞働保護法案並に理由書			
第三五輯	各國勞働者災害補償法制			
第三六輯	我國に於ける勞働時間の概況			
第三七輯	深夜業禁止の影響調査			
第三八輯	賃銀保護に關する外國法制			
勞働保護法規並解釋例規	社會局勞働部編 昭和八	一	一四、七	六一六
勞働問題教程	君島清吉 昭和六	一	三七八	二九二
勞働問題研究	北原安衞 昭和五	一	六〇〇	五五
勞働問題原理	渡邊一郎 昭和二	一	五六五	一九六
勞働問題資料	協調會勞働課發行 昭和七	一	六三五	六〇
第四五號	出征職工の待遇に關する資料 (同會編)			
勞働問題の知識	園乾治 昭和九 (萬有知識文庫第一一)	一	六六四	一
勞働立法叢書	東京弘文館發行 昭和六	一	六一三	五五
第一輯	第五九議會提出の勞働組合法案研究 (柴田義彦)			
勞働立法パンフレット	勞働立法研究所發行 昭和八、九	三	六三一	二〇七
第一輯	勞働者保護法規概說 (北岡壽逸)			
第二輯	健康保險法規概要 (清水玄)			
第三輯	兒童虐待防止法解說 (藤野惠)			
勞働立法論	鈴木文治 昭和四 (民衆政治講座第八卷)	一	五八七	二一〇
朗讀法精說	日下部重太郎 昭和七	一	二六三	三四五
牢內取扱幷繪圖面	(文政一三年) 寫	一	一五六	二一七

		冊	頁	號
老若五十首歌合	(新校群書類從第九卷和歌部ノ內 昭和五)		五八四	五
勞農黨結黨大會報告並に議案	新勞農黨準備會本部編 昭和四	一	五七九	四六一
勞農聯邦研究	社會思想社編 昭和三 (社會思想研究叢書第一編)	一	五八三	四二
勞農露國現行重要法令集	外務省歐米局第一課編 訂三版 昭和二	一	一四、七	三三九イ
勞農露國土地法の研究	ローゼンブリエーム著 戶泉憲溪譯 昭和二 (露亞經濟調査叢書第二四編)	一	五五五	一一
勞農露國の產業と電化計畫	ステパノフ著 鈴木尙三譯 昭和二 (露亞經濟調査叢書第一〇編)	一	五五五	一一
勞農露國の生產と消費	グフマン著 高橋克己譯 昭和二 (露亞經濟調査叢書第一七編)	一	五五五	一一
勞農露國の通貨政策	ユーロフスキー著 田中義丸譯 昭和二	一	五七五	一三一
勞農露西亞現代劇集	熊澤復六等譯 昭和四 (世界戲曲全集第二七卷露西亞篇五)	一	五六六	四
勞農ロシア叢書	上野書店發行 昭和四	三	五八七	一三五
第三	ソヴイエット憲法 (ロシュテーン著 佐田弘雄譯)			
第四	最近十年間のソヴエート、ロシアの農村狀態 (產業勞働調査所(山口省吾)譯)			
第五	ソヴエート、ユニオンの消費組合 (ポポフ著 同所(岡村貞三)譯)			
勞農ロシアの現勢	產業勞働調査所編 昭和二	一	五七五	七五
勞農ロシアの教育制度	ニアリング著 松山止戈譯 昭和三	一	二五六ニ	五一
勞農露西亞の產業狀態と外國貿易の前途	滿鐵調査課編 昭和四 (露亞經濟調査叢書第六四編)	一	五五五	一一
勞農ロシヤ文學叢書	マルクス書房發行 昭和四、五	五	五九六	四六
第一輯	袋街 (ウエレサーエフ著 松崎啓次譯)			
第二輯	コムミサール (リベディンスキイ著 黑田辰男譯)			
第三輯	勞農ロシヤ戲曲集 (同房編)			
第四輯	裝甲列車 (イワノフ著・黑田辰男譯)			
第五輯	叛亂 (フルマーノフ著 小宮山明敏譯)			
老農渡部斧松翁傳	西岡虎之助 昭和三	一	五七七	八三
老朋友	後藤朝太郎 昭和二	一	五四九	三四七
浪漫思潮	早稻田大學歐羅巴文學研究會編 (發生的研究) 昭和六 (歐羅巴文學研究第一)	一	五六七	九三
浪曼主義者の手帖	林房雄 昭和一〇 二七五頁	一	六八七	一六八
勞務管理資料	關東產業團體聯合會發行 昭和九、一〇	二	一四、五	三三九
第五輯	米國に於ける官公吏及被傭者成績考査の實例 (同會譯編)			
第六輯	東京瓦斯株式會社に於ける勞務管理と福利施設 (同會編)			
第七輯	最近に於ける勞働爭議の事例 (同)			
勞務者共濟に關する施設概況	中央職業紹介事務局編 昭和三	一	五七九	九二
勞務者教育實施概要	昭和七至九年度 文部省社會教育局編 昭和八至一〇	三	二七五六	四三

勞務者教育の使命（工場管理二十餘年の經驗から）神田孝一 昭和八 一冊 函二五三 號六五四
勞務統計 昭和七年一〇月一〇日現在 第五輯（年齢、配偶關係、教育程度）昭和一〇 鐵道大臣官房現業調査課編 一 四三〇 五三
浪朗の釣鐘 川村貞四郎 昭和八 一 六三一 二三二
朗廬文鈔 阪谷素（朗廬）再版 昭和八 一〇 二 六イ
ラオコン レッシング著 柳田泉譯（世界大思想全集第一四ノ内 昭和三） 五四五 五九
ラガー 正しき戰法及練習法と觀方 西尾重喜 昭和八 一 六四二 二二六
洛遊四日間記 黒本植 昭和一〇 一〇 一八四 八三
ラグーザお玉 木村毅 昭和六 一 五九六 三五一
落葉集 山名敏子 昭和四 一 五六八 三三九
落葉集 吉田紘二郎 昭和九 一 六五六 一三六
落葉集（ビラ張交帖） 特 帖二 別七 二六二
落葉松（句集）内藤吐天 昭和一〇（東炎叢書第三編） 一 六五九 一〇
樂園 藤原事宗 昭和三 一 五三六 四三三
樂園喪失（ミルトン）中、下卷 藤井武譯 昭和二 二 五一七 四三六
樂翁公餘影 樂翁公遺德顯彰會編 昭和四 一 五九四 五九
らくがき 野崎廣太（幻庵）昭和六 一 六〇九 二六七
落花劍光錄 三上於菟吉 昭和四 一 五九六 五三
落款印章の心得 雉山閣編輯局編 昭和一〇（書道學習帖第一七） 一〇 二四九 二七〇
落欵と箱書の栞 荒木炬 昭和四 一 五八六 二七〇
落語系圖 植村秀一郎（月亭春松）編 昭和四 一冊 函五五八 號一八八
樂山公略譜（東藩史稿拔萃）仙臺刊行會發行（仙臺叢書第一二卷ノ内 大正一五） 五〇八 一三
樂只帖 青柳博士還曆祝賀會編 昭和八 一〇 二三四 一三五
樂常慶とノンカウ（彩霞會講演錄）同會編 再版 昭和三 一 五二四 二
落書露顯 今川了俊（新校群書類從第一三卷和歌部ノ内 昭和九） 五八四 三
同（群書類從第一六輯和歌部ノ内 昭和九） 五八三 一四
樂陶工傳 小野賢一郎編 昭和七（日本陶工列傳第一） 一〇 二二六 三七
洛中洛外 金木萩花 昭和五 一 五七八 三六四
落鎚試驗器による爆藥の感度試驗報告 第一回 福岡鑛山監督局編 昭和一〇 一 五六七 一七六
樂天囚人 堺利彦 新版 昭和二 一 五〇三 三六イ
樂天全集 北澤樂天 昭和五、六 五 五六七 七四
第一卷 明治大正昭和社會漫畫集
第五卷 世界外交戰爭漫畫集
第六卷 ブルプロ漫畫集
第七卷 凸茶目漫畫集
第九卷 女百態エログロ漫畫集
樂士南洋 中上川蝶子 昭和一〇 一 六一六 二一五
酪農講話 和田豐 昭和一〇 一七九頁 一 六六六 三三三

酪農細菌學 高屋鋭 昭和九 一 六六二 一四二
酪農叢書 乳牛タイムス社發行 昭和二、六 二 五四一 二一
第二編 乳牛育成法（加藤純之輔）
第三編 乳牛飼料と其配合法（井口賢三）
酪農と牛乳 白井恒三郎（紅白）昭和七 一 六二二 五六
ラグビー學園のアーノルド（世界偉人叢書第二篇）松田與惣之助 昭和二 一 五七八 一四
ラクビー通になるまで 本領信治郎 昭和五 一 六〇六 一四六
ラクビーのABC スポーツブック編輯部編 昭和五 一 六〇六 一五〇
ラクビーの見方 奥村竹之助 昭和四 一 五八六 二一三
同 修正二〇版 昭和九 一 五八六 二一三イ
ラクビーの理論と戰略 奥村竹之助等 昭和七 一 五九八 四一一
ラクビーフアン 小野田康麿 昭和三 一 五八六 一一八
ラクビー、フットボール 兼子義一 昭和二 一 五七一 一〇
ラクビー、フットボール 香山蕃 昭和五 一 六〇八 一五九
洛北修學院村道しるべ 杉浦三郎兵衛編 昭和二 一〇 一七五 九四
洛陽餓ゆ 阪本勝 昭和二 一 五六八 一三八
同 昭和六 一 五六八 一二八イ
洛陽十二社靈驗記 松浦星洲（增補京都叢書第五卷ノ内 昭和九） 六五四 一六
洛陽田樂記 大江匡房（新校群書類從第一五卷遊戲部ノ昭和四） 五八四 五
同（群書類從第一九輯遊戲部ノ内 昭和八） 五八三 一四
落陽に祈る（上海滿洲實戰記）野中喜四郎 昭和八 一 六三三 一五〇
落陽の誇 前田曙山 昭和二 一 五五一 二四六
洛陽般舟三昧院記（新校群書類從第一八卷釋家部ノ内 昭和七） 五八四 五
洛陽名所集 山本泰順 第一卷（增補京都叢書第一卷ノ内 昭和八） 六五四 一六
樂燒 今井貞次郎 昭和五 一 六〇四 一六〇
樂燒工程 富本憲吉 昭和五 一 五九七 三六六
樂浪 五官掾王盱の墳墓 原田淑人等編 昭和五 一 四二四 六三
酪聯十年史 北海道製酪販賣組合聯合會編 昭和一〇 三七〇頁 一 六八六 一一
羅生門 他一二 芥川龍之介（新潮文庫第四編）昭和八 一 六三〇 八
羅生門の鬼（國民傳說二十三話）島津久基 昭和四 一 五九六 一三
羅紗に就て 本間安藏編 昭和六 一 六〇六 三五四
羅紗名稱略解 上卷 冬物之部 其の一 澤本嚴 昭和三 一 四二三 三〇〇
羅紗洋服商名鑑 中外毛織新聞社編 再版 昭和二 一 五六二 一一一
羅針儀と測深測程具の說明及用法 奥村伊三郎編 昭和四 一 五九〇 四〇
ラスキン思考 第二、四至七輯 御木本隆三 大正一五至昭和六 五 五五八 三〇
ラスキン隨想 御木本隆三 昭和九 一 六六一 二四
ラスキン線に沿ふて（詩と隨想）林久一 二一七頁 昭和一〇 一 六九二 三一
ラスキンの遺物 御木本隆三 昭和九 一 六三一 四九七

		冊	頁	號
ラスキンの社會的正義觀	フツクス編 御木本隆三譯 昭和六	一	五九一	三一七
ラスキンのセイント・ジョージ組合	スコット女史著 御木本隆三譯 昭和七	一	三七三	六四〇
ラスキンの片影	御木本隆三 昭和七	一	六一九	一三九
ラスク價値哲學	波多野亮譯解 昭和六	一	六一二	八六
ラスプーチン暗殺祕錄	ユスポフ著 伊佐襄譯 昭和五	一	三五七	二七三
螺旋道	辻潤譯編 昭和四	一	五九五	一六八
裸體畫の第一歩	太田三郎 昭和七（アトリエ叢書第五）	一	六二九	六
裸體素描集	遠山五郎 昭和六	一	四二四	七七
裸體の習俗とその藝術	太田三郎 昭和九	一	六六二	六二
裸體禮讚	パーメリー著 内山賢次譯 昭和五	一	六〇九	一四〇
ラヂウム療法	長町穆 昭和八	一	六〇	一三九
ラヂオ	稻田三之助（萬有科學大系續篇第八卷ノ内 昭和八）		六一四	一一一
ラヂオ演劇（鑑賞と作方）	佐々健治 昭和九	一	六七五	一三〇
ラヂオを語る	中山龍次 昭和八	一	六四一	七三
同		一	六四一	七三イ
ラヂオ講演運動講座	第一卷 昭和二 日本放送協會關東支部編	一	五四七	五〇チ
ラヂオ講演家庭講座	第三卷、婦人家庭特輯號、別輯第一、二輯 日本放送協會關東支部編 昭和二、三	四	五四七	五〇イ
ラヂオ講演國際講座	第一卷 昭和二 日本放送協會關東支部編	一	五四七	五〇リ
ラヂオ講演趣味講座	第二至四卷 昭和三、四 日本放送協會關東支部編	三	五四七	五〇ハ
ラヂオ講演趣味の旅	第三編第一輯 昭和三 日本放送協會關東支部編	一	五四七	五〇ル
ラヂオ講演通俗講話	第一、二卷 昭和二、三 日本放送協會關東支部編	二	五四七	五〇ヘ
ラヂオ講演通俗科學講座	第二、三卷 昭和三 日本放送協會關東支部編	二	五四七	五〇ロ
ラヂオ講演通俗佛教講座	第一卷 昭和三 日本放送協會關東支部編	一	五四七	五〇ヌ
ラヂオ講演婦人子供服の裁縫と手藝	第三編第一〇輯 昭和三 日本放送協會關東支部編	一	五四七	五〇ル
ラヂオ講演文藝講座	第一至三卷 昭和二、三 日本放送協會關東支部編	三	五四七	五〇ト
ラヂオ講義錄	日本放送協會東海支部編 昭和八	一	六四一	九四
ラヂオ講座	日本放送協會東海支部發行 昭和四	一	五七九	四六三
第三輯 ラヂオを知らむとする方へ（同部編）				
ラヂオ講座	昭和四年度 昭和四 日本放送協會東海支部編	一	五九二	四一
ラヂオ講座	日本ラヂオ通信學校編 昭和八	六	六五〇	一四一
第一 ラヂオの豫備知識				
第二 ラヂオの修理知識				
第三 ラヂオの應用知識				
第四、五 ラヂオ受信機組立知識 上、下				
第六 ラヂオの基礎知識				
ラヂオ家庭大學講座	資料一、二 昭和二、三 日本放送協會關東支部編	二	五二四	六三三
ラヂオ雜音防止裝置標準規定（暫定）				

交流受信機普及東海委員會編	昭和一〇	一	六三八	一七一、
ラヂオ受信機（故障の發見と修理）	鈴木四郎 昭和七	一	六一七	二三三
ラヂオ受信機組立と修繕法	日本テレヴヰジョン協會編 昭和七	一	六二七	一五七
ラヂオ受信機の解說と作り方（性能の良い圖解）	川野義雄 昭和六	一	六〇六	二七〇
ラヂオ受信機の故障發見と其修理法	安藤照雄 昭和四	一	五八六	二七七
ラヂオ聽取者は何を好むか	日本放送協會關西支部編 昭和七	一	六一七	二三七
ラヂオと計算	關英男 昭和九	一	六六二	一二七
ラヂオと社會教育	文部省社會教育局編 昭和五（社會教育叢書第二五輯）	一	二七五六	三八
ラヂオドラマ	キュージイ・デエルミネ共著 川口正人、濱一譯 昭和四	一	五六七	四一
ラヂオドラマ集	大阪中央放送局編 昭和六	一	五九六	三八四
ラヂオによる素人天氣豫報術	中村左衛門太郎 昭和六	一	六〇八	三一四
同	昭和九	一	六〇八	三一四イ
ラヂオ年鑑	昭和六至一〇年 昭和六至一〇 日本放送協會編	五	六一三	四二
同	昭和七年 昭和七	一	六一三	四二イ
ラヂオの原理と製作（配線と理論）	正田隆 昭和六	一	六〇六	三二七
ラヂオの知識	日本放送協會關西支部編 昭和九	一	六五三	二一七
ラヂオの知識	苫米地貫 昭和七（民衆文庫第六二篇）	一	罪五六	五七
ラヂオ放送英詩十講	山宮允 昭和三	一	三三三	八〇八
ラヂオ放送四季の料理	日本放送協會關東支部編 昭和二	一	五七一	三三
ラヂオ放送日日の料理	日本放送協會關東支部編 昭和三	一	五八六	一二五
ラヂオ一〇〇問一〇〇答	谷村功 昭和一〇 二〇五頁	一	六八〇	一二八
ラッカーの作り方とその塗り方（塗料界の寵兒）	立澤勇吉、山添長四郎 昭和七（小資本化學工業叢書第六編）	一	五四九	四六七
らつきよ畑	伊藤靜馬 昭和五	一	五一七	七二一
ラツシュアワー展望	栗島秀雄 昭和五	一	五一七	七一四
ラツチエル海洋論	市川誠一譯 昭和五	一	六〇六	一八
ラデイゲ遺墨	山中散生譯 昭和八	一	六三一	二四三
ラテン語階梯	著日田武次 昭和一〇 三七二頁	一	六七九	一八二
ラテン文法	立花國三郎 昭和一〇 一六九頁	一	六三三	二四九
ラテン文法概要	吳茂一 昭和八	一	六二三	一三一
羅獨語病名辭典	第一至三卷（點字）	三	點一	四六
ラ・バタイユ	ラフアエル著 高橋邦太郎譯 昭和五（世界大衆文學全集第五七卷）	一	五六九	六一
裸婦	高橋弘明畫 昭和六	一枚	七明	四〇八
ラフアエル前派主義	ラスキン著 御木本隆三譯 昭和六	一	二一三	五九六
小泉八雲の横顔	高田力 昭和九	一	六六五	一九五
藤纈染の研究（工藝美術）	新坂紫舟 昭和九	一	六七五	一九

		冊	函	號
蠟燭の科學（ファラデー）	ファラデー著 矢島祐利譯 昭和八（岩波文庫九五四）	一	五六九	一四
臈たき花	中河與一 昭和八	一	六五五	一四
蠟人形叢書	蠟人形社發行 昭和八	一	六三一	三七四
第一 近代詩の鑑賞（西條八十）				
ラ・ブラタ博物學者	ハドソン著 岩田良吉譯 昭和九（岩波文庫九六一—九六二）	一	五六九	一四
ラブレエの生涯とその著作の解題的概說	内田傳一（文學思想研究第九卷ノ内 昭和四）	一	五三一	二一
ラ・ボエーム	ブローチー著 森岩雄譯（世界大衆文學全集第二〇卷ノ内 昭和三）	一	五六九	六一
苧麻（ラミー）增殖奬勵に就て	農林省農務局編 昭和九	一	六五三	一九五
ラムゼイの社交ダンス	ラムゼイ著 瀧本二郎譯（社交ダンス全集第一卷） 昭和四	一	五九七	一九五
ラムゼイ夫妻の社交ダンス	加藤敎雄、濱井弘譯 昭和一〇	一	六二二	二六七
ラモオの甥	デイトロオ著 本田喜代治譯 昭和一〇（二六六頁）	一	六三二	二〇二
蘭（歌集）	馬場汐人（勇） 昭和九	一	六六五	二二一
蘭印市場に於ける本邦綿布	大阪市役所産業部編 昭和九（貿易經濟叢書第四八輯）	一	六〇四	一八四
同		一	六〇四	一八四イ
嵐更作品集	山口嵐更 昭和二	一	一七五	九七
蘭學事始	杉田玄白著 野上豐一郎校（岩波文庫六六五） 昭和五	一	五六九	一四
蘭學全盛時代と蘭疇の生涯	鈴木要吉 昭和八	一	六四八	四七
ランカシヤーを訪ねて	ブリーストレイ著 太平洋問題調査會編（太平洋問題資料第一八） 昭和一〇	一	六二五	二八六
蘭科植物の栽培	岡見義男 昭和一〇	一	六二八	一四九
蘭科培養の要諦	伊集院兼知 昭和二	一	五七一	二八
蘭惠鈔誌	支那蘭鑑賞及栽培要言 小原榮次郎 昭和五	一	五九七、三五一	
蘭軒集	元、王五 民國二三 影印（四庫全書珍本初集ノ内） 一六卷	特六〇	八四四	一九二
蘭栽培の枝折	田邊賀堂（次太郎） 昭和九	一	六五七	六二
卵巢濾胞水に對する黃體の拮抗的作用ニ就テ	第二編 絲井一良 昭和六	一	四九	九七
蘭山會叢書	綜合科學出版協會發行 昭和六	一	五九八	三九
第一 蜘蛛の研究	（湯原清次）			
蘭城遺稿	大作延壽（大作延壽遺稿集）	一〇	八三八	九
濫觴抄	（群書類從第二六輯雜部ノ内 昭和四）		五八三	一四
同	（新校群書類從第二〇卷雜部ノ内 昭和四）		五八四	五
爛熟期・頽廢期の江戸文學	高須芳次郎 昭和六	一	五九六	三一五
爛醉	ストリンドベルク著 舟木重信譯（世界名作文庫第四一七） 昭和七	一	六三〇	一
蘭說辨惑	一名磬水夜話 大槻磬水 寛政一一	二〇	一三〇	一四八
らんせん叢書	らんせん莊發行 大正一五	一	五四五	五一
第五 山	（田中澤二（螢澤籃川））			
蘭庭集	明、謝晉 民國二三 影印（四庫全書珍本初集ノ内） 二卷	特二〇	八四四	二一九
蘭亭叙（摹）	日下部鳴鶴（東作）書 昭和八	一〇	二三四	一二三
蘭亭序（鳴鶴先生臨）	日下部鳴鶴臨書 昭和九	一〇	三〇一	一五
ランデの死	アルツイバアセフ著 原久一郎譯（世界名作文庫第三三〇） 昭和八	一	六三〇	一
ランデの死	アルツイバアセフ著 原久一郎譯（昭和一〇 新潮文庫第一三六編）	一	六三〇	八
藍田遺稿	谷口藍田（中秋）著 谷口豐五郎編 明治三六	一〇	八三八	五八
蘭方樞機（校正）	第一至五 小林啓譯 文化一四	五〇	二四九	二三一
濫費の悲劇	チエース著 石井滿譯 昭和九	一	六六〇	一九八
蘭譜	川澄芳蘭畫 寫	特二	八別	三
蘭譜	笹山三次 昭和七	一	六二七	一〇九
覽富士記	堯孝（群書類從第一八輯紀行部ノ内 昭和三）		五八三	一四
同	（新校群書類從第一五卷紀行部ノ内 昭和四）		五八四	五
ランプの下にて（明治劇談）	岡本綺堂 昭和一〇	一	六二二	二三六
ランボオ詩集	（學校時代の詩） 中原中也譯 昭和八	一	六五三	一二九
欄間腰板切抜細工 透シ彫刻圖案三百種	池田仲治郎編 昭和四	一	五六三	二三九
蘭領印度を語る	竹井十郎 昭和一〇 三七六頁	一	六八八	七六
蘭領印度行政關係法規及選擧法				
蘭領印度モロッカス群島近海の鰹漁業並に同地方沖縄縣漁民の狀況	臺灣總督府官房調査課譯編（南支那及南洋調査第一九四輯） 昭和六	一	一四、二イ	四七八
蘭領印度關稅定率法及關係法規	臺灣總督府官房調査課編（南支那及南洋調査第一八一輯） 昭和五	一	一四二イ	四七八
蘭領印度主要租稅關係法規	臺灣總督府官房調査課編（南支那及南洋調査第二一三輯） 昭和八	一	一四、二イ	四七八
蘭領印度に於ける歐人農鑛企業	臺灣總督府官房調査課編（南支那及南洋調査第二一一輯） 昭和八	一	一四、二イ	四七八
蘭領印度に於ける金融狀況	臺灣總督府官房調査課編（南支那及南洋調査第二〇三輯） 昭和六	一	一四、二イ	四七八
蘭領印度の研究	商工省商務局（渡貫荷調）編 昭和三	一	五七二	一八五
蘭領印度の政治並に其批評	臺灣總督府官房調査課編（南支那及南洋調査第一八三輯） 昭和五	一	一四二イ	四七八
蘭領印度民族史	小田部譲一（亞細亞諸民族調査資料第二輯） 昭和一〇	一	六九〇	六六
蘭領印度モロッカス群島近海の鰹漁業並に同地方沖縄縣漁民の狀況	江川俊治（南支那及南洋調査第一五四輯） 昭和三	一	一四、二イ	四七八
蘭領爪哇に於ける縞三綾及捺染ジンスに就いて	日本輸出綿織物工業組合聯合會編 昭和五	一	六〇四	四〇五
蘭領東印度	外務省通商局編 昭和七	一	六三五	三六

		冊	函	號
蘭領東印度群島地質論	臺灣總督府官房調査課編（南支那及南洋調査第一七九輯）昭和五	一	一四、三イ	四七八
蘭領東印度經濟事情	大阪市役所產業部調査課編 昭和四	一	五八八	一五三
蘭領東印度爪哇ニ於ケル甘蔗交配事業概要	臺灣總督府中央研究所編 昭和七	一	六一六	七五
蘭領東印度に於ける外國人の投資	臺灣總督府官房調査課編（南支那及南洋調査第一二八輯）昭和二	一	一四、二イ	四七八
蘭領東印度に於ける土人ゴム栽培	臺灣總督府官房調査課編（南支那及南洋調査第二〇〇輯）昭和六	一	一四、二イ	四七八
蘭領東印度ニ於ケル農企業及入國關係法規	外務省通商局編 昭和七	一	六二五	九〇
蘭領東印度に於ける綿業設立問題	ウイセルリンク著 外務省通商局譯 昭和七	一	六二五	八七
蘭領東印度立法行政法並選擧法 附 蘭領印度の黨政	臺灣總督府官房調査課編（南支那及南洋調査第一五五輯）昭和三	一	一四、二イ	四七八

リ

リアリズム文學叢書	文學案內社發行 昭和一〇	二	六八三	八六
第一編 石田三成（貴司山治）				
第二編 逆流に立つ男（德永直）				
リーダーホルト 獨逸名歌曲譯詞集	小松才吉譯 リーマン編 昭和五	一冊	六一函	四六號
龍 新詩社編 昭和一〇	二二二頁	一	六九九	五四
柳櫻帖 同解說共 鳩居堂發行 昭和一〇		一帖	三〇一	二五
硫安工業と滿蒙開發 大連商工會議所編 昭和七		一	六二五	七九
硫安包裝紙袋化の農村に及ぼす影響	包裝研究社編 昭和一〇 一〇〇頁	一	六四七	一六九
溜飲を下ぐ 丸山幹治 昭和一〇	三三五頁	一	六七九	一三一
リヴイングストン傳 政池仁 昭和九		一	六一九	二五六
リヴキングストンの心臟（書簡集）昭和九	黑田四郎譯	一	六三一	四二七
龍雨句集 增田龍雨 昭和五		一	五一七	六八九
龍雨俳話 增田龍雨 昭和八		一	六三三	一六六
柳營御物集（訂校一）高木文校 昭和八		一	六四三	七九
柳營譜略（未刊隨筆百種第一五ノ內 昭和三）		一〇	一二〇	一八五
柳交 第一至三輯 柳交會編 昭和八、一〇			五六〇	二九
流行型編物百種 山田松子 大正一五		三〇	三〇〇	六五
流行歌明治大正史 添田啞蟬坊（知道）昭和八		一	五六四	一八四
流行毛皮の知識 後藤富次郎 昭和一〇	二九九頁	一	六四三	二三三
流行犬フオックステリア 附 エアデールテリア	鶴見孝太郎 昭和八	一	六五七	一九
流行性感冒 內務省衞生局編 再版 昭和二		一	一四、六	一五〇イ
流行性腦炎 稻田龍吉監修 日本醫事新報社編 昭和一〇	四三〇頁	一	五三	三八〇
流行性腦炎新文獻（腦炎記念）昭和八	山谷德治郎編	一	五三	三三九
留學二十二年アメリカを透視す 玉置彌造 昭和七		一	五八七	三三一
流霞集 一條冬良（冬良自筆歌集）		特一軸	別三	四二
柳下集 永山近彰 昭和三		二〇	一八三	五五七
同		二〇	一八三	五五七イ
琉歌註釋 喜納絲村編 昭和七		一	六三三	五
琉球游草 久保天隨 昭和八		一〇	二一五	一五八
琉球歌物語 喜納絲村 昭和七		一	六二〇	一四三
琉球音樂考 富原守淸 昭和九		一	六七五	五
同		一	六七五	五イ
琉球戲曲集（校註一）伊波普猷 昭和四		一	五九六	一一四
琉球共產村落之研究 田村浩 昭和二		一	五七三	一四四
琉球國中山世鑑 羽地朝秀編 謄寫版 島袋全發校 昭和八		一	六五三	三八
琉球古來の數學と結繩及記標文字 矢袋喜一 昭和九（「琉球古來の數學」ノ改題）		一	三五一	九〇ロ
琉球產業制度資料 前、後編 仲吉朝助編（近世地方經濟史料第九、一〇卷）昭和七		二	六〇〇	二八〇
琉球新誌 上、下 大槻文彥 明治六		二〇	八四〇	二五
琉球神道記 上、下 橫山重發行 昭和九 複製		二〇	三〇二	一三
琉球人來朝之圖		特五枚	別七	一九九
琉球昔噺集 喜納絲村 昭和八		一	六四三	八一
琉球王政時代の農政及林政 沖繩縣山林會編 昭和八 謄寫版		一	六二七	二〇九
琉球王代記年鑑 慶留間知德編 昭和一〇		一	六六六	二五七
劉向說苑 公田連太郎譯註 昭和一〇		一	六九四	二三
龍墟集（歌集一）小島清 昭和九（ポトナム叢書第二〇編）		一	五一五	六七
硫化ソーダ法による新定性分析法 附 實驗室用定性分析表 田村明 昭和七		一	四七	六三一
硫化鐵鑛調査概要 商工省鑛山局編 昭和七		一	六一六	四三
龍溪矢野文雄君傳 小栗又一編 昭和五		一	五九四	一七〇
龍溪王先生會語 賈安國編（題簽ニハ「龍溪會語」ト アリ）昭和七		三〇	二一五	一四四
柳橋新誌 成島柳北 明治七		一〇	八四〇	一二
龍谷大學一覽 昭和三年七月、四年一一月現在 同學編 昭和三、四		二	二八二	三九
龍谷大學國文學會出版叢書 同會發行 昭和三、四		四〇	一七六	五九
第三編 應永本和泉式部日記（小川壽一校） 寫影本				
第四編 伊吹山繪詞（有川武彥、小川壽一校） 延德異本方丈記（小川壽一校）				
第五編 校本				
第七編 しんらんき（同會編）				

		冊	函	號
龍谷大學增加圖書分類目錄 眞宗之部、佛教之部 龍谷大學圖書館編 昭和九年七月末現在 昭和一〇		一	五四〇	一〇六イ
龍谷大學叢書 同學發行 訂四版 昭和二		一	五五九	四五
第三編 華嚴大系 (湯次了榮)				
留魂錄 吉田松陰 (吉田松陰全集第四卷ノ内 昭和九)			六七〇	一六
龍子自選集 第二册 川端昇太郎編 昭和二		特一	四一四	二八
柳子新論 山縣昌貞 明治一七 後刷		一〇	一三八	一六〇イ
柳子新論 須藤宗次郎編 昭和三		一〇	一八三	六二
柳子新論 山縣昌貞 (新註皇學叢書第一二卷ノ内 昭和三)		一	五五五	四五
龍姿蛇姿 幸田露伴 昭和二		一	五一七	四八三
流日(歌集) 横山好子 昭和五 (青虹叢書第一卷)		一	五〇五	七四
劉舍人遺集 劉子雄著 李稽勳編 民國二〇		一〇	二二七	五八
龍樹空觀の研究 稻津紀三 昭和九		一	六三六	二五三
柳絮 信樂眞純 昭和八		一	六四三	二四七
流水型熱量計に依る瓦斯熱量測定法 稻見愼一 昭和九		一	六六七	三〇
流水抄 (木太刀年刊句集 昭和八年) 星野麥人編 昭和九		一	六五六	一三九
劉生畫集及藝術觀 岸田劉生 大正九		特一	四二二	三四イ
隆生堂叢書 克誠堂發行 昭和一〇		一	六〇	一三四七
第一編 エレクトロカルヂオグラムの臨牀 (大橋祐之助)				

		冊	函	號
流星の研究 小槇孝二郎 昭和一〇 三三頁		一	六九三	一三七
柳選 柳選會編 昭和四		一〇	四一一	七九
同 第一三輯 昭和一〇		一〇	四一一	七九
流線型アベック 小川武 昭和一〇 二八四頁		一	六三二	二五〇
流線車(歌集) 平井乙麿編 昭和九		一	六五三	二四三
龍船附近地形及地質圖 臺灣總督府殖産局製 昭和六 五二・二五×三七・三〇		一枚	三七二	四二三
流體力學と翼並に水力機の理論 池田芳郎、加藤鉞郎 昭和四		一	五五二	二五二
留置權論 藥師寺志光 昭和一〇 二七五頁		一	六四九	三二七
龍女の眸(詩集) 森三千代 昭和二		一	五一七	五八五
柳亭淨瑠璃本目錄 (未刊隨筆百種第一八ノ内 昭和三)			五六〇	二九
柳亭種彥集 昭和九 (近代日本文學大系第一六卷) 普及版		一	六二九	二八
龍笛譜 初之卷 雅樂講究會編 昭和七 謄寫版		一〇	二三二	三九一
留日中華學生名簿 昭和三年六月、六年五月現在 日華學會學報部編 昭和三、六		二	二五九	五八八
流芳遺墨 附 追賛一話 福田敬業編 再版 明治二四		一帖	八四一	六二
柳風和歌抄 (新校群書類從第七卷和歌部ノ内 昭和三)			五八四	五
龍鳳景迹 大日本皇道奉賛會編 昭和一〇		特一〇	四三〇	五八
流木權の研究 太田資時譯 昭和五		一	六〇四	三五八

		冊	函	號
龍鳴抄 大神基政 二卷 (新校群書類從第一五卷管絃部ノ内 昭和四)			五八四	五
同 (群書類從第一九輯管絃部ノ内 昭和八)			五八三	一四
梳棉機取扱法 名取義雄 昭和四		一	五八八	一七三
柳里恭鳥類譜 西澤笛畝編 昭和三		一	四一七	六六
流量要覽 大正八至昭和四年 昭和九 遞信省電氣局編		一	四二八	五四
龍靈瑞和尙語錄 岩山眞定編 昭和八		一〇	二四九	二八四
俚謠三百六十五日 下野幽波 昭和三 (俚謠叢書第三篇)		一	五五〇	一〇三
俚謠集 早川珍竹林(千代松)編 昭和七		一	六三三	一〇八
俚謠集拾遺 高野斑山(辰之)、大竹紫葉(舜次)編 再版 大正四		一	三四九	三七八
俚謠正調集成 小春社發行 昭和五 第三五卷 大正十一年前集 (同社編)		一	五六九	二一五
俚謠叢書 小春社發行 昭和三 第三篇 俚謠三百六十五日 (下野幽波)		一	五五〇	一〇三
利益の多い蜜蜂の飼ひ方 馬淵亮衞、野津極 昭和六		一	六〇六	二五一
利益の確實な果樹 德安健太郎等 昭和一〇 (農家副業全集第一二卷)		一	六三一	五一九
利益分配論 ワックスウエール著 足立北鷗譯 昭和四		一	五八七	一四〇
リオネエ倶樂部 デュアメル著 中村星湖譯 (世界文學全集第二期第三ノ内 昭和六)			六〇二	二四
リカアド アモン著 阿部勇等譯 昭和三		一	五七三	一四九
リカアドウ 堀經夫 昭和一〇 (社會科學の建設者人と學說叢書第一〇)		一	六七七	一六
リカアドウ貨幣銀行論集 小畑茂夫譯 昭和六		一	六〇〇	二二六
リカードウ經濟學研究 武田鼎一 昭和一〇		一	六七八	一〇六
リカアドウの價値論及び其の批判史 堀經夫 昭和四		一	五九一	六二
リカアドオ研究 小泉信三 昭和四		一	五九一	一六二
リカアド派社會主義 堀經夫 昭和三 (社會科學叢書第四編)		一	五八三	一九
Rigaku 日本のローマ字社發行 昭和二 6 no maki Sôgaku no Dodai (Sîio-Hitosi)		一	三三二	一〇七
理學新風景 竹内時男 昭和一〇 一六八頁		一	四六	四二三
理學問答 西村茂樹 手稿本 四九丁		特一〇	八二七	一三〇
利休遺州臺子飾傳書 松山米太郎校註 昭和九		一〇	一八四	八七
利久形團扇畫帖 瀨原捨松發行 昭和二、四		二〇	一七五	九〇
利久形團扇畫帖 瀨原捨松編 昭和三、五		二〇	一七五	一一七
離宮八幡宮史 魚澄惣五郎、澤井浩三編 昭和八		一	六三六	一〇〇
利休百首私解 金澤宗爲 昭和二		十	五二九	二四〇
力學 電機學校編 補五版 昭和二 (電機學校叢書第二〇卷)		一	三三〇	二二イ
力學 宮城春五郎 昭和三 (近世機械學第一卷)		一	五八一	三二
Rikigaku 第一 田丸卓郎 昭和一〇 五二四頁		一	四六	四二六
力學演習 上卷 若桑光雄 昭和七		一	六一七	五六
力學及機械學 電機學校編 昭和四 (初等電氣工學叢書第八卷)		一	五六三	二三六

		冊	函	號
力學及材料强弱學	小谷寛之亮　昭和九	一	四六	三九三
力學史傳	福本正人　昭和八	一	六四二	二五四
力學對話	ガリレイ著　岡邦雄譯（世界大思想全集第四四ノ内　昭和六）		五四五	五九
力學通論	寺澤寛一編　昭和四	一	四六	三三六
力學の發達とその歴史的批判的考察（マッハ）	青木一郎譯　昭和六	一	六〇八	三〇一
力學問題詳解（ヒツクス）	杉山隆二　訂再版　昭和六	一	五七三	一〇五イ
力織準備機構學	上、下卷　昭和七　大住吾八　補	二	五五三	四三イ
力婦傳	（平賀源内全集上卷ノ内　昭和七）		六一〇	一七五
陸海空軍兵器の話と未來の科學戰	小林勝男　昭和八	一	六四一	一八〇
陸海軍國防大寫眞帖	國防普及會編　昭和一〇	一○	六三二	六三
陸海軍今昔物語	安藤德器　昭和一〇	一	六七五	二三二
陸海軍事物起原	松下芳男　昭和九（社會教育パンフレット第一六一輯）	一	二七五六	二九
陸軍海軍普通司法警察比較要論	石田乙五郎　昭和八	一	六三七	一〇三
陸軍軍醫學校牛込恩賜財團濟生會病院新築工事概要	三桂會編　昭和四	一	五六七	三一
陸軍軍縮と米露の東亞經綸	佐藤慶治郎　昭和六	一	六〇〇	一九三
陸軍軍人を志す人のために	金子慶太　昭和七	一	六三四	六〇
陸軍軍法會議法講義	日高已雄　昭和九	一	六四九	二八一
陸軍軍備に關する講話案懸賞當選論文集	偕行社編　昭和六	一	三七三	四四五
陸軍刑法講義	岡村畯兒　昭和四	一	五九一	一八九
同	同　昭和七	一	六二四	三三
陸軍現役將校同相當官實役停年名簿	昭和八至一〇年（各九月一日調）索引付　陸軍省編	三	四四	二七五
陸軍後備役將校同相當官服役停年名簿	昭和六年四月一日調　陸軍省編　昭和七	一	三一九	四四三
陸軍字彙	シャルンホールスト著　西村茂樹寫　安政七	一○	八二七	一七五
陸軍獸醫部關係法規	陸軍獸醫團編　昭和六	一	五八二	三五六
陸軍士官學校要覽	同校編　昭和八	一	二九七	七三
陸軍志願兵合格案内	文教科學協會編　昭和八	一	六四二	二六
陸軍省統計年報	大正一四（第三七回）至昭和三（第四〇回）年、昭和五（第四二回）至昭和八（第四五回）年　同省編	八	一四四	八五
陸軍寫眞帖	陸軍省つわもの編輯部編　昭和一〇	一	四二六	七九
陸軍人事剖判	（陸軍士官が將軍になるまで）大石陸基（亘巖）昭和五	一	六〇六	二
陸軍全兵器寫眞集	附　解説　鐵塔書院編　昭和六	一	六一四	一三一
陸軍大學校（初審再審）試驗問題集	織田小三郎編　昭和三	一	二九七	六九
陸軍大將本郷房太郎傳	本郷大將記念事業期成會編　昭和九	一	六四〇	一八三
陸軍大寫眞帖	國防知識普及會編　昭和六	一○	四二三	四五二
同	同　昭和八	一○	六三二	一三

		冊	函	號
陸軍特別大演習記念アルバム	昭和四年　田井靖編　昭和四	一○	四二三	三七一
陸軍特別大演習記念寫眞帖	（昭和八年一〇月）福井縣編　昭和九	一○	六三二	四五
陸軍特別大演習記念特別展觀圖錄	大阪市役所編　昭和八	特一○	一五三	一〇二
陸軍特別大演習行幸御寫眞帖	大阪府囑託謹寫班事務所編　昭和七	一○	六三二	一一
陸軍特別大演習記錄	昭和三年　盛岡市役所編　昭和七	一	六一七	四六
陸軍特別大演習御警衛記念寫眞帖	昭和五年十一月　岡山縣警察部編　昭和六	一○	四三三	四五一
陸軍特別大演習並足利市御臨幸記念寫眞帖	岡部新二郎編　昭和九	特一○	四二九	四
陸軍特別大演習並地方行幸愛知縣記錄	昭和二年　愛知縣編　昭和四	一	五八八	一四九
陸軍特別大演習並地方行幸茨城縣記錄	昭和四年　茨城縣編　昭和六	一	六一〇	九四
陸軍特別大演習並地方行幸水戸市記錄	昭和四年　水戸市編　昭和六	一	五六三	五一二
陸軍讀本	平田晉策　昭和七	一	六一七	三六
陸軍法規	太田公秀　昭和七（軍事科學講座第七篇）	一	六一五	三九
陸軍藥局方	陸軍省醫務局編　四版　昭和五	一	五〇	六五ロ
陸軍野戰砲兵學校教官現地戰術演習記事	同校將校集會所編　昭和五	一	五六三	四〇九
陸軍豫備役將校同相當官服役停年名簿	昭和六年四月一日調　陸軍省編　昭和六	一	三一九	四四二
同　追錄	昭和七年　昭和七	一	三一九	四四二
陸軍歴史	上、下　勝安芳（海舟全集第六、七卷）昭和三	二	五七四	二五
六藝之一錄	清、倪濤　民國二三　影印　四〇六卷　續編　一四卷（四庫全書珍本初集ノ内）	特一八○	八四四	一〇五
六國史（校訂標注）	佐伯有義編　昭和四至六	一○	五九四	一四
第一、二　日本書紀　上、下卷				
第三、四　續日本紀　卷上、下				
第五　日本後紀				
第六　續日本後紀				
第七　文德實錄				
第八、九　三代實錄　卷上、下				
第一〇　索引				
六國史（國文）	大岡山書店發行　昭和七至一〇		四	五八七　三三七
第一　日本書紀　上（武田祐吉譯）				
第三　續日本紀　上（今泉忠義譯）				
第四　續日本紀　中（卷の第一七至三〇）（同）				
第八　日本三代實錄　上（卷の第一至一三）（武田祐吉、佐藤謙三譯）				
六國四季之火合	（未刊隨筆百種第一八ノ内　昭和三）			五六〇　二九
六國史神祇索引	神宮皇學館編　昭和八			一　六三六　五八
六國列香之辨	（未刊隨筆百種第一八ノ内　昭和三）			五六〇　二九

書名	著者	出版	冊	函	號
陸上競技	競走篇、跳擲篇 日本陸上競技聯盟編	昭和九	二	六五七	一六三
陸上競技	小瀨峰洋（新制運動叢書第一編）	昭和三	一	五九八	六
陸上競技	朝日新聞社運動部編（朝日スポーツ叢書四）	昭和六	一	六一三	一九
陸上競技概論	安田弘嗣	昭和四	一	五八六	二八二
陸上競技學級指導法	佐藤信一	昭和一〇	一	二七六	六一四
陸上競技規則	昭和四、一〇年版 昭和四、一〇 全日本陸上競技聯盟編		二	五九〇	二一一
陸上競技コーチと練習の祕訣	檜崎正雄	昭和四	一	五九七	一四八
陸上競技史	岡部平太	昭和二	一	五六四	二一〇
陸上競技者に贈る	中澤米太郎	昭和六	一	六〇六	二七四
陸上競技通になるまで	横井春野	昭和七	一	六二二	一五九
陸上競技と調和體操	ヴアイトラア著 出口林次郎譯	昭和二	一	二七六	四三五
陸上競技の補助運動	高田通	昭和九	一	六七五	一四一
陸上競技の練習	附 現行國際陸上競技規則 出口林次郎譯	デム著 昭和二	一	五七一	一四
陸上競技練習法	上田精一	昭和七	一	六二三	一四二
陸象山の哲學	三島復	大正一五	一	五五八	二六イ
陸上物品運送法論	水口吉藏	昭和五	一	五六三	三七四
陸前濱の法印神樂	本田安次	昭和九	一	六五〇	二五七
陸地測量學	伊藤敬二郎	昭和一〇 五一八頁	一	六二七	三〇八
陸地測量學	大前盡三郎等	昭和一〇 八一三頁	一	五六七	一三三

書名	著者	出版	冊	函	號
陸地測量部沿革誌	終篇 同部編	昭和五	一	三九八	八九
陸地測量部寫眞帖	同部編	昭和七	一〇	六三三	一〇
陸地測量部年報	昭和四至六年度 昭和五至七 同部編		三	一四、五	二八六
陸地測量部年報抄錄	大正一一至昭和三年 昭和五 同部編		一	五六七	五六
陸地測量部發行地圖目錄	昭和六至九年 昭和六至一〇 同部編		四	五七六	一九三
六朝時代の藝術	梅澤和軒（アルス美術叢書第一九編）	昭和三	一	五四一	六一イ
六朝通鑑博議	宋、李燾（四庫全書珍本初集ノ內）	民國二三 影印 一〇卷	特 四〇	八四四	七九
六朝の書道	西川寧（東亞研究講座第四一輯）	昭和六	一	三九三	七五六
陸の人魚	菊池寛（改造文庫第二部第一二九篇）	昭和五	一	五六九	一四二
陸用船用石油エンジン	淺川權八	六版 昭和三	一	三六七	四五ハ
陸王研究	秋月胤繼	昭和一〇 三〇八頁	一	六八六	一七
理化學鑑識法	乙葉辰三（近代犯罪科學全集第二篇ノ內）	昭和四）		五六六	五七
理化學研究彙報	目次及索引 第一至八輯	大正一一至昭和四年 同所編 昭和五	一	一四、五	一一三
理化學研究史	兒玉帶刀	昭和七	一	六一七	二〇六
理化學研究所案內（財團法人）		昭和二至八、一〇年 同所編 昭和二至一〇	八	二八九	七イ
〔理化學研究所〕出版物目錄	同所編	昭和七	一	六二五	一〇五
理化學實驗五桁對數表	高木隆二、中村敬三編	昭和八	一	六三一	一四二
理化學辭典	石原純等編	昭和一〇 一八七三頁	一	六二二	二七二
理科學習指導要領	橋本爲次	昭和三	一	二六三七	一四五

書名	著者	出版	冊	函	號
理化學史物語	宮道馨	昭和二	一	五七一	九八
梨花回咲	（谷本博士還曆記念會誌） 戶津吉之助編	昭和二	一	五七〇	一五一
理科教育	堀七藏	昭和一〇 四〇四頁（教育研究叢書ノ內）	一	二六三七	二一〇
理科教育の革新	中川逢吉	昭和一〇	一	二六三七	一九八
理科教育の根本問題	松原惟一	昭和六	一	二六三七	一六〇
理科教育の指導形式	吉田弘（解り易い作業主義教育叢書第五）	昭和七	一	二五九五	一二〇
理科教育の設備と活用	桑原理助	昭和六	一	二六三七	一五三
理科教育の組織的研究	橋本爲次	昭和四	一	二六三七	一四八
理科教育の分野と新使命	堂東傳（東京高師新教育叢書第一）	昭和六	一	二五九五	一一八
理科教材の精說とその指導	尋常科四至六學年 藤岡正信	昭和九	三	二六三七	一八二
理科教材の發明及び發見史	白井勝三	昭和八	一	二六三七	一八〇
理科教室を中心とせる小學校の電氣設備	小澤省吾	昭和二	一	二七二	七三
理科教壇はなしぐさ	橋本爲次	昭和五	一	二六三七	一五二
理科作業教育の實際	吉田弘	昭和六	一	二六三七	一六二
理科指導壹百回	上、下卷 林博太郎、堀七藏	昭和六	二	二六三七	一五七
理科實驗觀察の新建設（各科精說一）	桑原理助	昭和九	一	二六三七	一八三
理化實驗の基礎と應用	藤木源吾	昭和九	一	二六三七	一八五

書名	著者	出版	冊	函	號
理科實驗の原理と方法	堂東傳	昭和七	一	二六三七	一七三
李花集	上、下 宗良親王（新校群書類從第一〇卷和歌部ノ內）			五八四	五
同	（群書類從第一四輯和歌部ノ內）	昭和四） 昭和五）		五八三	一四
李花集標注	米山宗臣	昭和一〇 二一四頁	一	六八六	七三
理科新教授法	水木梢（文化中心新教授學大系第九卷）	昭和二	一	二五九五	九九
理科獨逸語法教程	礒部幸一	昭和八	一	六三一	一七一
理科年表	第三至一二册（昭和元至同一一年） 東京天文臺編	大正一五至昭和一〇	一〇	五一六	二八五
理科の系統的指導（實驗觀察一）	吉田弘	昭和四	一	五九七	一八一
理科發表訓練の原理と方法	關原吉雄、桑原利助	昭和八	一	二六三七	一七五
理研アルマイトに就て	田中庄一郎	昭和九	一	六一四	一五八
理研アルマイトの概念	田中庄一郎	昭和八	一	六三八	一一九
理研アルマイトの栞	理研アルマイト工業株式會社編	昭和一〇	一	六七三	一八七
裏見寒話	（未刊隨筆百種第一八ノ內）	昭和三）		五六〇	二九
履軒古韻	中井積德（履軒）（崇文叢書第三輯之一〇）	昭和七	一	一五四	六〇
俚諺大辭典	中野吉平	昭和八	一	六五五	一
利玄と憲吉	川田順	昭和一〇 三二八頁	一	六九六	五七
同			一	六九六	五七イ
利權物語	時事新報經濟部編	昭和三	一	五七五	一八六
離婚法案	クレメンス・デーン著 宮島新三郎譯	昭和六	一	五九九	三四五

	冊	函	號
羅災要救護者收容所概要　東京市社會局編　昭和二	一	五六	一〇八
羅災美術品目錄　國華倶樂部編　昭和八	一	六五〇	三三
同	一	六五〇	三三イ
理想鄉建設の五型　菅原龜五郎　昭和七	一	六二一	一〇六
理想鄉物語　文藝社編　昭和五（萬有文庫第二七）	一	五六九	九七
理想國家　第一、二　プラトーン著　村松正俊譯　昭和八（春秋文庫第三部第五六、五七）	二	六二九	四二
理想國への出發　石丸梧平　昭和四	一	五九五	五五
理想的農業國デンマークみやげ　上塚司　昭和四	一	五七八	二六八
理想と實際の關聯に基く生命體驗の敎育　飯塚己代次　昭和七	一	二五三	五六三
理想農村の建設　谷本龜次郎（米洲）　昭和四	一	五九九	一三三
理想の夫　ワイルド著　清田武夫譯　昭和八	一	六三一	三二四
理想の良人　吉屋信子　昭和八	一	六四三	一六一
理想の家族（マンスフイールド短篇集）　岩倉具榮譯　昭和一〇　二四五頁	一	六八七	一六三
理想の唱歌敎材　樂曲之部、解說之部　佐々木すぐる　昭和三	二	二六三二	二四一
理想體育設備と用具設計並に其解說　進藤孝三　昭和三	一	二七六	四五五
理想の農家　石田傳吉　昭和八	一	六四四	一八二
理想の農家　石田傳吉　昭和一〇　四八七頁	一	六九二	一一〇
理想の村　石田傳吉　二六版　昭和二	一	三四九	二三〇ハ
リシダス（ミルトン）　竹友藻風（虎雄）譯註　昭和九	一	六六五	六
理趣經の研究　栂尾祥雲　昭和五	一	五六二	一二三

	冊	函	號
利殖相談　高橋渡　昭和九	一	五九九	四八二
利殖と金儲の近道　有本歡之助　昭和七	一	五九九	四一七
利殖と貯蓄の祕訣　高森昇一郎　昭和一〇　四二四頁	一	六〇九	四一七
利殖の間道さて何れを選ばうか　長井修吉　昭和二	一	五六四	二〇八
利子論（フイツシャー）　フイツシャー著　氣賀勘重、氣賀健三譯　昭和一〇　五四〇頁	一	六八九	四七
利子論研究　高田保馬　昭和一〇　五二五頁	一	六八〇	三五
李太白詩集　上、中、下（續國譯漢文大成文學部第一至三卷）　久保天隨譯　再版　昭和三	三	五八四	一
李太白詩選（譯註）　上、下卷（岩波文庫八五四—八五七）　漆山又四郎譯註　昭和七	二	五六九	一四
李卓吾論　朱維之編　民國二四　一四四頁	一	七〇七	一六四
理塵集（近世地方經濟史料第七卷ノ內　昭和六）		六〇〇	二八〇
律（新校群書類從第四卷律令部ノ內　昭和六）		五八四	五
同（群書類從第六輯律令部ノ內　昭和七）		五八三	一四
立圓率　松永良弼　昭和九　謄寫版	一	二一五	三一四
立敎大學一覽　昭和八年三月　同大學編　昭和八	一	二八五	三七
立憲政友會史　同編纂部編　昭和八	三	五一三	二二一
第五卷　高橋總裁時代			
第六卷　田中總裁時代			
第七卷　犬養總裁時代			
立憲政友會福島縣史　半谷眞雄編　昭和四	一	五九一	一三八
立憲政友會報國史　上、下卷　同編纂部編　昭和六	二	六一四	五四

立憲的家庭　村田太平　昭和三（使命叢書第八卷）	一	五一五	一二六
立憲哲人政治　鈴木梅四郎　昭和九	一	五九九	四七七
同	一〇	五九九	五〇四
律原發揮　中根璋編　元祿五	一〇	八三九	四八
同	一〇	八三九	四八イ
立憲民政黨史　同史編纂部編　昭和九	一	六七一	六四
立憲民政黨史　上、下卷　同史編纂局編　昭和一〇	二	六二八	一四二
同	二	六二八	一四二イ
律藏　第一卷　小乘四分律　上卷　甲子社編　昭和二	一〇	一八三	五三九
立秋（歌集）　川田順　昭和八	一	六三三	一八六
立志向上運命開拓處世日訓　高木喬堂編　昭和四	一	三三三	四四九
立志修養我がラヂオの父　平塚七六郎　昭和一〇　一七六頁	一	六三三	二一二
立志成功名士の青年時代　附錄　名士逸話集　宇野共次　昭和二	一	五五六	一七五
立志傳に輝く母の力　高信峽水　昭和九	一	六六一	一〇二
立志奮鬪財界巨頭傳　實業之日本社編　昭和五	一	五七八	三六一
立正安國論を中心に日蓮の人と宗敎を語る　室伏高信　昭和九（佛敎聖典を語る叢書第一五卷）	一	六六八	三
立正安國論講要　清水龍山　昭和七	一	六一二	二三七
立正安國論講義　清水龍山　昭和一〇（佛敎聖典講義大系第二二）	一	六七〇	一七

立正安國論精釋　三谷素啓釋　昭和四	一	五八五	一〇七
立正大學一覽　昭和七年三月一日現在　同學編　昭和七	一	二八五	三七
立正大學創立三十年記念論叢　（大崎學報特輯第八三號）　同學宗學研究室編　昭和八	一	六三六	一三三
御義口傳に於ける台密と法華神道　（清水龍山）			
「觀心本尊抄」四十五字法體段正義　（山川智應）			
關東派不受不施論者の宗學　（望月歡厚）			
日蓮聖人家譜の研究　（淺井要麟）			
阿育王の敎法　（木村日紀）			
正法華經鑽仰史　（布施浩岳）			
唱題成佛の理論と實踐的意義　（馬田行啓）			
神を克服せる人々　（濱田本悠）			
古刻書史上より觀たる「日蓮聖人註畫讚」の體系と其の影響　（山上ゝ泉）			
歷史哲學の一問題（存在の歷史性）　（樺俊雄）			
寺院經濟に就ての一考察　（北澤新次郎）			
エル・テイ・ホブハウスの國家學說　（久保田正文）			
水戶義公の信仰　（昇塚清研）			
母と妻との爲に受ける現代服忌の準據　（松本勘太郎）			
瓜哇の佛蹟ボロブドル　（加藤朝鳥）			
立正大學叢書　立正大學發行　昭和七	一	六一三	八〇
第一科　註妙法蓮華經　（立正大學宗學研究會編）			
立正大師と聖蹟　井上一次　昭和八	一	六一九	一七一
立正大師日蓮聖人傳　妙法會編　昭和五	一	五七八	三一三
立春（自選歌集）　木下利玄（改造文庫第二部第六〇篇）　昭和四	一	五六九	一四三
立身祕訣學校を卒へてから			

	冊	函	號
奥宮復堂 昭和三〔表紙・奥付ニハ「高橋復堂」トアリ〕	一	五七〇	三二七
栗生短歌集 高木一夫（栗生） 昭和四	一	五八五	七五
立體解析幾何學 中川銓吉 昭和一〇（輓近高等數學講座第二七卷）	一	六五四	九
立體解析幾何學（オスグード、グラスタイン） グラスタイン著 新宮恒次郎譯 昭和五	一	五六三	三五四
立體解析幾何學講義 附 公式一覽表 山崎榮作 昭和四	一	五八八	一〇〇
同 訂三版 昭和九	一	五八八	一〇〇イ
立體解析微分幾何學 ベル著 松室隆光譯 昭和六	一	六〇八	二五五
立體解剖學圖譜 骨學篇 佐野幹 昭和九	一	四九	一一〇
立體幾何學 阿部八代太郎 昭和五（數學講座第四編）	一	五八一	二二九
立體幾何學 森本清吾 昭和九（輓近高等數學講座第九卷）	一	六五四	九
立體圖案法 アトリエ社編 昭和七（圖案新技法講座第四卷）	一	六二七	四〇
立體圖學 上、下卷 溝口好忠 訂補再版 昭和二、四	二	三三二	四三九イ
同 訂五版 昭和八	二	三三三	四三九ロ
立體的に見たる大楠公 渡邊義一 昭和六	一	六一八	五
立體農業の研究 ラツセル・スミス著 賀川豐彦、內山俊雄譯 昭和八	一	六四一	九
立體農業の理論と實際 賀川豐彦、藤崎盛一 昭和一〇（農村更生叢書第三〇）	一	六三〇	三
立德堂詩話 鄒以謙（擕樵） 宣統二	一〇	二七	三三

	冊	函	號
リツトの文化哲學と教育學 村上俊亮、海後宗臣 昭和三	一	二五三	三五五
リツトン報告書（國際聯盟支那調査委員會報告書全文） 外務省譯 昭和七	一	六三一	二五六
リツトン報告書全文（解說並に關係條約文その他） 朝日新聞社編 昭和七	一	六三一	二四九
リツトン報告書全文解剖 神田正雄 昭和七	一	六三四	三五
リツトン報告書の經緯 太平洋問題調査會譯編 昭和八	一	六三五	二一八
リツトン報告書批判 吉田敬直 昭和七	一	六三一	八四
立坊部類記（群書類從第七輯公事部ノ內 昭和四）		五八三	一四
同（新校群書類從第五卷公事部ノ內 昭和七）		五八四	五
立法一元論 下卷（貴族院無用論） 野間五造 昭和二	一	五三〇	一八二
立法一元論批評集 野間五造編 昭和四	一	五九一	五一
リツプス美學大系 第一至一二分冊 昭和三 稻垣末松譯	一二	五六三	八一イ
立命館要覽 昭和二年 大學部、中學部、高等豫備校 同館編 昭和二	一	二八二	三四
立命館三十五周年記念論文集 法經篇、文學篇 立命館大學編 昭和一〇	四	六九四	三九
律令の研究 瀧川政次郎 昭和六	一	六〇〇	二一五
栗林公園誌 赤松景福 昭和七	一	六三一	三五
李朝時代木工作品集 岡田三郎助、大隅爲三編 昭和五	一	六〇五	五三
李朝實錄 京城帝國大學法文學部發行 昭和五至七 影印本（太白山本）	特	八四八〇	八四三
太祖康獻大王實錄 一五卷 〔題簽・太祖實錄〕			一
恭靖王實錄 六卷 〔題簽・定宗大王實錄〕			二
太宗恭定大王實錄 三六卷 〔題簽・太宗實錄〕			三
世宗莊憲大王實錄 一六三卷			四
文宗恭順大王實錄 一三卷（第一一卷缺）			五
魯山君日記 一四卷・附錄 〔題簽・端宗大王實錄〕			六
世宗惠莊大王實錄 四九卷			七
睿宗襄悼大王實錄 八卷			八
成宗康靖大王實錄 二九七卷 〔題簽・成宗大王實錄〕			九
燕山君日記 六三卷			一〇
中宗恭僖徽文昭武欽仁誠孝大王實錄 一〇五卷 〔題簽・中宗大王實錄〕			一一
仁宗榮靖獻文懿武章肅欽孝大王實錄 二卷 〔題簽・仁宗大王實錄〕			一二
明宗大王實錄 三四卷			一三
宣宗昭敬大王實錄 二二一卷			一四
宣宗昭敬大王修正實錄 四一卷			一五
光海君日記 一八七卷			一六
仁祖大王實錄 五〇卷			一七
孝宗大王實錄 二卷・附 行狀・誌文・諡册文・哀册文			一八
顯宗純文肅武敬仁彰孝大王實錄 二二卷 附 行狀・哀册・誌文 〔題簽・顯宗大王實錄〕			一九
顯宗純文肅武敬仁彰孝大王改修實錄 二八卷 附 行狀・哀册・諡册・陵誌 〔題簽・顯宗大王改修實錄〕			二〇
肅宗元孝大王實錄 六五卷 〔題簽・肅宗大王實錄〕			二一
景宗德文翼武純仁宣孝大王實錄 一五卷 〔題簽・景宗大王實錄〕			二二
景宗德文翼武純仁宣孝大王修正實錄 五卷 〔題簽・景宗大王修正實錄〕			二三
英宗顯孝大王實錄 一二七卷 〔題簽・英宗大王實錄〕			二四
正宗文成武烈聖仁莊孝大王實錄 五四卷 附 同續編 〔題簽・正宗大王實錄〕			二五
純宗成孝大王實錄 三四卷 附 同續稿 〔題簽・純宗大王實錄〕			二六
憲宗經文緯武明仁哲孝大王實錄 一六卷 附錄 〔題簽・憲宗大王實錄〕			二七
哲宗英孝大王實錄 一五卷 附錄 〔題簽・哲宗大王實錄〕			二八
李朝實錄 京城帝國大學法文學部發行 昭和八 影印本（景鼎足山本）	特	四〇〇	八四三
光海君日記 一八七卷			二九
李朝風の窯跡と油壺の研究 大宅經三 昭和五	一	五九七	二四八
李朝佛教 高橋亨 昭和四（朝鮮思想史大系第一册）	一	五九三	二七
理の世界と智の世界 高楠順次郎 昭和八 附 リンクラスタ 小林良之助（最新化學工業大系第九卷ノ內 昭和八）	一	六三一	一五六
リノリウム及び油布		六三五	二〇
理髮衞生學講義 三重縣理髮業組合聯合會編 昭和五	一	六一	三八二
理髮衞生學樞要 清野啓三、小松原一郎編 昭和四	一	六一	三七六
理髮講習錄 茨城縣衞生課編 昭和三	一	六一	三六八
理髮師 他六 金子洋文 昭和二	一	五六八	五五
理蕃誌稿 第一至四編 昭和七至一〇 臺灣總督府警務局編	一	三二六	一六イ
罹病者數推計報告 病勢調査研究會編 昭和一〇（本邦病勢調査第一輯）	一	六〇	一三三六
リビングストンの生涯 ブレーキ著 畔上賢造、藤本正高譯 昭和九	一	六六一	七八
リフレーションの基礎理論 フイツシャー著 大岩鐵譯編 昭和九	一	六六〇	一〇九
利廻計算の仕方 前田梅松 三版 昭和七	一	六三〇	九五
同 一五版 昭和七	一〇	六二一	一六四

		冊	函	號
利廻採算法	芳野國雄 昭和九	一	六七五	二六
利廻相談	前田梅松 昭和九	一	六六〇	一八三
利廻算法長崎無盡物語	中村政榮著 池田龍藏解說 昭和一〇 四二頁	一〇	三〇二	一〇一
利廻戰術	前田梅松 昭和一〇 三二六頁	一	六八二	二六
兩院石清水宮御參籠記	(新校群書類從第二卷帝王部ノ內 昭和四)		五八四	五
兩院熊野御詣記	(新校群書類從第二卷帝王部ノ內 昭和四)		五八四	五
涼園	昭榮會編 昭和八	一〇	四二二	一七〇
兩替年代記(校註—)	原編 久兵衞編 三井高維校註並補 昭和七	一	六二八	八九
同		一	六二八	八九イ
兩替年代記關鍵(新稿—)	卷二 考證編 三井高維編 昭和八	一	六二八	八九
兩漢筆記	宋、錢時 民國二三 影印 一二卷 (四庫全書珍本初集ノ內)	特 六〇	八四四	八〇
兩京新記(叢經閣刊—)	第三卷 昭和九 解說共 唐、韋述	特 一軸	ぬ二	四九
同		特 一軸	ぬ二	五三
量距尺表	江澤述明 嘉永七	一帖	ち二	六九
良寛歌集(校註—)	良寛著 大島花束校註 昭和八	一	六四三	一六二
良寛さま	相馬御風 昭和五	一	六〇三	一七九
良寛詩集(譯註—)	大島花束、原田勘平譯註 昭和八 (岩波文庫九二一—九二二)、	一	五六九	一四
良寛上人遺墨選集	良寛上人遺墨頒布會編 昭和八	一〇	四二八	七

		冊	函	號
良寛隨筆	津田青楓 昭和一〇 三六〇頁	一	六九二	一四八
良寛全集	大島花束編 昭和四	一	五八五	五七
良寛關係地圖				
讃	詩			
旋頭歌その他	長歌			
蓮の露	短歌			
俳句	戲歌			
疑はしき歌	俗謠			
文	手紙			
論語愛語其他抄記	戒語			
參考書類	文法其の他			
逸話	傳記			
年譜	家系 附 諸家系譜			
本書に關係ある地名解說	本書に關係ある人々			
索引	關係參考文書			
良寛と愚庵	大坪草二郎 昭和八	一	六三三	一四六
良寛と子守	その他 坪內逍遙 昭和四	一	五八五	八〇
良寛と蕩兒	その他 相馬御風 昭和六	一	五九六	三五九
良寛の父橘以南	佐藤吉太郎 昭和一〇 一七三頁	一	六八五	八五
良寛坊と蓮月尼草	(其の生活と仕事と和歌と) 三上和志 昭和八	一	六四三	一二四
良寛坊物語	相馬御風 昭和三	一	五八二	一八六
良寛坊物語	相馬御風 昭和八 (春秋文庫第二部第一一)	一	六二九	四八イ
良寛百考	相馬御風 昭和一〇	一	六一七	二八六

		冊	函	號
良犬を得る祕訣	高橋虎雄、益田甫 昭和四	一	五九七	四八
同	昭和七	一	五九七	四八イ
良犬を得る祕訣	高橋虎雄著 益田甫補 (家庭科學大系第一七回ノ內 昭和四)		五八三	四四
兩國竹枝	玉岡道人 (天保一二)	一〇	八四二	六八
兩國鐵道橋設計計算書	鐵道省大臣官房研究所第四科編 昭和九	一	六六二	六四
兩國の秋	岡本綺堂 昭和四	一	五九六	四八
兩周金文辭大系	郭沫若 昭和七	一	六一六	一七
兩周金文辭大系攷釋	郭沫若 訂 昭和一〇	三〇	三〇〇	四二
兩周金文辭大系圖錄	郭沫若編 昭和一〇	五〇	三〇〇	四二
良書百選	第一至四輯 日本圖書館協會編 昭和七至一〇	四	三二九	四七八
同	第一輯	一	三二九	四七八イ
良書目錄	大阪市立圖書館編 昭和三	一	五八二	一三五
量子力學	菊地正士 昭和八 (科學叢書第八編)	一	五〇八	二
量子力學序論	坂井卓三 昭和一〇 一五二頁	一	四六	四一七
兩親再教育	大阪中央放送局編 昭和七	一	二五三	六一五
兩親のための一般心理學	松本亦太郎 昭和五	一	二五三五	一七八
量水器工學	平野井雷治 昭和六	一	六〇六	二四九
兩聖記	花山院長親 (群書類從第一神祇部ノ內 昭和六)		五六六	六一
同	(新校群書類從第一卷神祇部ノ內 昭和七)		五八四	五

		冊	函	號
兩性問題と生物學	木村德藏 大正一四	一	五三七	三イ
令抄	一條兼良 (群書類從第四卷律令部ノ內 昭和六)		五八四	五
同	(群書類從第六輯律令部ノ內 昭和七)		五八三	一四
靈山軍記	(福島縣立圖書館叢書第二、四輯ノ內 昭和八、一〇)		一五六	一二〇
靈山武鑑	(北畠武鑑) (福島縣立圖書館叢書第二輯ノ內 昭和八)		一五六	一二〇
量地必携	山本正路 嘉永三	一〇	八三九	一九〇
梁塵祕抄	佐佐木信綱編 昭和七	一	三三二	三三〇ロ
桑塵祕抄	卷一(斷簡)、二 佐佐木信綱校 (岩波文庫九三五ノ內 昭和八)		五六九	一四
桑塵祕抄口傳集	卷一(斷簡)、一〇至一四 佐々木信綱校 (岩波文庫九三五ノ內 昭和八)		五六九	一四
桑塵祕抄口傳集	(新校群類從第一五卷管絃部ノ內 昭和四)		五八四	五
同	(群書類從第一九輯管絃部ノ內 昭和八)		五八三	一四
兩津町大火災史	若林甫舟 昭和八	一	六三九	二〇七
兩朝綱目備要	民國二三 影印 一六卷 (四庫全書珍本初集ノ內)	特 八〇	八四四	六二
令義解		二〇	八三七	八四
令義解箚記	荷田春滿 五卷 (荷田全集第六卷ノ內 昭和六)		五九三	七
令集解釋義(定本—)	三浦周行、龍川政次郎校註 昭和六	一	五九一	二五一
糧物考	相馬鄉土史研究會發行 昭和九	一〇	一九八	四七八
兩米三巡	永田稠 昭和七	一	五八七	二四〇
良夜	水原秋櫻子編 昭和九 (馬酔木叢書第七篇)	一	六〇三	三一
兩譯對照內容分科大乘起信論	明石惠達 昭和一〇 一三八頁	一	六八五	五〇

		冊	頁	號
量論の上に立つ 低學年算術の新建設	藤原安治郎 昭和八	一	二六三	二一〇
略畫の手引	小野田伊久馬(龍吟) 昭和三	一	五二四	七七八
略述淨土宗史	惠谷隆戒 昭和九	一	六三六	二五九
略述法相義(講一)	聞證著 龍谷大學編 昭和九	一	六三六	二九三
略說身分法學	中川善之助 昭和五	一	六〇〇	八六
略地圖描法	香川幹一 昭和五	一	五九〇	四〇八
略圖のガソリン動車	機關車工學會編 昭和一〇 一八四頁	一	六八六	二
りやん	佛蘭西文藝評論隨筆集 辰野隆 昭和一〇 三一二頁	一	六八五	五
リユックサツク	第六號 發行 早稻田大學體育會山岳部 昭和三	一	五九四	六
凌雲集	國民圖書株式會社編 (校註日本文學大系第二四卷ノ內 昭和二)	五四三		一
凌雲集	小野岑守 (新校群書類從第六卷文筆部ノ內 昭和六)	五八四		五
凌雲集	佐久節校 普及版 (日本文學大系第二四卷ノ內 昭和六)	六二九		一三
楞伽寺記	(群書類從第二四輯釋家部ノ內 昭和三)	五八三		一四
同	(新校群書類從第一八卷釋家部ノ內 昭和七)	五八四		五
龍龕手鏡	同解說附 高麗版複製 京城帝國大學法文學部編 昭和四	二一八	〇三	二五
龍龕手鑑	行均著 正宗敦夫校 (日本古典集全集ノ內 昭和九)	五四三		一三
楞嚴經大義	卷一至五、同補刪勘誤 昭和六 吳光耀(華峰)	二三七	〇六	五七
利用 水禽飼養法	衣川義雄 昭和六	五六三		五三

		冊	頁	號
龍涎香	久米正雄 昭和一〇 五一四頁	一	六八七	八三
陵墓一隅抄(註一)		一〇	八三九	二〇一
陵墓一覽	宮內省御陵墓係編 (明治一三) 五〇・五〇×三八・五〇	一枚	八三九	二〇二
陵墓一覽	柴田長太郎編 昭和二	一	五五六	二三六
陵墓要覽	昭和九年一一月調 昭和九年一一月調 七六頁 宮內省諸陵寮編	特一	六七九	九八
旅行氣分山水行脚	松崎市郎(天民) 昭和三	一	五七八	二一
旅行叢書	秋守常太郎 昭和四至七	三	六〇二	三
第三 樺太土產				
第四 沖繩土產				
第五 小笠原土產				
旅行禮讃	谷口梨花 昭和三	一	五七八	九九
旅客	高田寬等 (鐵道常識叢書第四編ノ內 昭和九)	六五九		一六
旅客運輸	川西實夫 昭和七	一	六二二	五四
同	訂 昭和一〇 五二四頁	一	六二二	五四イ
旅客及荷物運送規則並同取扱細則	鐵道省編 昭和七	一	六二七	二四
綠衣の聖母	長田幹彥 昭和六	一	六〇三	二八一
綠蔭球話	橋戶信(頑鐵)編 昭和三	一	五八六	六
綠蔭社俳句叢書	同社發行 昭和二	一	五六〇	三〇
第一 芭蕉俳句紀行全集	(島田青峰編)			
綠蔭の書卓	(詩文、隨筆集) 足立直郎 昭和四	一	五九六	一四三

		冊	頁	號
綠水居隨筆	市村良平 昭和一〇 三二四頁	一	六八二	一八一
綠地計畫協議會議事速記錄				
第一號	都市計畫東京地方委員會編 昭和八	一	六二五	四一八
綠野抄	吹田順助 昭和一〇	一	六三三	九六
綠廊(短歌集)	湯本喜作 昭和六 (水甕叢書第二八篇)	一	五一五	六八
旅館・下宿業・料理店・飲食店・興行場・遊技場				
病院及療養所の使用人に關する調査	社會局勞働部編 昭和一〇 七三頁	一	六七二	三一四
旅商記	阿部三虎 昭和七	一	五八七	二二四
旅商第一班報告書	第二回 日本商工會議所(關口嘉重等報)編 昭和三	一	五八八	六九
旅商第二班報告書	第二回 日本商工會議所編 昭和四	一	五八八	六九
旅商報告講演集	第一回(第二、三班) 商工省商務局 貿易課編 昭和三	一	五二四	六六一
旅順要塞總攻擊	木村惣平 昭和一〇	一	六五〇	二八八
旅順開城記念展覽會寫眞帖	山崎高延編 昭和三	一	二四九	二〇八
旅順攻圍軍	木村毅 昭和一〇	一	三五七	三二〇
旅順攻圍祕話(日露戰爭祕史一)	佐藤鋼次郎 昭和五	二	三五七	二七〇
旅順工科大學一覽	大正一五至昭和一〇年度 大正一五至昭和一〇 同學編	一〇	二九二	五三イ
旅順工科大學彙報	同學發行 昭和五至九	八六	一四五	二五六
第一號	蒸餾水、水道水竝に海水中に於ける鐵及び銅の腐蝕試驗 (長谷川熊彥、堀徒榭)			

第二號 金州愛川村地下水に就て (小倉勉)
第三號 旅順水道龍眼水源の地質に就きて (都留一雄、松下進)
第四號 切削に關する實驗 (土井靜雄)
第五號 安奉線南半沿線の地質 (松下進)
第六號 高壓變壓器の働作に及ぼす靜電容量の影響 (熊谷三郎)
第七號 輕合金シルミンに就て (小林虎男)
第八號 切削中の刃先の振動竝に切削力に就て (土井靜雄)
第九號 水性瓦斯反應による水素製造觸媒の研究 (第二報) (吉村倫之助)
第一〇號 旅順水道鐵管腐蝕調査 (長谷川熊彥、澤口留藏)
第一一號 五〇サイクルコロナを發生せる導體の周圍に存在する空間電荷に就て (佐藤芳夫)
第一二號 架空送電線の斷線に依る不平均張力 (西山靜雄)
第一三號 水性瓦斯反應による水素製造觸媒の研究 (第三、四報) (吉村倫之助)
第一四號 放電に依り變壓器回路に發生する電氣振動 (熊谷三郎)
第一五號 管狀誘電體が針端放電に及ぼす影響 (第一報) (同)
第一六號 鹽化パラヂウムによる石炭瓦斯の檢出 (筒口健十)
第一七號 直角三角形堰の流量公式 (大森德作)
第一八號 導體の周圍に生ずる交流コロナ放電 (其二) (佐藤芳夫)
第一九號 鐵の再結晶並に單結晶生成に就て (後藤有一)
第二〇號 滿洲朝鮮產鑄物砂の機械分析結果より見たる物理的性質 (松塚清人)
第二一號 旅順市附近の土壤の電氣抵抗測定 (佐藤芳夫、村越二男)
第二二號 水性瓦斯反應に依る水素製造觸媒の研究 (第五、六報) (吉村倫之助)
第二三號 細長い孔を持つた平板內の應力の分布に就て

第二四號　キー溝を有する軸の捩り　（中川有三）
第二五號　三極眞空管を使用する電力測定法に就て　（興津章男）
第二六號　架空送電線上の氷雪剝脫に依る弛度變化　（西山靜雄）
第二七號　周邊に荷重を受けたる圓板内の内力分布に就て　（中川有三、小林虎男）
第二八號　管狀誘電體が針端放電に及ぼす影響　（第二報）（熊谷三郎）
第二九號　直流コロナ放電路に於ける電位及空間電荷密度の測定　（佐藤芳夫）
第三〇號　旋盤バイトの磨滅に就て　（土井靜雄）
第三一號　水平送波空中線の電磁界に及ぼす大地の層狀の不均一の影響　（原源之助）
第三二號　空氣中に於ける火花放電の理論　（熊谷三郎）
第三三號　鋼索用針金の繰返彎曲實驗　（水田準一）
第三四號　ロープストランドの壽命に及ぼす諸應力に就て　（同）
第三五號　空氣が完全收縮する場合の流れ口の流量系數　（新津靖）
第三六號　ヂユラルミンの熱處理及時効に伴ふ電溶壓の變化に就いて　（今井弘、萩谷正己）
第三七號　空氣中に於ける火花放電の理論　（補遺）（熊谷三郎）
第三八號　直角三角堰の流量公式に就きて　（前田仲重）
第三九號　直流發電機の突發短絡　（熊谷三郎、林文二郎）
第四〇號　金屬マグネシウム製錬工業　（萩谷正己）
第四一號　水性瓦斯反應による水素製造觸媒の研究　（第七、八報）（吉村倫之助）
第四二號　直流コロナ放電路に於ける電位及空間電荷密度の測定　（其の二）（佐藤芳夫）

第四三號　直流コロナを發生せる導線周圍の電界の理論　（同）
第四四號　脈動電流に於ける電壓電流及び電力の測定　（興津章男）
第四五號　絕緣體の格子が針端放電に及ぼす影響　（熊谷三郎、長屋準）
第四六號　絕緣された導電體の格子が針端放電に及ぼす影響　（同）
第四七號　到來電波により勵振されたる直線狀導線の電流分布と輻射抵抗に就て　（原源之助）
第四八號　短波長用枠型受波空中線の電流分布と受波能率に就て　（同）
第四九號　送波用枠型空中線の電流分布と輻射等價インピーダンスに就て　（同）
第五〇號　水性瓦斯反應による水素製造觸媒の研究　（第九、一〇報）（吉村倫之助）
第五一號　薄い圓板のかがまり　（中川有三、福地省三）
第五二號　直流コロナ放電に依つて誘起される導線の機械的振動　（熊谷三郎、長屋準）
第五三號　氣筒壁に於ける溫度及内力の分布　（小林明）
第五四號　關東州青雲河々口附近の地質特にその構造と地形とに就いて　（大谷壽雄）
第五五號　交流コロナ放電に伴ふ導線の機械的振動　（熊谷三郎、長屋準）
第五六號　定在正弦波電流分布を有する任意長直線狀導線間の相互輻射インピーダンスの一般式　（原源之助）
第五四、五五號　水性瓦斯反應による水素製造觸媒の研究　第一一至一四報　（吉村倫之助）
第五六號　圓形堰の流量に就て　（大森德市）
第五七號　導線の周圍に生ずる交流コロナ損と空間電荷　（佐藤芳夫）
第五八號　進行正弦波電流分布を有する直線狀導線群よりの輻射電力に就て　（原源之助）
第五九號　人工製及び天然產酸化鐵の還元及び酸化と磁性　（長谷川熊彥、後藤有一）
第六〇號　碍子の素地表面及金物の帶電作用　（佐藤芳夫）
第六一號　發動機氣筒壁の振動と内力分布　（小林明）
第六二號　旋盤バイトの創り角に關する實驗　（土井靜雄）
第六三號　管内流水口による空氣流量の測定　（新津靖）
第六四號　酸化鐵の磁性と酸素結合狀態に就て　（後藤有一）
第六五號　高壓變壓器に關する一考察　（熊谷三郎）
第六六號　風壓に依る懸垂碍子の横振れ　（西山靜雄）
第六七號　非對稱電界に於ける閃絡特性　（熊谷三郎）
第六八號　碍子表面の汚損と其對策　（佐藤芳夫）
第六九號　曲げによる切缺き梁の最大内力　（中川有三、岸本支那一）
第七〇號　鑄物砂粘結部分の性質に關する研究　（赤塚清人）
第七一號　鋼索の研究　主として不反撥鋼索の有利度に就て　（水田準一）
第七二號　アルミニウム・セルの進行波に對する特性　（富塚剛）
第七三號　緩徐な冷却速度を與へる二三の燒入液に就いて　（大日方一司、中島孝夫）
第七四號　關東州董家溝炭田附近の地質、特にその構造と地形とに就いて　（大谷壽雄）
第七五號　關東州地質構造の大構造的解釋　（同）
第七六號　鑄物砂の耐久度並に燒附に關する研究　（赤塚清人）
第七七號　砂塵の碍子商用周波閃絡電壓に及ぼす影響　（佐藤芳夫等）

第七八、七九號　水性瓦斯反應による水素製造觸媒の研究　第一五、一六報　（吉村倫之助、杉本仙市）
第八〇號　高壓碍子の靜電容量及び損失測定に於ける二三の注意　（佐藤芳夫等）
濕度に依る碍子靜電容量及び損失の變化に就て　（佐藤芳夫）
第八一號　進行波電壓の下に於けるアルミニウム避雷器の動作　（大河内重助）
第八二號　アルミニユーム青銅の共析變態の性質に就いて　（大日方一司）
第八三號　鉛—アンチモニー系合金の狀態圖と共晶凝固に際して現はれる異常變化に就て　（伊澤猛三郎）
第八四號　進行波研究用陰極線オツシログラフ　（大河内重助）
第八五號　砂塵の碍子衝擊及び減衰高周波閃絡電壓に及ぼす影響　（佐藤芳夫、村越二男）
第八六號　鋼索撚子の壽命に及ぼす瑜荷重の影響に就て　（水田準一）

旅順工科大學報告　大正一四至昭和二、昭和二至四、昭和四至五年　同學編　昭和三、五　三　二九二　八六
旅順戰蹟秘話　附　營口の思ひ出　上田恭輔　昭和三　一　五七八　九三
旅順入城式　内田百間　昭和九　一　六五六　一一〇
旅順閉塞　桃陰（熱血秘史戰記名著集第九卷ノ内　昭和五）　五九六　二三
旅心常住　浦本漸潮（政三郎）　昭和一〇　三六六頁　一　六三三　一七三
旅人芭蕉　荻原井泉水　昭和七　一　六三三　三三
旅程と費用を本位とした新鐵道旅行案内　宇都宮運輸事務所の卷　蓮田勉二編　昭和三　一　五七八　一三四
旅程と費用概算　昭和三、五、七、九、一〇年度版　ジヤパン・ツーリスト・ビューロー編　昭和三至一〇　五　五七八　一三一

同　昭和六、七年度版　二　五七八　一三一イ

リルケ詩抄　茅野蕭々譯　昭和二　一　五三一　九七

リルケの手紙　リルケ著　武田昌一譯　昭和一〇　一四七頁　一　六八六　二四

リレー出版　オーム社發行　昭和七至一〇　四　六三五　一七

第三　最新建築電氣　（伊藤重二）

第四　保護繼電器　（加藤重一）

第五　鐵道信號と保安裝置　（石川直）

第六　光電管とその應用　（十合晋夾、福田實）

同　第四、六　昭和九、一〇　二　六三五　一七イ

理論應用有機化學　亀高德平、樫本竹治編　昭和二　一　四七　三〇三

理論應用有機化學　西岡國譽、長谷川文雄　昭和三　一　四七　三一一
（題怨等ニハ「理論應用高等有機化學」トアリ）

理論應用解析幾何學　渡邊義勝　昭和六　一　五六三　五三一

理論應用膠質狀態學　石井新次郎　昭和六　一　六〇八　二一〇

理論應用高等無機化學　長谷川文雄、西岡國譽　昭和三　一　四七　三一七

理論應用近世色染法　第四編　西田博太郎　訂再版　昭和二　一　三五一　六三イ

理論應用近世色染法　第二、三編　西田博太郎　三、四版　昭和二、四　二　三五一　六三ロ

理論應用寫眞化學　長口宮吉　昭和九　一　六五〇　二三五

理論應用西式觸手療法と保健治病法　西勝造　昭和七　一　六〇　二九八

理論應用無機化學　亀高德平、樫本竹治編　訂補九版　昭和五　一　四七　二五一イ

理論及實驗電氣學精解　關口定伸　昭和四　一　五八八　一二〇

理論及實際基礎工學　ユンケル社編　昭和九（ユンケル・シリーズ第六輯）　一　六五九　二八

理論鑑賞揮毫習字法精義　笠井義夫　昭和二　一　五六三　一二八

理論岩石鑛物學　第一卷　汎論　門倉三能　昭和三　一　五八一　九六

理論會計研究　太田哲三　昭和六　一　六〇七　二六六

理論化學要說　越山季一　昭和一〇　二六九頁　一　四七　七〇八

理論化學講義　上、下卷　箕作新六　昭和二、三　二　四七　二九五

理論化學問題解義　青木芳彦　昭和五　一　四七　六一〇

同　訂三版　昭和九　一　四七　六一〇イ

理論經濟學　上　柴田敬　昭和一〇　五六〇頁　一　六八五　七七

理論經濟學　デイール著　杉山勝知、生駒佳年譯註　昭和五（對譯脚註獨逸論文叢書第一卷）　一　六〇三　一三

理論經濟學講義　第一、二册　松浦要　昭和七、九　二　六三四　一三九

理論經濟學講義　下卷（第一）　松浦要　昭和九　一　六二四　一三九

同　上、下卷（第一）　松浦要　訂六版　昭和一〇　一　六二四　一三九イ

理論經濟學叢書　日本評論社發行　昭和六、八　三　五九一　二一〇

第一編　勞働價値說の吟味　（高田保馬）

第二編　純粹經濟學入門　（ワルラアヌ著　早川三代治譯）

第三編　經濟原論　（高田保馬）

理論藝術學概論　マトツア著　外村史郎譯　昭和六　一　六〇九　三〇一

理論實驗鑛物及地質學講話　水野彌作　昭和五　一　六〇八　一〇

理論實驗化學講義　高田德佐　改訂九一版　昭和三　一　四七　一九五ト

理論實際園藝食品加工法　古市誠　昭和九　一　六六七　一三五

理論實際學校の夏季聚落　木村泉、高橋與惣　昭和二　一　二七三　八

理論實際家庭洗濯と染色　五十嵐健治、蕗澤喜芳　昭和五　一　六〇八　一四九

理論實際造園學　永見健一　昭和七　一　六一六　二七

理論實際シクラメン栽培　附一般鉢物花卉　野村滿義　昭和一〇　一　六七五　一八〇

理論實際尋一の手工教育　山形寛　昭和六　一　二六三　二九〇

理論實際尋二の手工教育　山形寛　昭和七　一　二六三　三〇一

理論實際尋三の手工教育　山形寛　昭和八　一　二六三　三三四

理論實際尋四の手工教育　山形寛　昭和九　一　二六三　二九〇

理論實際尋五の手工教育　山形寛　昭和一〇　三三八頁　一　二六三　三八二

理論實際測量師必携　森慶三郎　昭和六　一　六〇六　三八五

理論實際取引所概論　上卷　北崎進　昭和九　一　六四九　二九九

理論實際取引所概論　北崎進　昭和一〇　一　六四九　二九九イ

理論實際農業經營方式　久保佐土美　昭和七　一　六二七　一八七

理論實際肥料學大要　滿田隆一　昭和一〇　四五三頁　一　六八九　五六

理論實際葡萄之研究　大井上康　昭和五　一　五六三　三六五

理論實際米穀の貯藏　近藤萬太郎　昭和一〇　二〇六頁　一　六二七　二六〇

理論實際林產製造學　宇野昌一　昭和一〇　一　六二七　二五〇

理論商品學概論　保田榮　昭和一〇　八四九頁　一　六九四　四五

理論術式體力測定　吉田章信　昭和三　一　二七六　四四七

理論森林經理學　吉田正男　昭和一〇　三七一頁　一　六八〇　四五

理論政策經濟學論集　白鳳社編　昭和四　一　五九一　一八三

理論設計鐵塔　眞島卯太郎　昭和一〇　二八八頁　一　六九五　五二

理論競技・體操・舞踊最新運動會資料大全　上、中、下卷　齋藤黨雄、石井小浪　昭和一〇　一三版　三　二七六　六二九

理論的教育學　篠原助市　昭和四　一　二五二　三七六

理論的最適勞働時間に就いて　田中作治郎　昭和七　一　六三五　一九四

理論的並びに歷史的に見たる代數學の數系統　フアイン著　鍋島信太郎譯　昭和六　一　五六三　四五四

理論電氣學　第四卷　水野敏之丞　昭和三　一　三六七　一〇

理論電氣學（アブラハム・ベツカー）　コロナ社發行　昭和六　一　五八一　二九八

第一卷　マックスウエル理論電氣學階梯　（宮田聰譯）

同　一　五八一　二九八イ

理論電磁氣學　コロナ社發行　昭和五　一　六〇四　一三八

第一編　ヴエクトル解析編　（アブラハム、フエップル共著　宮熊茂業譯）

理論と實際口腔衛生と講演法　岡本清纓　昭和二　一　五八　一六一

理論と實際米酒醸造精義　小穴宮司雄　昭和一〇　一〇〇〇頁　一　六九七　四九

		冊	函	號
理論と實際とを兼ねた漬物の漬け方	笠間治三郎　昭和四	一	五九七	四一
理論と實際 マスクメロン栽培法	五十嵐梧樓　昭和六	一	五八二	三四五
理論と實際問題簿記の研究	上、下卷　河部繁一　昭和二	二	五六三	一三五
理論と實際よりなれる圖案新研究	第一　足立重廣編　昭和二　再版	一〇	四二三	二八四
理論物理學	內田老鶴圃發行　昭和二	一	四六	一八六
第二卷	彈性體及流體ノ力學（玉城嘉十郎編）			
理論物理學汎論（プランク）	裳華房發行　昭和二至七	三	四六	二九〇
第三卷	理論電氣磁氣學（寺澤寛一、酒井佐明譯）			
第四卷	理論光學（寺澤寛一、坂井卓三譯）			
第五卷	理論熱學（寺澤寛一、小谷正雄譯）			
臨永和歌集	後惠內（新校群書類從第七卷和歌部ノ內　昭和三）	五	八四	五
林葉和歌集	（新校群書類從第一二卷和歌部ノ二三六頁）　昭和五　木村壯太　昭和一〇	五	八四	五
林園賦	森山弘助　昭和三（紡織叢書第四篇）	一	六三二	一七〇
リンカーン	內ケ崎作三郎　昭和四	一	五五六	三〇五
臨海林間夏季學校お話集	長尾豐　昭和三	一	五八二	八五
臨幸私記	疎石（新校群書類從第二卷帝王部ノ內　昭和四）		五八四	五
林學講座	日本森林協會編　昭和七、八	四	六五四	七
第一卷	造林學（本多靜六）			
	造園學（田村剛）			
林產製造學	（三浦伊八郎）			
第二卷	森林利用學（西垣晉作）			
	森林保護學（安藤一次）			
	森林管理學（八戶道雄）			
第三卷	測樹學（吉田義季）			
	測量學（諸戶北郎）			
	林價算法學（吉田義季）			
	林業較利學（同）			
	砂防工學（諸戶北郎）			
	狩獵術（久川學而）			
第四卷	森林經理學（石原清逸）			
	林政學（田中由十郎）			
	森林法制（高山三平）			
	木材工藝（佐藤鎭五郎）			
林學研究	昭和九年度　宇都宮高等農林學校林學研究會編　昭和一〇	一	四、五	四二四
林學讀本	薗部一郎、三浦伊八郎　昭和三	一	五八八	六六
臨機應變	釋宗演　昭和一〇	一	三三五	四八六イ
リンク精紡機計算	森山弘助　昭和三（紡織叢書第四篇）	一	五七二	一七六
輪廓圖案と裝飾文字集	久保彌一郎　昭和三	一	五七六	五〇
輪郭的聖書	ロバート・リー著　三谷種吉譯　昭和二	一	四二三	二六二
林業回顧錄	中村彌六　昭和五	一	三八六	二六三
林業關係地方稅調査書	農林省山林局編　昭和五	一	六〇四	二三五
林業計算學	上、下卷　鈴木茂次　昭和三	二	五八一	一〇七
林業試驗成績概要	農林省林業試驗場編　昭和二	一	一四、二イ	五七七

林業試驗場要覽	昭和九年　昭和九　農林省林業試驗場編	一	一四、二イ	七六八
林業試驗報告	第二八號　昭和三　農林省林業試驗場編	一	一四、二イ	一三五
林業實驗と實習	三浦伊八郎　昭和八（「林業實習」ノ訂補改題）	一	六五〇	一六四
林業叢書	農林省山林局編　昭和八至一〇	五	六二五	二八七
第一輯	自動車又は据置小型發動機燃料としての木炭瓦斯に就て（辻行雄）			
第三輯	森林の治水並水源涵養機能（農林省山林局編）			
第四輯	桐樹の病蟲害と其の驅除法（同）			
第五輯	食用茸と有毒茸（北島君三）			
第六輯	牧野の草生改良（大迫元雄）			
林業と代用液體燃料に就て	ニセアカチヤ樹の利用　鹿島清三郎　昭和五	一	六〇四	一九一
林業の用具又は裝置の新考案	（懸賞入選）　大日本山林會編　昭和一〇　八二頁	一	六八四	二〇五
林業簿記及收益評定論	島田錦藏　昭和九	一	六六七	一五七
林業勞働者調査書	農林省山林局編　昭和三	一	五七九	三〇
林業林學ニ關スル論文及著書分類目錄	第二輯　農林省林業試驗場編　昭和五	一	五八一	二三五
臨濟、莊子	前田利鎌　昭和四	一	五九二	一九
臨濟宗綱要	日種宣法（佛教大學講座第四ノ內　昭和九、一〇）	七一		五四
臨濟宗妙心寺派法令全集	同派宗務本所編　昭和五	一	一四、七	四九二
臨濟錄	東海裕山編（世界大思想全集第五一ノ內　昭和五）		五四五	五九イ
臨濟錄	義玄著　朝比奈宗源譯註（岩波文庫一二〇二）　昭和一〇	一	五六九	一四
臨濟錄（聖典講話）	間宮英宗　昭和一〇	一	六九三	一一六
臨濟錄贊辯	岡田乾兒　訂再版　昭和九	一〇	二一五	二九一
臨濟錄夜話	間宮英宗　昭和六	一	六一二	九九
林產物移動狀況	第六至八次（大正一五至昭和三年）北海道廳拓殖部編　昭和一至五	三	一四、ロ二	一七二
林產物運搬貯藏施設調査書	農林省山林局編　昭和三	一	五七九	五六
林修竹治河叢書	山東河務總局發行　昭和二	二〇	一七六	四七
一　歷代治黃史　六卷（除振聲編）				
臨時家畜細菌學	中村哲哉、宮川文雄　昭和四	一	五九	八〇
臨時國語調査會發表漢字漢語假名遣整理案	木枝增一編　昭和四	一	五八九	一一八
〔臨時產業合理局生產管理委員會パンフレット〕				
同會編　昭和七至一〇		一八	六二五	五〇
生　一　〇　生產管理委員會提案ノ根本趣旨				
生　一　一　燃料節約				
生　一　二　從業員互換制度				
生　一　三　企業者間ノ相互啓發				
生　一　四　適性考査				
生　一　五　業務改善研究會				
生　一　六　見習工教育ノ改善				
生　一　七　企業經營者ノ資格ニツイテノ注意及職員ノ適材登用				
生　一　八　動力傳導方法ノ改善				

	冊	函	號
生 —一一 賃金制度			
生 —一二 工場整頓			
生 —一四 書類ノ書方			
生 —一五 作業工程管理ノ改善			
生 —一九 企業經營上ニ必要ナ統計			
生 —二二 賞與制度ノ改善			
生 —二四 生産管理ノ改善ヲ目的トスル中央機關設立案			
生 —二六 工場照明			
生 —二九 試驗所及研究所ノ整備			
臨時産業合理局の事業 臨時産業合理局編 昭和七	一	六一七	二三八
臨時神道講習會叢書 大倉精神文化研究所發行 昭和八	四	六三五	三〇七
第一輯 神道の特長に就いて (井上哲次郎)			
第二輯 國民道德と神道 (河野省三)			
第四輯 古典の研究 (植木直一郎)			
第九輯 文獻と行事 (今泉定助)			
臨時窒素研究所報告 同所發行 昭和二、三	三	一四、三イ	四七七
第一一號 ヂシアンヂアマイドより青化ナトリウムの製造に就て (原龍三郎)			
第一二號 カルシウム、シアナミドの生成熱の測定 (龜山直人、岡宗次郎)			
第一三號 正炭酸アムモニウム水溶液上に於ける分壓に就て (堀省一朗)			
淋疾 高木繁 昭和五	一	五七	八一
淋疾ノ病理及治療法 梅津小次郎 訂四版 昭和六	一	五七	五〇イ
淋疾の療法と其手技 上林豐明 昭和五	一	五七	八〇

	冊	函	號
同 訂補再版 昭和八	一	五七	八〇イ
鱗翅目幼蟲 Malacosoma neustria testacea MOTSCHULSKY に對する試藥注射實驗 山田種三郎 昭和九	一	六五八	六九
臨牀醫學講座 金原商店發行 昭和一〇	一四	六〇	一三六四
第一輯 治療上に於けるヴイタミンB (島薗順次郎)			
第二輯 主要傳染病の早期診斷 (高木逸磨)			
第三輯 精神病患者の一般診療法 (三宅鐵一)			
第四輯 醫事法制の誤り易き諸點 (山崎佐)			
第五輯 腦溢血の診斷と治療 (西野忠次郎)			
第六輯 血尿の鑑別診斷と其の療法 (高橋明)			
第七輯 形態異常(畸形)の治癒成否 (高木憲治)			
第八輯 狹心症の診斷と治療 (大森憲太)			
第一〇輯 結膜瀘の診斷と治療 (石原忍)			
第一一輯 血清化學の進歩と實地醫學への應用 (三田定則)			
第一二輯 膿尿の診斷及治療 (北川正淳)			
第一三輯 膿皮症と其治療 (太田正雄)			
第一四輯 癌腫の放射線療法 (中泉正德)			
第一五輯 人工氣胸療法 (熊谷岱藏)			
臨牀醫學研究 敬文社發行 昭和二	一〇	五〇	二九五
新藥編 一 (醫學業績研究會編)			
臨床醫學寫眞圖譜 第六、八輯 昭和二、五 東京醫學寫眞協會編	二	六〇	六五四
臨牀醫學と辯證法的唯物論 リフシツツ著 安田德太郎譯 昭和八 (辯證法的唯物論叢書第三)	一	五九八	六三

	冊	函	號
臨牀醫典 筒井八百珠著 筒井德光校 昭和一〇 一〇七四頁 訂三八版	一	五〇	六九ダ
臨床應用漢方醫學解說 湯本求眞 補六版 昭和八	一	六〇	三八九
臨床應用硯北日誌 上卷 滕格彌(公堂) 昭和九	一	六〇	二九三
臨床應用編 上 漢方醫學臨床提要 上 大塚敬節 昭和八 (實驗漢方醫學叢書第二)	一	六〇	二六三
臨床家寄實驗處方集 中村道三郎編 昭和三	一	五六九	一〇一
臨床家庭醫典 平凡社編 昭和六、七	三	六〇	二七八
第一卷 外科			
産婦人科			
レントゲン科			
齒科			
解剖生理			
第二卷 小兒科			
眼科			
耳鼻咽喉科			
第三卷 內科			
精神病科			
泌尿生殖器科			
性病科			
救急手當			
臨牀救急外科手術學 森武美 昭和三	一	五四	八七
臨牀寄生蟲病學 宮川米次 昭和二	一	五三	二四七
臨床寄生蟲卵圖譜 附寄生蟲概要 高橋操三郎 昭和七 再版	一	五三	二八五イ
臨牀血液學 小宮悅造 再版 昭和九 (「臨牀血液病學」ノ改題)	一	五一	四〇イ
臨牀血液圖說 小宮悅造、古庄乙彥 昭和五	一	五九	八一
臨牀骨折及脫臼の處置 (一般醫家の爲めに) 小林大乘 昭和九	一	五四	一〇九
臨牀細菌及免疫學 總論 志賀潔 一〇版 昭和二	一	五九	二八ホ
臨牀最新知識 第一輯 東西醫學社編 昭和一〇 四一〇頁	一	六〇	一三七四
臨牀產科學 望月寬一 昭和二	一	五六	二五二
臨床產科學圖譜 廣瀨豐命編 昭和五	一	五六	二九〇
臨牀產科叢書 診斷と治療社發行 昭和四、五	二	五六	二七〇
第一編 人工姙娠中絕 (堤辰郎)			
第二編 姙娠時生殖器出血の診斷 (岩田正道)			
倫常私記 櫻井倫常 (維新日誌第二期第四卷ノ內 昭和九)	二	二四	二七一
臨床兒科指針 長尾美知 昭和二	一	五六	二五三
臨牀齒科處方學及調劑法 平田俊一 昭和八 訂補三版	一	五八	一九八
臨床兒科須知 上、下卷 高洲謙一郎編 昭和五、六	二	五六	二八六
同 小兒發育及營養篇 訂 昭和一〇	一	五六	二八六イ
同 序論及各論 訂再版 昭和一〇	一	五六	二八六ロ
臨牀齒科調劑學 中安英一 昭和六	一	五八	一八一
臨牀齒科病理學 豐田實 昭和九	一	五八	二〇四
臨牀齒科保存療法學叢書 檜垣鱗三 昭和八 至一〇	四	五八	二〇一
第一編 所謂「齒槽膿漏」の療法			

		冊	頁	號
第二編	齒髓診斷法の批判			
第三編	續所謂齒槽膿漏の療法(負擔輕減療法)			
第四編	根管治療			
臨牀齒科補綴學叢書	山口秀雄 昭和三	三	五八	一六二
第一卷	齒科鑄造學			
第二、三卷	有牀義齒學 上、下卷			
臨牀齒科麻醉學	松田良身 昭和五	一	五八	一七三
臨床指鍼	藤井尙久編 六版 昭和四	一	六〇	八四三イ
同 七版 昭和八		一	六〇	八四三ロ
臨牀人體寄生蟲病學	蠕蟲病、原蟲病編 宮川米次 訂再版 昭和八	二	五三	二四七イ
臨床人體寄生蟲卵圖譜	附 人體寄生蟲概要 高橋操三郎 昭和四	一	五三	二八五
臨牀診斷學	上條秀介、中川嘉志馬 昭和八	一	五二	六一
臨牀性病學	羽太鋭治 昭和元	一	五七	四五イ
臨牀小兒科學	笠原道夫 昭和八	一	五六	三三三
臨牀大醫典	春秋社編 昭和五至七	五	六〇	一〇二四
第二 眼科				
第八 小兒科				
第九 齒科				
第一一、一二 外科				
臨牀的耳鼻咽喉科學	臨床講義集 久保猪之吉 昭和四	一	五八	一七〇
同		一	五八	一七〇イ

		冊	頁	號
同 再版 昭和六		一	五八	一七〇ロ
臨牀的尿檢査法	木下友敬 昭和三	一	五三	二七〇
臨牀と榮養	織戸正滿、中本誠一 昭和一〇	一	六一	四四五
臨牀內分泌病學	横森賢治郎 昭和四	一	五三	二七六
臨床放射線學	中泉正德 昭和七	一	五三	三二一
同 再版 昭和九		一	五三	三二一イ
臨牀急性中毒及其處置	長尾美知 再版 昭和四	一	五三	二八三
臨牀泌尿生殖器病學	羽太鋭治 訂三版 昭和四	一	五七	五七イ
臨牀皮膚科學	谷村忠保 昭和七	一	五七	八八
臨牀婦人花柳病學	淋疾編、黴毒編(上、中、下卷) 德永疊二 昭和四至一〇	四	五六	二八〇
同 淋疾編 再版 昭和八		一	五六	二八〇イ
臨牀藥物十講	第一卷 林良材 昭和七	一	五〇	三五七
臨牀藥理學	額田晋 昭和三	一	五〇	三〇二
同 三版 昭和六		一	五〇	三〇二イ
同 四版 昭和八		一	五〇	三〇二ロ
臨牀れんとげん圖譜	第一至三輯 三浦謹之助監修 昭和八、一〇	三	五三	三三六
臨牀和漢藥の常識	古木仁 昭和三	一	五〇	三〇一
臨時利得稅及一般稅務問答錄	稅務懇話會編 昭和一〇 九七頁	一	六六六	三六三
臨時利得稅法釋義	河沼高輝 昭和一〇 三七二頁	一	六四〇	三三七

		冊	頁	號
臨時利得稅法精解	中村纖男 昭和一〇 一九二頁	一	六四〇	三三九
臨時利得稅法精義	久保平三郎 昭和一〇 三三〇頁	一	六四〇	二六二
臨時利得稅法略解	法人の部 田中勝次郎 昭和一〇 四四頁	一	六八三	一
林政要覽	大正一三年末現在 農林省山林局編 昭和二	一	一四二ロ	一五六
林政八書	舊琉球藩編 昭和九	一〇	六六六	一五九
林政法令輯覽	大日本山林會編 昭和五	一	一四七	五一一
林地間作試驗成績報告	昭和八年度(第一輯) 新潟縣山林會編 昭和一〇 六三頁	一	一四二イ	七八五
隣女和歌集	飛鳥井雅有 (新校群書類從第一一卷和歌部ノ內 昭和三)		五八四	五
同	(群書類從第一一輯和歌部ノ內 昭和四)		五八三	一四
龍膽	加藤武雄 昭和三	一	五六八	二五一
りんどう	長谷川かな 昭和四	一	五九六	二八
りんどう集(詩集)	藤原悟 昭和五	一	五九六	二四六
リンドバーグ物語	ファイフ著 日本飛行學校譯 昭和四	一	五七九	三一〇
輪廻の火	前編 松田竹の島人 昭和二	一	五六八	二五四
隣邦を語る(坂西將軍講演集)	附 坂西將軍を語る 坂西利八郎著 吉見正任編 昭和八	一	六三四	二〇一
琳派百華譜	第一至二〇集 竹下弘編 昭和四至六	二〇	四〇四	一三
琳派名作集	大平堂畫房編 昭和五	一〇	二二〇	三七
淋病醫十二年	石丸一 昭和五	一	六〇	九九五
隣保事業概要	昭和九年度 昭和一〇 横濱市第四隣保館編	一	一四五	四九五

		冊	頁	號
林野現業員共濟組合事業成績	第七(大正一四年度)至一五(昭和八年度)回 農林省山林局編 昭和二至一〇	九	一四四	七三六
臨蘭亭二種	山本寛山臨書 昭和九	二〇	四三八	二九
倫理學	吉田靜致 昭和二 (東京帝國大學講義昭和二年度)	一〇	一四	七八三
倫理學(稿本)	稻毛金七 昭和五	一	六〇四	二四五
倫理學(ハルトマン)	三省堂發行 昭和八 第一部 道德現象論 (長屋喜一等譯)	一	六三六	六三
倫理學要說	池岡直孝 昭和七	一	六一九	六
倫理學演義(改訂)	吉田靜致 昭和九	一	三四九	八三イ
倫理學概說	蟹川龍夫 昭和五	一	五九五	一九五
倫理學概說	木村伊勢雄 昭和八	一	六三六	一三八
倫理學概說	葉上照澄 昭和九	一	六六三	二〇
倫理學概說	深作安文 昭和四 (春秋文庫第一二)	一	三三八	四四〇
倫理學概論	田中義能 昭和二	一	五五八	五三
倫理學概論	梅澤敬藏 昭和五	一	五九二	一二二
倫理學概論	エルトン著 蘭川四郎譯 昭和七	一	六一二	一九〇
倫理學概論	梅澤敬藏 訂 昭和八	一	五九二	一二二イ
倫理學概論	大島正德 訂 昭和八	一	五一〇	七三イ
倫理學概論	長屋喜一 昭和八	一	六三六	三四

		冊	函	號
倫理學概論 櫻井匡 昭和九		一	六三六	一九九
倫理學概論講義 吉田靜致 昭和三		一	五五八	九五
倫理學概論講義 馬場文翁 昭和九		一	六三六	二一四
倫理學綱要 ニコライ・ハルトマン著 高橋敬視譯 昭和四		一	五九二	一二二
倫理學講話 馬場文翁 昭和二		一	五七〇	一二
倫理學研究 佐藤徹 昭和九		一	六三六	三一三
倫理學原論 吉田靜致 昭和七		一	六一二	一八四
倫理學史要 ヴェンチャー著 龍野健次郎譯 昭和九		一	六三六	二八二
倫理學上より觀たる日本精神 吉田靜致 昭和九		一	六三六	三一六
倫理學通論 柴田甚五郎 昭和八		一	六一九	二〇八 ロ
倫理學の根本問題(リツツー) 藤井健治郎譯 訂昭和七		一	五一〇	一〇
倫理學の根本問題十講 リツプス著 鬼頭英一譯 昭和一〇 (世界大思想全集第九ノ)		一	五四五	五九
倫理學の主要問題 パウル・ハシゼル著 伏見文雄譯 昭和五 (哲學名著叢書第八)		一	五八三	四七
倫理革命 (原名「新倫理觀」) 蔡尚思 民國一九		一	六一九	一六九
倫理化運動と政黨關係 後藤新平 昭和二		一	五二四	五七三
倫理書 杉浦重剛著 猪狩又藏(史山)註解 昭和二		一	三三	三二四 イ
倫理叢書 寶文館發行 昭和二		二	五三九	三四
第六編 近世日本儒學史 上、下卷 (岩橋遵成)		三八八		
倫理と宗教 富士川游 昭和九		一	六七二	三四
倫理の二つの根本問題 ショペンハウエル著 哲雄譯 昭和三 景山		一	五七〇	二一七
倫理の二つの根本問題 ショペンハウエル著 河合哲雄譯 (世界大思想全集第五八ノ内 昭和七)			五四五	五九

ル

涙香全集 黑岩涙香 昭和八	九	六三〇	七
第一卷 死美人			
第二卷 非小說			
第三卷 鐵假面			
第四卷 白髮鬼			
第五卷 武士道			
第六卷 幽靈塔			
第七、八卷 巖窟王 前、後編			
第九卷 噫無情			
類句文範 新作文辭典 前田晁編 昭和三	一	三七四	二一九
類語小集成 鹽井信次編 昭和四	一	五六九	一四六
類纂 大藏省沿革略志 大藏省記錄局編 明治二二 (七一四頁)	特 一	六八六	九一
類纂 明治天皇御製全集 星野武男編 昭和七	一	六三〇	一
類聚香記 享保四寫 (四三條家本 今泉雄作舊藏)	特 一	八三三	三〇六

類聚近世風俗志 (原名守貞漫稿) 喜多川守貞 一〇版 昭和九		一	六四	二五 イ
類聚國史(尊經閣叢刊) 卷第一六五 育德財團發行 昭和七 複製	特 一軸	亥二	一二四	
同	特 一軸	亥二	一二四 イ	
類聚國史(尊經閣叢刊) 卷第一七一 育德財團發行 昭和八 複製	特 一軸	亥二	一五〇	
同	特 一軸	亥二	一五〇 イ	
類聚國史(尊經閣叢刊) 卷第一七七 育德財團發行 昭和九 複製	特 一軸	亥二	一五六	
同	特 一軸	亥二	一五六 イ	
類聚國史(尊經閣叢刊) 卷第一七九 育德財團發行 昭和九 複製	特 一軸	す	六三	
同	特 一軸	め二	五三	
類聚雜要 卷第一至四 寫			八四一	四一
類聚雜要抄 (群書類從第二六輯雜部ノ内 昭和四)			五八三	一四
同 (新校群書類從第二〇卷雜部ノ内 昭和四)			五八四	五
類聚雜例 源經賴 (新校群書類從第二二卷雜部ノ内 昭和七)			五八四	五
同 (群書類從第二九輯雜部ノ内 昭和九)			五八三	一四
類聚書畫落款印譜 東京美術鑑賞會編 昭和二			一五六二	一二三
類聚世話百川合海 (未刊隨筆百種第四ノ内 昭和二)			五六〇	二九
類聚大補任 (群書類從第四輯補任部ノ内 昭和四)			五八三	一四
同 (新校群書類從第三卷補任部ノ内 昭和五)			五八四	五
類聚符宣抄 宮內省圖書寮編 昭和六			一六一〇	一二三
同			一六一〇	一二三 イ
類聚名義抄古訓大成 三ケ尻浩編 昭和一〇 謄寫版 (二八六頁)			一三〇二	一五九
類似植物分類鑑定總覽 齋藤義三郎 昭和三			一五八六	一八三
類似植物採取分類鑑定辭典 齋藤義三郎 昭和一〇 (六二六頁)			一六八一	一四九
類題謹解 昭憲皇太后御集 三室戸敬光編 再版 昭和五			一六〇三	一三〇
類題謹解 明治天皇御集 三室戸敬光編 再版 昭和五			一六〇三	一二九
類題草野集 木村定良(櫨園)編 (文政頃)			二〇八二八	八
類題新英集 井上喜文編 明治一九、二〇			二〇八三九	一一六
類題新竹集 猿渡容盛編 (慶應二)			三〇八三九	一〇九
類題青藍集 秋元安民編 安政六			一二〇八三九	一〇八
類題武藏野集 仲田顯忠編 安政四			四〇八三九	一〇三
類題方記聞 乾、坤 (民間療法)			二〇一一七	一八八
類別公民法規要典 坪內武四郎 昭和九			一二七五 五	八四
類別論語正解 神作濱吉 昭和一〇 一〇三二頁			一六七九	八一
ルースの野球指導 ベーブ・ルース著 伊丹安廣、伊丹恒雄譯 昭和六			一六〇六	二九九
ルーズベルト 大江專一 昭和八			一六三九	三九
ルーズベルトの世界再建論 四至本八郎譯編 昭和八			一六四四	四〇
ルウッソオ 足立源一郎 昭和三 (テルス美術叢書第七編)			一五四一	六一 イ
ルーデイン トウルゲーニエフ著 原久一郎譯 昭和一〇 (岩波文庫一二一七—一二一八)			一五六九	一四

		冊	函	號
ルーテルの事業の眞髓	フォルサイス著 之助譯 昭和五 福元利	一	六〇四	四二
ルウベンスの僞畫	堀辰雄 昭和八	一	六二三	二一五
ルオー畫集	美術新論社編 昭和五	一	五七六	一七九
ルオー畫集	伊藤廉編 昭和七 (西洋名畫家選集第三)	一	六二八	五三
ルカ傳福音書	日高善一 昭和三 (新約聖書註解第三)	一	五七〇	一九四
ルコック探偵	ガボリオー著 田中早苗譯 昭和四 (世界大衆文學全集第二六卷)	一	五六九	六一
ル・コルビユジエ	國際建築協會編 昭和四	一	五五五	五三
ル・コルビユジエ作品集	洪洋社編 昭和四	一	五四〇	一五〇
ルゴン家の人々	前、後篇 昭和七 ゾラ著 吉江喬松譯 (世界名作文庫第一四一、一四二)	二	六三〇	一
ル・シラアジユ(長篇小說)	(船あと) 昭和九 早川三代治	一	六六五	一〇一
ルソオとロマンティシズム	バビット著、葛川篤、土戸久夫譯 (世界大思想全集第八四)	一	五四五	五九
ルソーのエミール	鯵坂二夫譯 昭和七 (玉川文庫第二二篇)	一	六四六	一
ルソーの教育思想	鯵坂二夫 昭和七 (玉川文庫第三二篇)	一	六四六	一
ルソオの自然觀と教育說	稻富榮次郎 昭和九	一	二五三	七二八
ルソーよりバルザックへ	太宰施門 昭和九	一	六六五	一七三
呂宋覺書	立原萬(翠軒) (海表叢書卷六ノ内 昭和三)	五六六	一五	
同	(南蠻紅毛史料第二輯ノ内 昭和五)	五六六	一五イ	
呂宋紀行	中目覺編 昭和九	一	六七二	一二〇

		冊	函	號
呂宋の壺	淺井竹五郎(芳野町人) 昭和六	一	五八三	三八三
ルチンデ	シユレーゲル著 江澤讓爾譯 昭和九 (世界名作文庫第二三八)	一	六三〇	一
ルツソー社會契約論の一先驅者ジユリヴの政治思想	人民主權論の一研究 天川信雄 昭和五	一	六〇四	二三〇
ルツター選集	同人 昭和四	一	五九五	一八三
第一編 三大名著集	(佐藤繁彥譯)			
ルツターの宗教觀	カアル・ホル著 佐藤繁彥譯 昭和三	一	五四九	四〇八
ルツターの信仰及思想	佐藤繁彥 昭和五 (基督教文獻叢書第五)	一	六〇九	四五
ルツター文庫	ルツター 昭和四	一	五六九	一四九
第一編 卓上語錄	(佐藤繁彥譯)			
ルツテル	ストリンドベルク著 舟木重信譯 昭和七 (世界名作文庫第四一八)	一	六三〇	一
ルツボはたぎる(創作)	益田甫 昭和二	一	五六九	四六
流轉	柳原燁子 昭和三	一	五八二	五五
流轉風景	松原寬 昭和九	一	六四五	二二五
ルナアル日記	一八九七至一九〇一年 岸田國士譯 昭和一〇 ルナアル著	二	六八五	四五
ルネ・クレール研究	アルノリッヂ著 馬上義太郎譯 昭和九	一	六七五	一一二
ルネサンス	ペエタア著 佐久間政一譯 (世界大思想全集第三一ノ内 昭和四)		五四五	五九
ルネツサンス史概說	(フロレンスを中心として) 坂口昂 昭和五	一	五九四	一七五
ルノアール畫集	アトリエ社編 昭和四	一	八三	四五五
Le Paris.	太宰施門 昭和九	一	六五六	一九八

ルパン全集(怪奇―探偵―)

ルブラン著 昭和四、五 保篠龍緒譯

第一卷 奇嚴城	一四	五六九	一五〇
怪紳士 上			
第二卷 水晶の栓			
怪紳士 下			
第三卷 虎の牙			
第四卷 三十棺埔島			
見えざる捕虜			
第三の男			
第五卷 怪人對五人			
ルパンの告白 上			
第六卷 バルネ探偵局			
ルパンの告白 下			
第七卷 八點鐘			
第八卷 妖魔の呪			
第九卷 金三角			
第一〇卷 813			
第一一卷 青い眼の女			
第一二卷 怪屋の怪			
別卷第一 ドロテ			
ルパン・ノート			
別卷第二 三つの眼			
赤い輪			

ルパン全集(怪奇―探偵―)

ルブラン著 昭和一〇 保篠龍緒譯

第一 奇嚴城	一六	六四七	一三四
第二 水晶の栓			
第三 怪人對五人			
第四 眞紅の肩掛			
第五 妖魔の呪			
第六 ゼリコ			
第七 三十棺埔島			
第八 ドロテ			
第九 虎の牙			
第一〇 バルネ探偵局			
ルパン・ノート			
第一一 八點鐘			
第一二 青い眼の女			
第一三 金三角			
第一四 怪屋の怪奇			
第一五 813			
第一六 怪紳士			
留美	巢薗居編 昭和二	一〇	四二三	二六一
ルルージュ事件	ガブリオ著 田中早苗譯 昭和一〇 (三三六頁)	一	六九二	三九
ルルル子	池谷信三郎等 昭和五	一	六〇三	二一九
ルルドの姫君	マトン 昭和二	一	五七〇	二七四
ルンペン社會學	井上吉次郎 昭和七	一	六二一	二五
ルンペン寫眞師	朝木良之助 昭和七	一	六九九	五〇

レ

例解會計簿記精義	井上達雄 昭和九	一	六六七	七四
例解原價計算	魚谷傳太郎 昭和二	一	五七二	一二九
靈界の默示	サンダー・シング著 金井爲一郎譯 昭和二	一	五三三	二七八

冷下地層（詩集）　野澤冬歌　昭和七　一冊　函　一六三三　八九

靈岸島量水標零位と東京灣中等潮位並に堀江量水標零位との關係　内務省東京土木出張所編　昭和三　一　五四九　四四七

靈巖洞物語　内柴御風　昭和八　一　六三九　二〇〇

靈感の驚異　山本精一郎　昭和九　一　六四五　二三九

麗氣記私鈔・麗氣記拾遺鈔　了譽著　昭和八　高瀨承嚴編　一〇　二一五　二〇〇

禮儀正しき挨拶の仕方　山口和喜子　昭和七　一　六三二　一一

例規判例手續挿入改正恩給法通解　門田重雄　昭和九　一　六四九　二七〇

冷灰全集　江木衷著　同刊行會編　昭和二　四　五五五　四四

第一卷　法律解釋學
法理學講義
獨佛英國行政裁判法
對照
現行刑法原論

第二卷　近世民法汎論
現行民法論　總則篇
民事訴訟原論
日本民法　財産取得篇

第三卷　日本民法講義財産篇

第四卷　國家道德論
理想の憲政
冷灰漫筆
山窓夜話
國體論
陪審制度談
憲法と陪審法
天祐と陪審制度
伊藤公と陪審制度
普選問題統體觀
普選問題と歐米の近代道德
普選と勞働階級
法廷に於ける辯論
漢文學と思想問題
漢學研究の必要
東西哲學の歸一
東西道德學の歸一
冷灰留稿
待我歸軒詩存
書翰集

靈華畫集　上、下卷、續篇　昭和五、一〇　吉川靈華畫　前田剛二編　特　三〇　四二五　二七

靈華追悼畫集（藝術雜誌「關」創刊記念）　昭和四　關如來編　一〇　五六七　三九

靈火の働き　大矢津巖　昭和元　一　六〇　八三八

靈觀　三田善靖　昭和七　一　六〇九　三九五

靈影（探偵祕錄）　恒岡恒、司馬將价　昭和八　一　六四三　八四

禮教事業概要　大同元年　大同二　滿洲國文教部禮教司編　一　二七五六　五〇

禮教資料彙輯　滿洲國文教部禮教司編　大同二　一　二七五六　四九

靈驗龜山鉾　鶴屋南北（大南北全集第一一卷ノ内）　昭和二　五三九　八

同　五三九　八イ

靈驗宮戸川（平賀源内全集下卷ノ内）　昭和九　六一〇　一七五

靈魂の秋　生田春月　昭和八（新潮文庫第三三編）　一　六三〇　八

靈魂の諸問題　澁谷治　昭和五（基督教思想原論第一卷）　一　五九二　一四一

靈魂の救　山室軍平　昭和五　一　五九五　二五三

靈魂は羽ばたく　長田穗波　昭和三　一　五八二　四〇

冷藏庫設計實例集　栗屋良馬　昭和三　一　五七六　六一

冷藏資料　農林省水産局編　昭和二（以下「冷凍資料」ト改題）　一　五六二　七二

第一輯　冷藏運搬船・貯氷庫・製氷冷藏工場實例　其の一

冷藏知識と電氣冷藏機　佐伯盛之助　昭和三　一　五七二　二〇三

冷藏と冷凍　大島正滿　昭和六（實用化學工業叢書第六）　一　六一三　四六

靈掌術教授全書　大山疊行（靈泉）　昭和三　一　六〇　九〇九

麗春　大圓同人編　昭和九　一帙　三〇一　一七

零時零秒（詩集）　喜志邦三　昭和九　一　六五五　一一六

麗人　佐藤紅綠　昭和五　一　六〇三　二四

麗人　松本仁（吾妹叢書第三編）　昭和三　一　五六八　二七〇

麗人九條武子　附　戲曲九條武子夫人（北村小松）　佐佐木信綱　昭和九　一　六六一　七

靈樞翁之傳記　佐藤靈樞　昭和三　一　五七八　一四五

冷然齋詩集　宋、蘇洞　民國二三　影印（四庫全書珍本初集ノ内）　八卷　特　四〇　八四四　一六八

麗澤叢書　同刊行會發行　昭和七至九
第六輯　靜岡名墓誌（柘植清編）
第七輯　可美古安部川餅（法月吐志樓（後郎））
隨筆
第八輯　靜岡縣方言集（内田武志）　一〇　一八〇　一二三

令嬢ユリエ　ストリンドベルク著　茅野蕭々譯　昭和二（岩波文庫八〇）　一　五六九　一四

靈的生涯の危機　パーデングトン著　今井政太譯　昭和九（福音叢書第二編）　一　六六四　六

靈的生活の諸相　シング著　金井爲一郎譯　昭和二　一　五三六　二八六

靈と遺骸　前田昌德　昭和二　一　五二四　六九五

冷凍及び冷藏　西澤勇志智（最新化學工業大系第一三卷ノ内）　昭和九　六三五　二〇

冷凍資料　農林省水産局編　昭和四至一〇（「冷藏資料」ノ改題）　七　五六二　七二

第二輯　冷藏運搬船・製氷冷藏工場・貯氷庫實例　其の二
第三輯　同　其の三
第四輯　奬勵冷藏庫要綱
第五輯　冷藏庫經營資料
第六輯　冷藏運搬船・製氷冷藏工場・貯氷庫實例　其の四
第七輯　同　其の五
第八輯　製氷冷藏工場・貯氷庫・漁業用製氷設備要綱實例　其の六　二　五六二　七二イ

同　第二、三輯　昭和四　一　六二三　四七

冷凍全般の大要　淺野定次、中村清　昭和七　三　五七九　四八一

冷凍叢書　日本冷凍事業大觀（同會編）　昭和四、六
第一編　日本冷凍事業大觀（同會編）
第三編　家庭用冷藏函比較審査報告（同）